(財)八尾市文化財調査研究会報告 15

小 阪 合 遺 跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—

〈昭和59年度　第4次調査報告書〉

1988年

(財)八尾市文化財調査研究会

小 阪 合 遺 跡

—八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査—

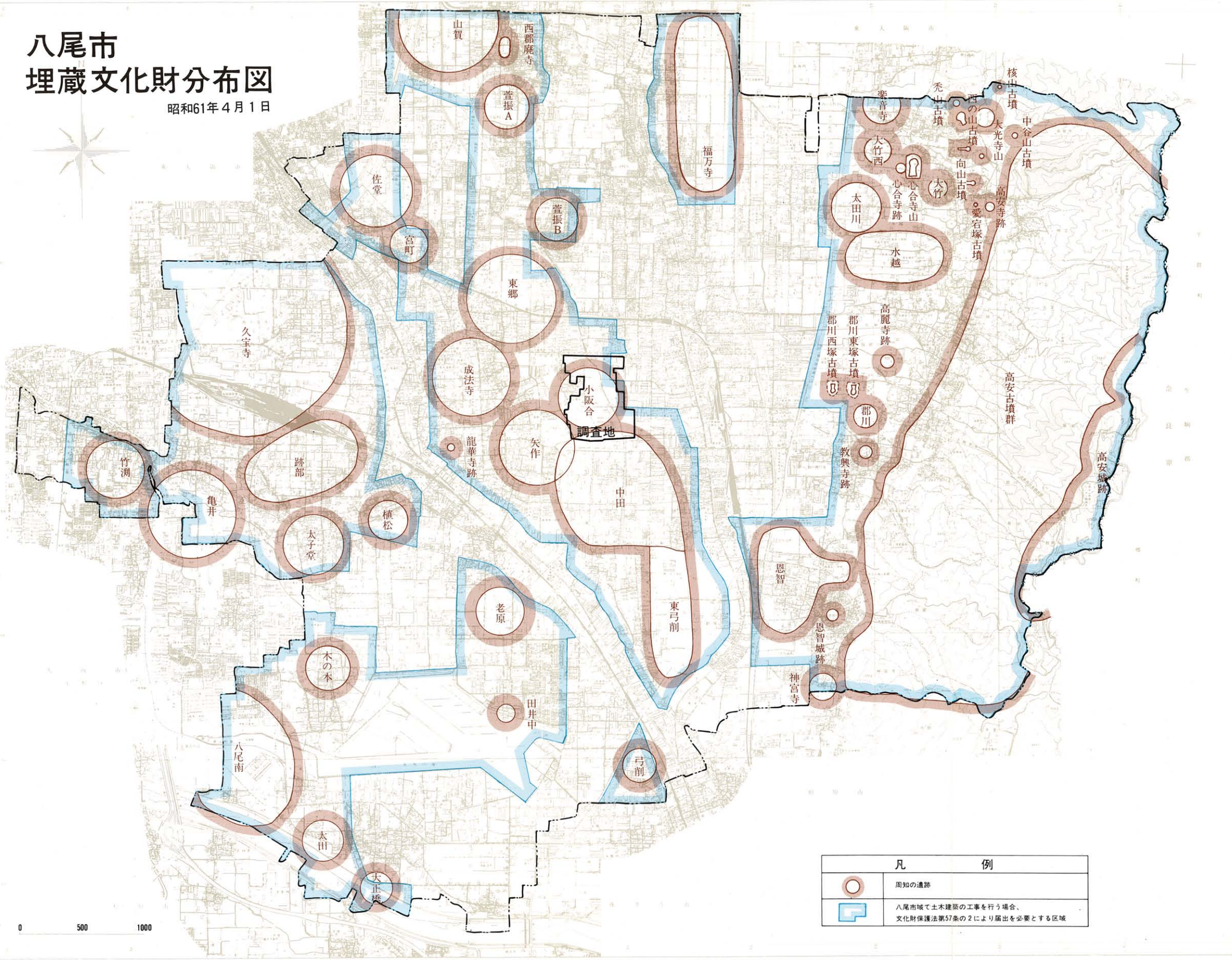
〈昭和59年度　第4次調査報告書〉

1988年

(財)八尾市文化財調査研究会

八尾市
埋蔵文化財分布図

昭和61年４月１日



凡例	
	周知の遺跡
	八尾市域て土木建築の工事を行う場合、 文化財保護法第57条の２により届出を必要とする区域

序　　文

八尾市は、河内平野の中央部よりやや南寄りに位置し、東に生駒山地の景観をみる温暖で肥沃な土壌を有する地域であり、早くから人々が生活の場として住みはじめたところです。それらの先人が残した大切な遺構・遺物が多く存在しております。

今回、報告します小阪合遺跡は、昭和57年度より実施して来ました八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業の区画街路・公共施設等の建設に伴う発掘調査に関するもので、本書は昭和59年度第４次調査の結果報告を刊行するものであります。この遺跡は、旧大和川の幾多の洪水等による氾濫で沖積された河内平野上に位置し、現在、弥生時代中期から近世に至る遺構・遺物が多量に検出しています。

ここに改めて、本調査に関し、事業者をはじめ関係各位の文化財保護の立場から充分ご理解を賜わり、ご協力いただきましたことを、ここに心から感謝を申上げます。

今後、この報告書が広く文化財保護にご活用いただければ、この上もない幸せに存じます。

今後共、当調査研究会に対して尚一層のご指導とご協力を賜りますようにお願い申上げます。

なお、本書作成にあたって、御協力・御指導をいただきました関係各位に深く感謝の意を表します。

昭和63年３月

財団法人八尾市文化財調査研究会

理事長　　福　島　　孝

例　　言

1、本書は、大阪府八尾市南小阪合町・青山町・山本町南に所在する八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う昭和59年度小阪合遺跡の第４次調査の報告書である。

1、本書で報告する発掘調査は、八尾市教育委員会の指示のもとで財団法人八尾市文化財調査研究会が八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所の委託を受けて実施したものである。

1、本書に要した費用はすべて八尾都市整備室南小阪合土地区画整理事務所が負担した。

1、本調査は、昭和59年６月15日～昭和59年11月15日の期間で実施した発掘調査である。なお、出土遺物の整理作業及び報文作成業務は、昭和62年１月６日～同年３月25日までである。

1、本調査並びに本報告に関係した者は下記のとおりである。

理 事 長　　山脇　悦司（昭和62年８月６日まで）
　　福島　　孝（昭和62年８月７日から昭和63年３月現在）
事務局長　　児玉　生一（昭和59年４月１日～昭和61年３月31日まで）
　　市森　管萱（昭和61年４月１日～昭和63年３月現在）
事 務 員　　富田よしの（旧姓森本）
　　中谷　暁子
調 査 員　　高萩　千秋

1、本調査の参加諸氏は、笹井伸彦・中野健太郎・山西嘉彦・徳谷貢正・西森忠幸・中谷伸・米野茂幸・高井裕之・木曾直美・岩本多貴子・徳谷久美子・中西由起子・中村百合・北村教江・中西隆子・横山真鶴であり、内業整理は上記に加えて、村田英子・村田圭子・杉本尚子・山中智美・岡田清一・八元聡志・森本啓二郎・柏本幸寿・松村富子・岡田聖一・並河聡也・若竹慶弘・田中明美である。

1、本書の執筆は高萩が担当したが、出土遺物観察表は村田（英）・村田（圭）が作成した。

1、遺物実測は杉本・徳谷・高井・岩本、遺物写真撮影は高萩、トレースは岩本が行った。

1、遺構実測図の方位は、すべて真北を示している。

1、遺物実測図は、断面の表示によって次のように分類した。弥生式土器・土師器・瓦器・瓦・埴輪一白、須恵器一黒、石類・木製品一斜線。

1、本書掲載の地図は国土地理院発行の1/2500、八尾市発行の1/2500・1/10000を使用した。

1、本書で用いた高さの値は海抜である。

1、本調査に際しては、写真・実測図の他にカラースライドも多数作成している。市民の方々が、広く利用されることを希望する。

本　文　目　次

八尾市埋蔵文化財分布図
序文
例言
第１章　はじめに……1
第２章　調査の概要……4
第１節　調査の方法……4
第２節　調査地の地区割……4
第３節　調査区の概要……6
第３章　調査の結果……11
第１節　第１調査区……11
Ⅰ　基本層序……11
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……11
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……27
第２節　第２調査区……31
Ⅰ　基本層序……31
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……31
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……39
第３節　第３調査区……47
Ⅰ　基本層序……47
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……47
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……47
第４節　第４調査区……49
Ⅰ　基本層序……49
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……49
第５節　第５調査区……51
Ⅰ　基本層序……51
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……51
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……63

第６節　第６調査区……64
Ⅰ　基本層序……64
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……64
第７節　第７調査区……66
Ⅰ　基本層序……66
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……66
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……101
第８節　第８調査区……107
Ⅰ　基本層序……107
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……107
第９節　第９調査区……109
Ⅰ　基本層序……109
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……109
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……129
第10節　第10調査区……133
Ⅰ　基本層序……133
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……133
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……138
第11節　第11調査区……143
Ⅰ　基本層序……143
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……143
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物……144
第12調査区……147
Ⅰ　基本層序……147
Ⅱ　検出遺構・出土遺物……147
第４章　出土遺物観察表……153
第５章　まとめ……269

挿　図　目　次

第１図　調査地位置図……2
第２図　調査地区割模式図……5
第３図　第１調査区～第９調査区遺構配置図……9・10
第４図　第10調査区～第12調査区遺構配置図……9・10
〈第１調査区〉
第５図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……11
第６図　ＳＫ１平断面図……12
第７図　ＳＫ１出土遺物実測図……12
第８図　ＳＤ１検出遺物平断面図……13・14
第９図　ＳＤ１断面図……15
第10図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図１……16
第11図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図２……17
第12図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図３……18
第13図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図４……19
第14図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図５……20
第15図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図６……21
第16図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図１……22
第17図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図２……23
第18図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図３……24
第19図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図４……25
第20図　包含層出土遺物実測図……28
第21図　遺構平面図……29・30
〈第２調査区〉
第22図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……31
第23図　ＳＥ１平断面図……33
第24図　ＳＥ１出土曲物底実測図……33
第25図　ＳＫ３出土遺物実測図……34
第26図　ＳＫ５出土遺物実測図……35

第27図　ＳＰ10・ＳＰ14出土遺物実測図……35
第28図　小穴列１平断面図……36
第29図　小穴列２平断面図……36
第30図　ＳＤ５出土遺物実測図……38
第31図　第７層土器集積平断面図……39
第32図　第７層出土遺物実測図……40
第33図　第７層出土木製品実測図……41
第34図　包含層出土遺物実測図１……42
第35図　包含層出土遺物実測図２……43
第36図　包含層出土遺物実測図３……44
第37図　遺構平面図……45・46
〈第３調査区〉
第38図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……47
第39図　包含層出土遺物実測図……47
第40図　調査区平面図……48
〈第４調査区〉
第41図　基本層序柱状図（1/20）……49
第42図　遺構平面図……50
〈第５調査区〉
第43図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……51
第44図　ＳＥ１平断面図……52
第45図　ＳＥ１出土遺物実測図……53
第46図　ＳＥ１出土木製品実測図１……54
第47図　ＳＥ１出土木製品実測図２……55
第48図　小穴列１平断面図……56
第49図　ＳＫ２北部検出遺物平断面図……57
第50図　ＳＫ２出土遺物実測図……58
第51図　河川１出土遺物実測図……59
第52図　河川２出土遺物実測図……60
第53図　遺構平面図……61・62
第54図　包含層出土遺物実測図……63

〈第６調査区〉

第55図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……64
第56図　調査区平面図……65

〈第７調査区〉

第57図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……66
第58図　ＳＤ１検出遺物平断面図及び断面図……69・70
第59図　ＳＤ１出土遺物実測図１……71
第60図　ＳＤ１出土遺物実測図２……72
第61図　ＳＤ１出土遺物実測図３……73
第62図　ＳＤ１出土遺物実測図４……74
第63図　ＳＤ１出土遺物実測図５……75
第64図　ＳＤ１出土遺物実測図６……76
第65図　ＳＤ１出土遺物実測図７……77
第66図　ＳＤ１出土遺物実測図８……78
第67図　ＳＤ１出土遺物実測図９……79
第68図　ＳＤ１出土遺物実測図10……80
第69図　ＳＤ１出土遺物実測図11……81
第70図　ＳＤ１出土遺物実測図12……82
第71図　ＳＤ１出土遺物実測図13……83
第72図　ＳＤ１出土遺物実測図14……84
第73図　ＳＤ１出土遺物実測図15……85
第74図　ＳＤ１出土遺物実測図16……86
第75図　ＳＤ１出土遺物実測図17……87
第76図　ＳＤ１出土遺物実測図18……88
第77図　ＳＤ１出土遺物実測図19……89
第78図　ＳＤ１出土遺物実測図20……90
第79図　ＳＤ１出土遺物実測図21……91
第80図　ＳＤ１出土遺物実測図22……92
第81図　ＳＤ１出土遺物実測図23……93
第82図　ＳＤ１出土遺物実測図24……94
第83図　ＳＤ１出土遺物実測図25……95
第84図　ＳＤ１出土遺物実測図26……96

第85図　ＳＤ１出土遺物実測図27……97
第86図　河川１出土遺物実測図……98
第87図　ＳＥ１出土遺物実測図……98
第88図　包含層出土遺物実測図……102
第89図　第１・第２調査面遺構平面図……103・104
第90図　第３・第４調査面遺構平面図……105・106
〈第８調査区〉
第91図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……107
第92図　河川１出土遺物実測図……107
第93図　遺構平面図……108
〈第９調査区〉
第94図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）……109
第95図　ＳＤ１検出遺構平断面図……111・112
第96図　ＳＤ１平断面図……113
第97図　ＳＤ１出土遺物実測図１……114
第98図　ＳＤ１出土遺物実測図２……115
第99図　ＳＤ１出土遺物実測図３……116
第100図　ＳＤ１出土遺物実測図４……117
第101図　ＳＤ１出土遺物実測図５……118
第102図　ＳＤ１出土遺物実測図６……119
第103図　ＳＤ１出土遺物実測図７……120
第104図　ＳＤ４出土遺物実測図……121
第105図　ＳＥ１平断面図……122
第106図　ＳＥ１出土遺物実測図……122
第107図　ＳＫ８平断面図……124
第108図　ＳＫ８出土遺物実測図……125
第109図　ＳＰ16出土遺物実測図……126
第110図　包含層出土遺物実測図……130
第111図　遺構平面図……131・132
〈第10調査区〉
第112図　基本層序柱状図……133
第113図　埴輪円筒棺平断面図……134

第114図　朝顔形埴輪実測図……135
第115図　円筒埴輪実測図……136
第116図　第６層検出木製品平断面図……138
第117図　包含層出土遺物実測図……139
第118図　第６層出土木製品実測図……140
第119図　遺構平面図……141・142
〈第11調査区〉
第120図　基本層序柱状図（S＝1/20）……143
第121図　遺構平面図……145・146
〈第12調査区〉
第122図　基本層序柱状図（S＝1/20）……147
第123図　第１調査面遺構平面図……149・150
第124図　第２調査面遺構平面図……151・152

表　目　次

第１表　既住調査の一覧表……3
第２表　調査区一覧表……4
〈第２調査区〉
第３表　第１調査面小穴（ＳＰ）一覧表……32
第４表　第２調査面小穴（ＳＰ）一覧表……36・37
〈第５調査区〉
第５表　第１調査面小穴（ＳＰ）一覧表……56
〈第７調査区〉
第６表　ＳＤ１出土土器器種別割合表……68
第７表　ＳＤ１甕分類表……68
〈第９調査区〉
第８表　第１調査面小穴（ＳＰ）一覧表……110
第９表　第２調査面小穴（ＳＰ）一覧表……126
〈第12調査区〉
第10表　第１調査面溝（ＳＤ）一覧表……148

図　版　目　次

図版一	第１調査区	第１調査面（南から）
		ＥⅡ－ｂ６～ｃ６区ＳＤ１遺物検出状況（西から）
図版二	第１調査区	ＳＤ１遺物検出状況（西から）
		ＳＤ１遺物検出状況（南から）
図版三	第１調査区	ＳＤ１完掘（南から）
		第２調査面全景（南から）
図版四	第２調査区	第１調査面全景（東から）
		ＤⅡ－ｉ８～ｊ８区ＳＫ１（西から）
図版五	第２調査区	ＤⅡ－ｉ９区第１調査面（西から）
		ＤⅡ－ｉ９区第７層遺物検出状況（南から）
図版六	第２調査区	第２調査面全景（東から）
		ＤⅡ－ｊ６～ｊ７区ＳＫ３（南から）
図版七	第２調査区	ＤⅡ－ｉ10区遺構状況（東から）
		ＤⅡ－ｉ１区ＳＤ３（南から）
図版八	第２調査区	ＤⅡ－ｉ１区小穴検出状況（南から）
		ＤⅡ－ｉ２区小穴列２（南から）
図版九	第２調査区	ＤⅡ－ｉ８区ＳＥ１（南から）
		ＤⅡ－ｉ８区ＳＥ１木製品検出状況（南から）
図版十	第３調査区	第３調査区全景（西から）
	第４調査区	第４調査区全景（南から）
図版十一	第５調査区	第１調査面全景（北から）
		ＧⅣ－ｂ５区小穴列１（南西から）
図版十二	第５調査区	ＦⅣ－ｊ５区ＳＥ１（東から）
		ＦⅣ－ｊ５区ＳＥ１底部付近木製品検出状況（上から）
図版十三	第５調査区	ＦⅣ－ｊ５区ＳＫ２（北から）
		ＦⅣ－ｊ５区～ＧⅣ－ａ５区ＳＫ３（東から）
図版十四	第５調査区	ＧⅣ－ｂ５区ＳＤ２（北から）
		ＧⅣ－ｂ５区ＳＫ５・ＳＫ６（西から）
図版十五	第６調査区	第６調査区全景（南から）
	第７調査区	第１調査面全景（西から）

図版十六　第７調査区　ＧⅣ－ｄ２区ＳＤ１上層遺物検出状況（西から）
ＧⅣ－ｄ２区ＳＤ１下層遺物検出状況（東から）
図版十七　第７調査区　ＧⅣ－ｄ３区ＳＤ１完掘（東から）
第２調査面全景（西から）
図版十八　第７調査区　第３調査面全景（西から）
第８調査区　第４調査面全景（西から）
図版十九　第９調査区　第１調査面全景（北から）
ＧⅣ－ｆ３区ＳＤ１遺物検出状況（東から）
図版二十　第９調査区　ＧⅣ－ｆ３区ＳＤ１完掘（西から）
第２調査面全景（北から）
図版二一　第９調査区　ＧⅣ－ｇ３区ＳＥ１（西から）
ＧⅣ－ｇ３区ＳＥ１井戸側（西から）
図版二二　第９調査区　ＧⅣ－ｆ３区ＳＫ８（西から）
ＧⅣ－ｄ３区ＳＰ19柱根検出状況（南から）
図版二三　第９調査区　第３調査面全景（北から）
第10調査区　第10調査区北部（南から）
図版二四　第10調査区　第10調査区南部（北から）
ＡⅣ－ｆ10区埴輪円筒棺（東から）
図版二五　第10調査区　ＡⅣ－ｆ10区埴輪円筒棺の朝顔形埴輪（南東から）
ＡⅣ－ｆ10区埴輪円筒棺の円筒埴輪（南東から）
図版二六　第10調査区　ＡＶ－ｉ１区木製品検出状況（西から）
第11調査区　遺構面全景（南から）
図版二七　第12調査区　第１調査面全景（南から）
第１調査面全景（北から）
図版二八　第12調査区　第２調査面全景（南から）
ＣＶ－ｆ７区足跡状遺構検出状況（東から）
図版二九　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（４～９）
図版三十　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（10～15）
図版三一　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（16～19・21・24）
図版三二　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（25～30）
図版三三　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（31～34・36・37）
図版三四　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（49・55～58・63）

図版三五　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（65・68～71・78・86・90）
図版三六　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（91・94・96・104・109・112・114・120）
図版三七　第１調査区　出土遺物　ＳＤ１（121・127・129～133・138）
図版三八　第１調査区　出土遺物　包含層（140・142・145～147・149）
図版三九　第１調査区　出土遺物　包含層（150・151・153・155～159）
図版四十　第１・第２調査区　出土遺物　第１調査区包含層（160・163～165）
第２調査区包含層（21～23）
図版四一　第２調査区　出土遺物　包含層（24・25・45・58・59・62・79～81）
図版四二　第５調査区　出土遺物　ＳＥ１（２・５・８～11）
図版四三　第５調査区　出土遺物　ＳＥ１（13）ＳＫ２（27・28）
河川１（33・39）包含層（54・63・64）
図版四四　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（１～５・11）
図版四五　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（12・15・24・32・33・35～37）
図版四六　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（38・40・43・44・47・51・53）
図版四七　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（54・57～61・66）
図版四八　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（67～72）
図版四九　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（73～78）
図版五十　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（79～83・85）
図版五一　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（130・148・155・158・159・200・208・217）
図版五二　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（218・236・240・243・245・246）
図版五三　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（265・267・269・274・285・288）
図版五四　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（291・304・305・307・308・311）
図版五五　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（312・319・320・322・324・325）
図版五六　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（328・329・332・337～339）
図版五七　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（340～345・347）
図版五八　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（348～355）
図版五九　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（356～358・361・362・364）
図版六十　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（365～368・370・371・378・380）
図版六一　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（381・383～385・389・391・394・395）
図版六二　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（396・397・408～413）
図版六三　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（414・416～418・423～426）
図版六四　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（427～432・435・451）

図版六五　第７調査区　出土遺物　ＳＤ１（453・456～458・463～467）

図版六六　第７調査区　出土遺物　ＳＥ１（468）

包含層（487・489～493・499・500）

図版六七　第９調査区　出土遺物　ＳＤ１（１～５・20）

図版六八　第９調査区　出土遺物　ＳＤ１（23・43・48～50・69）

図版六九　第９調査区　出土遺物　ＳＤ１（70・72・73・76～78）

図版七十　第９調査区　出土遺物　ＳＤ１（81・82・88・91・102・107・119・120）

図版七一　第９調査区　出土遺物　ＳＤ１（123・124）

ＳＤ４（125・128・129・132）

図版七二　第９調査区　出土遺物　ＳＫ８（134・141）

図版七三　第９調査区　出土遺物　ＳＫ８（142・143・146～149・152・153）

図版七四　第10調査区　出土遺物　朝顔形埴輪（１）

図版七五　第10調査区　出土遺物　円筒埴輪（２）

図版七六　第10調査区　出土遺物　包含層（６～10）

図版七七　第10調査区　出土遺物　包含層（11～18）

図版七八　第１・第２調査区　出土遺物（木製品）　第１調査区　ＳＤ２（139）

第２調査区　ＳＥ１（２）

図版七九　第２・第５調査区　出土遺物（木製品）　第２調査区　ＳＤ２（28）

第５調査区　ＳＥ１（15）

図版八十　第５調査区　出土遺物（木製品）　ＳＥ１（16～19・21）

図版八一　第10調査区　出土遺物（木製品）　第６層（23・24）

第1章　はじめに

今回の発掘調査は、昭和57年度から継続事業として実施している八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴うもので、当調査研究会が小阪合遺跡内で実施した第４次調査にあたる。

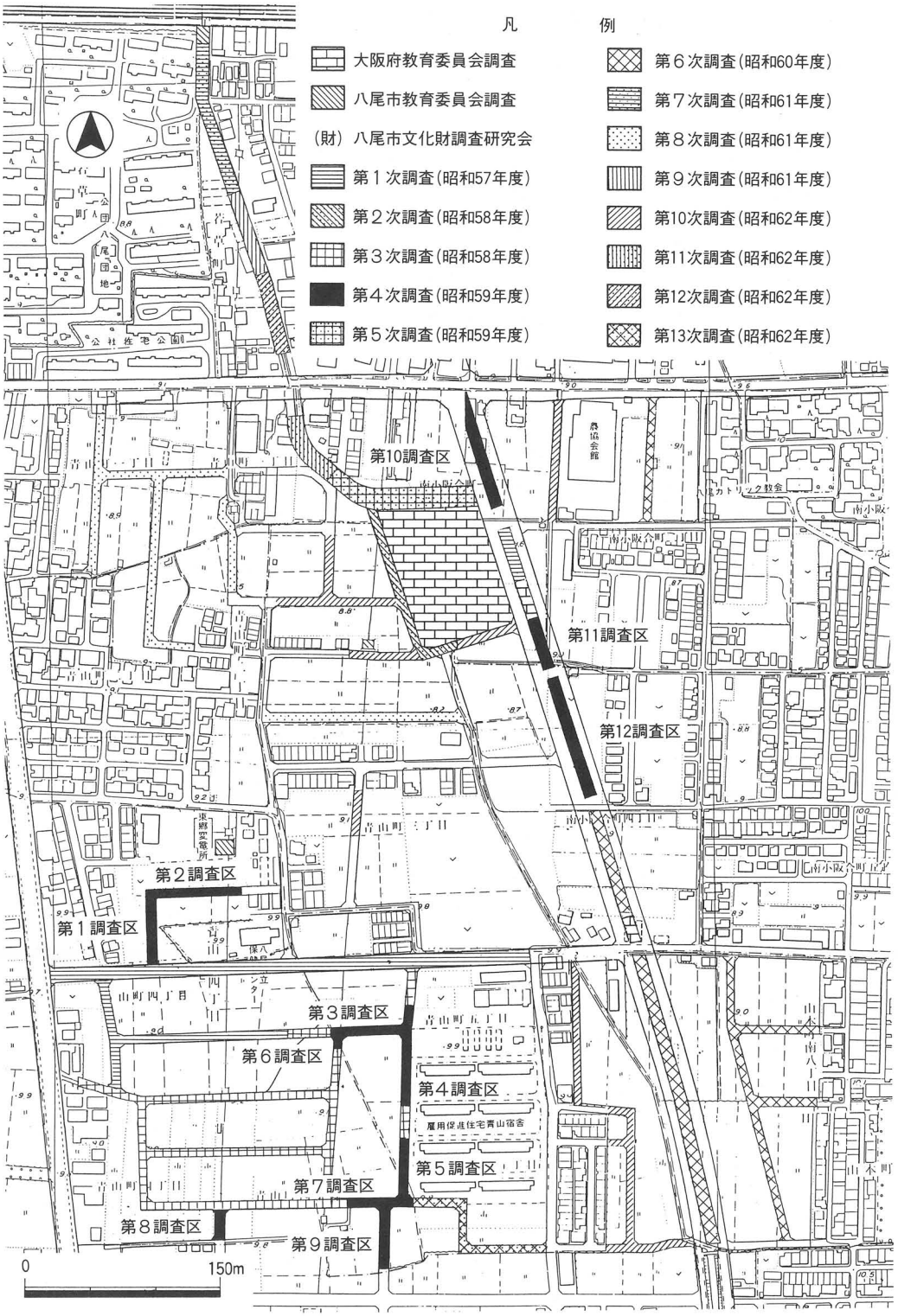
当遺跡は、八尾市の中央部にあたる南小阪合町・青山町・若草町・山本町南一帯に広がる弥生時代～江戸時代にかけての複合遺跡である。当遺跡は旧大和川の主流である玉串川と長瀬川に挟まれた沖積地上に位置している。同一沖積地上には多くの遺跡が存在している。当遺跡の周辺に限っても、西方には矢作遺跡・成法寺遺跡、南方には東弓削遺跡・中田遺跡、北方には東郷遺跡・萱振Ｂ遺跡が存在している。

当遺跡の発見の契機は、昭和30年に若草町で実施された大阪府住宅供給公社山本団地の建設工事に際して、古墳時代の土器が出土したことによる。しかし、その後、八尾市教育委員会が当遺跡内で数回の試掘調査を実施したが、その実態は不明であった。

昭和56年度に当遺跡内の南小阪合地区を中心として区画整理事業が施工されることになった。八尾市教育委員会は埋没している遺跡の実態を把握する目的で、計画予定地内の調査を実施することが決定された。そして、昭和57年度から当調査研究会及び大阪府教育委員会・八尾市教育委員会で、それぞれ発掘調査が実施された。現在（昭和62年度）までには当遺跡内で区画整理事業及び関係事業に伴う発掘調査が19回実施されている。その内訳は大阪府教育委員会が３回、八尾市教育委員会が２回、当調査研究会が14回（第１次～第14次調査）の発掘調査である（第１表）。調査の結果では弥生時代中期～近世に至る遺構・遺物を検出している。特に古墳時代前期に比定される遺構・遺物が当遺跡内に広く分布していることが明らかになった。

今回の調査地は区画整理事業の計画道路の予定地内（約1500㎡）で、青山町４丁目・５丁目内の区画街路に９箇所と、南小阪合町４丁目内の幹線道路に３箇所の計12箇所である。この調査地は昭和57年度第１次調査・昭和58年度第３次調査地に接している。発掘調査は既往調査と同様の経緯を踏まえて当調査研究会が実施することになり、区画整理事業事務所・八尾市教育委員会・当調査研究会の三者間で調査に関わる契約を締結し、現地調査に着手した。調査期間は昭和59年６月15日から同年11月15日である。なお、昭和59年９月７日に八尾市内の市立中学校（社会科）教師の依頼により、資料を作成し、現地説明会を実施した。参加者は25人であった。

内業整理については、昭和61年度内業整理業務として、発堀調査と同様の経緯を踏まえて区画整理事業事務所・八尾市教育委員会・当調査研究会の三者間で契約を締結し、昭和62年１月６日から３月25日までの期間を昭和59年度第４次調査の内業整理として実施した。ただし、報告書の印刷は、昭和62年度の内業整理事業に計上して、刊行した。


凡　例
大阪府教育委員会調査
八尾市教育委員会調査
（財）八尾市文化財調査研究会
第１次調査（昭和57年度）
第２次調査（昭和58年度）
第３次調査（昭和58年度）
第４次調査（昭和59年度）
第５次調査（昭和59年度）
第６次調査（昭和60年度）
第７次調査（昭和61年度）
第８次調査（昭和61年度）
第９次調査（昭和61年度）
第10次調査（昭和62年度）
第11次調査（昭和62年度）
第12次調査（昭和62年度）
第13次調査（昭和62年度）
第10調査区
第11調査区
第12調査区
第２調査区
第１調査区
第３調査区
第６調査区
第４調査区
第５調査区
第７調査区
第８調査区
第９調査区
雇用促進住宅青山宿舎
農協会館
南小阪合町
青山町
0
150m

第１図　調査地位置図

第1表　既往調査の一覧表

年度	調査地	調査原因	調査主体	調査面積	主な検出遺構・出土遺物	備考
57年度	青山4丁目町内と南小阪合町1丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第1次調査)	約1900㎡	弥生時代後期ー土坑・小穴。古墳時代前期ー井戸・溝、多量の土器出土。古墳時代中期ー土坑・小穴等。奈良時代ー建物・井戸等。	当調査研究会報告9
58年度	南小阪合町1丁目内	楠根川切換え工事	当調査研究会(第2次調査)	約600㎡	鎌倉時代ー小穴・溝。江戸時代ー自然河川。	当調査研究会報告10
	青山町4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第3次調査)	約1500㎡	弥生時代後期ー土坑・小穴・溝、多量の遺物出土。古墳時代前期ー方形周溝墓・溝等、庄内式古相〜布留式古相の土器を多量に出土。	当調査研究会報告10
	南小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場建設	大阪府教育委員会	約5000㎡	古墳時代前期ー溝・自然河川。平安時代〜鎌倉時代ー溝・自然河川。	
59年度	青山町4丁目内と南小阪合町1丁目・4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第4次調査)	約1500㎡	古墳時代前期ー土坑・小穴・溝。庄内式古相〜布留式古相の土器が多量に出土。古墳時代中期ー初期須恵器の出土。平時代末期ー井戸・土坑・小穴。	今回の報告
	南小阪合町1丁目内	柏原・八尾幹線下水管渠築造工事	大阪府教育委員会	約200㎡	鎌倉時代ー水田。	
	青山町4丁目	㈱関西電力鉄塔工事	八尾市教育委員会	約55㎡	古墳時代中期ー土坑・溝・小穴。	八尾市文化財調査報告11
	南小阪合町1丁目内	流域下水道工事	当調査研究会(第5次調査)	約636㎡	弥生時代後期〜古墳時代ー溝。平安時代後期ー井戸・小穴・溝。鎌倉時代ー溝。	当調査研究会報告8
60年度	山本町南8丁目と南小阪合町4丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第6次調査)	約2500㎡	弥生時代後期ー土坑。古墳時代前期ー土坑・溝。鎌倉時代ー水田・溝。室町時代ー自然河川。	当調査研究会報告8
	南小阪合町1丁目・4丁目	下水道工事	大阪府教育委員会	約200㎡	古墳時代ー溝。鎌倉時代〜近世ー溝。	
	小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	八尾市教育委員会	約20㎡	中世ー自然河川。	八尾市文化財調査報告12
61年度	青山町1丁目・3丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第8次調査)	約1000㎡	古墳時代前期ー土坑・溝。古墳時代中期ー溝・小穴・河川。奈良時代ー溝・小穴。平安時代〜鎌倉時代ー井戸・土坑・小穴・溝。	当調査研究会報告9
62年度	小阪合町1丁目・2丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第9次調査)	約480㎡	室町時代ー自然河川。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町1丁目と青山町3丁目・5丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第10次調査)	約1023㎡	弥生時代後期ー土坑・溝。古墳時代前期ー土坑・溝・自然河川・土器集積。平安時代末期ー溝。鎌倉時代〜近世ー溝。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町1丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第11次調査)	276㎡	室町時代ー自然河川。近世ー自然河川。	昭和63年度事業報告
	小阪合町2丁目内	小阪合ポンプ場放流渠築造工事	当調査研究会(第12次調査)	400㎡	室町時代ー自然河川。	昭和63年度事業報告
	青山町5丁目内	区画整理事業	当調査研究会(第13次調査)	260㎡	弥生時代後期ー溝。古墳時代前期ー土坑・溝・土器集積・自然河川。古墳時代中期ー土坑・溝・小穴。平安時代ー土坑。鎌倉時代ー溝。	昭和63年度事業報告
	南小阪合町4丁目内	特殊人孔築造工事	当調査研究会(第14次調査)	30㎡	遺構・遺物なし。	昭和63年度事業報告
	青山町1丁目内	府道拡張工事	大阪府教育委員会		弥生時代後期ー土坑。古墳時代前期ー溝。鎌倉時代ー溝・小穴。	

第2章　調査の概要

第1節　調査の方法

今回の調査地は、区画街路の予定地内に幅2mのトレンチ（第1調査区～第9調査区）、幹線街路の予定地内に幅6mのトレンチ（第10調査区～第12調査区）の計12箇所である（第2表）。掘削に際しては既往調査（昭和57年度第1次調査・昭和58年度第3次調査）の調査結果をもとにして、現地表下0.3～0.5mまでの土層を機械掘削した。これより以下の土層については人力による掘削を実施し、遺構・遺物の検出に努めた。

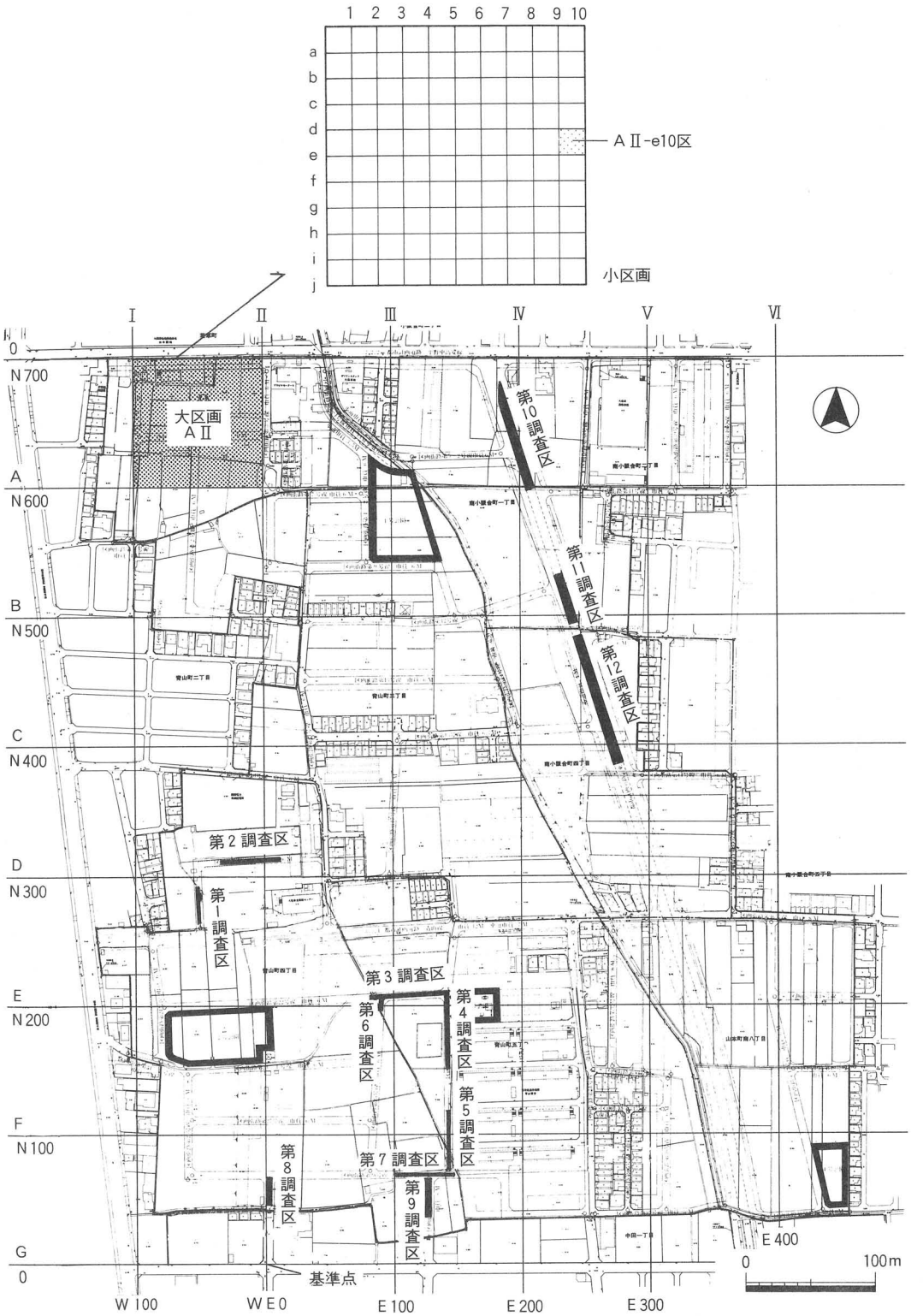
第2節　調査地の地区割

今回の調査地は、各調査区が細長い（南北・東西方向）トレンチで広範囲に点在している。南部には弥生時代～中世にかけての複合遺跡である中田遺跡が接しており、当遺跡と位置関係を把握する目的などを考慮に入れ、昭和47～49年度曙川北区土地区画整理事業に伴う中田遺跡の発掘調査で使用された地区割プランの図D－Ⅲラインの交点を基準点として、区画整理事業区域内に東西線・南北線を設けた。地区名は100m四方を1区画とした大地区を設け、区画整理事業区域内の北西角（基準点から北へ700m・西200m）から東西線（北からA～G）、南北線（西からⅠ～Ⅶ）と付称した。この大地区をさらに10m四方に小区画して北西角から東西線（北からa～j）、南北線（西から1～10）の小地区を設定して各調査区に付称した。地区の表示は大地区と小地区をあわせ、第2図のようにAⅡ－e10区と表した。

なお、基準点は区画整理事業区域内の保健センターに設置されている三角点(国土座標の値)から国土座標を求めた。基準点はX＝－152.728 990、Y＝－35.328.342を測る。当区画整理区域内に設定した地区割の南北線は国土座標の南北線より西へ2度ふっている。

第2表　調査区一覧表　　※単位：m

調査区	計画道路番号	規模	調査区	計画道路番号	規模
第1調査区	18号線（南北方向）	29×2	第7調査区	28号線	46×2
第2調査区	18号線（東西方向）	61×2	第8調査区	29号線	26×2
第3調査区	22号線	60×2	第9調査区	30号線	32×2
第4調査区	23号線（北部）	60×2	第10調査区	中央線（北部）	72×6
第5調査区	23号線（南部）	45×2	第11調査区	中央線（中央部）	37×6
第6調査区	25号線	10×2	第12調査区	中央線（南部）	102×6



第２図　調査地区割模式図

第３節　調査区の概要

今回の調査地は幅２ｍと幅６ｍの細長いトレンチの調査であったが、この調査においても多大な調査成果をあげることができた。また、既往調査で検出した弥生時代後期～近世に至る遺構などと関連するものが多くみられた。

以下、今回の調査で検出した遺構・遺物について各調査区ごとに概説してみる。

第１調査区（18号線）

区画整理事業区域内の西部中央に設定した南北に長い調査区（長さ29ｍ）で、今回実施した調査区内で最も西端部にあたる。調査面積は約78㎡を測る。当調査区では２面の調査面を実施した。その結果、下面調査では、古墳時代前期（布留式古相）～中期に比定される土坑１基（ＳＫ１）・溝３条（ＳＤ１～ＳＤ３）を検出した。ＳＤ１では下層から布留式古相に比定される土器、上層から古墳時代中期に比定される土器が出土している。上面調査では、鎌倉時代に比定される土坑１基（ＳＫ１）・溝７条（ＳＤ４～ＳＤ11）を検出した。

なお、ＳＤ１の広がりをみるために拡張（南北10ｍ、東西２ｍ）を実施した。

第２調査区（18号線）

第１調査区の北端部から東へ伸びる東西に長い調査区（長さ61ｍ）である。調査面積は約122㎡を測る。当調査区では２面の調査を実施した。その結果、下面調査では古墳時代前期（布留式古相）に比定される土坑２基（ＳＫ１・ＳＫ２）・小穴８個（ＳＰ１～ＳＰ８）を検出した。上面調査では古墳時代中期～奈良時代に比定される小穴57個（ＳＰ９～ＳＰ65）、平安時代に比定される曲物を備えた井戸１基（ＳＥ１）を検出した。下層調査では第７層内から畿内第Ⅴ様式～庄内式古相に比定される土器が出土している。

第３調査区（22号線）

第１調査区の南東約150ｍに設定した東西に長い調査区（長さ60ｍ）で、昭和58年度第３次調査の22地区の東部にあたる。調査面積は約126㎡を測る。当調査区では現地表下0.5ｍで古墳時代前期の包含層を確認した。直下の土層上面を調査面としたが、遺構は検出されなかった。なお、西側に位置する昭和58年度第３次調査22地区では当調査区の同一面から弥生時代後期～古墳時代前期に至る土坑・小穴・溝が検出されている。

第４調査区（23号線北部）

第３調査区の東部に設定した東北に長い調査区（長さ約60ｍ）で、昭和58年度第３次調査の25地区の東部（約50ｍ）にあたる。調査面積は約120㎡を測る。当調査区では１面の調査を実施した。その結果、古墳時代前期に比定される土坑２基（ＳＫ１・ＳＫ２）を検出した。

第５調査区（23号線南部）

第４調査区の南側から約35ｍに設定した南北に長い調査区（長さ45ｍ）である。調査面積は約90㎡を測る。当調査区では２面の調査を実施した。その結果、下面調査では古墳時代前期（庄内式新相～布留式古相）に比定される井戸１基（ＳＥ１）・土坑１基（ＳＫ１）・小穴列１箇所（小穴列１）・小穴４個（ＳＰ１・ＳＰ５～ＳＰ７）を検出した。上面調査では古墳時代前期に比定される土坑４基（ＳＫ２～ＳＫ５）・自然河川１条（河川１）と、平安時代に比定される自然河川１条（河川２）を検出した。

第６調査区（25号線）

第４調査区の南部に設定した南北に長い調査区（長さ約10ｍ）である。調査面積は約20㎡を測る。当調査区では１面の調査を実施した。その結果、第３調査区と同様に遺構は検出されなかった。南側に接する昭和58年度第３次調査の25地区では、当調査区と同一面から弥生時代後期～古墳時代前期に比定される土坑・溝が検出されている。

第７調査区（28号線）

第５調査区の南部に設定した東西に長い調査区（長さ約46ｍ）で、昭和58年度第３次調査の28地区の東部にあたる。調査面積は約92㎡を測る。当調査区では４面（下から第１面～第４面）の調査を実施した。その結果、第１面の調査では古墳時代前期に比定される溝２条（ＳＤ１～ＳＤ２）と、平安時代に比定される河川１条（河川１）を検出した。ＳＤ１内からは庄内式新相～布留式古相に比定される土器が多量に出土している。第２面の調査では鎌倉時代に比定される井戸１基（ＳＥ１）・土坑２基（ＳＫ１・ＳＫ２）・溝２条（ＳＤ３・ＳＤ４）を検出した。第３面の調査では鎌倉時代～室町時代に比定される溝６条（ＳＤ５～ＳＤ10）を検出した。第４面の調査では江戸時代以降の溝８条（ＳＤ11～ＳＤ18）を検出した。

第９調査区（30号線）

第７調査区の南部に設定した南北に長い調査区（長さ32ｍ）である。調査面積は約64㎡を測る。当調査区では３面（下から第１面～第３面）の調査を実施した。その結果、第１面の調査では古墳時代前期～中期に比定される小穴13個（ＳＰ１～ＳＰ13）・溝４条（ＳＤ１～ＳＤ４）を検出した。ＳＤ１では上層から初期須恵器、下層から庄内式新相～布留式古相に比定される土器が多量に出土している。第２面の調査では鎌倉時代に比定される井戸１基（ＳＥ１）・土坑10基（ＳＫ１～ＳＫ10）・小穴20個（ＳＰ14～ＳＰ33）・溝18条（ＳＤ５～ＳＤ22）を検出した。第３面の調査では江戸時代以降の溝３条（ＳＤ23～ＳＤ25）を検出した。

第10調査区（中央線）

当調査地で最も北部に設定した南北に長い調査区（長さ約72ｍ）で、昭和57年度第１次調査のＣ－Ⅱ地区の北部にあたる。また当調査区の西側には昭和59年度第５次調査地が接している。

調査面積は約432㎡を測る。当調査区では1面の調査を実施した。その結果、平安時代後期～鎌倉時代に比定される溝14条（ＳＤ１～ＳＤ14）と、古墳時代中期に比定される土坑１基（ＳＫ１）埴輪円筒棺１基を検出した。

第11調査区（中央線）

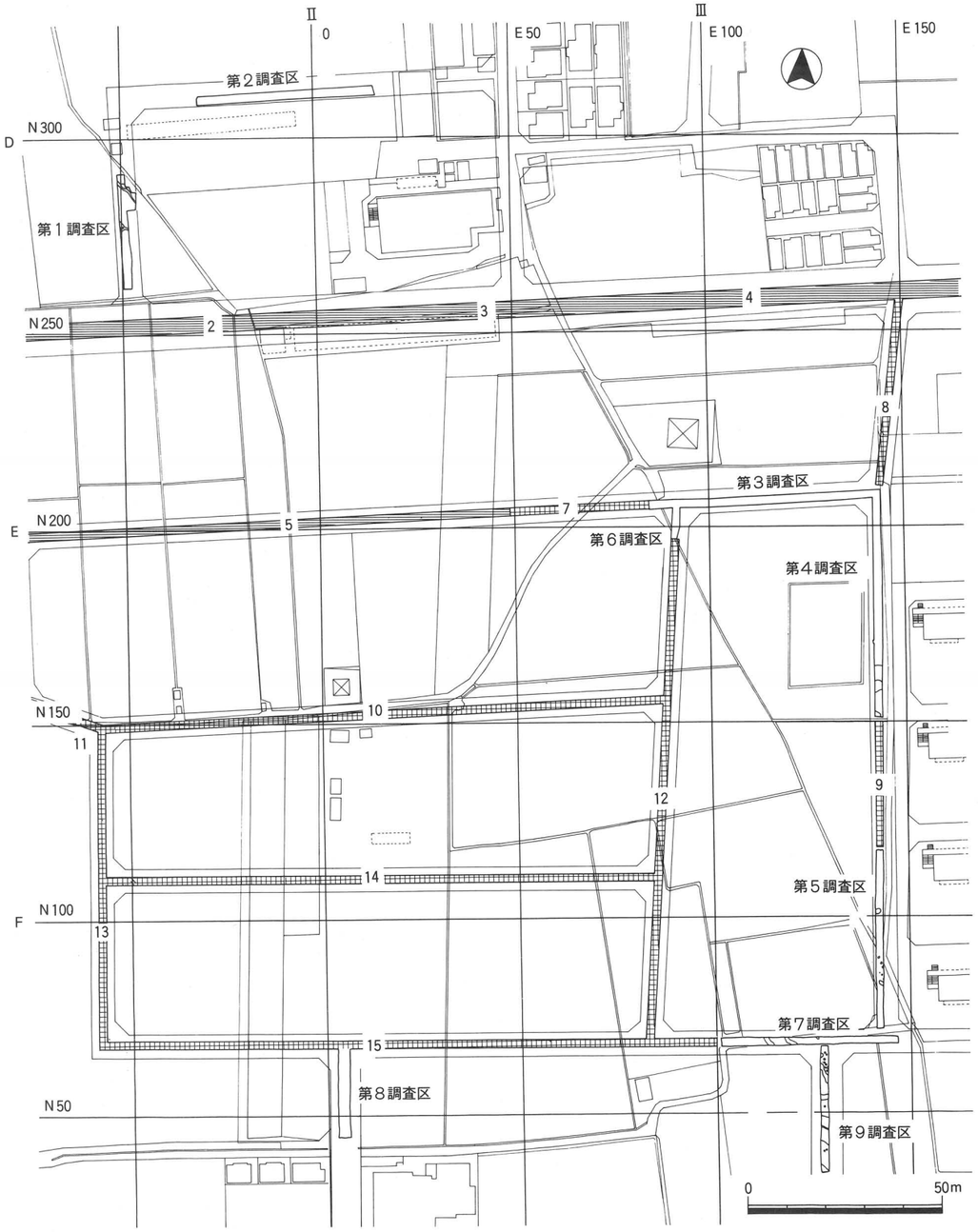
第10調査区の南部約100ｍに設定した南北に長い調査区（約37㎡）で、昭和57年度第１次調査のＣ－Ⅱ地区の南部（約50ｍ）にあたる。調査面積は約222㎡である。当調査区では１面の調査を実施した。その結果、鎌倉時代に比定される土坑１基（ＳＫ１）・小穴３個（ＳＰ１～ＳＰ３）・溝６条（ＳＤ１～ＳＤ６）を検出した。

第12調査区（中央線）

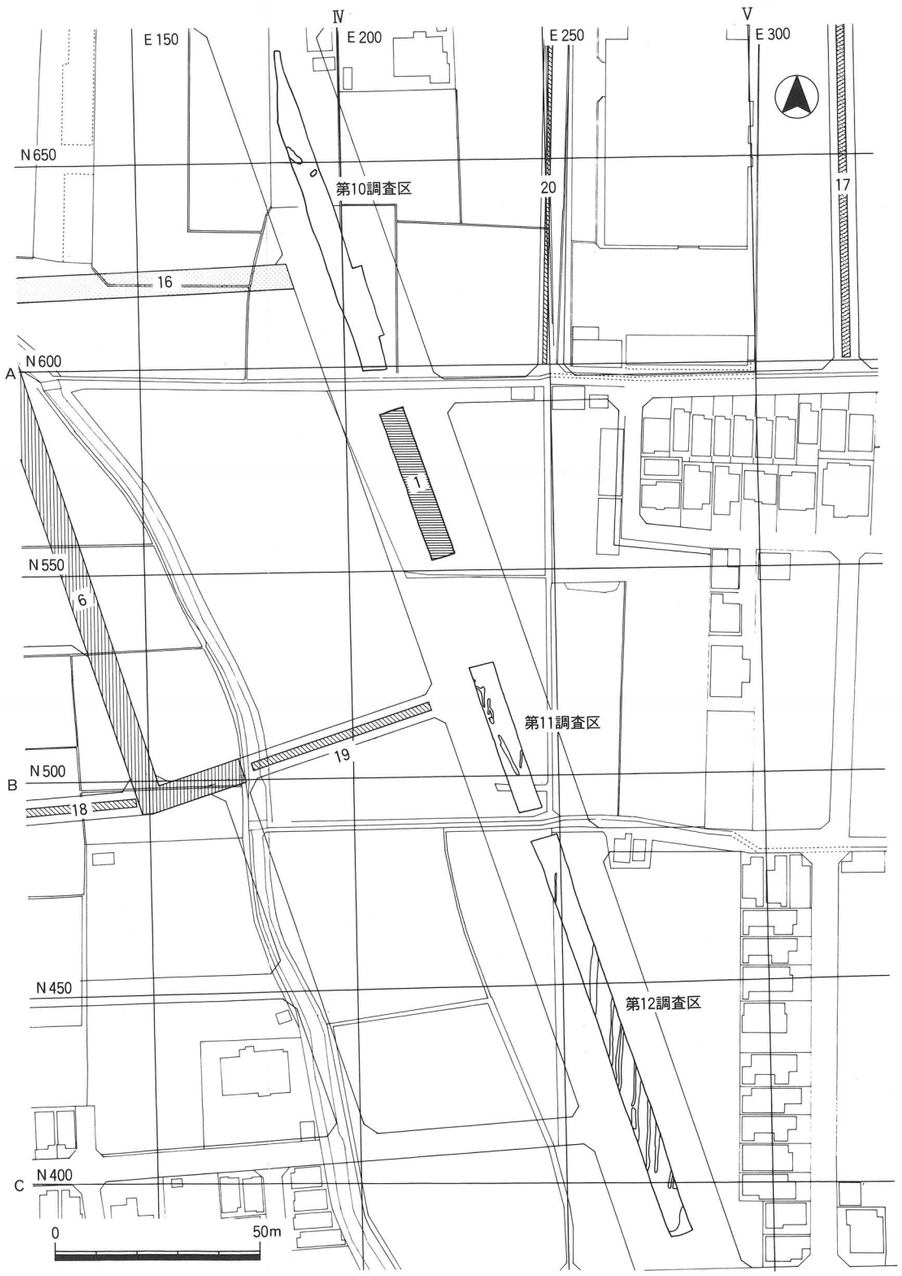
第11調査区の南部に約15ｍに設定した南北に長い調査区（長さ102ｍ）である。調査面積は約612㎡を測る。当調査区では２面の調査を実施した。その結果、下面調査では鎌倉時代に比定される溝10条（ＳＤ１～ＳＤ10）を検出した。上面調査では鎌倉時代に比定される足跡状遺構を検出した。

凡　例（第３図・第４図）

1	第１次調査Ｃ－Ⅱ地区	8	第３次調査23－Ⅰ地区	15	第３次調査28地区
2	第１次調査Ａ－Ⅱ地区	9	第３次調査23－Ⅱ地区	16	第５次調査地
3	第１次調査Ａ－Ⅲ地区	10	第３次調査24－１地区	17	第６次調査第６調査区
4	第１次調査Ａ－Ⅳ地区	11	第３次調査24－２地区	18	第10次調査第３調査区
5	第１次調査22地区	12	第３次調査25地区	19	第10次調査第４調査区
6	第２次調査地	13	第３次調査26地区	20	第10次調査第６調査区
7	第３次調査22地区	14	第３次調査27地区		



第３図　第１調査区～第９調査区遺構配置図



第４図　第10調査区～第12調査区遺構配置図

第3章　調査の結果

第1節　第1調査区

当調査区は今回実施した調査地内で最も西端部に設定した南北に長い調査区（29m）である。調査面積は78㎡を測る。北東側へ約30mには第2調査区がある。また、昭和57年度第1次調査のA－Ⅱ地区の北部にあたる。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる7層を基本層序とした。現地表面は標高8.5m を測る。

第1層耕土：層厚10～20cm。この土層は、調査寸前まで耕作していた層である。

第2層暗灰褐色粘質土：層厚8～10cm。この土層は、耕土の床土である。

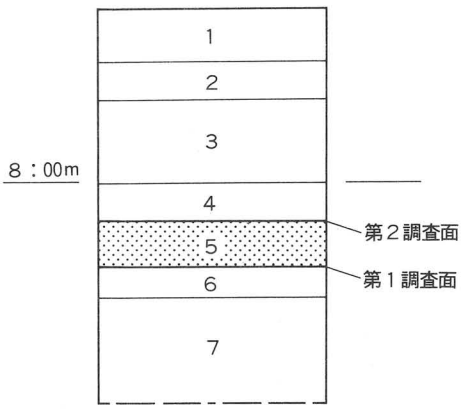
第3層淡灰褐色粘質土：層厚18～26cm。この土層内から古墳時代～近世にかけての遺物の小片がごく少量出土している。

第4層黄褐色粘土：層厚5～12cm。この土層内から古墳時代から鎌倉時代にかけての遺物が少量出土している。

第5層黄褐色砂質土：層厚12～25cm。この上面は標高7.9m を測り、鎌倉時代に比定される溝が検出されている。この上面を第2調査面とした。

第6層灰褐色～黄灰褐色シルト：層厚10cm。この上面は標高7.8m を測り、古墳時代前期～中期に比定される遺構が検出されている。この上面を第1調査面とした。

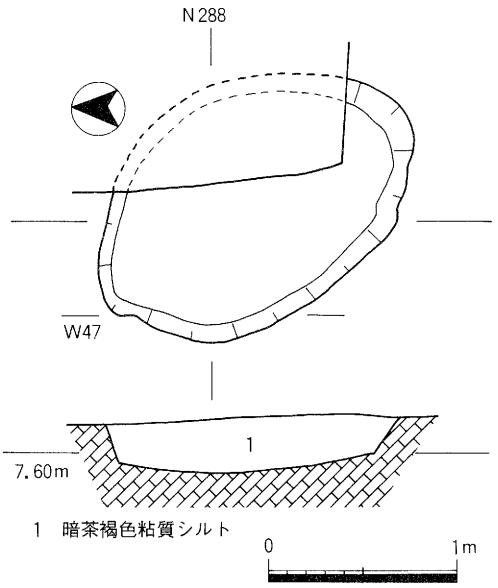
第7層暗灰色～灰白色シルトと粗砂の互層：層厚30cm以上。



第5図　基本層序柱状図（S＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

当調査区では2面を調査面とした。その結果、第1調査面では古墳時代前期～中期に比定される土坑1基（SK1）・小穴2個（SP1・SP2）・溝3条（SD1～SD3）を検出した。第2調査面では鎌倉時代に比定される土坑1基（SK2）・溝8条（SD4～SD11）を検出した。以下、各調査面で検出した遺構について概説する。



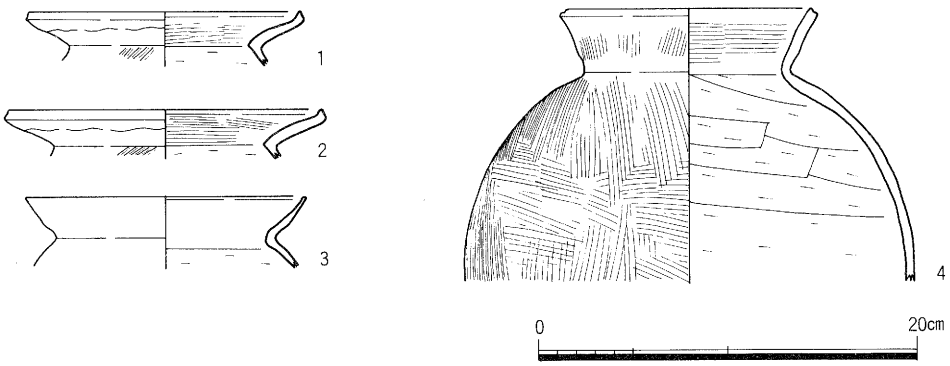
第６図　ＳＫ１平断面図

第１調査面

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＥⅡ－ｂ６区東壁付近で検出した土坑である。平面は検出部で半楕円形を呈する。東部は調査区外に至り全容は不明である。規模は検出部で、東西0.78m、南北2.24m、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈し、中央部でやや窪む。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、土坑内の中央部の窪んだ箇所から土器の小片が少量出土している。器種はすべて甕で、庄内式甕（１・２）・布留式甕（３)・甕（４）がある。時期は布留式古相に比定されよう（第６図・第７図)。



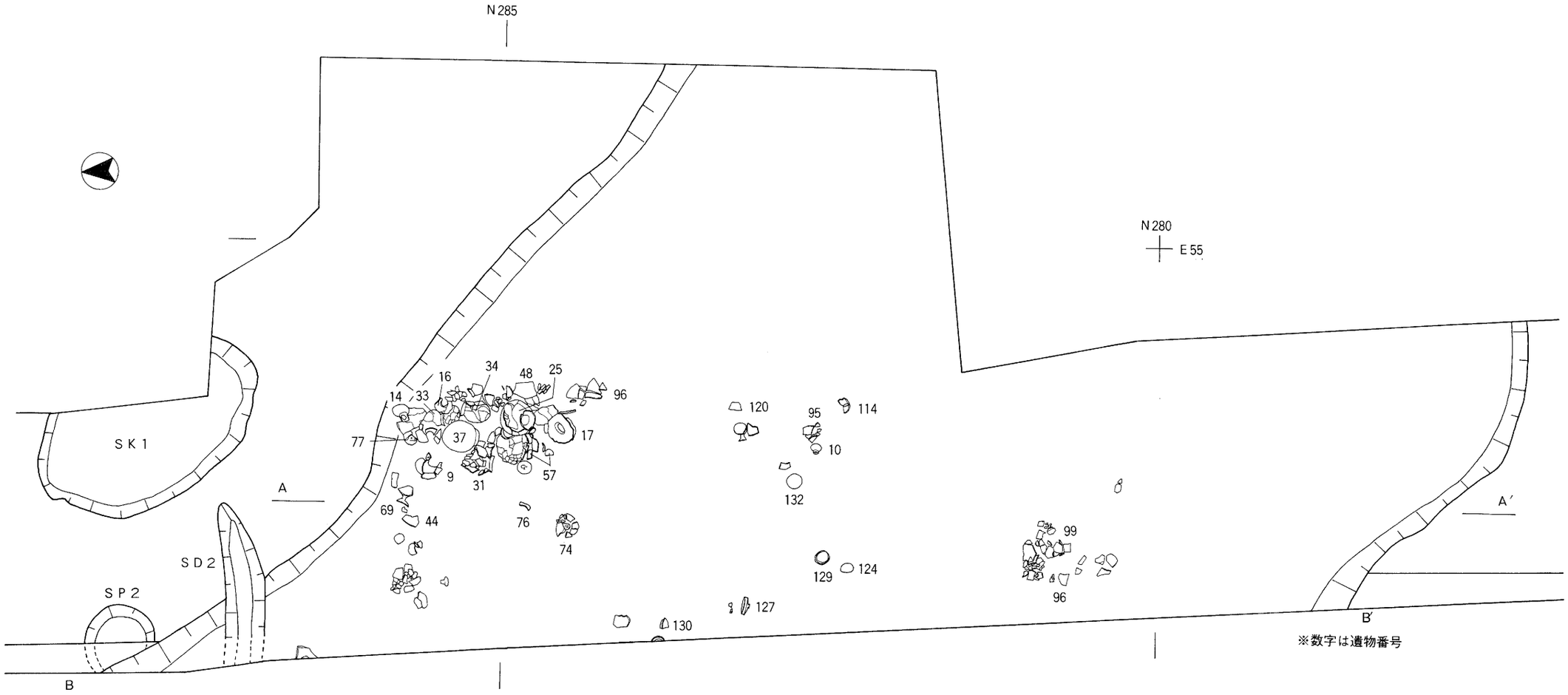
第７図　ＳＫ１出土遺物実測図

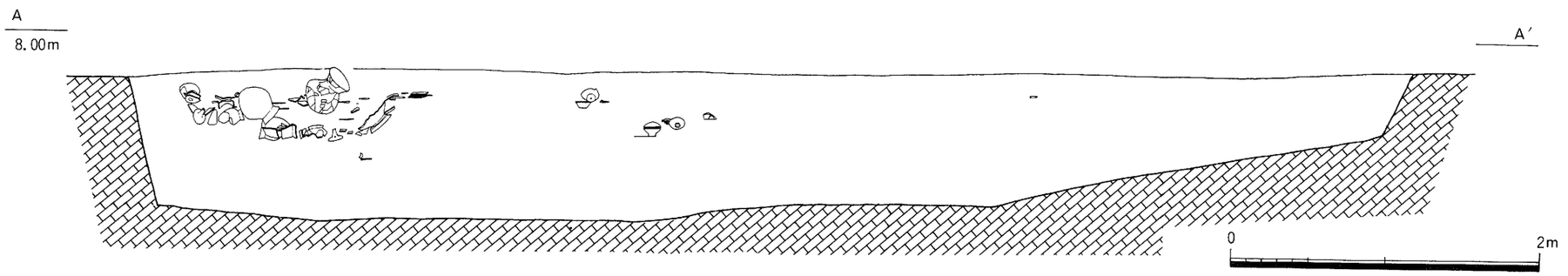
ＳＰ１

ＥⅡ－ｂ６区で検出した。東部は調査区外に至る。平面は半円形を呈する。規模は検出部で、東西25cm以上、南北35cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から布留式古相に比定される土師器の小片がごく少量出土している。器種には、甕・高杯がある。

ＳＰ２

ＥⅡ－ｂ６区で検出した。西部はＳＤ１に切られている。平面はほぼ半円形を呈する。規模は検出部で、東西45cm以上、南北径54cm、深さ14cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は





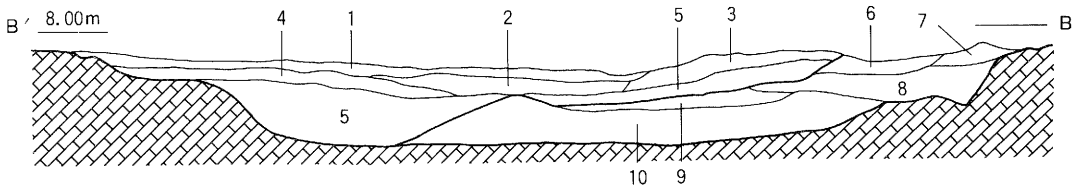
第８図　ＳＤ１検出遺物平断面図

暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から布留式古相に比定される土師器の小片がごく少量出土している。

溝（ＳＤ）

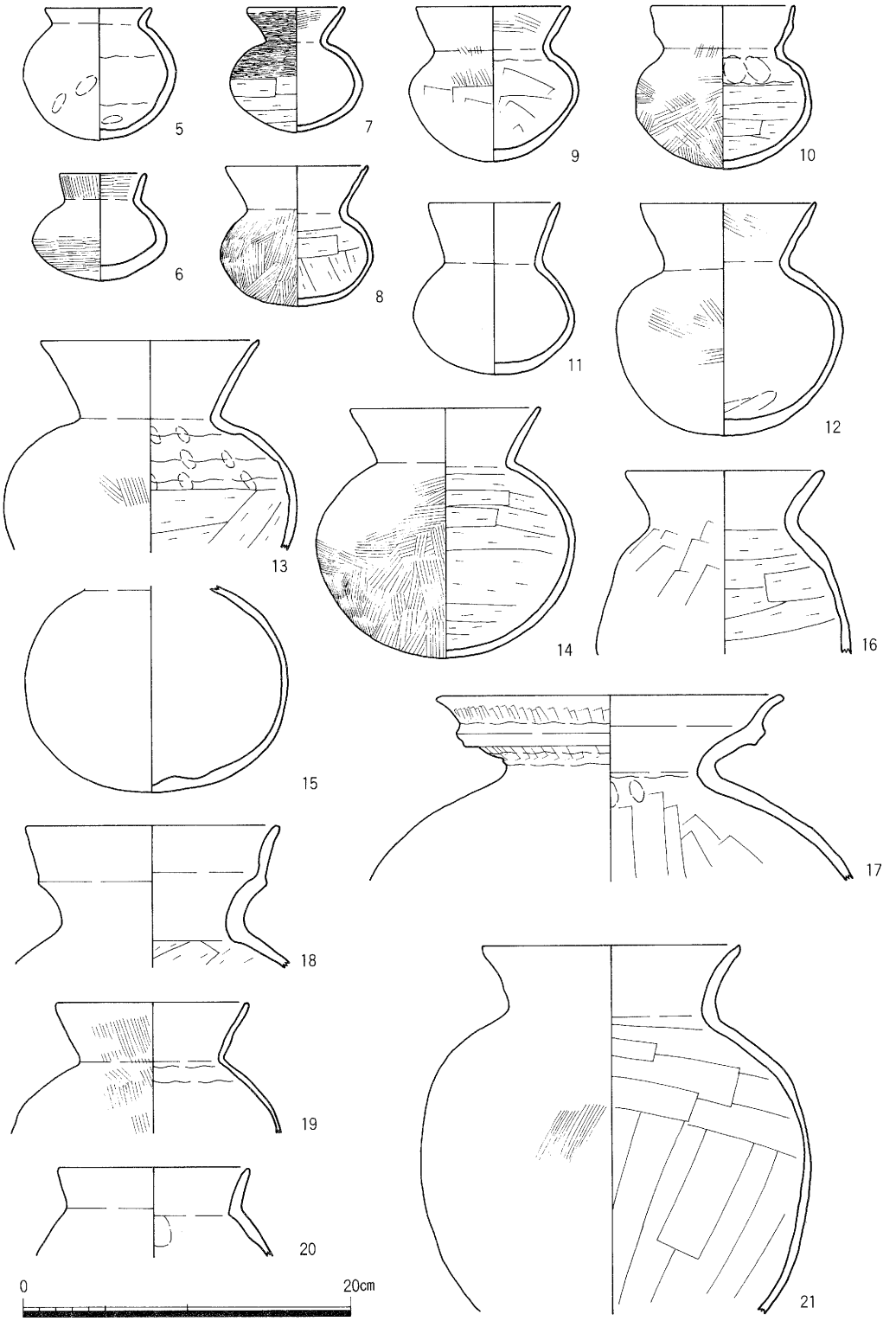
ＳＤ１

ＥⅡ－ｂ６～ｃ６区で検出した溝である。方向は東南－北西の方向を示す。規模は検出部で、幅９ｍ、深さ24～77cmを測る。断面は浅い逆凸形を呈する。堆積土は、上方から第１層濃灰褐色粘質土・第２層淡灰褐色シルト・第３層暗灰褐色粘土・第４層暗灰色粘土・第５層灰茶色粗砂・第６層黄灰褐色シルト・第７層明灰褐色シルト混粘土・第８層淡灰茶色粘土・第９層暗灰色シルト混粘土（炭を含む）・第10層灰青色粘土（炭を含む）で構成されている。堆積状況は断面観察及び出土遺物からみると、Ａ層（第１層～第５層）とＢ層（第６層～第10層）の２つに大きく分かれる。出土量はコンテナ箱にして約７箱分（Ａ層３箱分・Ｂ層４箱分）を数える。Ｂ層からは古墳時代前期（布留式古相）に比定される土器片が出土している。そのうち、図示できたものは58点である。器種には壺（５～29）・鉢（64）・高杯（65～77）・布留式甕（30～63）等がある。複合口縁壺（29）には体部外面に竹やつるなどのもので編んだと考えられる籠の目の痕跡がみられる。Ａ層からは古墳時代中期に比定される土器片が出土している。図示できたものは62点（土師器48点と須恵器13点）である。器種には土師器の小型壺(78)・壺(81)・第Ⅴ様式系甕（79・80）・甕（82～104・106～109）・布留式甕（105）・小型丸底壺(110～111）・鉢（112・113）・杯（114・115）・大型の鉢（116）・高杯（117～125）・須恵器の杯蓋（126～128）・杯身（129～130）・鉢（131）・甕（132）・高杯（133）・大型器台（134）・甕（135～138）がある。須恵器は陶邑編年によるⅠ型式１～２段階に比定されるものである。その他の遺物には、用途不明の木製品（139）や自然木などが出土している。木製品（139）は全長49.7cmを測り、両端は欠損する。形状は断面方形（長さ28.5cm、一辺４cm）の角材と断面Ｌ字形（長さ21.2cm、幅13cm、厚み４cm）で、Ｌ字形の部分にはそれぞれ長方形のほぞ穴（6.5×3.2cm）１箇所があり、丁寧に加工している（第８図～第19図）。

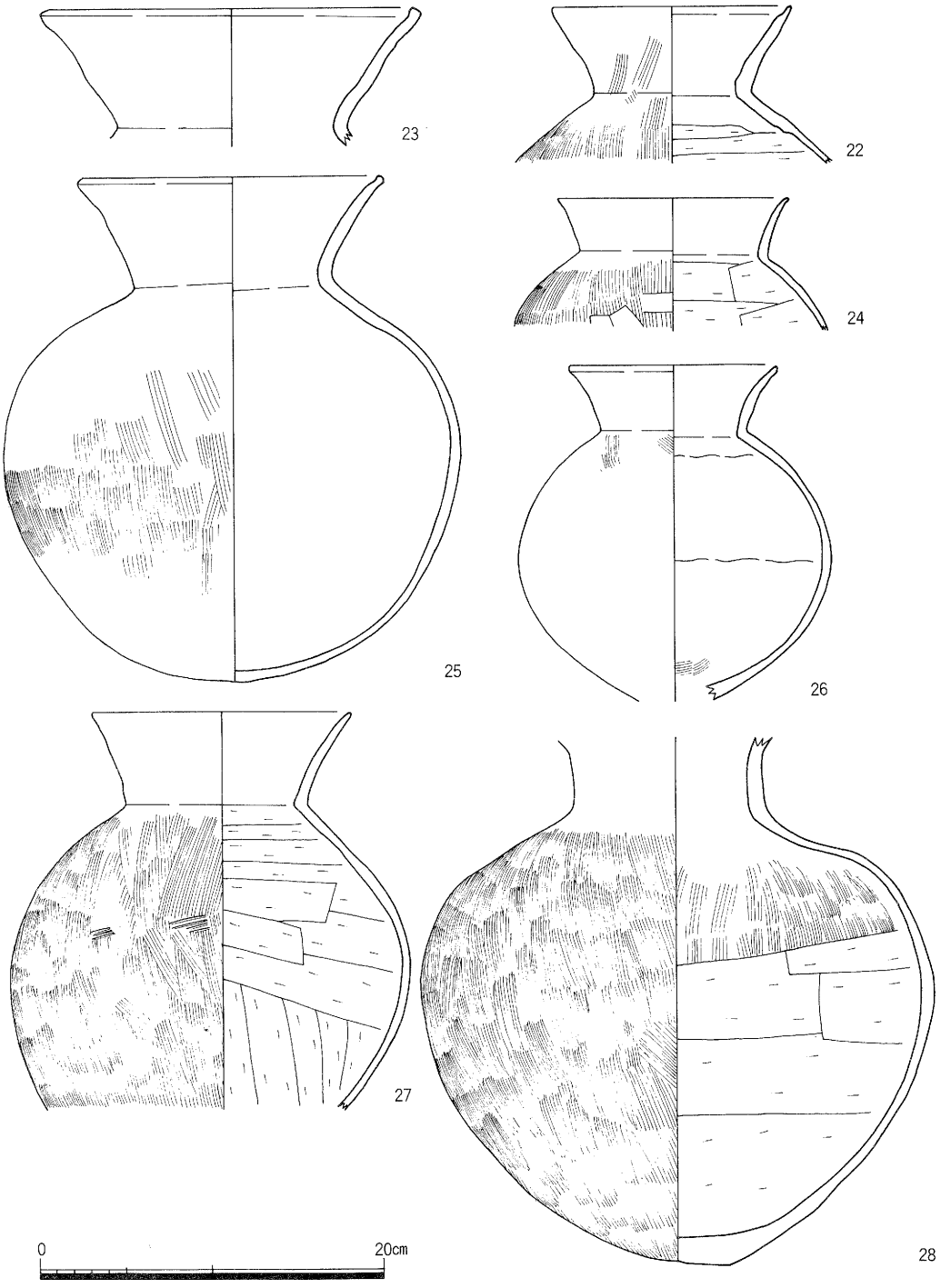


1　濃灰褐色粘質土　　6　黄灰褐色シルト
2　淡灰褐色シルト　　7　明灰褐色シルト混粘土
3　暗灰褐色粘土　　8　淡灰茶色粘土
4　暗灰色粘土　　9　暗灰色シルト混粘土(炭を含む)
5　灰茶色粗砂　　10　灰青色粘土(炭を含む)

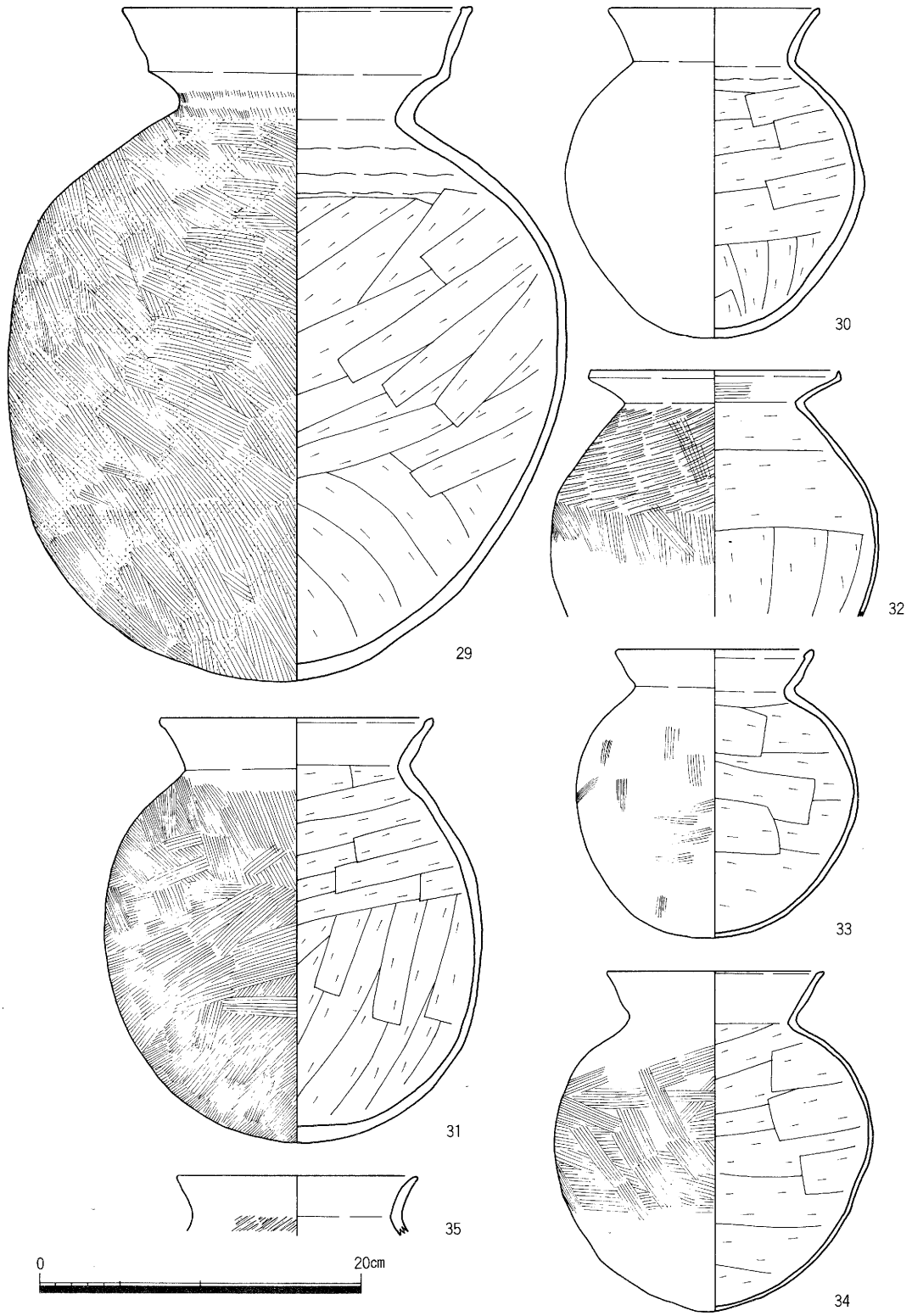
第９図　ＳＤ１断面図



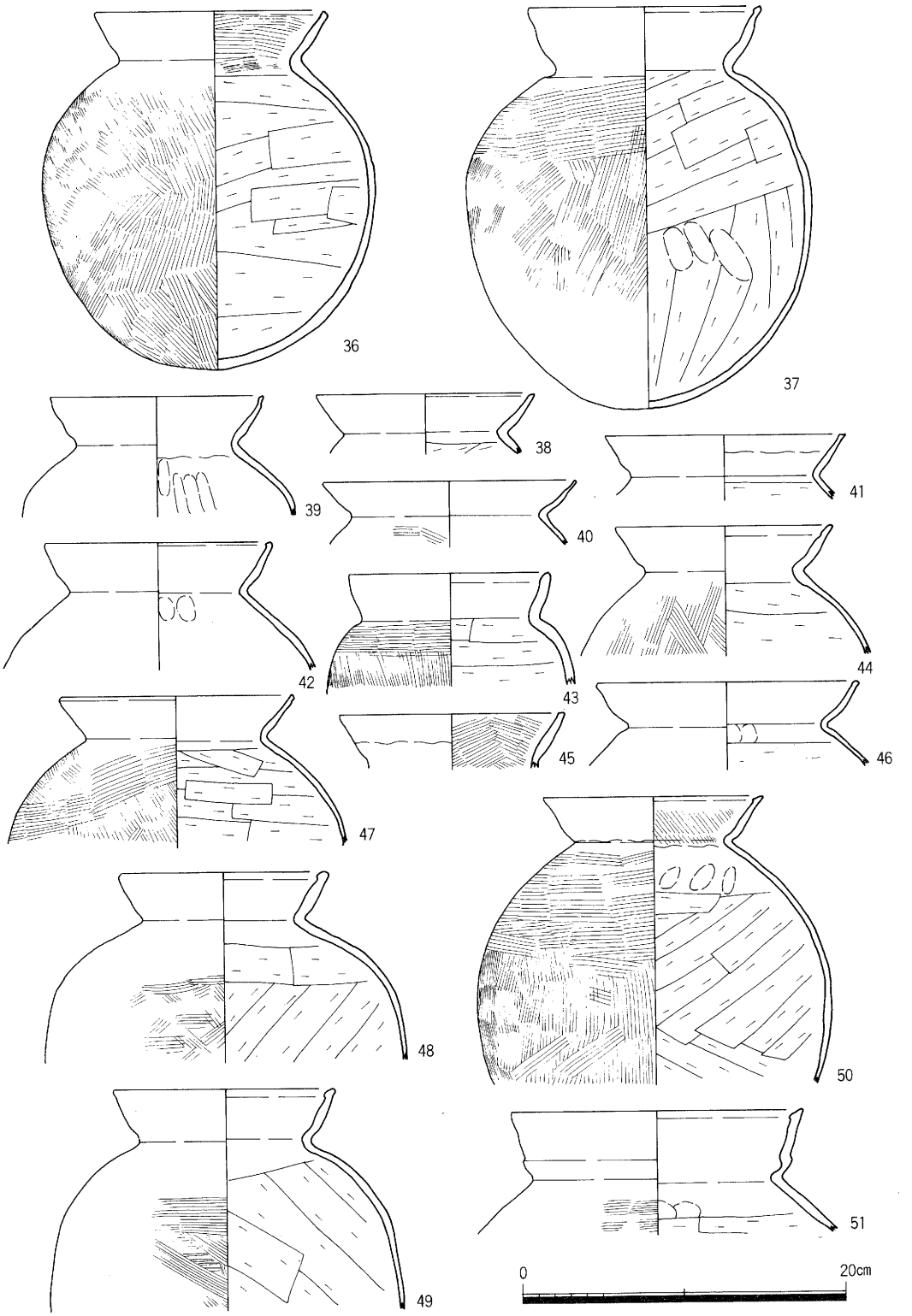
第10図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図１



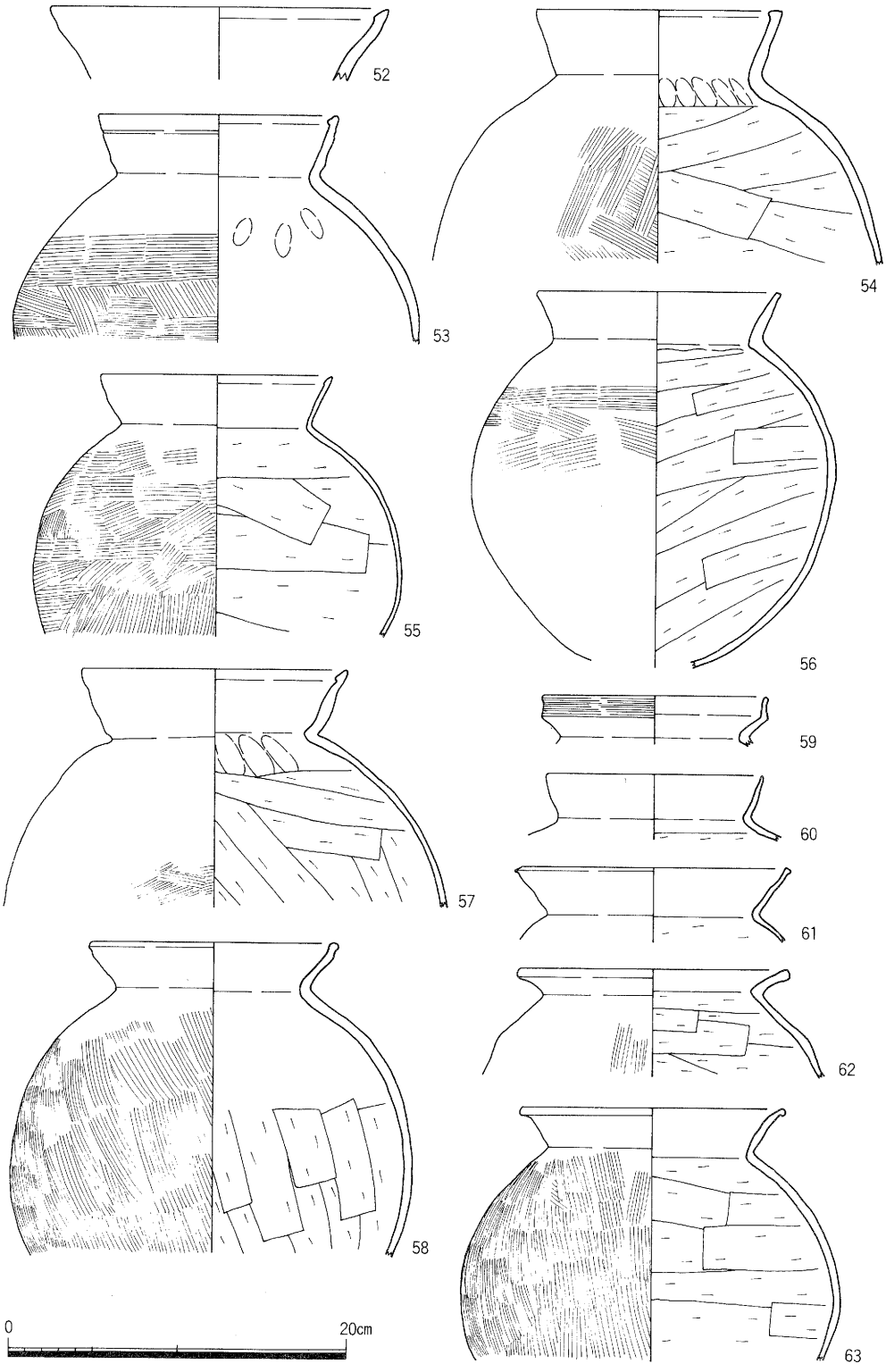
第11図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図２



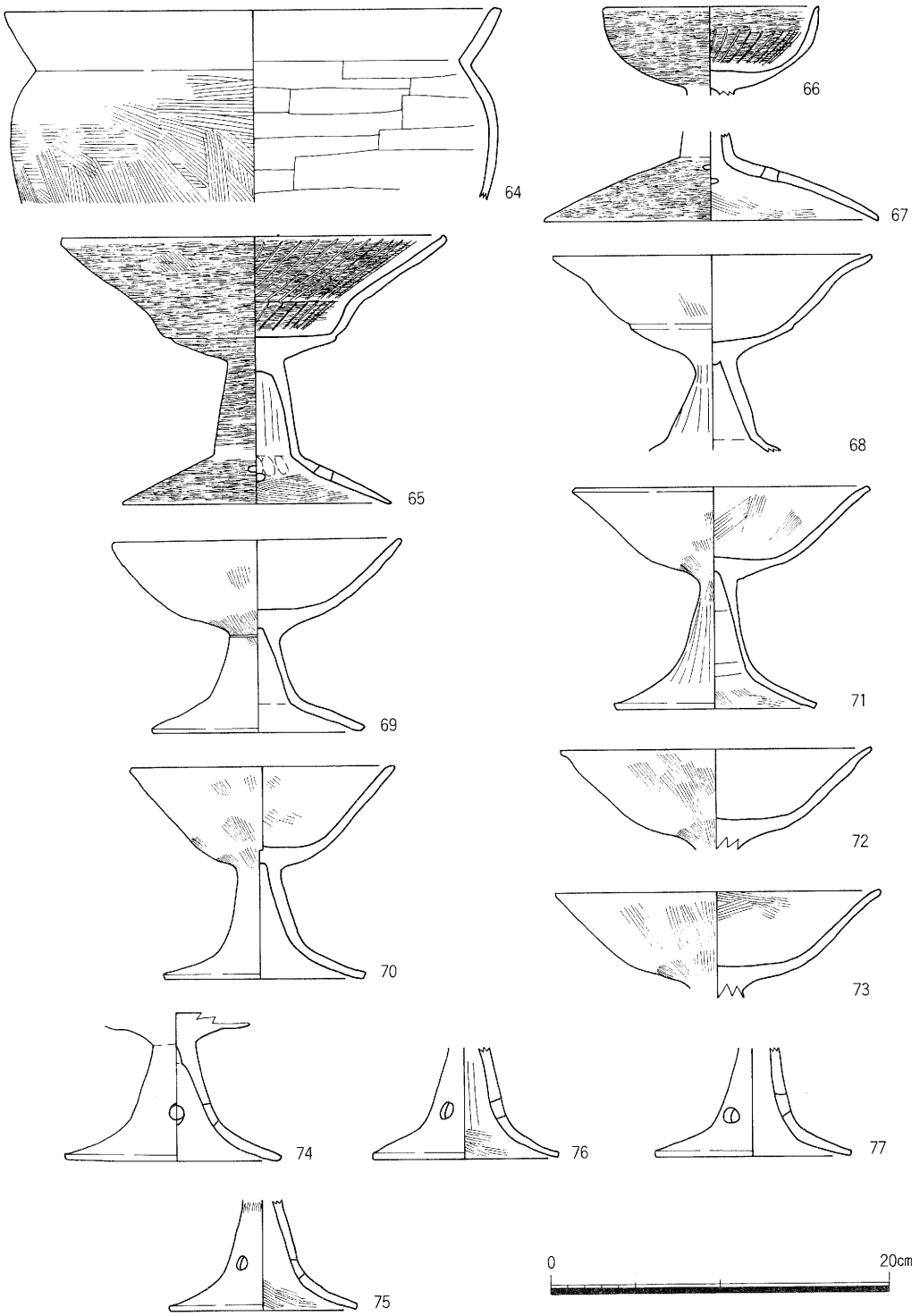
第12図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図３



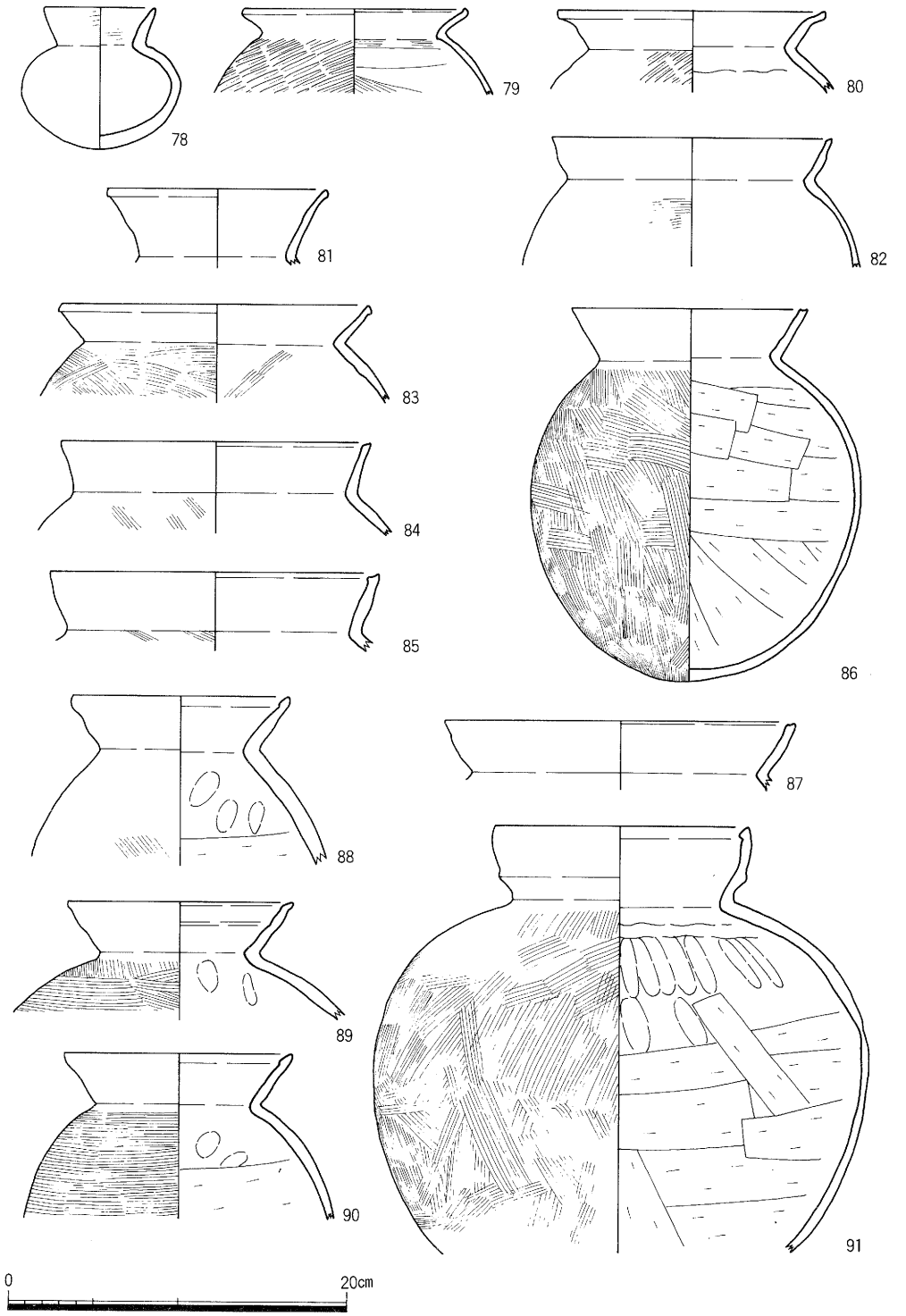
第13図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図４



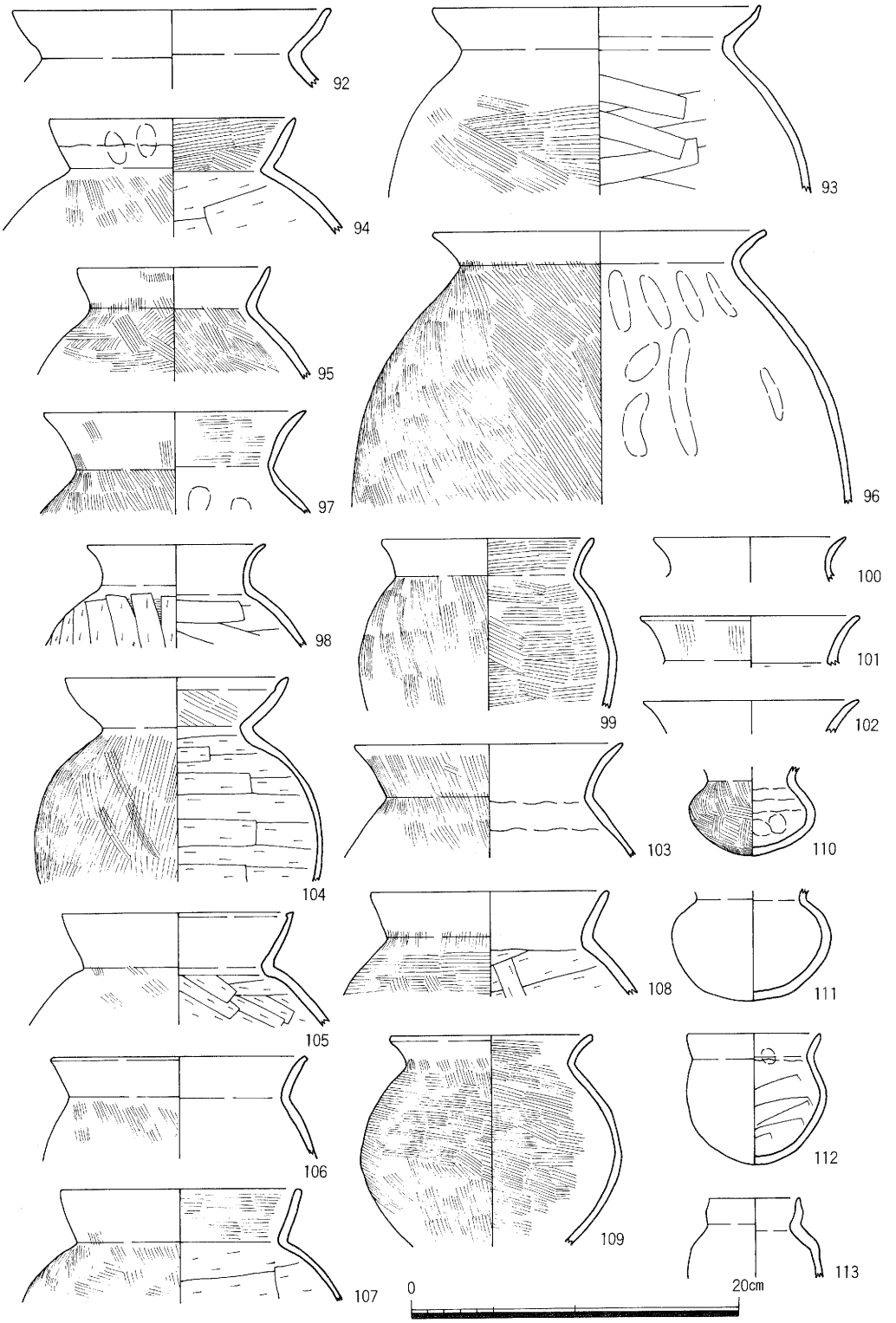
第14図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図５



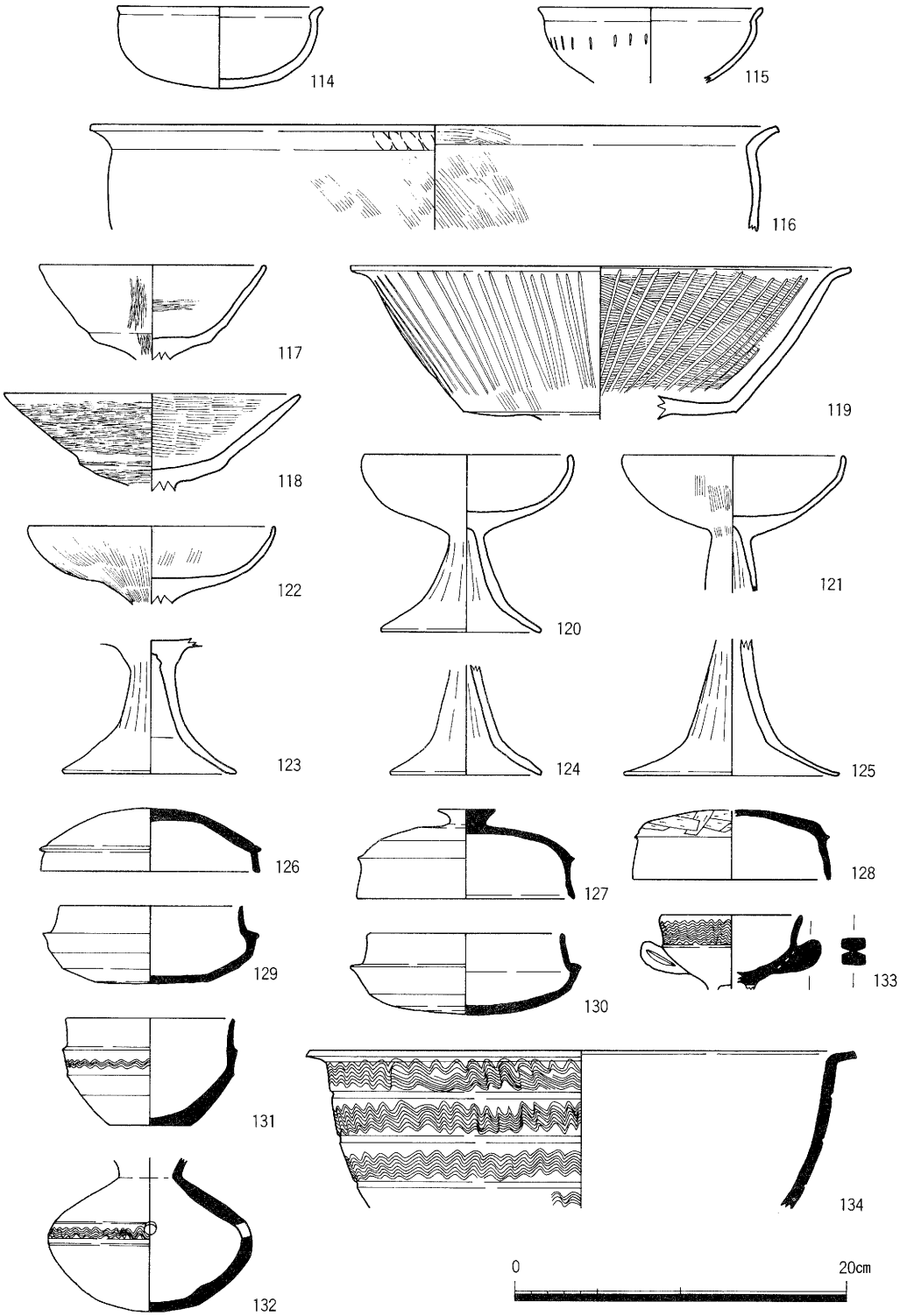
第15図　ＳＤ１（Ｂ層）出土遺物実測図６



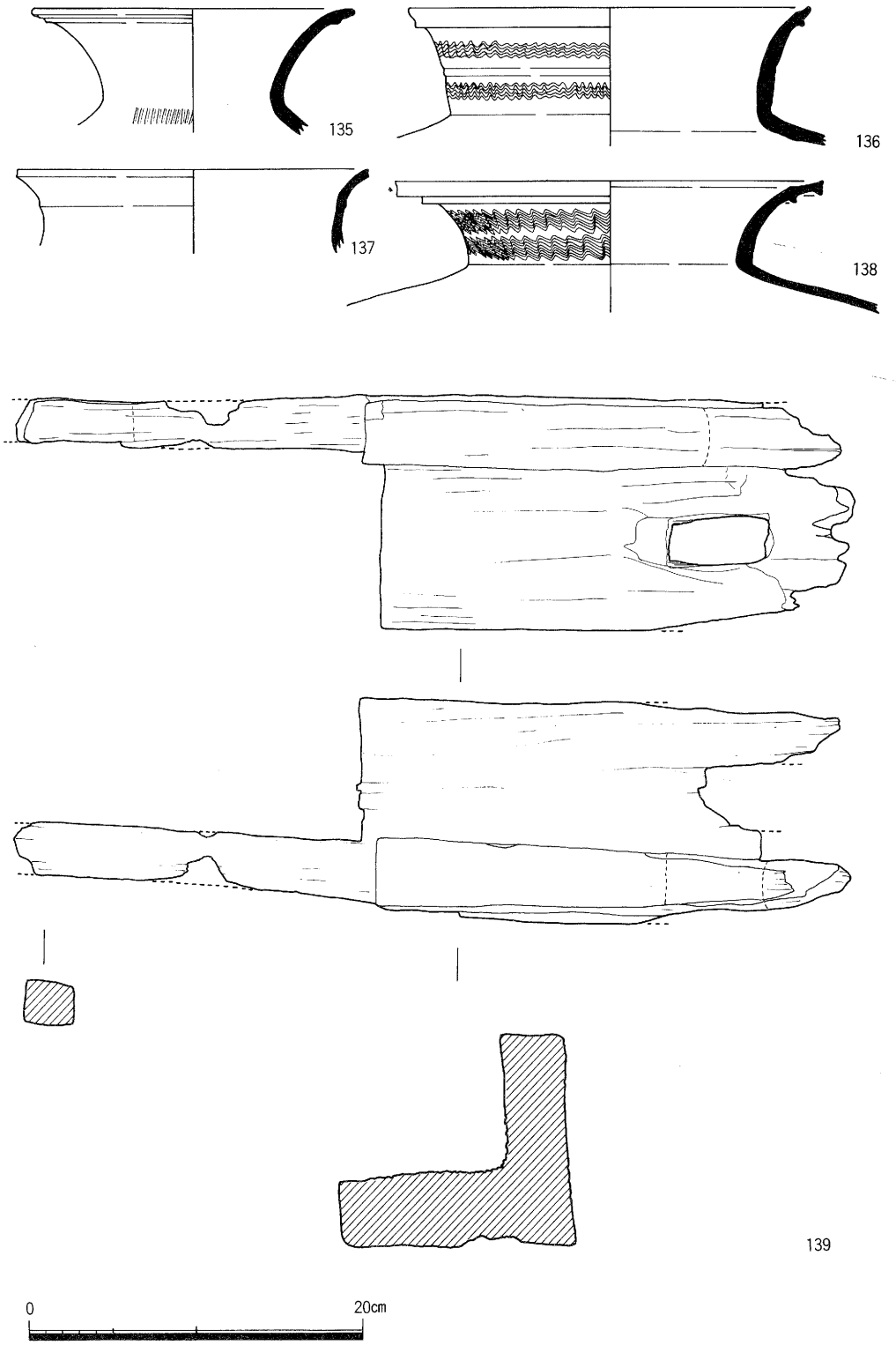
第16図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図１



第17図　ＳＤ２（Ａ層）出土遺物実測図２



第18図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図３



第19図　ＳＤ１（Ａ層）出土遺物実測図４

ＳＤ２

ＥⅡ－ｂ６区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示す。規模は検出部で、幅18～38cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ３

ＥⅡ－ｃ ６区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅40cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘土である。遺物は出土していない。

第２調査面

土坑（ＳＫ）

ＳＫ２

ＥⅡ－ｄ６区の西壁付近で検出した土坑である。平面は楕円形を呈する。規模は検出部で、南北2.24ｍ、東西0.64ｍ、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は淡灰褐色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

溝（ＳＤ）

ＳＤ４

ＥⅡ－ｂ６区で検出した溝である。方向は南東一北西を示し、調査区外に至る。規模は検出部で、幅２ｍ以上、深さ９cmを測る。北東側の肩は調査区外に至り、不明である。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ５

ＥⅡ－ｂ６区で検出した溝である。方向はＳＤ４と平行する南東一北西を示し、南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅18～34cm、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ６

ＥⅡ－ｂ６区で検出した溝である。方向はＳＤ５と平行する南東一北西を示す。北側ではＳＤ８と合流する。規模は検出部で、幅14～36cm、深さ８cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ７

ＥⅡ－ｂ６～ｃ６区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅40cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ８

ＥⅡ－ｂ６～ｃ６区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示し、北側はＳＤ６と合流する。規模は検出部で、幅２～38cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ９

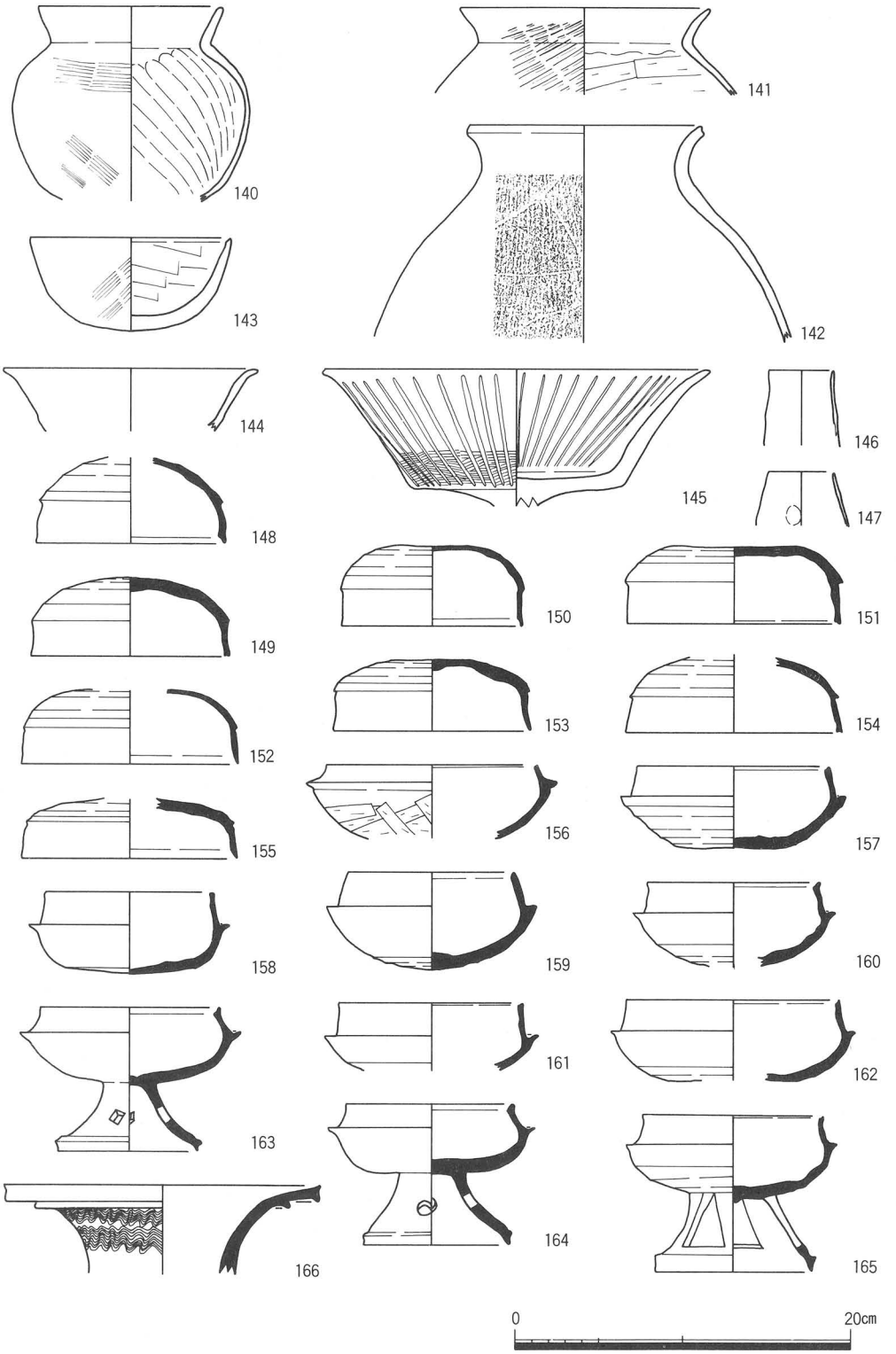
ＥⅡ－ｄ６区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示し、東西はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅20～28cm、深さ４cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ10

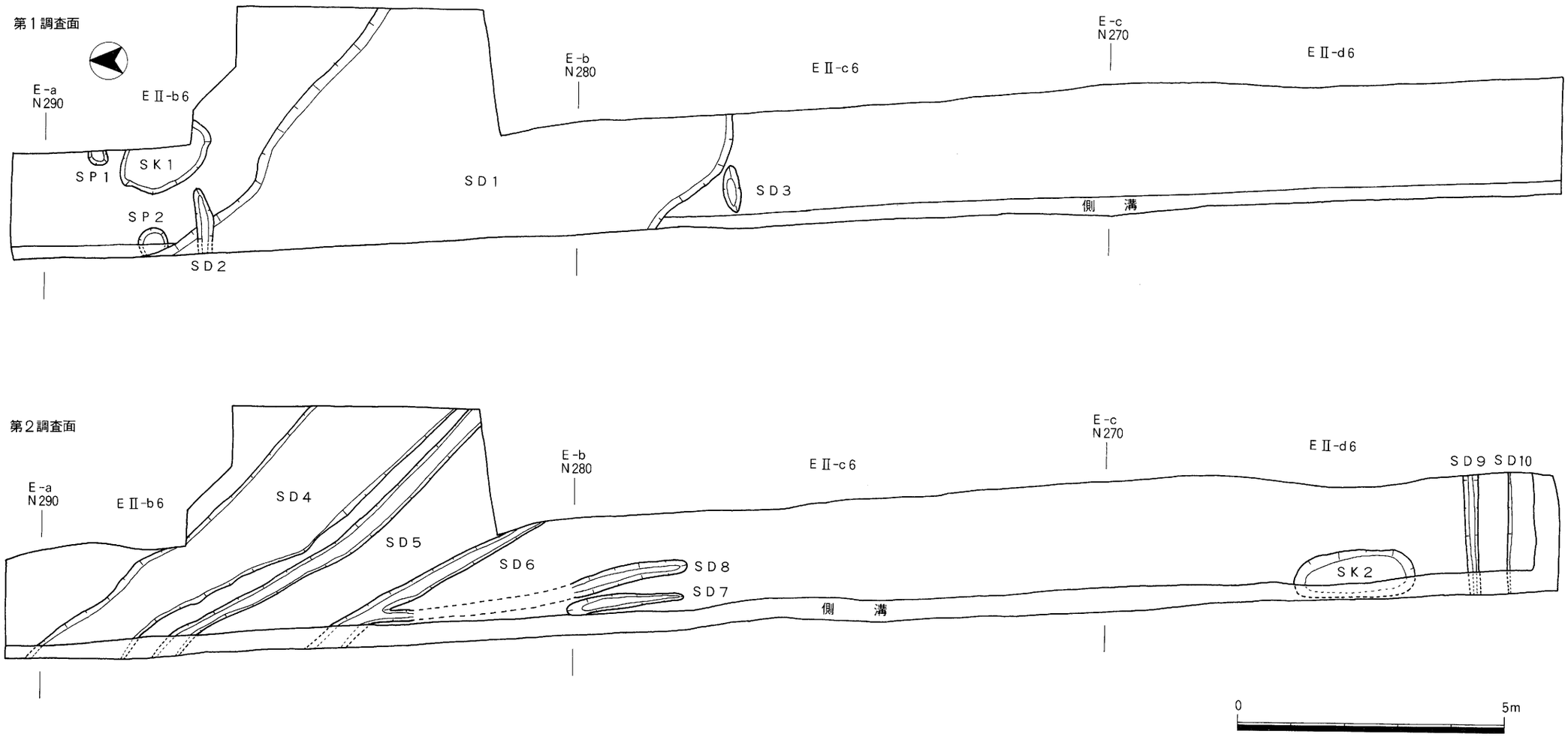
ＥⅡ－ｄ６区で検出した溝である。方向はほぼ東西方向を示し、東西と溝の南肩が調査区外に至り、不明である。規模は検出部で、幅52cm以上、深さ８cmを測る。断面は逆台形を呈すると思われる。堆積土は黄褐色粘土である。遺物は出土していない。

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

当調査区では第３層～第５層内で古墳時代前期から鎌倉時代にかけての遺物が出土しているが、第３層・第４層内で出土した遺物は摩滅した小片がごく少量出土しているだけであった。遺物は主に第５層内から古墳時代前期～中期にかけての土器が出土した。出土量はコンテナ箱にして約２箱分を数える。図示できたものは土器27点である。器種には土師器の壺（140）・庄内式甕（141）・鉢（143）・高杯（144・145）、韓式系土器（142）、製塩土器（146・147）須恵器の杯蓋（148～155）・杯身（156～162）・高杯（163～165）・壺（166）がある。須恵器は陶邑編年によるⅠ型式１段階～４段階に相当する（第20図）。



第20図　包含層出土遺物実測図


第１調査面
E-a
N290
E Ⅱ-b6
E-b
N280
E Ⅱ-c6
E-c
N270
E Ⅱ-d6
SP1
SK1
SD1
SD3
SP2
SD2
側　溝
第２調査面
E-a
N290
E Ⅱ-b6
SD4
SD5
SD6
E-b
N280
E Ⅱ-c6
SD8
SD7
側　溝
E-c
N270
E Ⅱ-d6
SD9 SD10
SK2
0
5m

第21図　遺構平面図

第２節　第２調査区

第１調査区の北部から東へ約30ｍに設定した東西に長い調査区（長さ61ｍ）である。調査面積は約122㎡を測る。

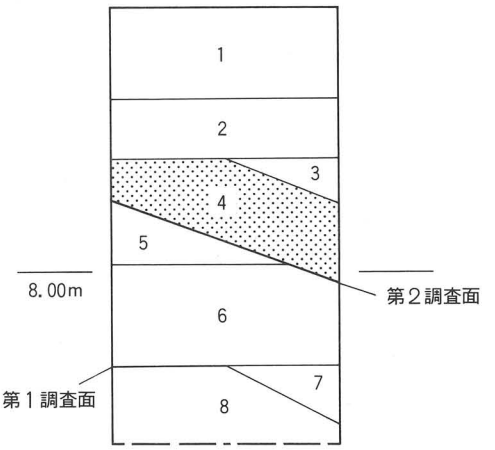
Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる８層を基本層序とした。現地表面は標高8.7ｍを測る。

第１層耕土：層厚20～40cm。調査前までは耕されていた耕作土である。昭和54年に土を入れ整地している。

第２層旧耕土：層厚８～22cm。この土層は整地される昭和54年前まで耕作されていた土層である。

第３層茶褐灰色粘質土：層厚10～26cm。この土層内から古墳時代～江戸時代にかけての摩滅した土器片が少量出土している。この土層はＤⅡ－ｊ９区から西側に堆積し、西側へ行くに従い厚く堆積する。



第22図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

第４層茶褐灰色砂質土：層厚10～20cm。この土層内には古墳時代の土器片が少量含まれている。層厚は東側が薄く、西側へ行くに従い厚く堆積する。

第５層茶灰色粘質土～暗茶褐色砂礫混砂質土：層厚10～30cm。ＤⅡ－ｊ９区の一部に堆積する土層で、西側へ低くなり、砂礫混じりとなる。この上面を第２調査面とした。

第６層暗茶色粘質土：層厚20～40cm。この土層は、ＤⅡ－ｊ９区の一部より西側で第２調査面となる。

第７層暗茶色灰粘質土：層厚10cm以上。この土層は、東側の一部で検出した。層内から弥生時代後期～古墳時代前期にかけての土器片が出土している。

第８層暗茶灰色粘質シルト：層厚30cm以上。ＤⅡ－ｊ10～ＤⅢ－ｉ２区で検出された土層で、標高7.6～7.7ｍを測る。上面には古墳時代前期に比定される遺構が検出された（第１調査面）。

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

第５・６層上面（第２調査面）と第８層上面（第１調査面）を調査面とした。その結果、第１調査面では古墳時代前期に比定される土坑２基（ＳＫ１・ＳＫ２）・小穴８個（ＳＰ１～ＳＰ８）を検出した。第２調査面では平安時代に比定される井戸１基（ＳＥ１）と、古墳時代中

期から平安時代にかけての土坑４基（ＳＫ３～ＳＫ６）・小穴57個（ＳＰ９～ＳＰ65）・小穴列２箇所（小穴列１・小穴列２）・溝５条（ＳＤ１～ＳＤ５）を検出した。井戸（ＳＥ１）に関しては第４層から切り込まれていた。

第１調査面

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＤⅡ－ｉ８～ｊ８区で検出した。平面は楕円形を呈する。規模は検出部で、東西94cm、南北1.1ｍ、深さ25cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰青色粘質土である。遺物は堆積土内から古墳時代前期（庄内式新相）に比定される土器の小片がごく少量出土している。

ＳＫ２

ＤⅡ－ｉ10区で検出した。南部は調査区外に至る。平面はほぼ半楕円形を呈する。規模は検出部で、東西2.24ｍ、南北１ｍ以上、深さ31cmを測る。断面は半円形を呈し、底面には起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色シルト粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式新相）に比定される土器の小片がごく少量出土している。

小穴（ＳＰ１～ＳＰ８）

当調査区の中央部で８個を検出した。平面の形状には円形のもの５個（ＳＰ１・ＳＰ３～ＳＰ７）、楕円形のもの１個（ＳＰ２）、方形のもの１個（ＳＰ８）がある。規模は検出部で、径22～32cmを測る小さいもの、径44～136cmを測る大きいものの２つに分けられる。前者はＳＰ２・ＳＰ５・ＳＰ６で、後者はＳＰ１・ＳＰ３・ＳＰ４・ＳＰ７・ＳＰ８である。深さは15～27cmを測る。堆積土は暗青灰色粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式）に比定される土器の小片が少量出土している。

第３表　第１調査面小穴（ＳＰ）法量一覧表　　※　単位：cm

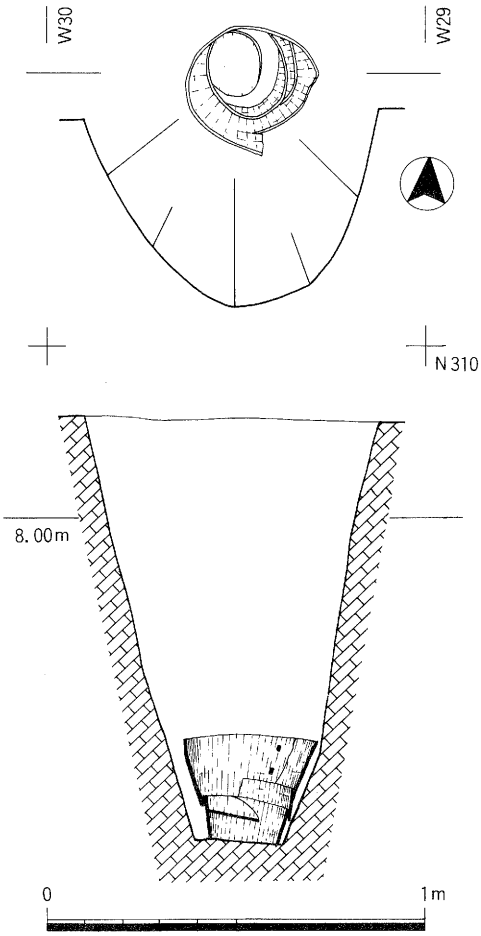
遺構番号	地　区	平面形	断面形	径	深さ	堆積土	出土遺物
ＳＰ１	ＤⅡ－ｊ８	円　形	逆台形	44～48	21	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ２	ＤⅡ－ｊ８	楕円形	Ｕ字形	26～32	27	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ３	ＤⅡ－ｊ８	円　形	逆台形	48～52	25	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ４	ＤⅡ－ｊ９	円形？	逆台形	23～56	16	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ５	ＤⅡ－ｊ９	円　形	逆台形	24～25	14	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ６	ＤⅡ－ｊ９	円　形	逆台形	22～25	9	暗青灰色粘質土	土師器片
ＳＰ７	ＤⅡ－ｊ９	円　形	逆台形	40～84	14	暗青灰色粘質土	
ＳＰ８	ＤⅡ－ｊ９	方　形	逆台形	136	12	暗青灰色粘質土	

第２調査面

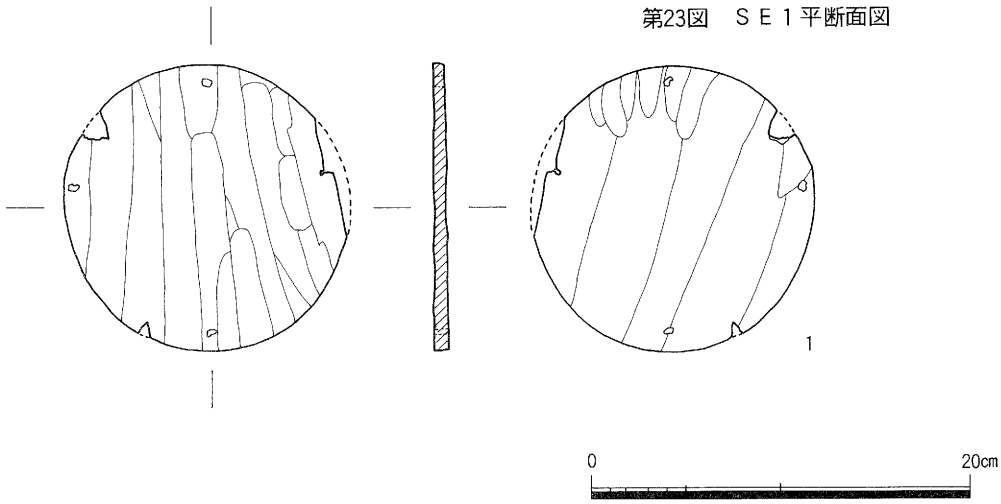
井戸（ＳＥ）

ＳＥ１

ＤⅡ－ｉ８区の北壁付近で検出した曲物を備えた井戸である。北部の掘形は調査区外に至り、全容は不明である。平面は検出部で、半楕円形を呈する。掘形の規模は、東西0.78ｍ、南北０.５ｍ以上、深さ1.14ｍを測る。断面はほぼ逆台形を呈する。掘形は第４層上面からの切り込みで、ここから約0.84ｍの下に円形を呈する曲物の上端部を検出した。曲物は、２段（上段が径35cm、厚み７mm、高さ15cmと、下段が径23cm、厚み７mm、高さ15cmを測る）に積重ねて井戸側として備えている。曲物は検出された時点で上段の曲物が下段の曲物の中位付近まで下がった状態であった。また、下段は良好な状態で検出しているが、上段の上端は腐敗していた。堆積土は、埋土が暗灰褐色細砂混粘土で、井戸側内が暗青灰色粘質シルトである。遺物は、埋土内から摩



第23図　ＳＥ１平断面図



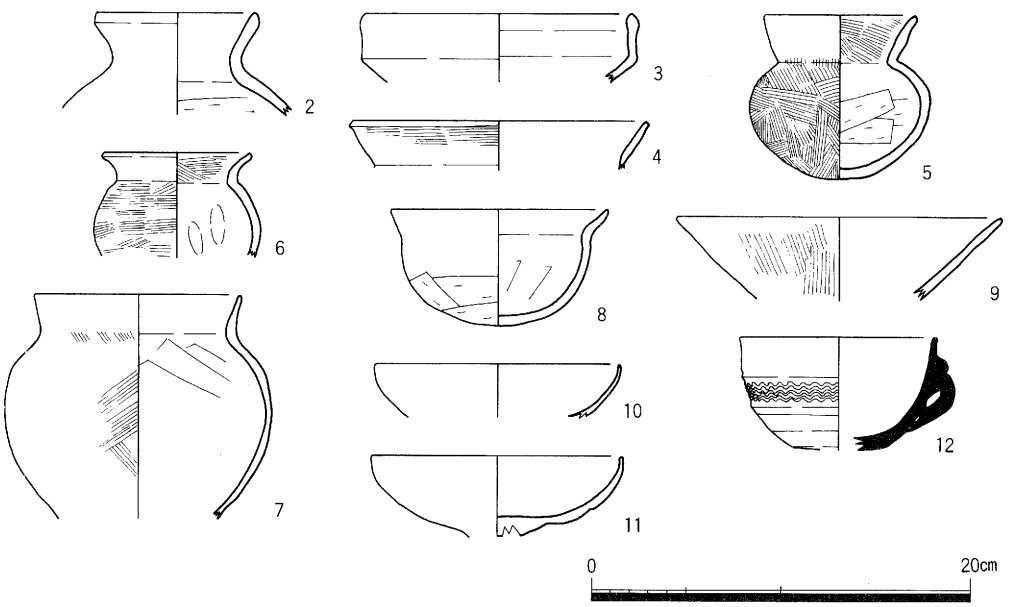
第24図　ＳＥ１出土曲物底実測図

滅した土器の小片がごく少量出土している。曲物内からは上位で須恵器の甕の体部片と人頭大の石(径20～30cm)２点が出土している。下位の底部付近からは土師器の壺、木製品(1)が出土した。木製品は曲物底板と思われる円形の板（径17cm、厚み５mm）で、縁には円形（径３mm）の穿孔が４箇所みられる。時期は平安時代後期ごろであろう（第23図・第24図)。

土坑（ＳＫ）

ＳＫ３

ＤⅡ－ｊ６～ｊ７区で検出した土坑である。南北部はともに調査区外に至り全容は不明である。平面はほぼ楕円形を呈する。規模は検出部で、東西約３ｍ、南北２ｍ、深さ0.42ｍを測る。断面はやや深い逆台形を呈し、弥生時代後期に堆積したと思われる砂層上面から切り込まれている。堆積土は暗茶灰色砂質土・暗灰茶色粘質土の２層に分れる。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される土器片が少量出土している。器種には土師器の壺（２・６）・甕（３・４・７）・鉢（８）・高杯（９～11)、須恵器の取手付平底鉢（12）がある（第25図)。



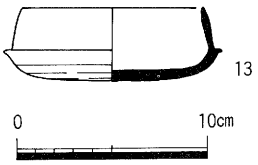
第25図　ＳＫ３　出土遺物実測図

ＳＫ４

ＤⅡ－ｉ９区で検出した土坑である。北部はＳＫ５と近代の井戸によって切られている。平面は検出部で半円形を呈する。規模は検出部で、東西0.36ｍ、南北0.36ｍ、深さ0.27ｍを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土しているが、時期を確定するものはない。

ＳＫ５

ＤⅡ－ｉ９区で検出した。南部はＳＫ４を切り、東部は攪乱されている。北部は調査区外に至る。平面は検出部で、半円形を呈する。規模は東西92㎝、南北36㎝、深さ27㎝を測る。堆積土は暗灰茶色粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される須恵器の破片がごく少量出土している。器種には杯身（13）がある(第26図)。



第26図　ＳＫ５出土遺物実測図

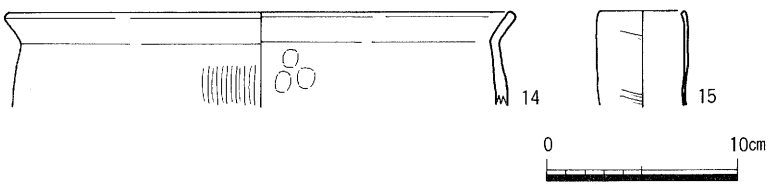
ＳＫ６

ＤⅡ－ｉ10区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.98m、南北2.24m、深さ31㎝を測る。断面は逆台形を呈し、底面には起伏がみられる。堆積土は暗灰茶色粘質土である。遺物は出土していない。

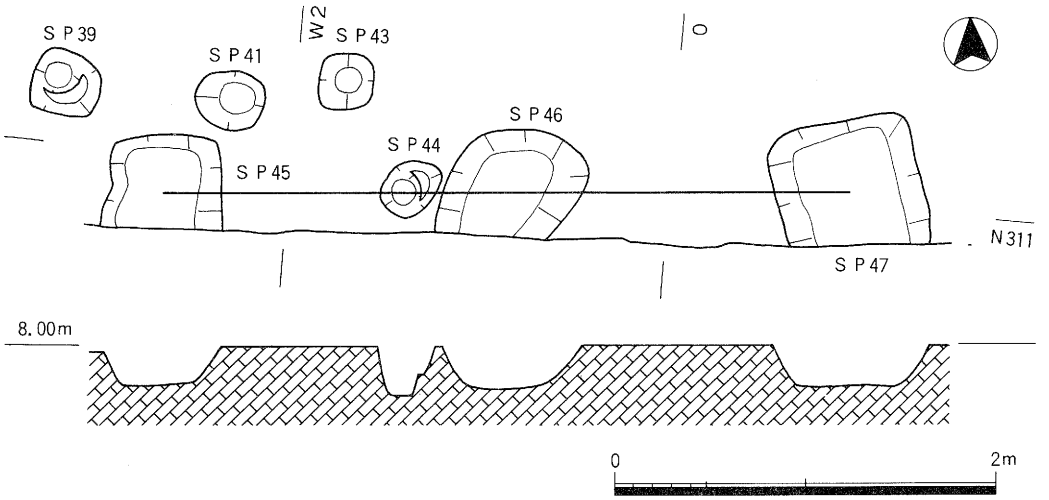
小穴群（ＳＰ）

小穴57個を検出した。平面の形状には楕円形のもの（15個）、円形のもの（26個）、隅丸方形のもの（12個）、隅丸三角形のもの（２個）、不定形のもの（２個）がある。規模は大きいもの（44個）で径30～60㎝、小さいもの（13個）で径10～25㎝を測る。断面の形状には逆台形のもの（21個）、Ｕ字形のもの（14個）、逆凸形のもの（11個）、半円形のもの（10個）があり、深さ15～40㎝を測る。逆凸形を呈する小穴には下段に平面円形を呈する柱痕がみられ、径約10㎝を測る。これらの小穴の中には建物等の柱穴と考えられるものもある。また、小穴列が２箇所（小穴列１・小穴列２）でみられた。小穴列１は、ＤⅡ－ｉ10区で検出した。ＳＰ45・ＳＰ46・ＳＰ47で構成している（第28図）。方向は東西方向を示し、1.6mの等間隔である。小穴列２は、ＤⅢ－ｉ２区で検出した。ＳＰ60・ＳＰ61・ＳＰ62で構成している(第29図)。方向は東西方向を示し、1.6mの間隔である。

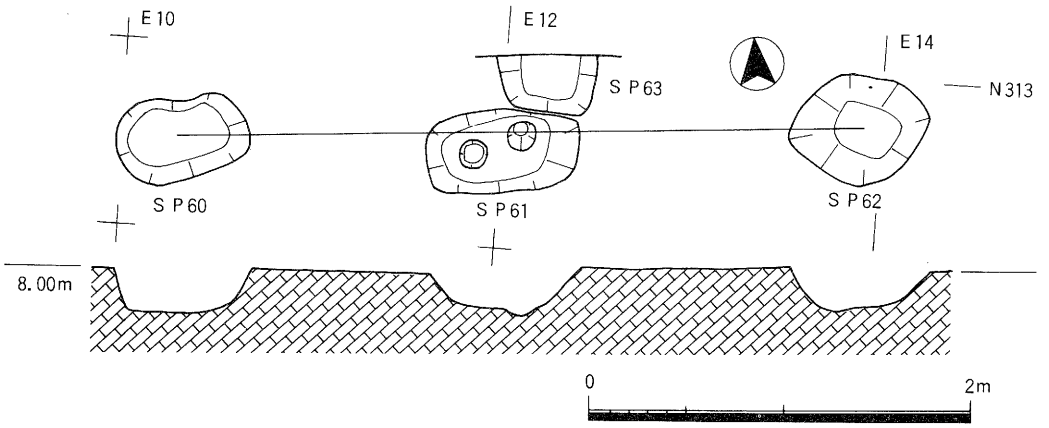
遺物は、小穴の堆積土内から土師器の小片がごく少量出土しているが、小穴の堆積土内には無遺物のものもある。図示できたものは２点である。ＳＰ10は甑（14）、ＳＰ14は製塩土器（15）が出土した(第27図)。なお、個々の小穴の法量・形状等については第４表に記した。



第27図　ＳＰ10(14)・ＳＰ14(15)出土遺物実測図



第28図　小穴列１平断面図



第29図　小穴列２平断面図

第４表　第２調査面小穴（ＳＰ）一覧表　　※　単位：cm

遺構番号	地　区	平面形	断面形	径	深さ	堆　積　土	備　考
ＳＰ９	ＤⅡ－ｊ６	楕　円　形	逆台形	40～50	20	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ10	ＤⅡ－ｊ７	隅丸　方形	逆台形	46～58	16	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ11	ＤⅡ－ｊ７	隅丸方形？	逆台形	24～66	16	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ12	ＤⅡ－ｊ７	楕　円　形	半円形	25～32	20	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ13	ＤⅡ－ｊ７	楕　円　形	半円形	44～50	17	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ14	ＤⅡ－ｉ７	楕　円　形	半円形	32～48	17	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ15	ＤⅡ－ｊ７	隅丸三角形	半円形	12～14	9	暗茶褐色微砂混粘土	土師器片
ＳＰ16	ＤⅡ－ｉ８	隅丸　方形	逆凸形	46～64	10	暗灰褐色　粘質土	土師器片 柱痕（径16～20）
ＳＰ17	ＤⅡ－ｉ８	隅丸三角形	逆台形	56～60	6	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ18	ＤⅡ－ｉ８	楕　円　形	半円形	39～42	13	暗茶灰色　粘質土	
ＳＰ19	ＤⅡ－ｉ８	円　形	逆台形	42～44	12	暗茶灰色　粘質土	土師器片
ＳＰ20	ＤⅡ－ｉ９	円　形	逆台形	56～68	15	暗茶灰色　粘質土	土師器片

遺構番号	地　区	平面形	断面形	径	深さ	堆　積　土	備　考
ＳＰ21	ＤⅡ－ｉ９	楕　円　形	Ｕ字形	22～32	25	暗茶灰色　粘質土	土師器片
ＳＰ22	ＤⅡ－ｉ９	円　　形	Ｕ字形	42～45	28	暗茶灰色　粘質土	土師器片
ＳＰ23	ＤⅡ－ｉ９	円　形　？	逆台形	33	17	暗茶灰色　粘質土	土師器片
ＳＰ24	ＤⅡ－ｉ９	円　　形	Ｕ字形	16～17	22	暗茶褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ25	ＤⅡ－ｉ９	円　　形	Ｕ字形	14～15	22	暗茶褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ26	ＤⅡ－ｉ９	不　定　形	逆凸形	59～66	18	暗茶褐色　粘質土	土師器片 柱痕（径21～28）
ＳＰ27	ＤⅡ－ｉ９	円　　形	逆凸形	44～46	10	暗茶褐色　粘質土	柱痕（径18）
ＳＰ28	ＤⅡ－ｉ８	円　　形	Ｕ字形	14～16	19	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ29	ＤⅡ－ｉ９	円　　形	逆台形	14～16	18	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ30	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	逆凸形	14～16	13	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ31	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	Ｕ字形	９～13	10	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ32	ＤⅡ－ｉ10	楕　円　形	半円形	12～13	7	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ33	ＤⅡ－ｉ10	楕　円　形	逆台形	26～28	9	暗灰褐色　粘質土	柱痕（径10）
ＳＰ34	ＤⅡ－ｉ９	楕　円　形	Ｕ字形	12～14	9	暗茶褐色微砂混粘土	
ＳＰ35	ＤⅡ－ｉ10	不　定　形	逆凸形	27～28	9	暗灰褐色　粘質土	柱痕（径10）
ＳＰ36	ＤⅡ－ｊ10	円　　形	逆凸形	43—44	18	暗灰褐色　粘質土	土師器片 柱痕（径15～22）
ＳＰ37	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	逆台形	33～34	14	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ38	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	逆台形	28～30	12	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ39	ＤⅡ－ｉ10	隅丸　方形	逆凸形	35～37	33	暗灰褐色　粘質土	柱痕（径13）
ＳＰ40	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	Ｕ字形	15～22	16	暗茶灰色　粘質土	
ＳＰ41	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	半円形	32～36	17	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ42	ＤⅡ－ｊ10	円　形　？	逆凸形	54	27	暗灰褐色　粘質土	柱痕（径８～16）
ＳＰ43	ＤⅡ－ｉ10	隅丸　方形	半円形	29～30	16	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ44	ＤⅡ－ｉ10	楕　円　形	逆凸形	26～35	25	暗灰褐色　粘質土	土師器片 柱痕（径12～14）
ＳＰ45	ＤⅡ－ｉ10	隅丸　方形	逆台形	50～58	20	暗灰褐色　粘質土	土師器片・小穴列１
ＳＰ46	ＤⅡ－ｉ10	楕　円　形	逆凸形	64～66	24	暗灰褐色　粘質土	土師器片・小穴列１
ＳＰ47	ＤⅡ－ｉ１	隅丸　方形	逆台形	68～76	24	暗茶灰色　粘質土	土師器片・小穴列１
ＳＰ48	ＤⅡ－ｉ１	楕　円　形	Ｕ字形	53～64	57	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ49	ＤⅡ－ｉ１	隅丸　方形	逆台形	50～54	22	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ50	ＤⅡ－ｊ10	円　　形	Ｕ字形	30～31	28	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ51	ＤⅡ－ｉ１	円　形　？	逆台形	50	22	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ52	ＤⅡ－ｉ１	円　　形	逆台形	44～46	32	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ53	ＤⅡ－ｉ１	円　　形	逆台形	36～38	33	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ54	ＤⅡ－ｉ１	円　　形	半円形	38～39	22	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ55	ＤⅡ－ｉ10	円　　形	逆台形	18	8	暗茶灰色　粘質土	
ＳＰ56	ＤⅡ－ｊ10	円　　形	逆台形	26～34	21	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ57	ＤⅡ－ｉ１	隅丸　方形	逆凸形	32～64	35	暗灰褐色　粘質土	土師器片 柱痕（径19）
ＳＰ58	ＤⅡ－ｉ１	楕　円　形	Ｕ字形	18～24	18	暗灰褐色　粘質土	
ＳＰ59	ＤⅡ－ｊ８	楕　円　形	Ｕ字形	24～32	36	暗茶灰色　粘質土	土師器片
ＳＰ60	ＤⅡ－ｉ１	楕　円　形	逆台形	42～50	23	暗茶灰色　粘質土	土師器片・小穴列２
ＳＰ61	ＤⅡ－ｊ８	隅丸長方形	逆凸形	44～82	25	暗茶灰色　粘質土	柱痕２つ（径15と径16）
ＳＰ62	ＤⅡ－ｉ２	隅丸　方形	Ｕ字形	60	29	暗茶灰色　粘質土	土師器片・小穴列２
ＳＰ63	ＤⅡ－ｊ８	円　形　？	逆台形	50	22	暗茶灰色　粘質土	
ＳＰ64	ＤⅡ－ｉ２	隅丸　方形	半円形	46～47	24	暗灰褐色　粘質土	土師器片
ＳＰ65	ＤⅡ－ｉ２	円　　形	Ｕ字形	28～32	30	暗茶灰色　粘質土	土師器片

溝（ＳＤ）

ＳＤ１

ＤⅡ－ｊ６区で検出した溝である。方向は南西－北東方向を呈し、北端は途中で切れる。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅42cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ２

ＤⅡ－ｉ９区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.1m、深さ25cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は、堆積土内から土師器・須恵器の小片が少量出土している。

ＳＤ３

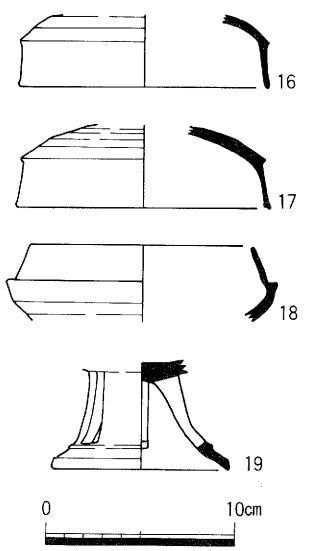
ＤⅡ－ｉ10区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.3m、深さ34cmを測る。断面はＵ字形を呈し、底面には凹凸がみられる。堆積土は、上方から淡灰茶色砂質土・暗灰茶色砂質土・茶灰色粘質土・暗茶灰色粘質シルトで構成されている。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。

ＳＤ４

ＤⅢ－ｉ１区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東部はＳＤ５と合流する。規模は検出部で、幅22cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ５

ＤⅢ－ｉ１区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示し、ＳＤ４と合流する。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅11cm、深さ50cmを測る。断面は逆凸形を呈する。堆積土は、上方から暗茶灰色粘質土・暗灰茶色粘質土・暗灰褐色粘質土で構成されている。遺物は、堆積土内から土師器・須恵器の小片が少量出土している。図示できたものは須恵器の杯蓋（16・17）・杯身（18）・高杯（19）である。須恵器は陶邑編年によるⅠ型式２～３段階に比定されるであろう（第30図）。

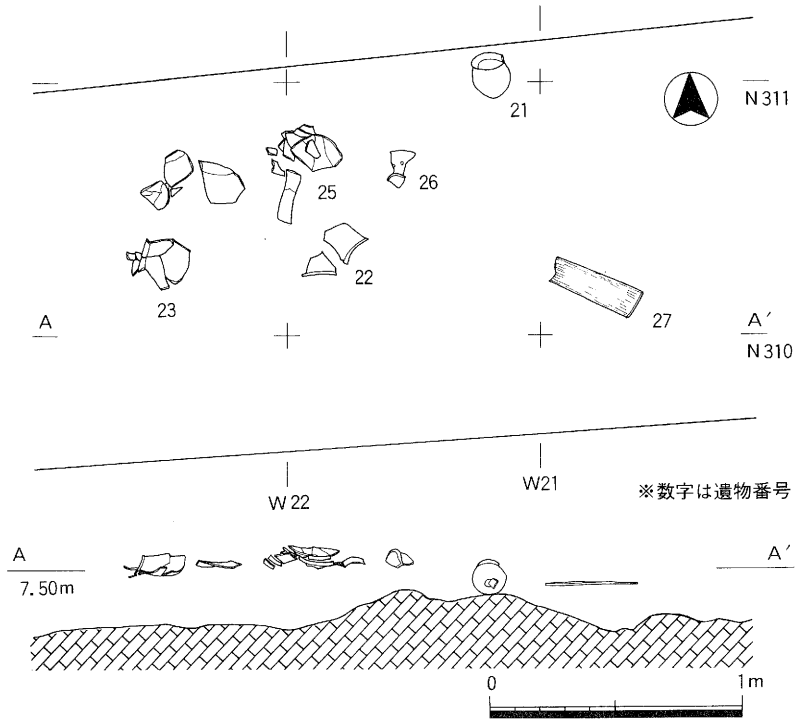


第30図　ＳＤ５出土遺物実測図

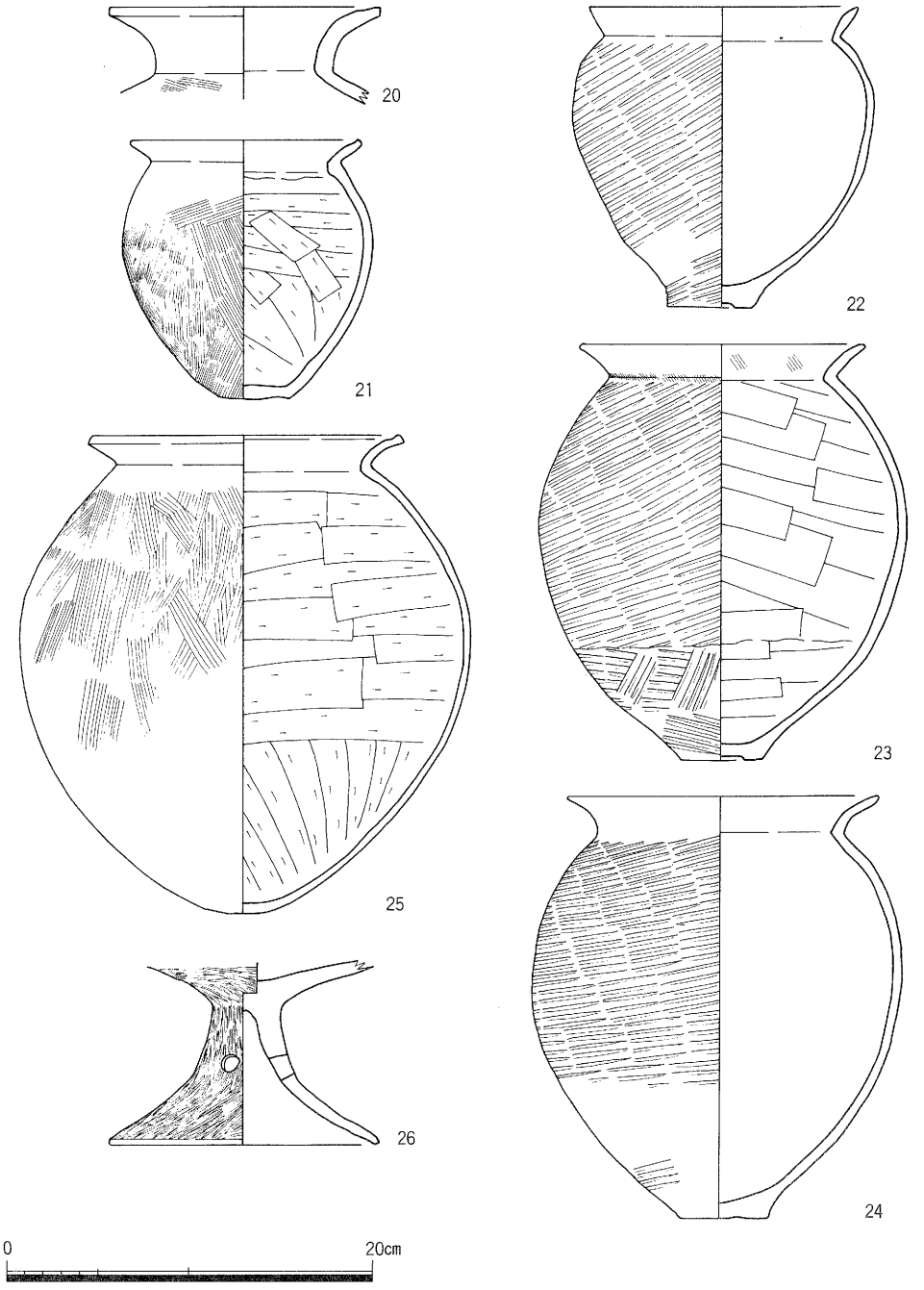
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

第２層～第７層には遺物が包含されていたが、第４層と第７層内からの出土量が多かった。第７層は当調査区の西側にだけ堆積がみられる層である。この層内から弥生時代後期～古墳時代前期（畿内第Ⅴ様式～庄内式古相）に比定される遺物が出土している（第31図）。器種には壺（20）・甕（21・25）・畿内第Ⅴ様式甕（22～24）・高杯（26）がある（第32図）。その他には木製品（27）１点が出土している。木製品は長方形の板（34×12×2.6cm）で、片面には加工痕がみられる（第33図）。

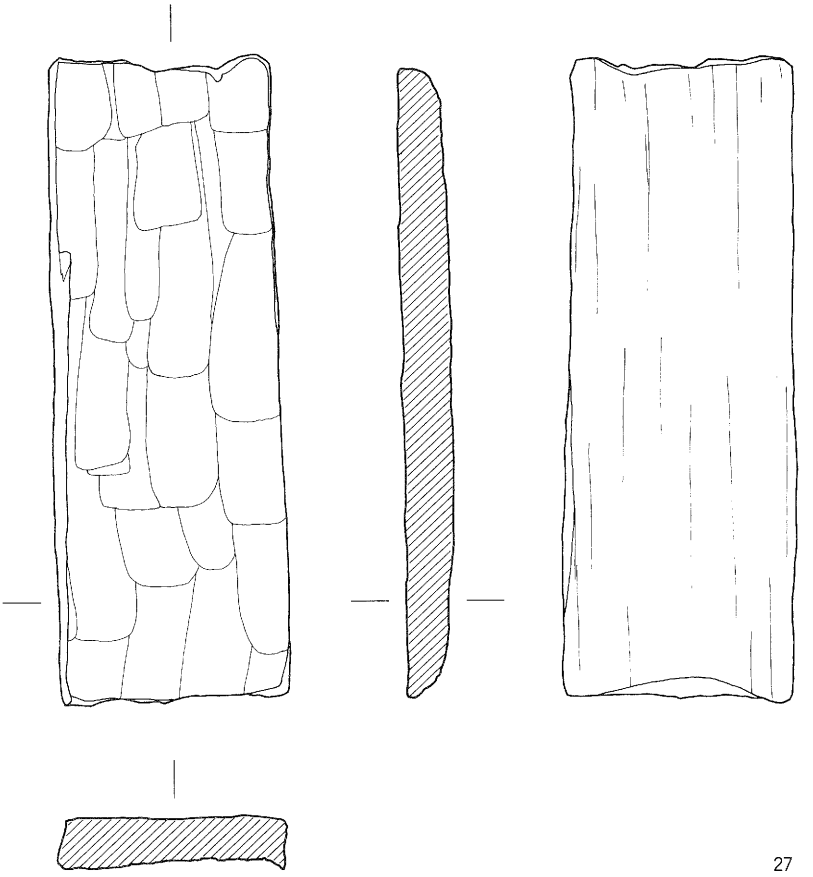
第４層は当調査区の全体に堆積がみられる層である。層厚は10～20cmを測り、西側へ行くに従い厚く堆積する。この層（包含層）内からは弥生時代後期～奈良時代に至る遺物が出土している。器種には畿内第Ⅴ様式～庄内式古相に比定される壺（28～33）・畿内第Ⅴ様式甕（34～38・40・42）・庄内式甕（39・41・43～48）・鉢（60～63・67）・有孔鉢（64）、布留式古相に比定される甕（49・50・53・56）・布留式甕（51・52・54・55）・吉備系甕（57）・小型丸底壺（58・59）・鉢（65）、古墳時代中期に比定される土師器の鉢(66)・高杯（68～76）、製塩土器（77）、甑（78）、須恵器の杯蓋（79～81）・杯身（82）、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身（83）がある（第34図～第36図）。



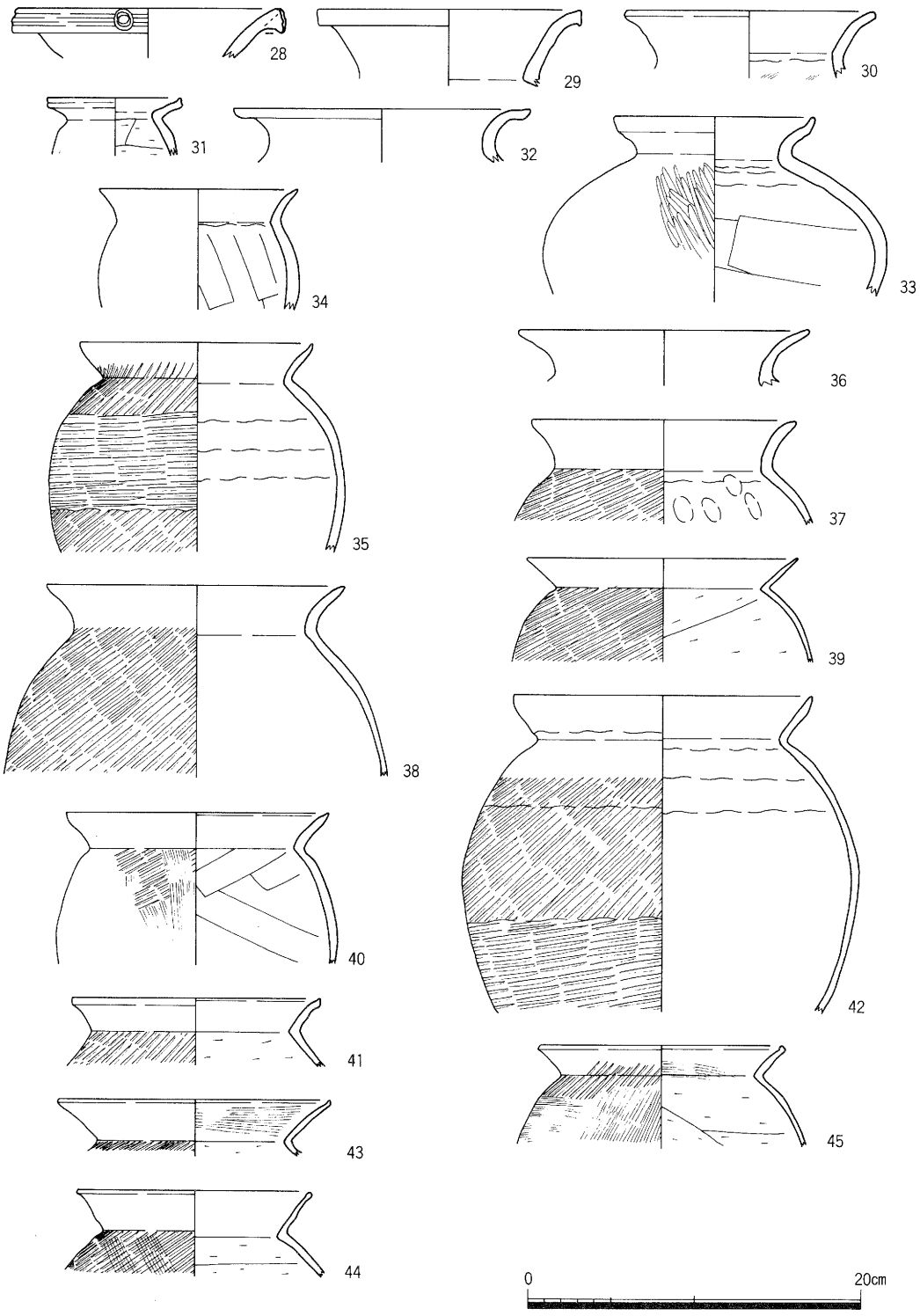
第31図　第７層土器集積平断面図



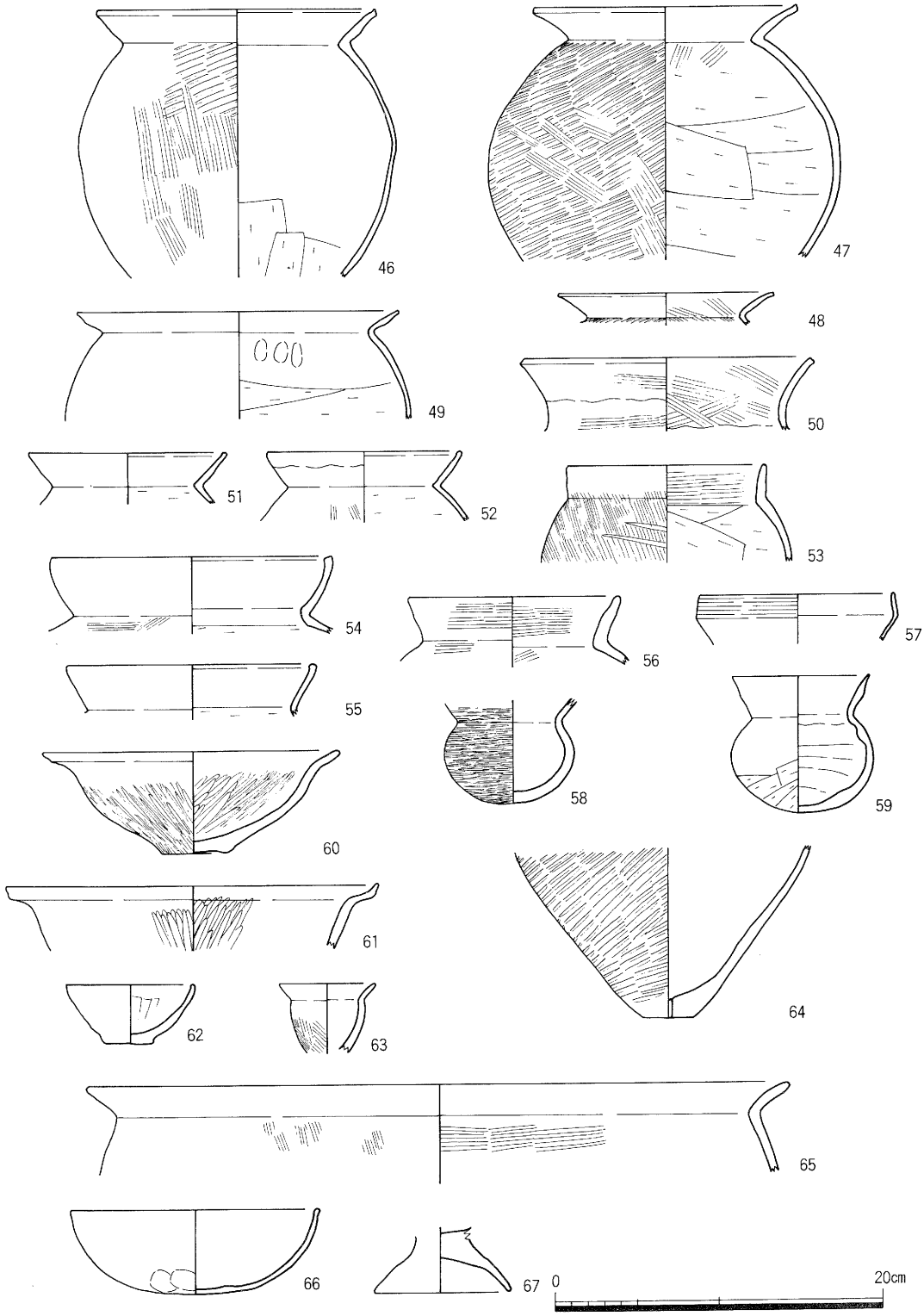
第32図　第7層出土遺物実測図



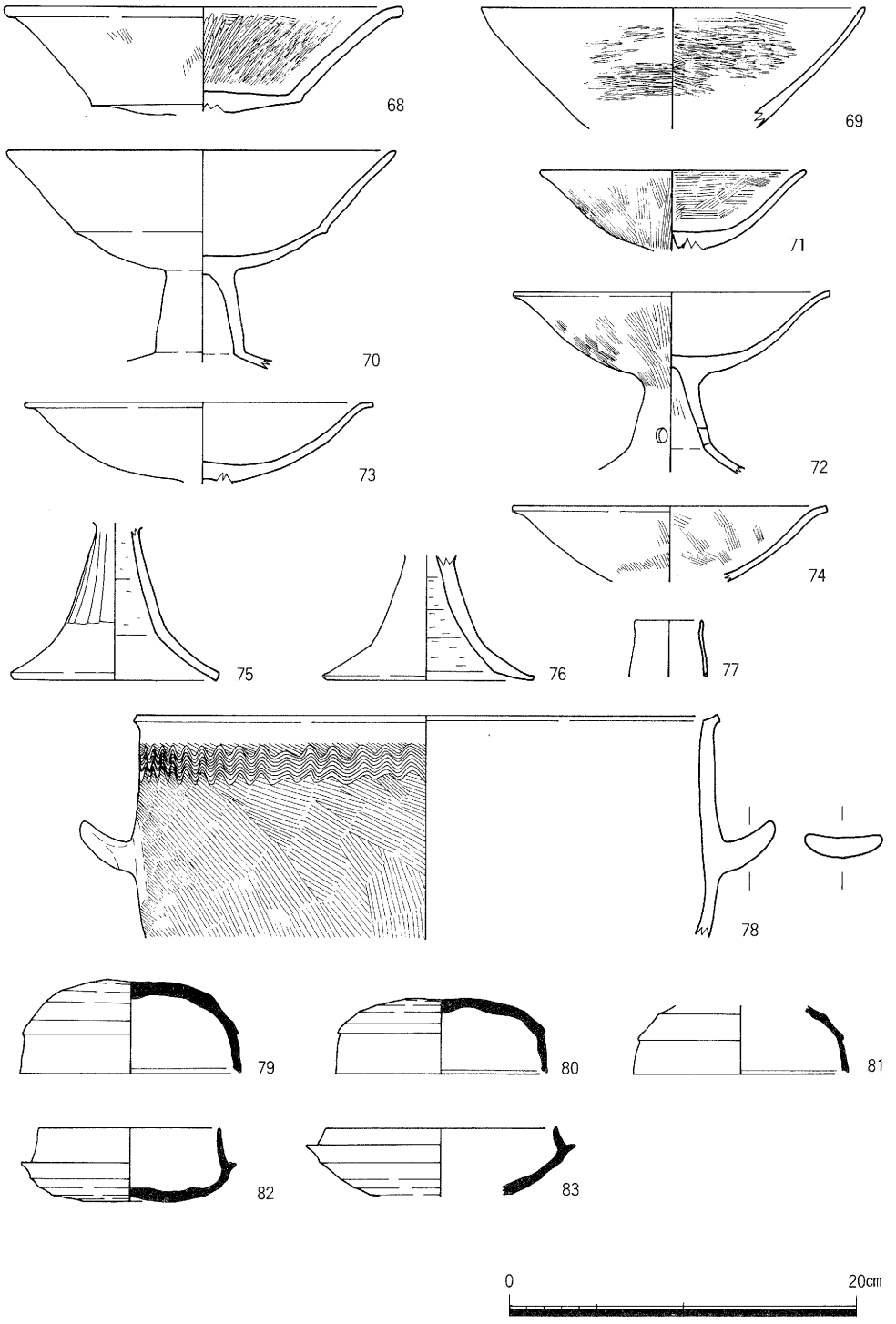
第33図　第７層出土木製品実測図



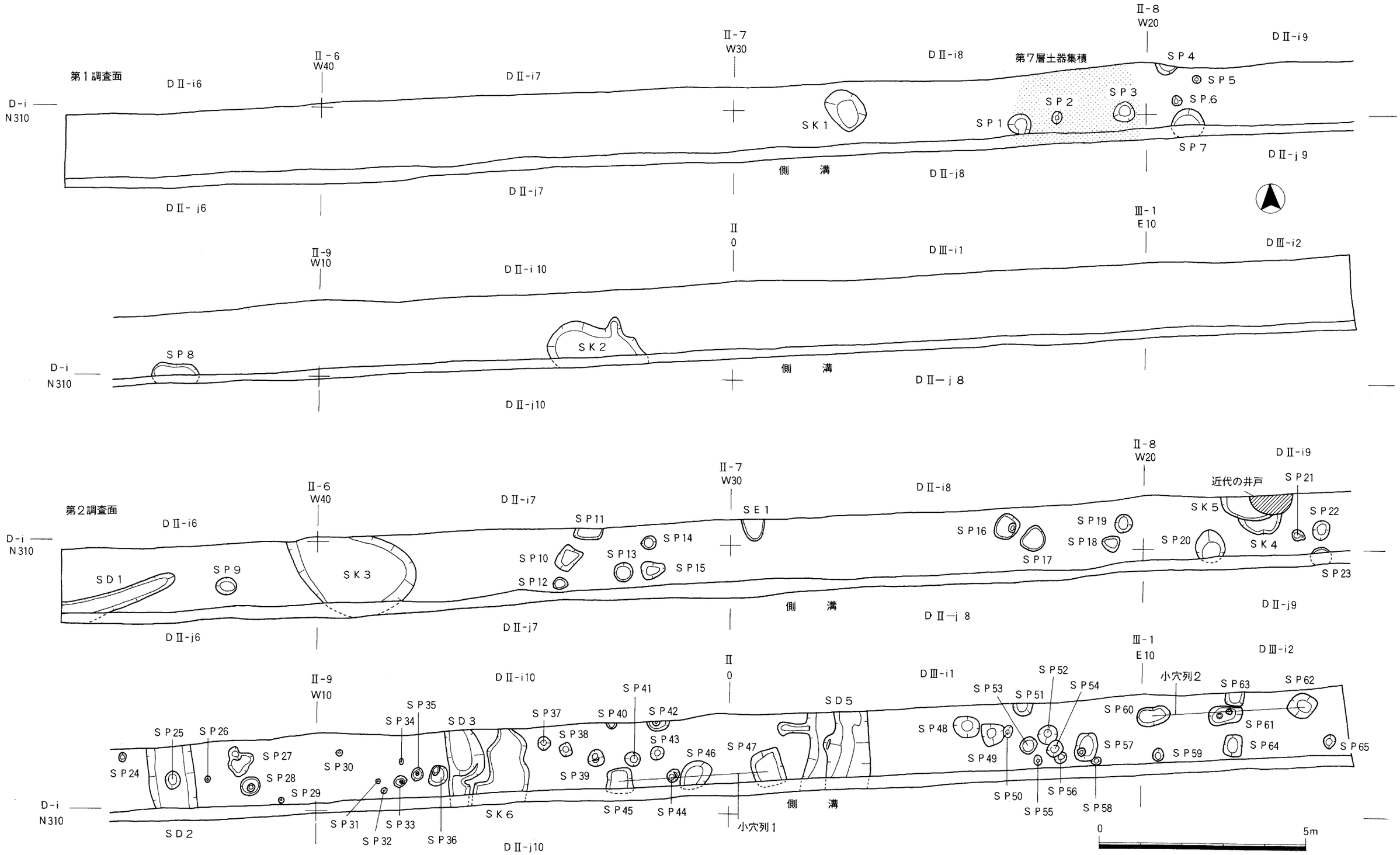
第34図　包含層出土遺物実測図1



第35図　包含層出土遺物実測図２



第36図　包含層出土遺物実測図３


第１調査面
D-i
N310
Ⅱ-6
W40
Ⅱ-7
W30
Ⅱ-8
W20
Ⅲ-1
E10
Ⅱ
0
Ⅱ-9
W10
DⅡ-i6
DⅡ-i7
DⅡ-i8
DⅡ-i9
DⅡ-i10
DⅢ-i1
DⅢ-i2
DⅡ-j6
DⅡ-j7
DⅡ-j8
DⅡ-j9
DⅡ-j10
DⅡ－j８
第７層土器集積
SK1
SK2
SK3
SK4
SK5
SK6
SP1
SP2
SP3
SP4
SP5
SP6
SP7
SP8
SP9
SP10
SP11
SP12
SP13
SP14
SP15
SP16
SP17
SP18
SP19
SP20
SP21
SP22
SP23
SP24
SP25
SP26
SP27
SP28
SP29
SP30
SP31
SP32
SP33
SP34
SP35
SP36
SP37
SP38
SP39
SP40
SP41
SP42
SP43
SP44
SP45
SP46
SP47
SP48
SP49
SP50
SP51
SP52
SP53
SP54
SP55
SP56
SP57
SP58
SP59
SP60
SP61
SP62
SP63
SP64
SP65
SD1
SD2
SD3
SD5
SE1
側　溝
小穴列1
小穴列2
近代の井戸
第２調査面
0
5m

第37図　遺構平面図

第３節　第３調査区

第１調査区の南東側へ約160m に設定した東西に長い調査区（長さ60m ）である。調査面積は約 120㎡を測る。当調査区は昭和58年度第３次調査の22地区の東側にあたる。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる６層を基本層序とした。現地表面は標高8.8m 前後を測る。

第１層耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた耕作土である。

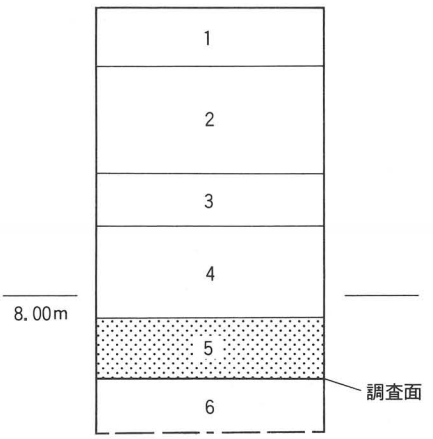
第２層灰褐色粘質土：層厚10cm。ＥⅣ－ｉ１区より西側に存在する土層で、耕土の床土である。土層内より摩滅した土器の小片がごく少量出土している。

第３層茶灰色微砂：層厚30～40cm。この土層からは鎌倉時代に比定される遺物が少量出土している。

第４層灰茶褐色粘土：層厚10～40cm。東に行くに従って厚く堆積する。

第５層褐灰色粘土：層厚20～30cm。古墳時代前期に比定される土器片を含む層である。

第６層茶灰褐色～明灰茶色粘質土：層厚20cm以上。粘性の強い層である。この上面は標高7.7m を測る。調査対象面とした。



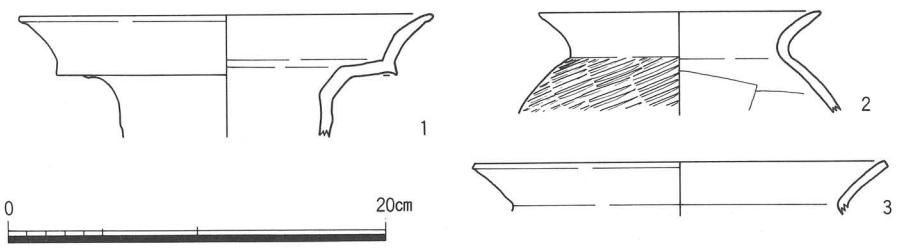
第38図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

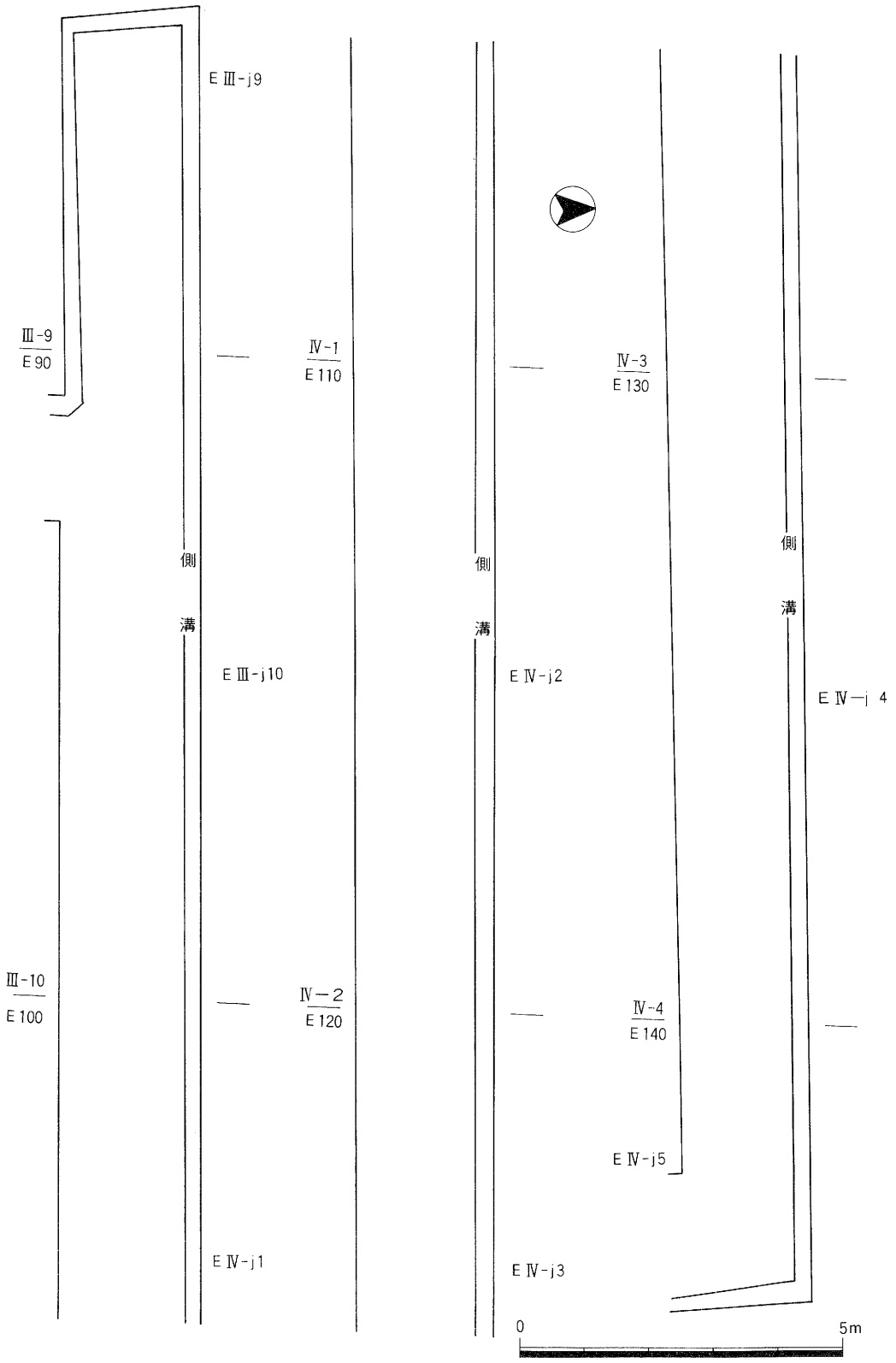
当調査区では、遺構は検出されなかったが、古墳時代前期に比定される包含層（第５層）を確認している。以下、包含層内で出土した土器について述べることにする。

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

第５層（包含層）内からは古墳時代前期(庄内式古相～布留式古相）に比定される土器の小片が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分である。土器の器種には壺・第Ⅴ様式系甕・庄内式甕・鉢・高杯などがある。図示できたものは３点で、複合口縁の壺（１）・第Ⅴ様式系甕（２）・庄内式甕（３）である（第39図)。



第39図　包含層出土遺物実測図



第40図　第３調査区平面図

第４節　第４調査区

第３調査区の東側から南へ伸びる南北に長い調査区（長さ60ｍ）である。調査面積は120㎡を測る。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる７層を基本層序とした。現地表面は標高8.8ｍ前後を測る。

第１層耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた耕作土である。

第２層灰褐色粘質土：層厚20～30cm。耕土の床土である。

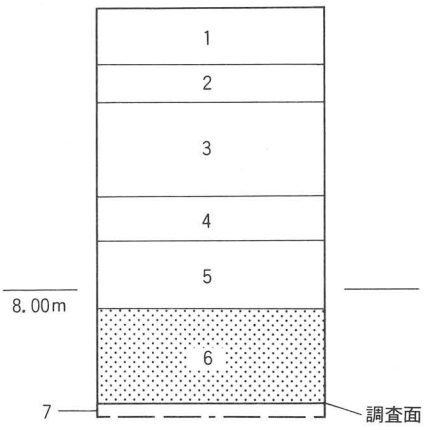
第３層茶灰色微砂：層厚10～15cm。鎌倉時代に比定される土器片が少量出土している。

第４層淡灰茶色微砂混粘土：層厚10～18cm。第３層よりやや粘性が高い。

第５層灰色細砂混粘土：層厚15～20cm。古墳時代～鎌倉時代の遺物が少量出土している。

第６層褐灰色細砂混粘土：層厚20～30cm。古墳時代前期の包含層である。

第７層褐灰色粘土：層厚20cm以上。この上面を調査面とした。



第41図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

当調査区では、第７層上面（標高7.7ｍ）を調査面とした。その結果、古墳時代前期に比定される土坑２基（ＳＫ１・ＳＫ２）を検出した。

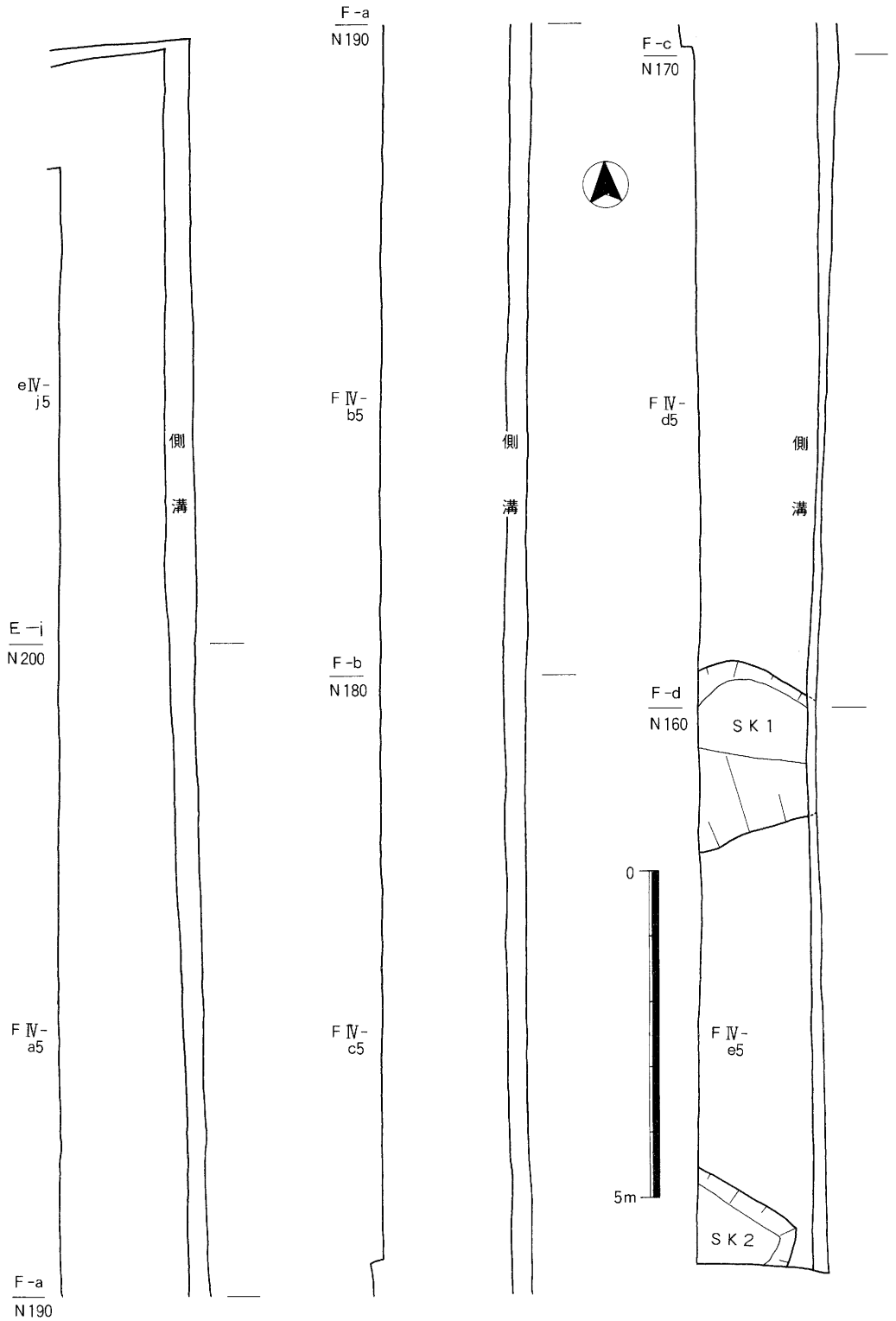
土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＦⅣ－ｄ～ｅ５区で検出した土坑である。東西部は調査区外に至る。平面の形状は不明である。規模は検出部で、東西２ｍ、南北2.3ｍ、深さ18cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式古相）に比定される土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ２

ＦⅣ－ｅ５区で検出した土坑である。南部・西部はともに調査区外に至る。平面の形状は不明である。規模は検出部で、東西1.5ｍ、南北1.5ｍ、深さ20cmを測る。断面は逆台形を呈するものと思われる。堆積土は灰褐色粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代前期（庄内式）に比定される土師器の小片が少量出土している。


F-a
N190
F-c
N170
eⅣ-
j5
F Ⅳ-
b5
F Ⅳ-
d5
側
溝
側
溝
側
溝
E-i
N200
F-b
N180
F-d
N160
SK1
0
5m
F Ⅳ-
a5
F Ⅳ-
c5
F Ⅳ-
e5
SK2
F-a
N190

第42図　遺構平断面図

第５節　第５調査区

当調査区は第４調査区の南端から約35ｍ南側に設定した南北に長い調査区（長さ45ｍ）である。調査面積は約90㎡を測る。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる６層を基本層序とした。現地表面は標高8.2ｍを測る。

第１層耕土：層厚10～40cm。調査前まで耕されていた土層である。当調査区の東側の半分は撹乱されている。

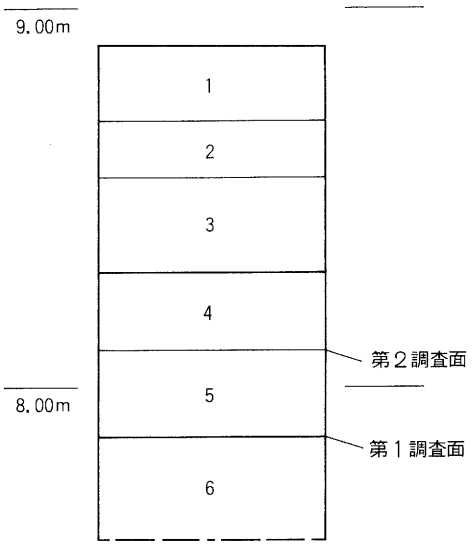
第２層灰茶褐色砂質土：層厚10～25cm。耕土の床土である。

第３層黄褐色粘質土：層厚14～28cm。この土層内から古墳時代～鎌倉時代にかけての摩滅した土器の小片が少量出土した。

第４層黄茶褐色微砂混粘土：層厚16～22cm。この土層内から古墳時代前期～中期にかけての土器の小片が出土している。この上面から平安時代に比定される自然河川が切り込んでいる。この上面は標高8.3ｍを測る。

第５層淡黄灰色粘質土：層厚20～26cm。この土層内から古墳時代前期に比定される土器片が出土している。この上面は標高8.1ｍ前後を測る。

第６層黄灰色粘土：層厚20～40cm。この上面で、古墳時代前期の遺構を検出した。標高は7.8ｍを測る。



第43図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

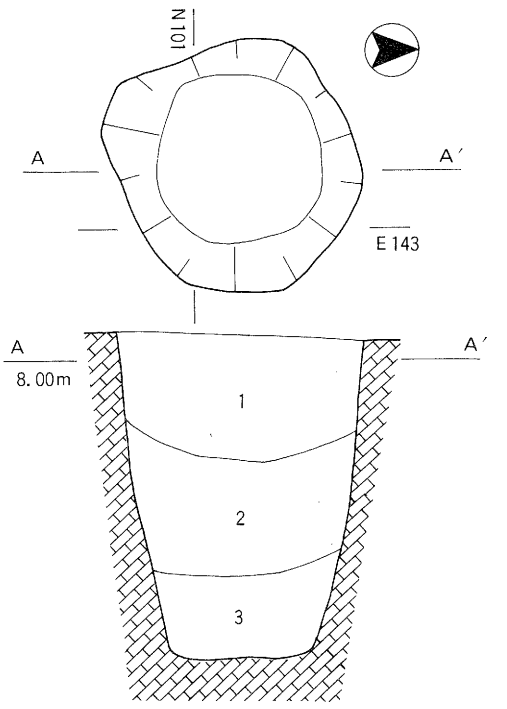
当調査区では、第５層上面（第２調査面）と第６層上面（第１調査面）の２面を調査面とした。その結果、第１調査面では古墳時代前期（庄内式新相）に比定される井戸１基（ＳＥ１）・小穴列１箇所（小穴列１）・小穴４個（ＳＰ１・ＳＰ５～ＳＰ７）・土坑１基（ＳＫ１）を検出した。第２調査面では第４層上面から切り込む平安時代の自然河川（河川１）、第５層上面から切り込む古墳時代前期(庄内式新相～布留式古相)に比定される土坑４基(ＳＫ２～ＳＫ５)・溝２条（ＳＤ１・ＳＤ２）・自然河川（河川２）を検出した。

第１調査面

井戸（ＳＥ）

ＳＥ１

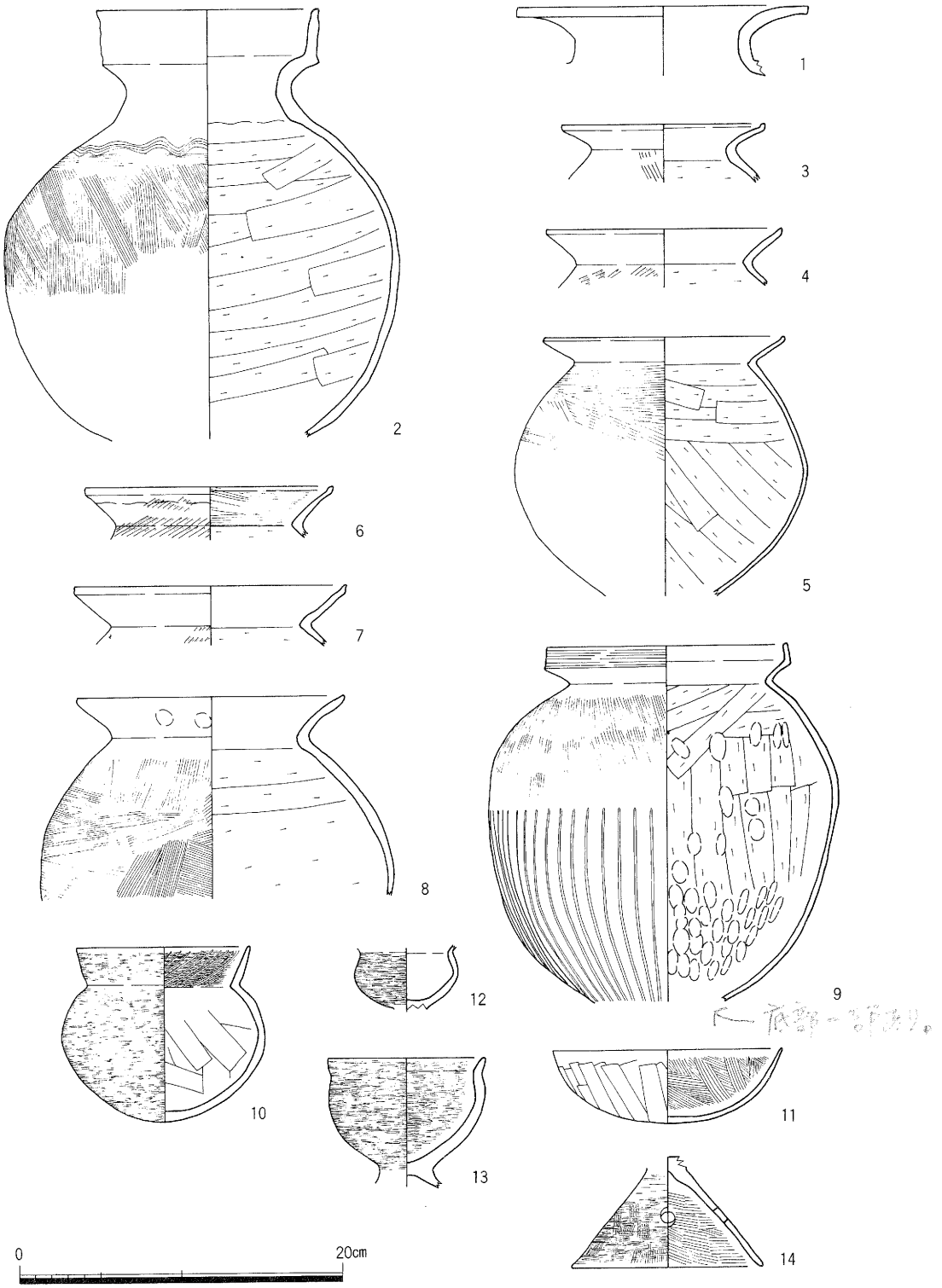
ＦⅣ－ｊ５地区の西壁付近で検出した素掘りの井戸である。平面はほぼ円形を呈する。規模は、径1.34～1.4ｍ、深さ1.3m を測る。断面はＵ字形を呈する。底面は平面円形で径0.5ｍを測る。堆積土は、上方から第１層暗灰青色粘土・第２層黒灰色粘土・第３層暗灰青色砂混泥粘土（４層の植物遺体が互層する）で構成されている。遺物は、第２層～第３層内からコンテナ箱にして３箱分が出土した。出土遺物には土器と木製品がある。土器は庄内式新相に比定されるもので壺（１）・二重口縁壺（２）・庄内式甕（３～７）・甕（８）・吉備系甕（９）・小型壺（10）・鉢（11）・台付鉢（12・13）・器台（14）がある。木製品は焼け焦げている自然木とともに出土している。木製品は７点（15～21）を出土した。15は棒状で、長さ54cm、幅2.3cm、厚み１cmを測り、断面は半円形を呈する。一端は欠損し、もう一端は先端から３cmを残し、丸みのある片側を 2.2～ 2.8cmにわたり、切り込みを入れている。この木器の形は紡織具の一部分となる布巻具あるいは経巻具と推定される。16は長方形の板状で、全長41.5cm、幅 7.1cm、厚み９mmを測る。両端は欠損する。端辺近くに１個と端辺から6.5～14.5cmにわたって円孔（２～４mm）が11個、円孤を描いて並んでいる。17は角材状で、全長32.3cm、幅 1.1×2.8cmを測る。断面は変形した台形を呈し、両端部は欠損している。18は方形の板状で、１辺11.9×20.6cm、厚み 2.3cmを測り、一部が欠損する。19は長方形を呈する小さな木片で、全長 6.5cm、幅 2.8×1.8cmを測る。断面は三角形を呈し、径２mmの円孔が４個穿たれている。20は角材状で、全長27.7cm、幅２～３cmを測る。一端は焼け焦げている。21は薄い板状で、全長18.9cm、幅 1.1～2.8cm、厚み１cmを測る。内縁は２箇所で内彎し、外縁は外彎している（第44図～第47図）。



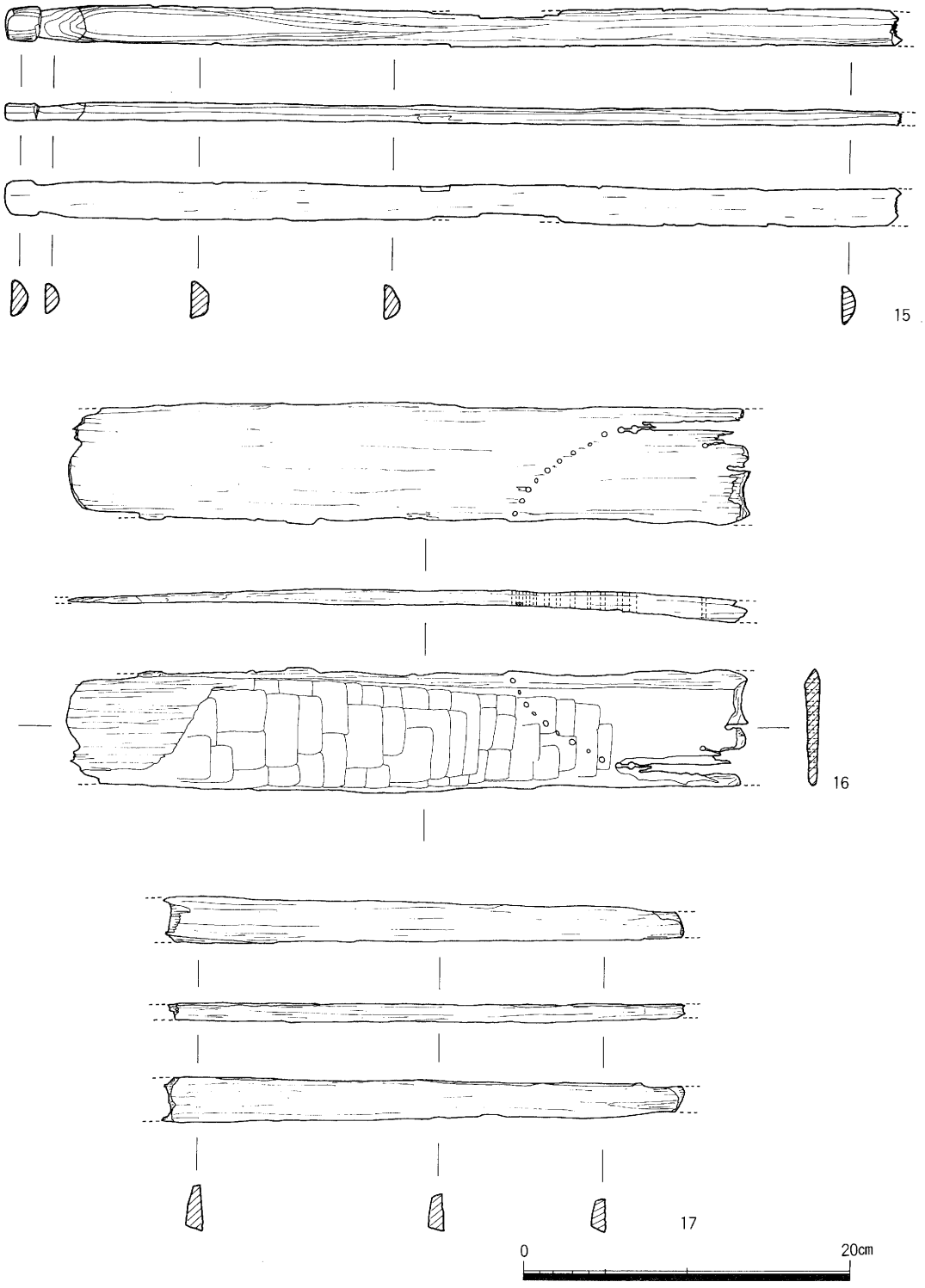
1　暗灰青色粘土
2　黒灰色粘土
3　暗灰青色砂混泥粘土
（４層の植物遺体が互層する）

0　1m

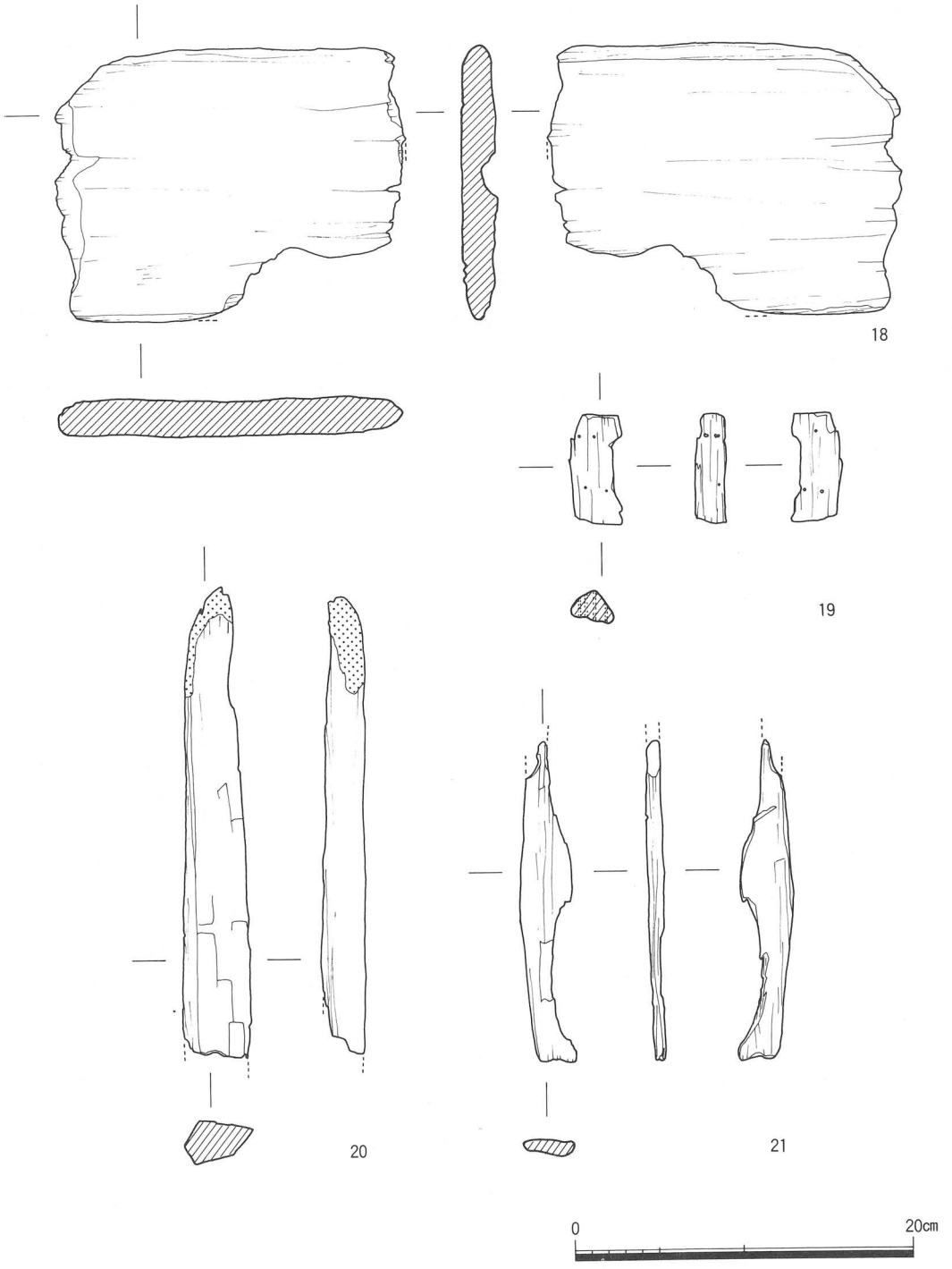
第44図　ＳＥ１平断面図



第45図　ＳＥ１出土遺物実測図



第46図　ＳＥ１出土木製品実測図１



第47図　ＳＥ１出土木製品実測図２

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＧⅣ－ｂ５区で検出した土坑である。東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.4m以上、南北0.92ｍ、深さ28cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

小穴（ＳＰ）

ＳＰ１～ＳＰ７

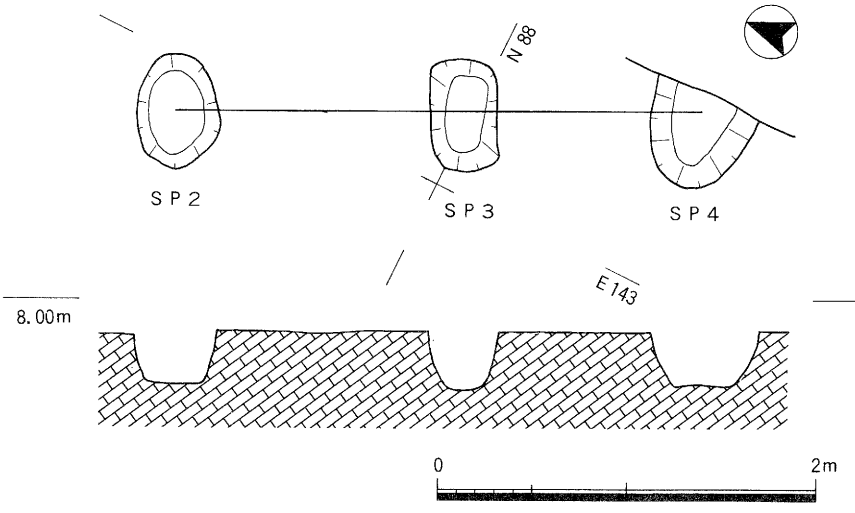
ＧⅣ－ａ５区で１個とＧⅣ－ｂ５区で６個の計７個の小穴を検出した。平面の形状には楕円形のもの３個（ＳＰ１・ＳＰ２・ＳＰ４）、方形のもの１個（ＳＰ３）、円形のもの３個（ＳＰ５～ＳＰ７）がある。断面は逆凸形のもの１個（ＳＰ１）、逆台形のもの６個（ＳＰ２～ＳＰ７）である。堆積土は暗灰褐色砂混粘土で、遺物は出土していない。これらの小穴内には建物の一部と考えられる小穴列（小穴列１）が１箇所みられる。小穴列１はＳＰ２・ＳＰ３・ＳＰ４からなる南北方向（2.8ｍ）に並ぶもので、柱間は北西から1.5ｍ、1.3ｍを測る（第48図）。

なお、個々の小穴の法量・形状については第５表に記した。

第５表　第１調査面小穴（ＳＰ）一覧表

※　単位：cm

遺構番号	地区	平面形	断面形	径	深さ	堆積土	備考
ＳＰ１	ＧⅣ－ａ５	楕円形	逆台形	26～36	20	暗灰褐色砂混粘土	柱痕（径10）
ＳＰ２	ＧⅣ－ｂ５	楕円形	逆台形	46～56	26.6	暗灰褐色砂混粘土	小穴列１
ＳＰ３	ＧⅣ－ｂ５	方形	逆台形	36～60	30	暗灰褐色砂混粘土	小穴列１
ＳＰ４	ＧⅣ－ｂ５	楕円形	逆台形	52～59	28	暗灰褐色砂混粘土	小穴列１
ＳＰ５	ＧⅣ－ｂ５	円形	逆台形	14	23.5	暗灰褐色砂混粘土	
ＳＰ６	ＧⅣ－ｂ５	円形	逆台形	20	27	暗灰褐色砂混粘土	
ＳＰ７	ＧⅣ－ｂ５	円形	逆台形	15	11	暗灰褐色砂混粘土	



第48図　小穴列１平断面図

第２調査面

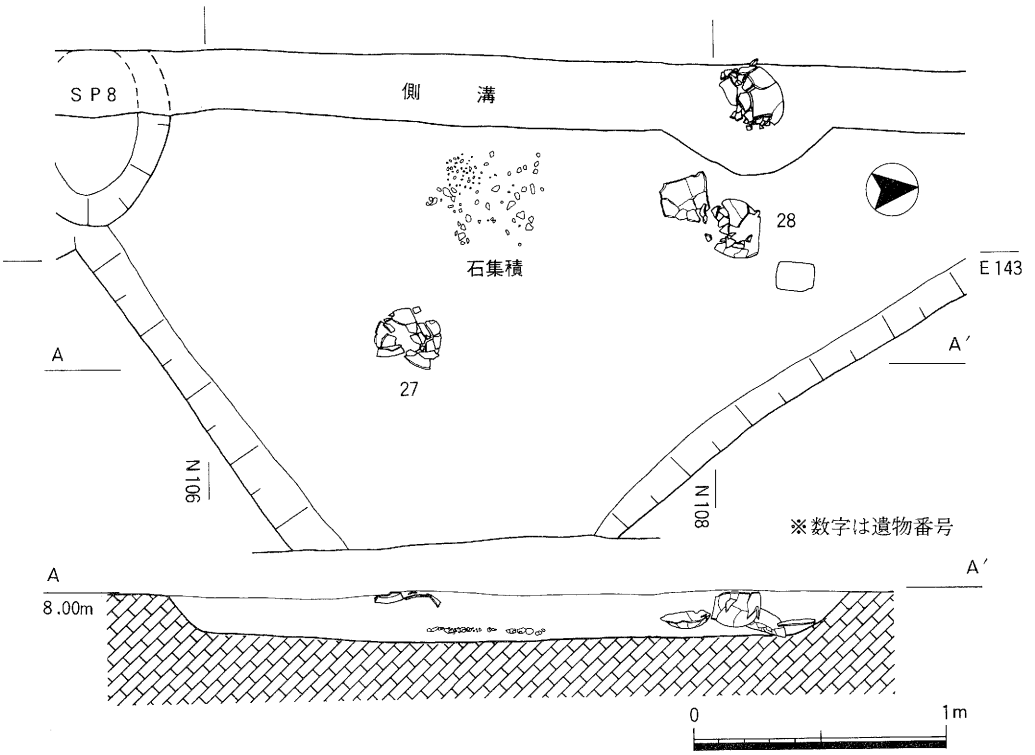
土坑（ＳＫ）

ＳＫ２

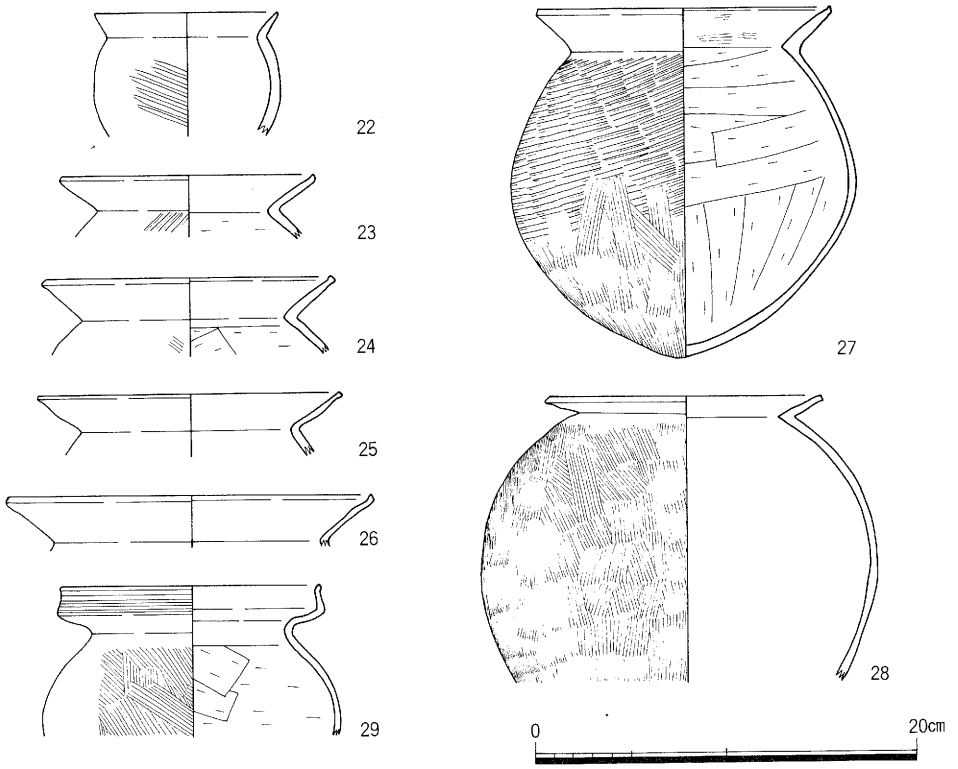
ＦⅣ－ｊ５区で検出した土坑である。平面の形状は東から見るとW形を呈する。東西部は共に調査区外に至る。規模は検出部で、東西10m、南北0.6～２m、深さ９～11cmを測る。断面は浅い逆台形を呈し、底面には若干の起伏がみられ、中央部付近に平面ほぼ円形で、径52cm、深さ17cmを測る小穴（ＳＰ８）と、これより北側約1.5m に径約50cmを測る範囲内に小石（径0.5～５cm）が約４cm の厚さで集積していた。堆積土は淡茶灰色砂礫（粗砂）混粘土・暗灰茶色シルト混粘土に分れる。遺物は北側の基底面近くに転がり横たわった状態の土器が点在していた。器種はすべて甕で、第Ⅴ様式系甕（22）・庄内式甕（23～27）・東部瀬戸内系甕（28）・吉備系甕（29）がみられる。時期は庄内式新相に位置付けられよう（第49図・第50図）。

ＳＫ３

ＦⅣ－ｊ５区～ＧⅣ－ａ５区で検出した土坑である。平面は溝状を呈する。東西はともに調査区外に至る。南部にはＳＤ１が合流している。規模は検出部で、東西２m 以上、南北2.3m、深さ15～20cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。底面で



第49図　ＳＫ２北部検出遺物平断面図



第50図　ＳＫ２出土遺物実測図

は小穴（ＳＰ９～ＳＰ12）を検出した。小穴は平面楕円形を呈し、ＳＰ９が東西64cm、南北84cm、深さ22cm、ＳＰ10が径26～50cm、深さ24cm、ＳＰ11が径22～50cm、深さ41cm、ＳＰ12が径28～40cm、深さ16cmをそれぞれ測る。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は、土坑内から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ４

ＧⅣ－ａ～ｂ５区で検出した土坑である。北部は近代の井戸によって切られ、東部はともに調査区外に至る。平面は不定形を呈する。規模は検出部で、東西２ｍ、南北5.8ｍ、深さ10cmを測る。断面は浅い逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

ＳＫ５

ＧⅣ－ｂ５区で検出した土坑である。東側はＳＤ２を切り、西側は調査区外に至る。平面は方形を呈すると思われる。規模は検出部で、東西0.86ｍ、南北1.8ｍ、深さ41cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰色粘土である。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。

溝（ＳＤ）

ＳＤ１

ＧⅣ－ａ５区で検出した溝である。方向は南東－北西方向を示す。北西部はＳＫ３に合流し、南東部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅22～48cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

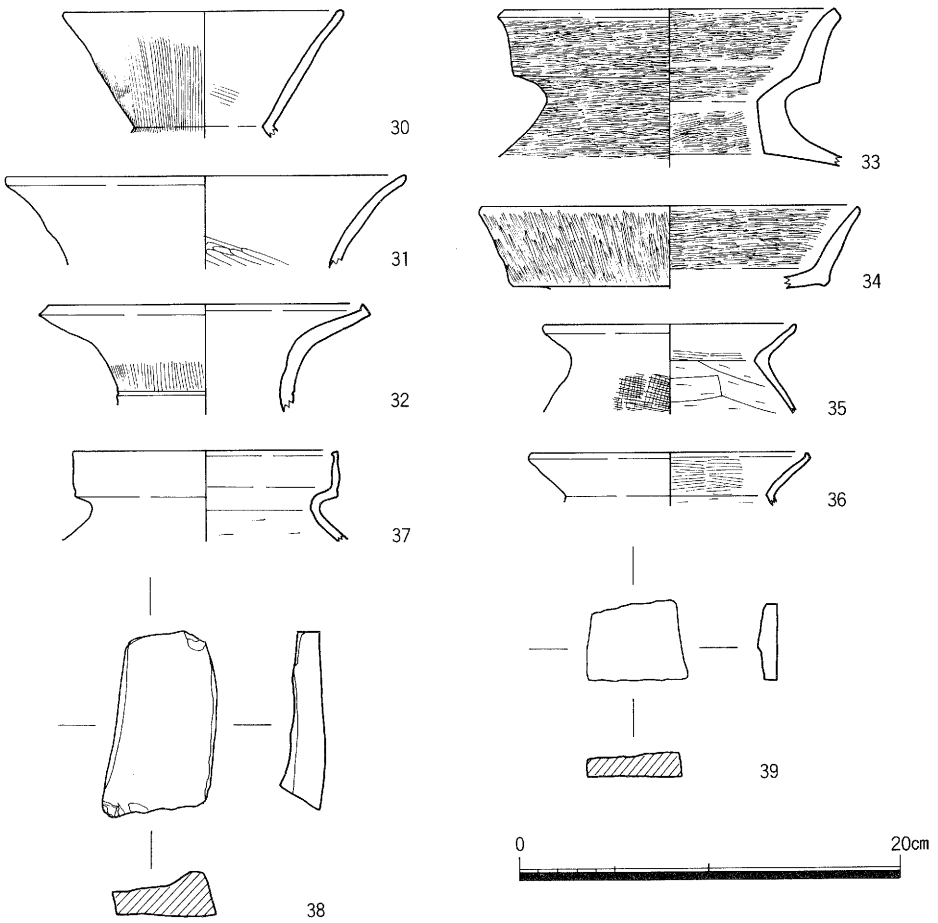
ＳＤ２

ＧⅣ－ｂ５区で検出した溝である。平面は円弧を描き、北端はＳＫ５に切られ、南端は河川２によって切られている。規模は検出部で、幅34～60cm、深さ16cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰茶色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

自然河川

河川１

ＦⅣ－ｉ５区で検出した自然河川である。方向は南東－北西方向を呈する。規模は検出部で、

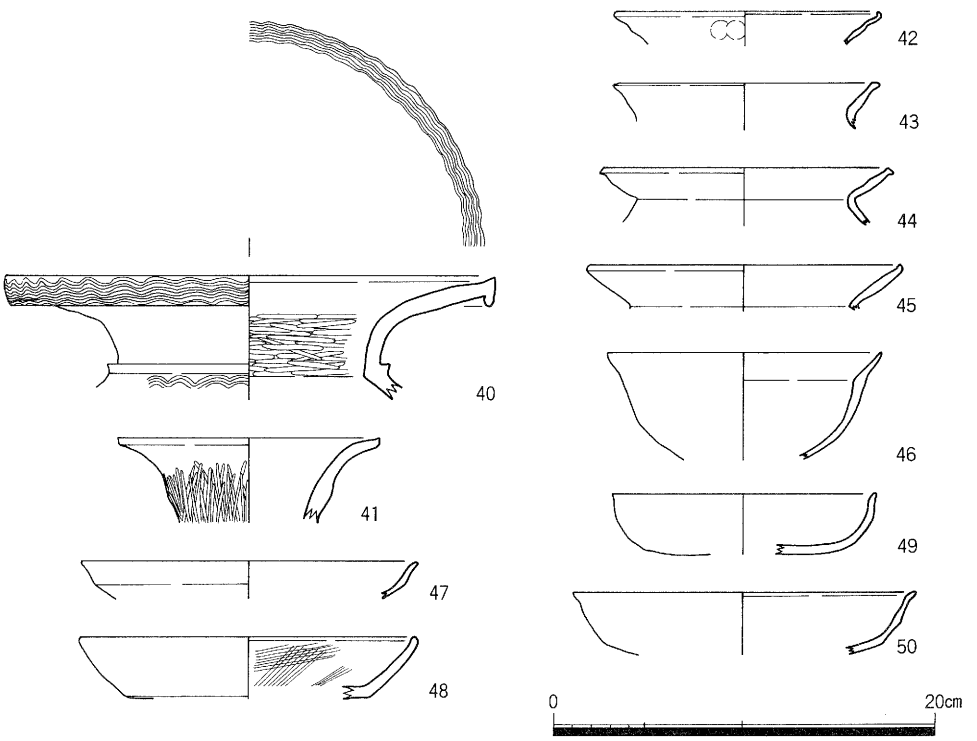


第51図　河川１出土遺物実測図

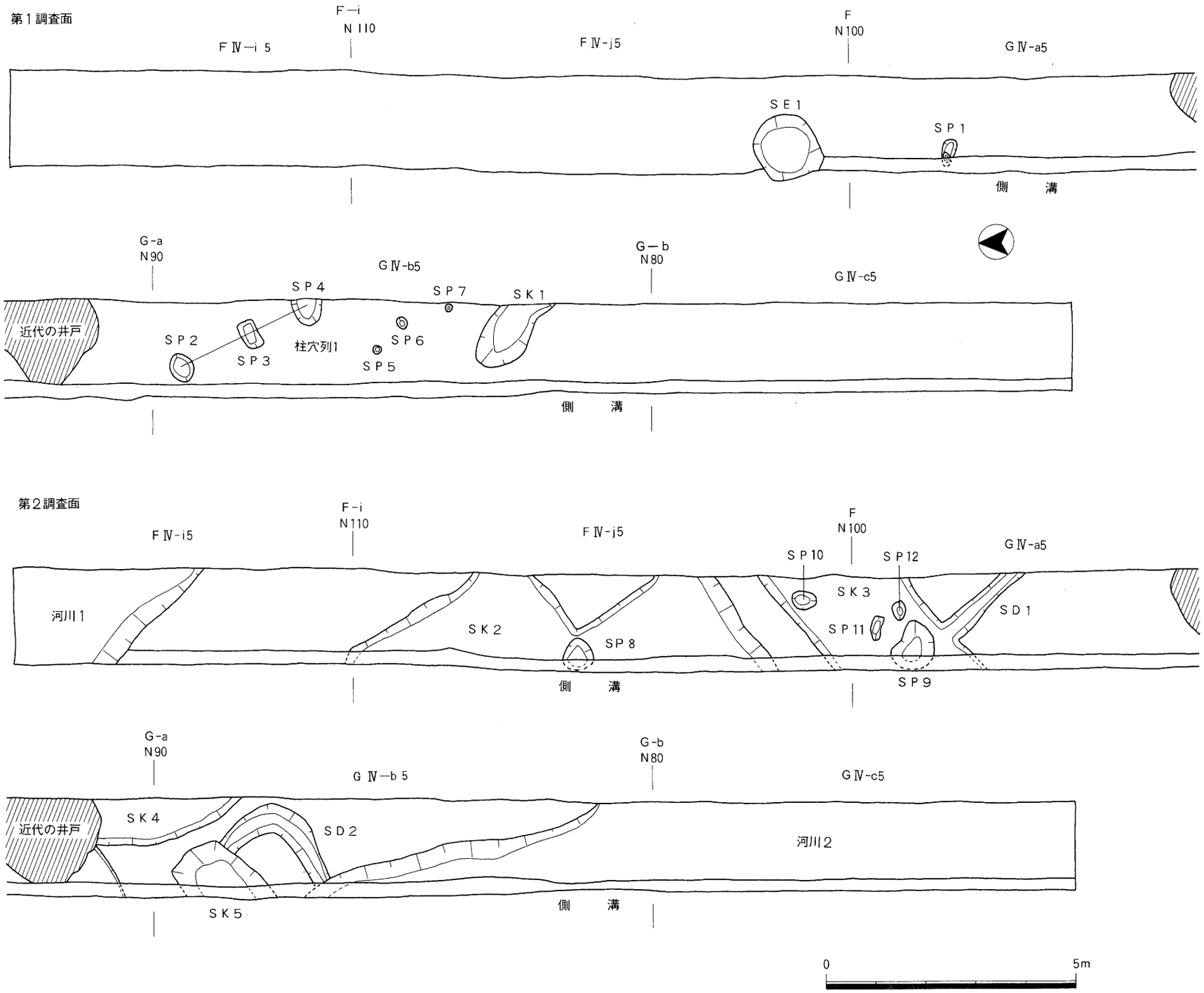
幅約３ｍ、深さ1.1ｍを測る。断面は西肩の斜面が緩やかな傾斜を呈する。堆積土は、上方から淡茶灰色砂礫（及び粗砂）混粘土・暗灰色粘土・暗灰色粗砂と暗灰褐色粗砂混粘土の互層である。遺物は、河川底近くで古墳時代前期に比定される土器の小片が少量出土している。器種には壺（30～34）・庄内式甕（35・36）・吉備系甕（37）などがある（第51図）。

河川２

ＧⅣ－ｂ～ｃ５区で検出した。方向は南東－北西方向と考えられる東肩の一部だけを検出した。西肩は第７調査区ＧⅣ－ｂ３区で検出している河川１にあたる。当調査区で検出した規模は幅およそ20ｍ、深さ0.5～0.8ｍを測る。底面には一部溝状を呈する窪みがみられる。堆積土は淡茶灰色粗砂混粘質土・淡黄灰色微砂と暗茶褐色～淡灰色粗砂が互層で、砂層を基調としている。遺物は、堆積土内から古墳時代～奈良時代にかけての土器の小片が少量出土している。器種には古墳時代前期に比定される壺（40・41）・庄内式甕（42～45）・鉢（46）、奈良時代に比定される土師器の杯（47～50）がある（第52図）。



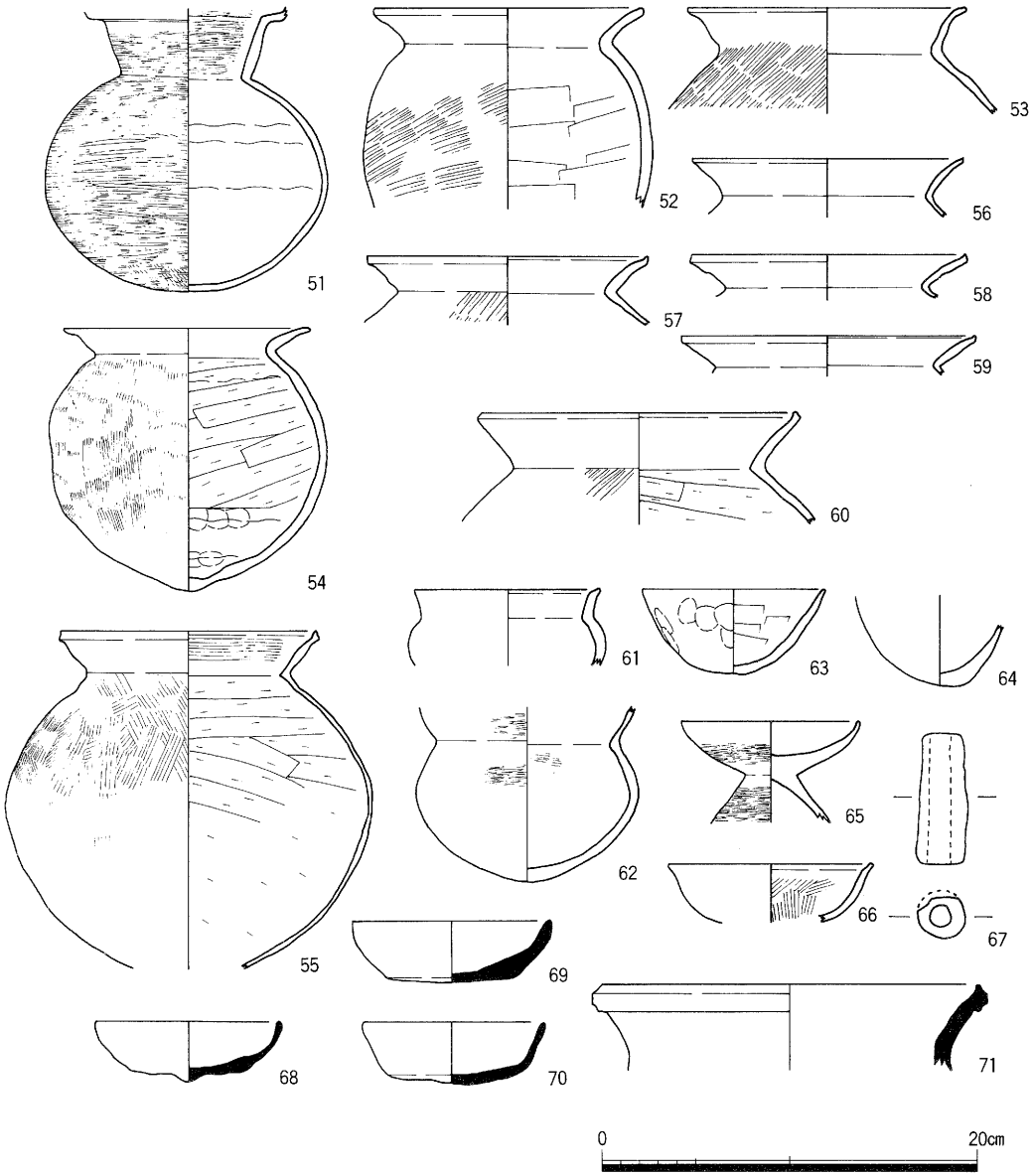
第52図　河川２出土遺物実測図


第１調査面
F－i
N110
F
N100
FⅣ－i 5
FⅣ-j5
GⅣ-a5
SE１
SP１
側　溝
G-a
N90
G－b
N80
GⅣ-b5
GⅣ-c5
SP４
SP７
SK１
近代の井戸
SP２
SP３
柱穴列1
SP６
SP５
側　溝
第２調査面
F-i
N110
F
N100
FⅣ-i5
FⅣ-j5
GⅣ-a5
SP10
SP12
SK３
河川１
SK２
SP８
SP11
SD１
側　溝
SP９
G-a
N90
G-b
N80
GⅣ－b５
GⅣ-c5
近代の井戸
SK４
SD２
河川２
SK５
側　溝
0
5m

第53図　遺構平面図

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

第３層と第４層で遺物が出土している。第４層内からは古墳時代前期に比定される土器の小片が少量出土している。第３層内からは古墳時代～奈良時代に至る土器の小片が少量出土している。出土量はコンテナ箱にして約１箱分を数える。図示できたものは21点で、古墳時代前期に比定される壺（51）・第Ⅴ様式系甕（52・53）・庄内式甕（54～60）・小型丸底壺（61・62）・鉢（63・64）・器台（65）・高杯（66）・土錘（67）と、古墳時代後期末に比定される須恵器の杯身（68～70）・甕（71）である（第54図）。



第54図　包含層出土遺物実測図

第６節　第６調査区

第３調査区の南部に設定した南北に長い調査区（長さ約13m ）である。調査面積は約26㎡を測る。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる７層を基本層序とした。現地表面は標高9.4m を測る。

第１層盛土：層厚70～80cm。区画整理の工事による盛土である。

第２層耕土：層厚12～16cm。昭和57年まで耕作土として耕されていた土層である。

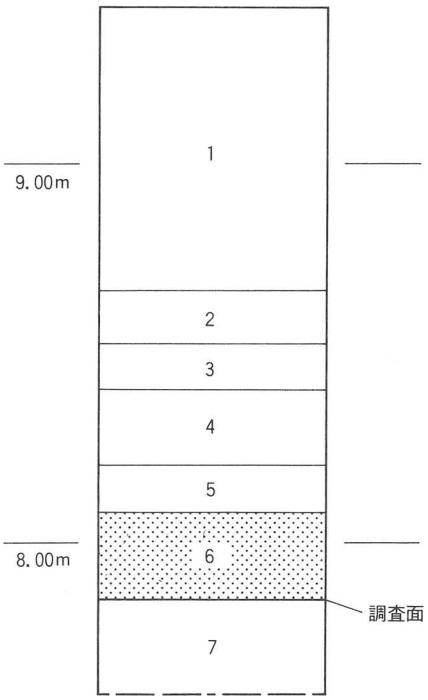
第３層茶褐色粘砂土：層厚８～14cm。耕土の床土である。

第４層茶灰褐色～灰茶褐色粘質土：層厚18～22cm。古墳時代～鎌倉時代にかけての土器の小片が少量出土している。

第５層暗茶褐色粗砂混粘質土：層厚８～20cm。古墳時代に比定される土器の小片が少量出土している。

第６層暗茶褐灰色粗砂混粘土：層厚20cm。古墳時代前期に比定される土器片が出土している。

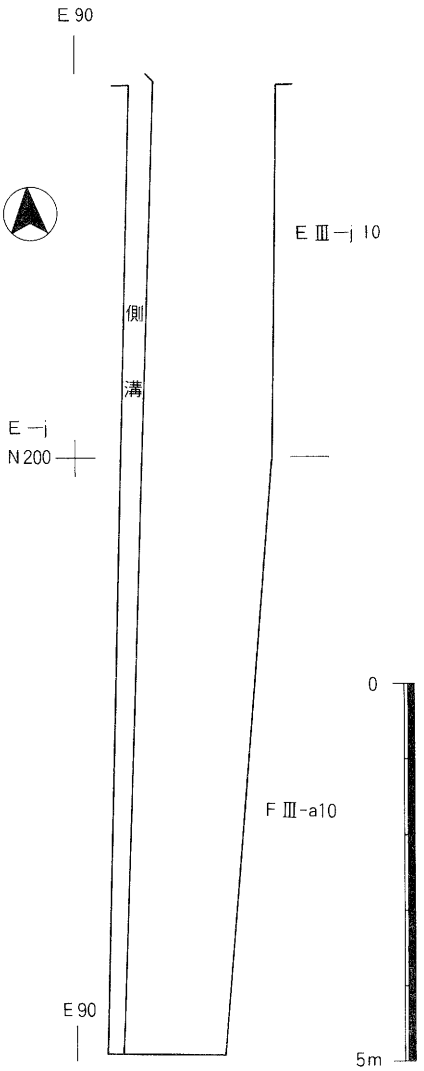
第７層茶灰色シルト混粘土：層厚25cm以上。この上面が調査面で、標高7.8m を測る。



第55図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

当調査区では第７層上面を調査面としたが、遺構は検出されなかった。出土遺物は第３層～第６層内から古墳時代前期～鎌倉時代に比定される土器の小片が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分程度である。このうち、ほとんどの遺物が第６層内からの出土である。この層は古墳時代前期に比定される包含層と考えられ、庄内式土器などの小片が出土している。器種には壺・第Ⅴ様式系甕・庄内式甕・高杯などがみられる。



第56図　第６調査区平面図

第７節　第７調査区

当調査区は第５調査区南端から西側に設定した東西に長い調査区（長さ40ｍ）で、昭和58年度第３次調査の28地区の東部にあたる。調査面積は約80㎡を測る。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる６層を基本層序とした。現地表面は標高9.2 ｍ前後を測る。

第１層耕土及び里道の盛土：層厚15～50cm。調査前までの耕作土と調査前までの里道である。

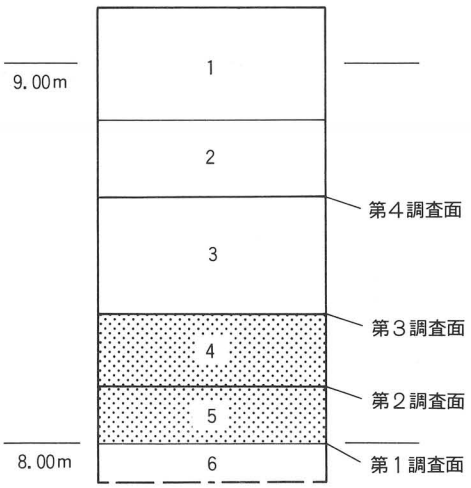
第２層濃灰茶色砂礫混砂質土：層厚18～24cm。
旧里道の土層である。

第３層灰褐色粘砂～砂質土：層厚18～28cm。
層内には鎌倉時代～江戸時代の遺物が含まれ、上面は標高8.6 ｍを測る。

第４層茶灰色砂礫混粘質土：層厚10～18cm。
土層内には鎌倉時代の遺物が含まれている。この上面は標高8.3 ｍを測り、江戸時代に比定される溝が切り込まれている。

第５層黄褐色砂礫混粘質土：層厚10cm。古墳時代～鎌倉時代の土器の小片が少量出土している。上面は標高8.1 ｍを測る。

第６層淡灰色微砂：層厚10cm。この上面には古墳時代前期に比定される遺構が切り込まれている。標高8.0 ｍを測る。



第57図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

当調査区では、第３面上面（第４調査面）、第４層上面（第３調査面）、第５層上面（第２調査面）、第６層上面（第１調査面）の４面を調査面とした。その結果、第１調査面では古墳時代前期に比定される溝２条（ＳＤ１・ＳＤ２）と、平安時代に比定される自然河川１条（河川１）を検出した。第２調査面では平安時代後期～鎌倉時代に至る井戸１基（ＳＥ１）・土坑１基（ＳＫ１）・小穴２個（ＳＰ１・ＳＰ２）・溝２条（ＳＤ３・ＳＤ４）を検出した。第３調査面では鎌倉時代後期～室町時代に至る溝６条（ＳＤ５～ＳＤ10）を検出した。第４調査面では江戸時代に比定される溝８条（ＳＤ11～ＳＤ18）を検出した。

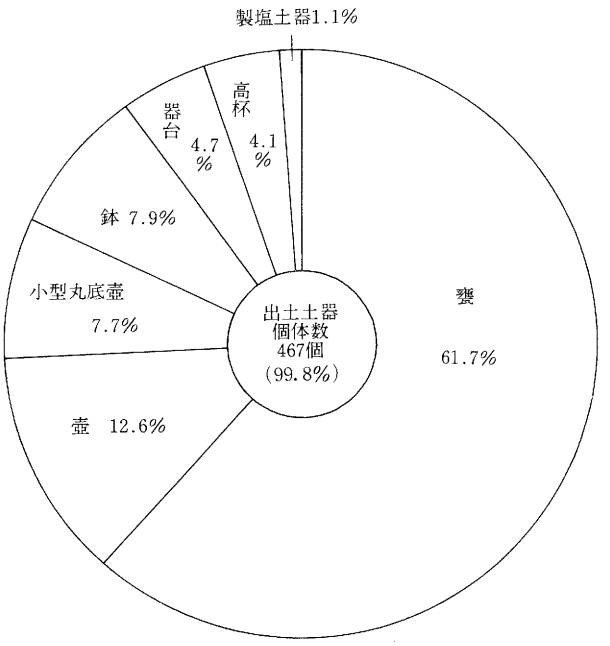
第１調査面

溝（ＳＤ）

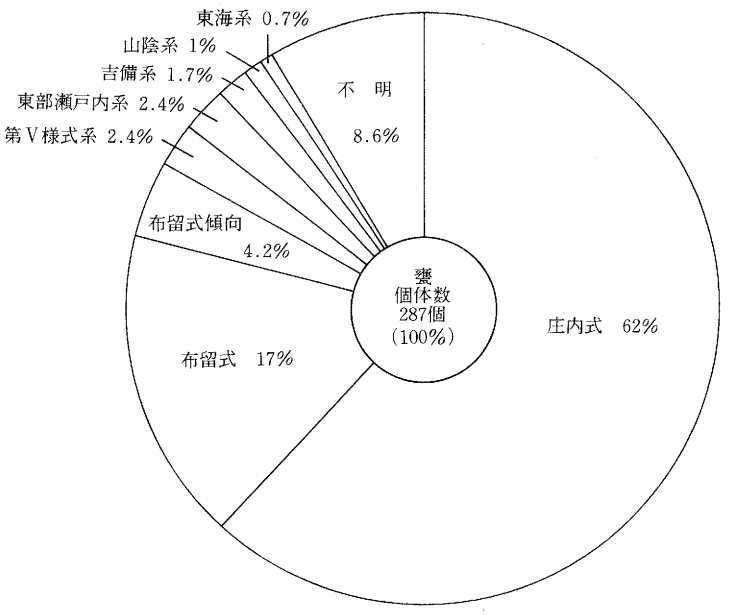
ＳＤ１

ＧⅣ－ｄ２区で検出した溝である。方向は南東－北西方向を示す。南北はともに調査区外に至るが、南側に位置する第９調査区の第１調査面から検出しているＳＤ１に続くものと考えられる。規模は検出部で、幅約７ｍ、深さ70cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は、上方から第１層茶灰色粘質土・第２層暗茶灰色粘質土・第３層茶灰褐色砂混粘質土・第４層灰褐色粘質土（細砂ブロック含む）・第５層黄褐色砂礫混粘質土・第６層黒灰色粘土（炭・細砂を含む）・第７層暗青灰色砂混粘土・第８層暗青灰色粗砂・第９層暗灰青色粘質土で構成されている。(第58図)。

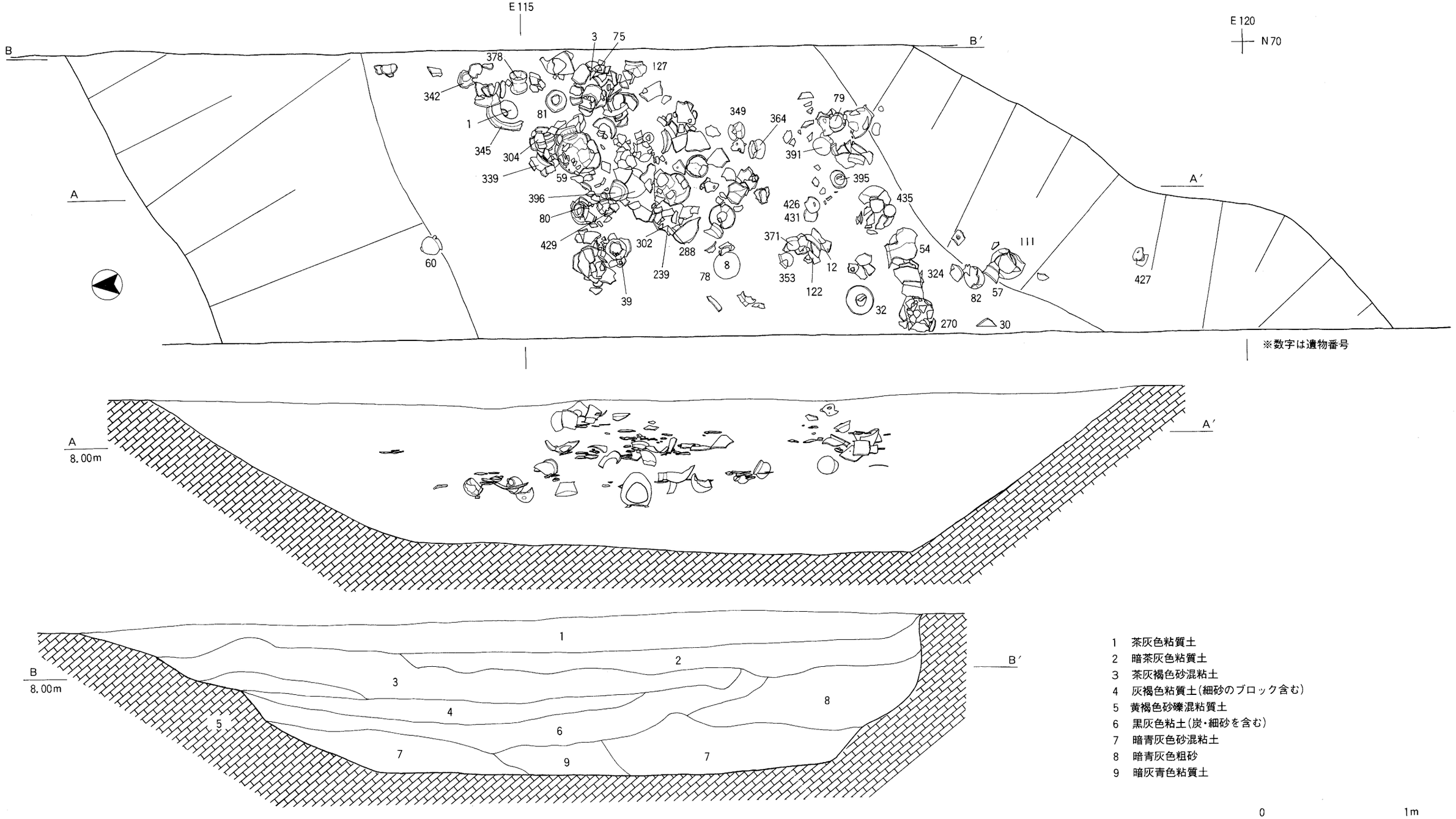
遺物は、第１層から底面付近までに堆積する土層内から古墳時代前期（庄内式新相～布留式古相）に比定される土器が多量に出土した。出土した土器は上層（第１層～第５層）と、下層（第６層～第８層）に分けて取上げている。しかし、土器の出土状況をみると、上層から底面付近まで土器の破片が密に詰まった状態である。上層と下層の土器には時期差がみられなかった。出土量は上層が20箱分、下層が10箱分で計30箱分を数える。このうち図示できたものは467点を数える。器種には壺59点（１～59）・第Ⅴ様式系甕７点（60～66）・庄内式甕178点(67～244)・布留式傾向甕12点(245～256)・布留式甕48点(257～304)・東部瀬戸内系甕７点(329～335)・吉備系甕６点(337～342)・山陰系甕３点(343～345)・東海系甕２点(346～347)・その他の甕25点(305～328・336)・小型丸底壺34点(348～381)・ミニチュア壺１点(410)・鉢39点（382～409・411～421)・器台22点(422～443)・高杯19点(444～462)・製塩土器５点(463～467)がある（第58図～第85図)。器種別の割合いは甕が６割を占め、圧倒的に多い。このうち約６割が庄内式甕である。以下、器種別では壺12.6%、甕61.7%、小型丸底壺7.7 %、鉢7.9 %、器台4.7 %、高杯4.1 %、製塩土器1.1 %の割合いである（第６表)。また、土器には他地域の土器がみられる。割合いは全体の約１割程度である。器種には壺・甕・鉢・高杯・製塩土器がある。このうち甕に多くみられる。地域ごとにみると、摂津、紀伊、大和、吉備、山陰、東海などの地方のものがみられる。甕（個体数287点)でみる割合いは庄内式62%、布留式傾向4.2 %、布留式17%、第Ⅴ様式系2.4 %、東部瀬戸内系2.4 %、吉備系1.7 %、山陰系1.0 %、東海系0.7 %、不明の甕8.6%である（第７表)。また、庄内式甕には大和型に多い左上りのタタキ目をもつ甕５点（240～244）がみられるが、胎土は生駒山西麓にみられる特徴をもつもので、中河内方の庄内式甕と考えられる（第59図～第85図)。



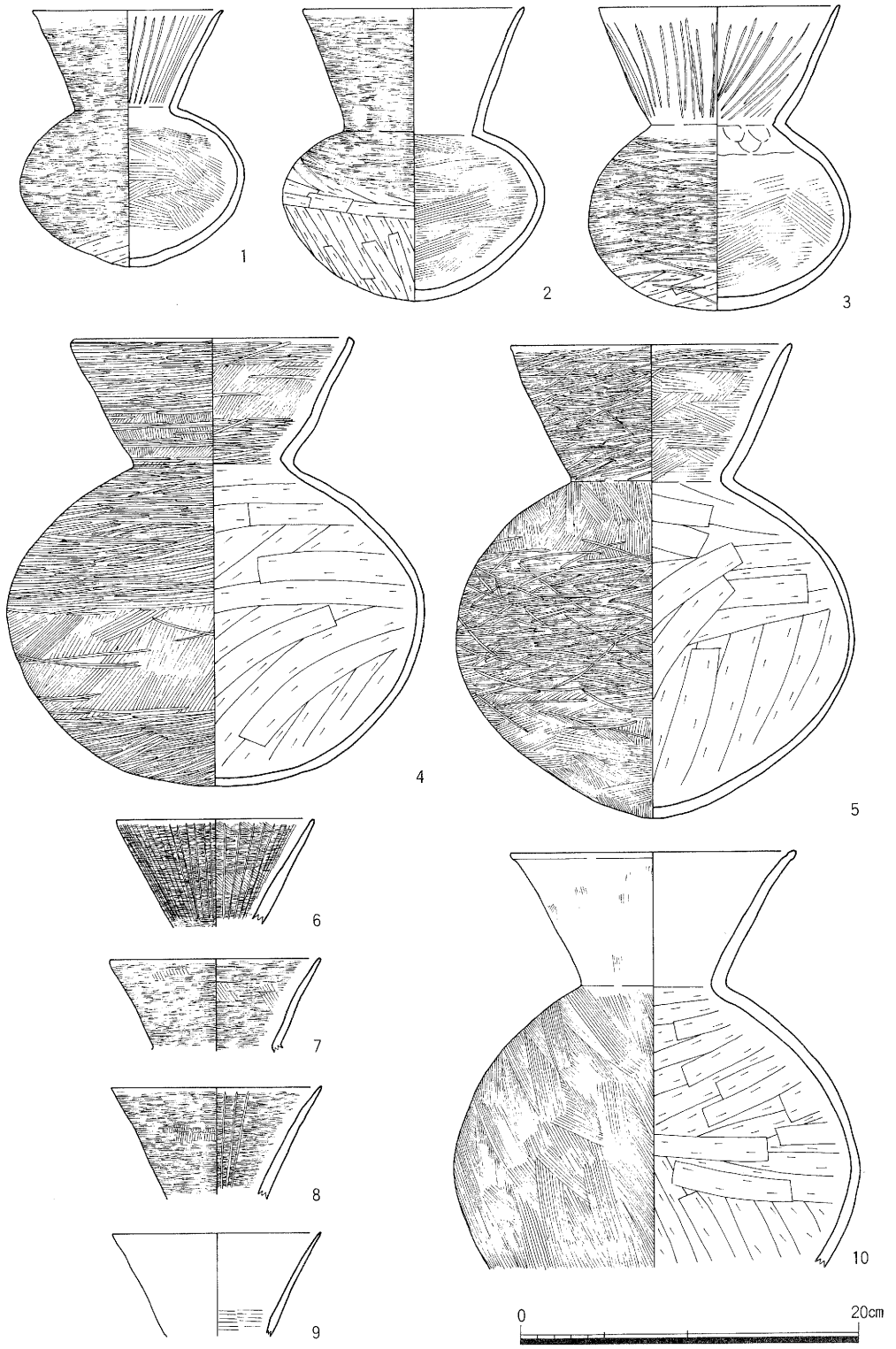
第６表　ＳＤ１出土土器器種別割合表



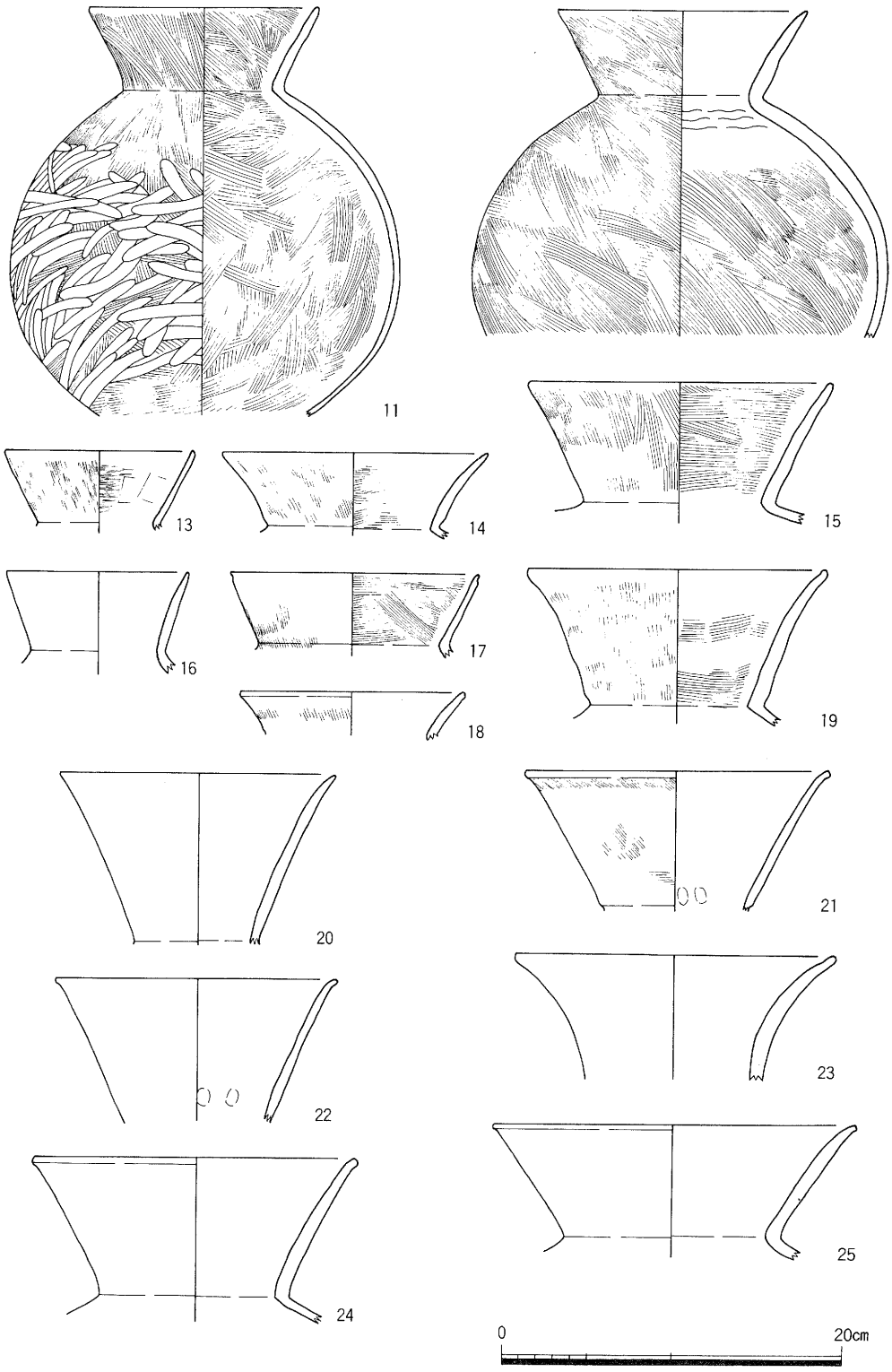
第７表　ＳＤ１甕分類表



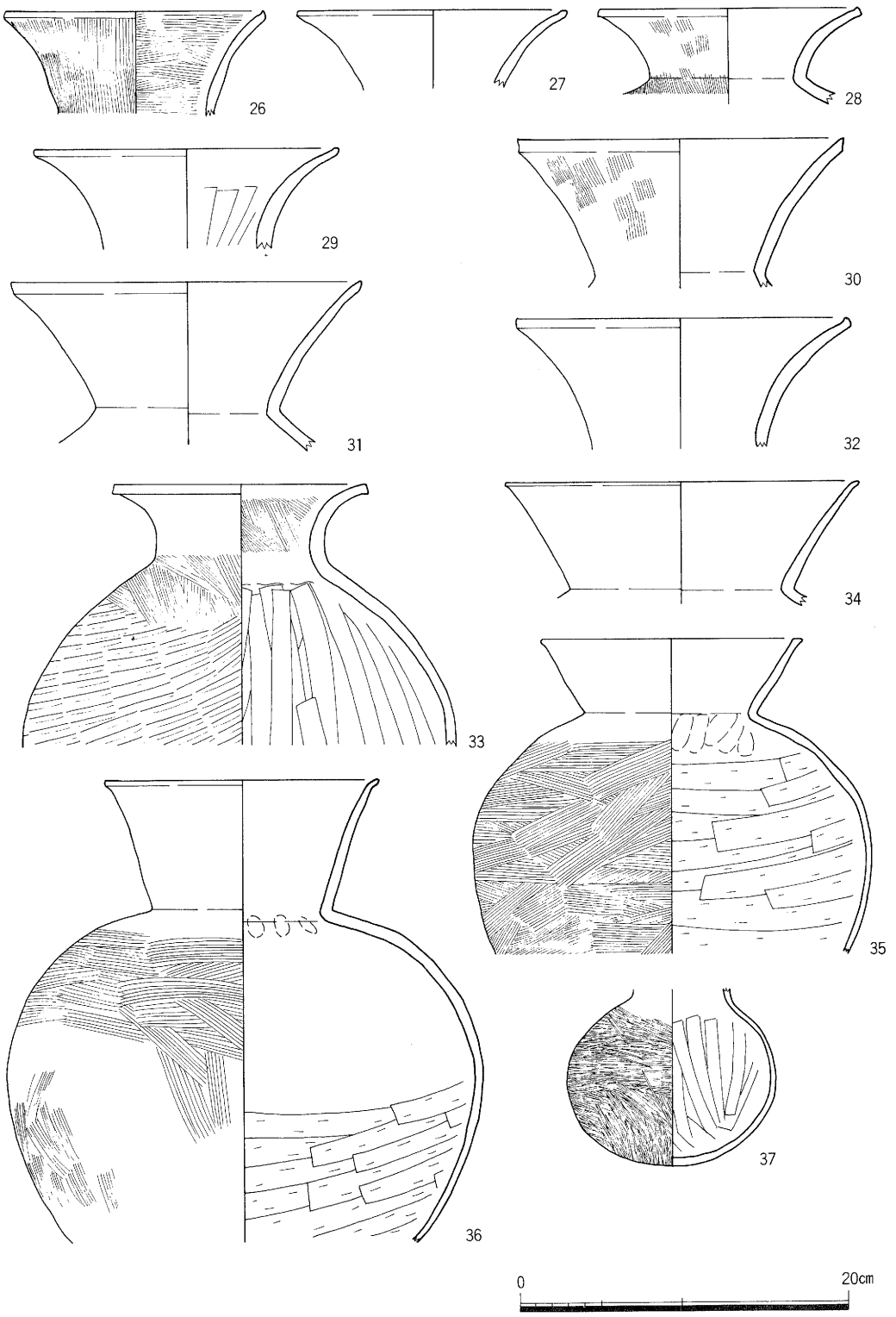
第58図　ＳＤ１検出遺物平断面図及び断面図



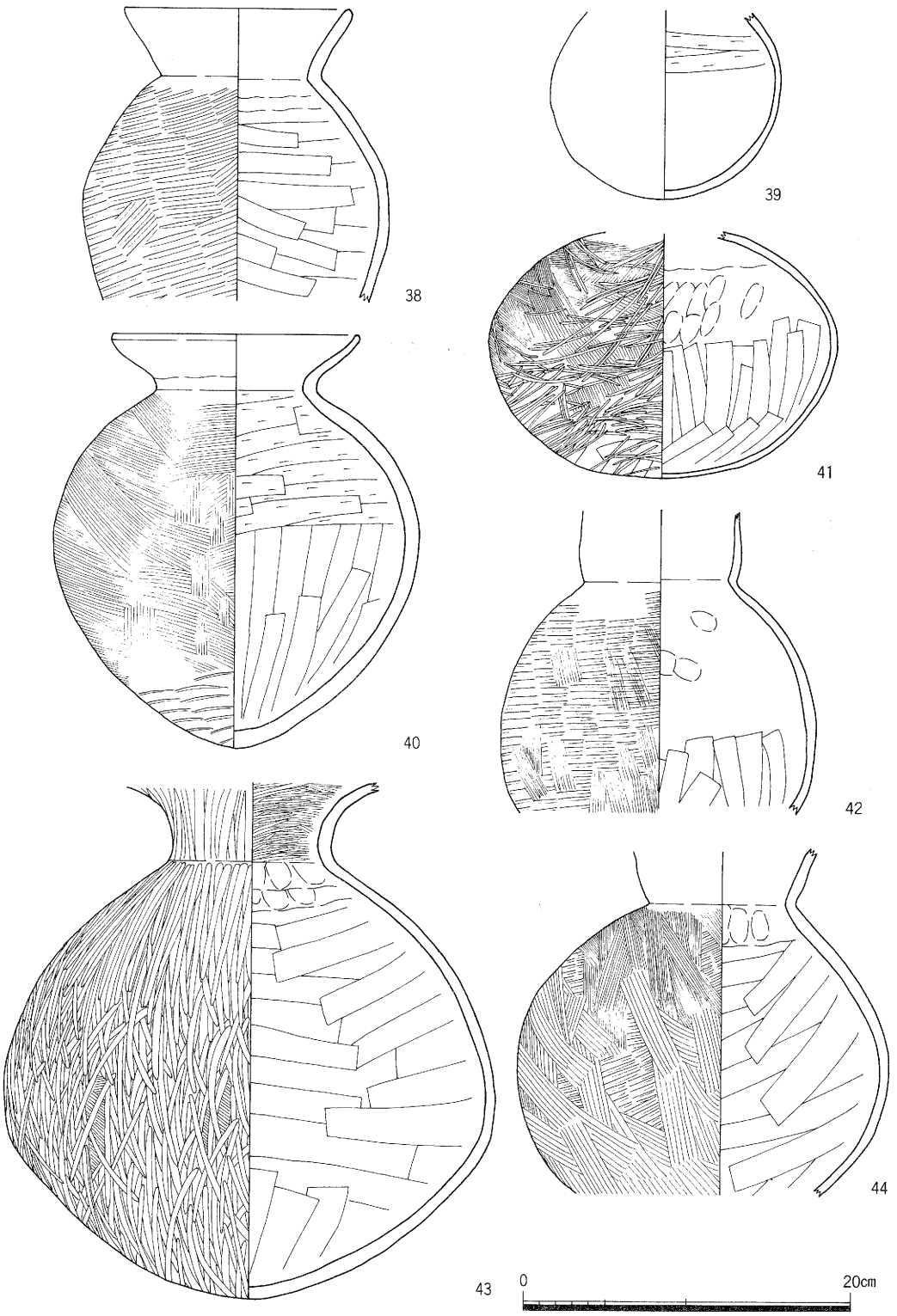
第59図　ＳＤ１出土遺物実測図１



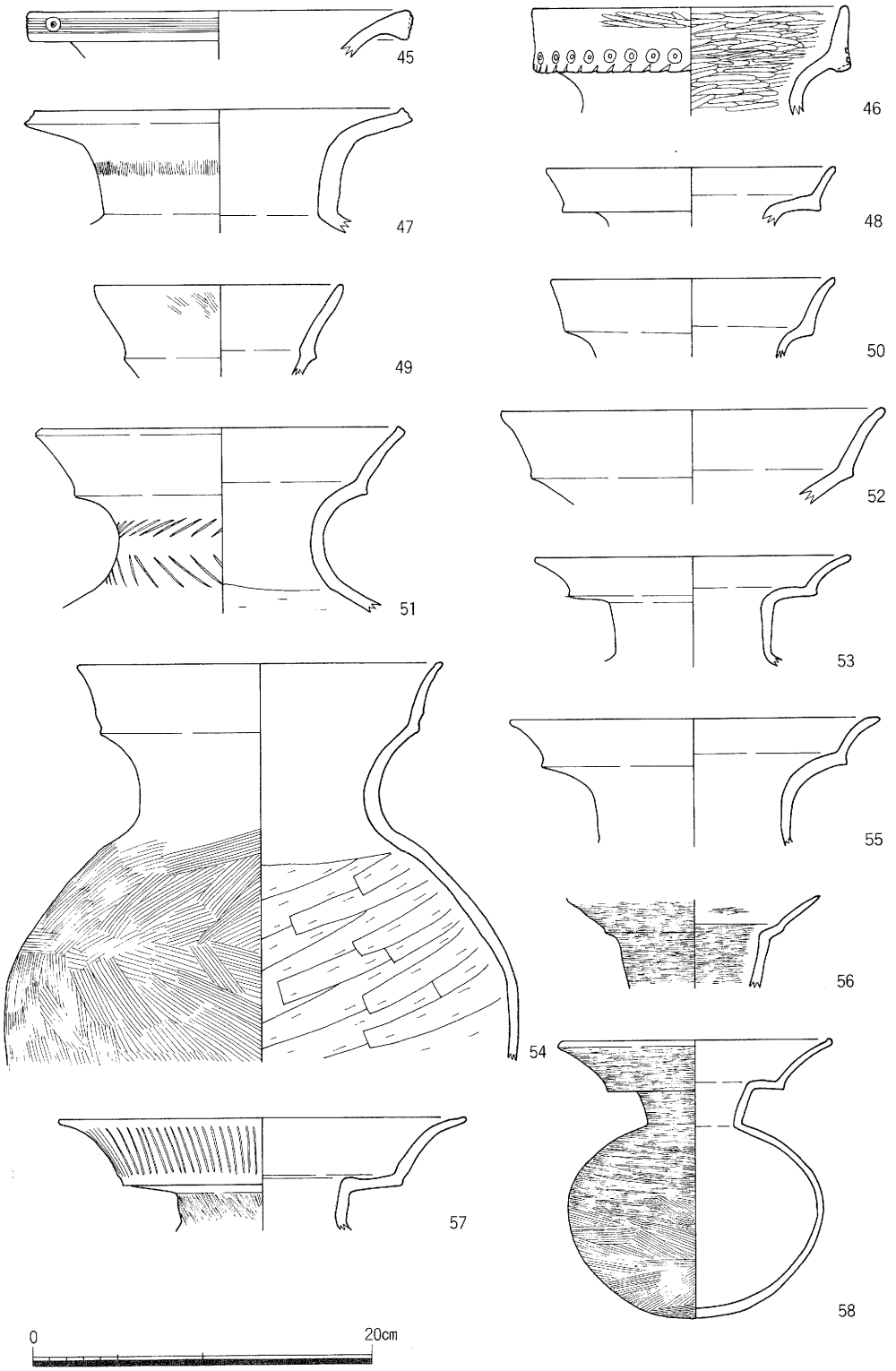
第60図　ＳＤ１出土遺物実測図２



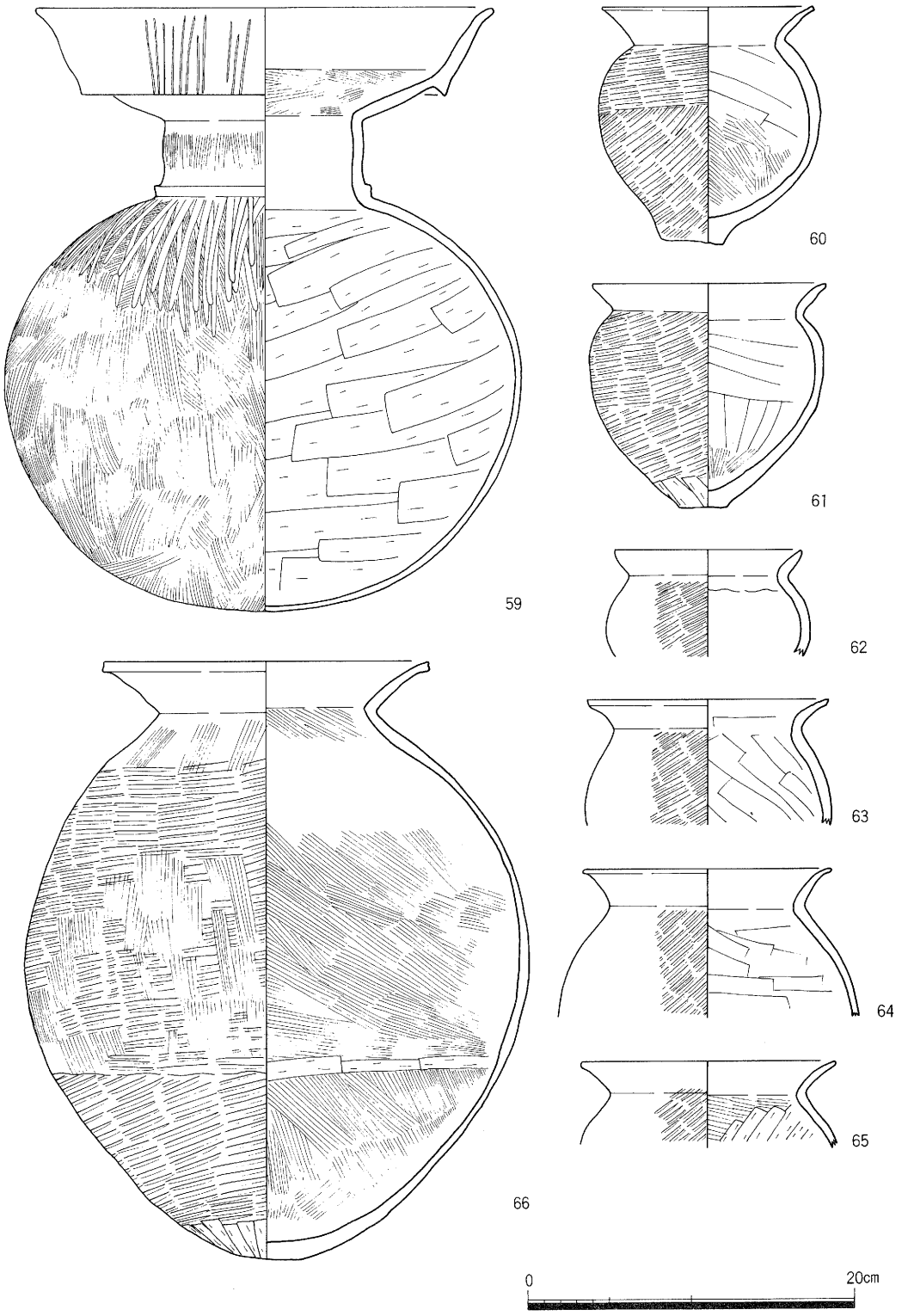
第61図　ＳＤ１出土遺物実測図３



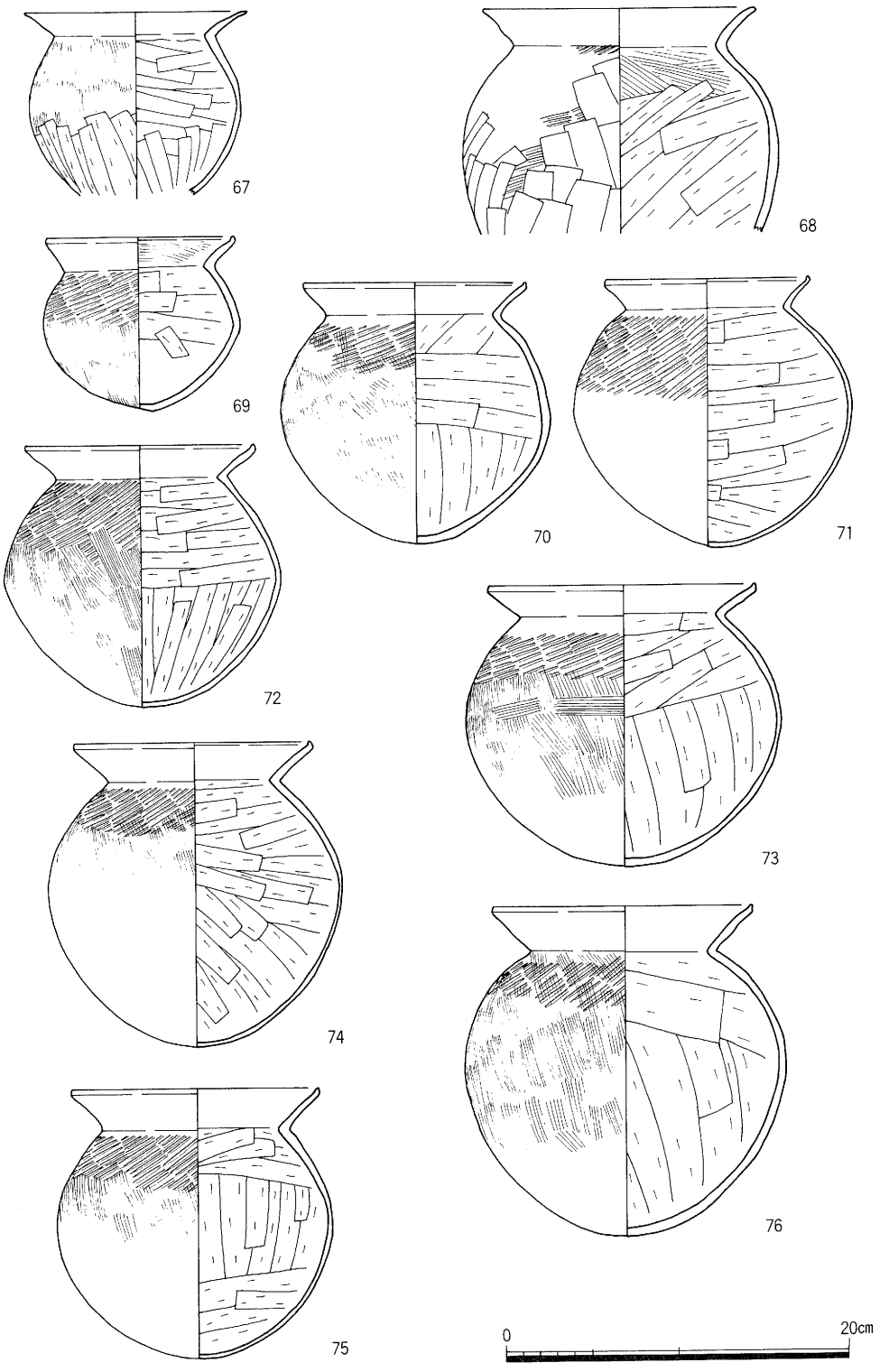
第62図　ＳＤ１出土遺物実測図４



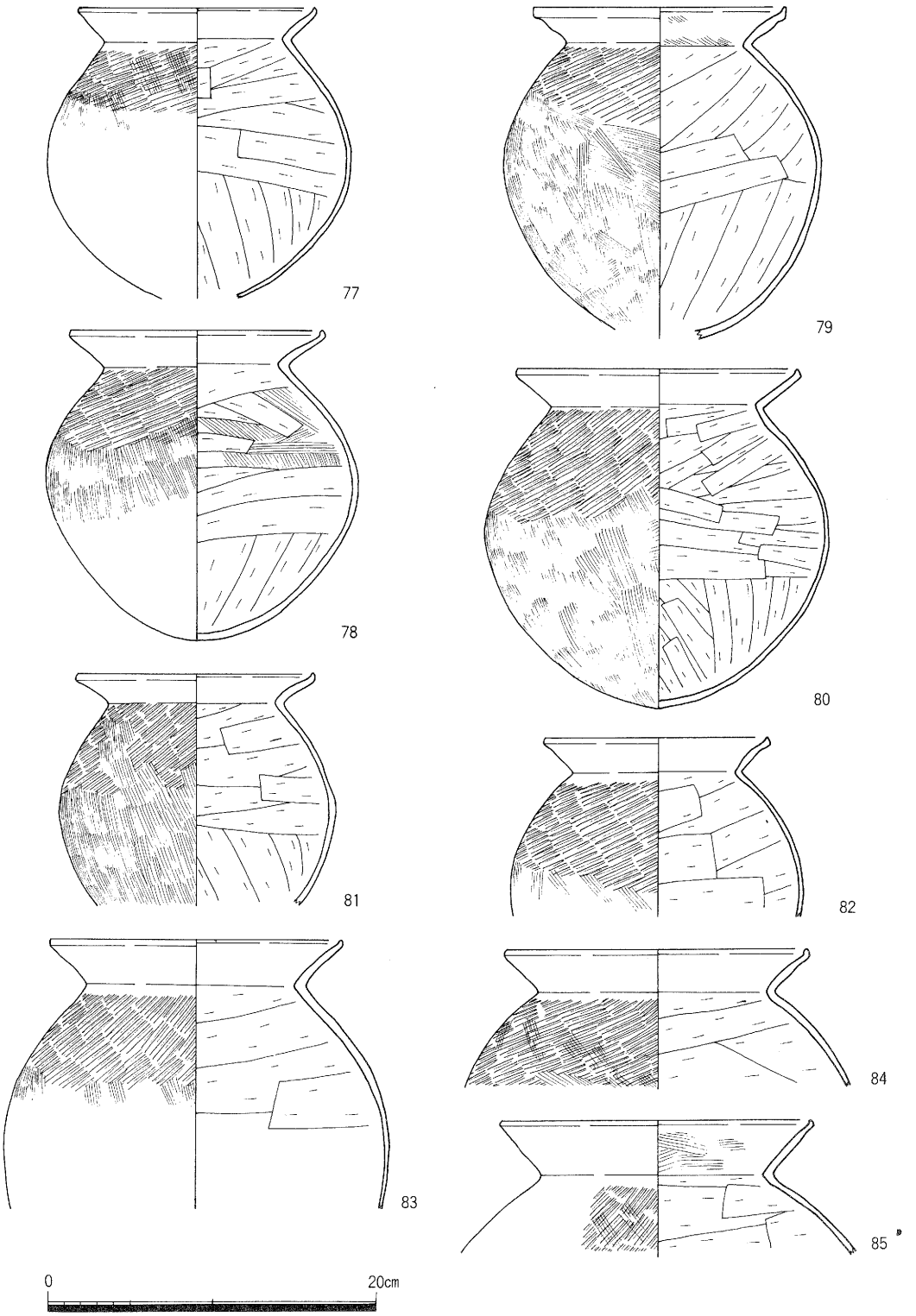
第63図　ＳＤ１出土遺物実測図５



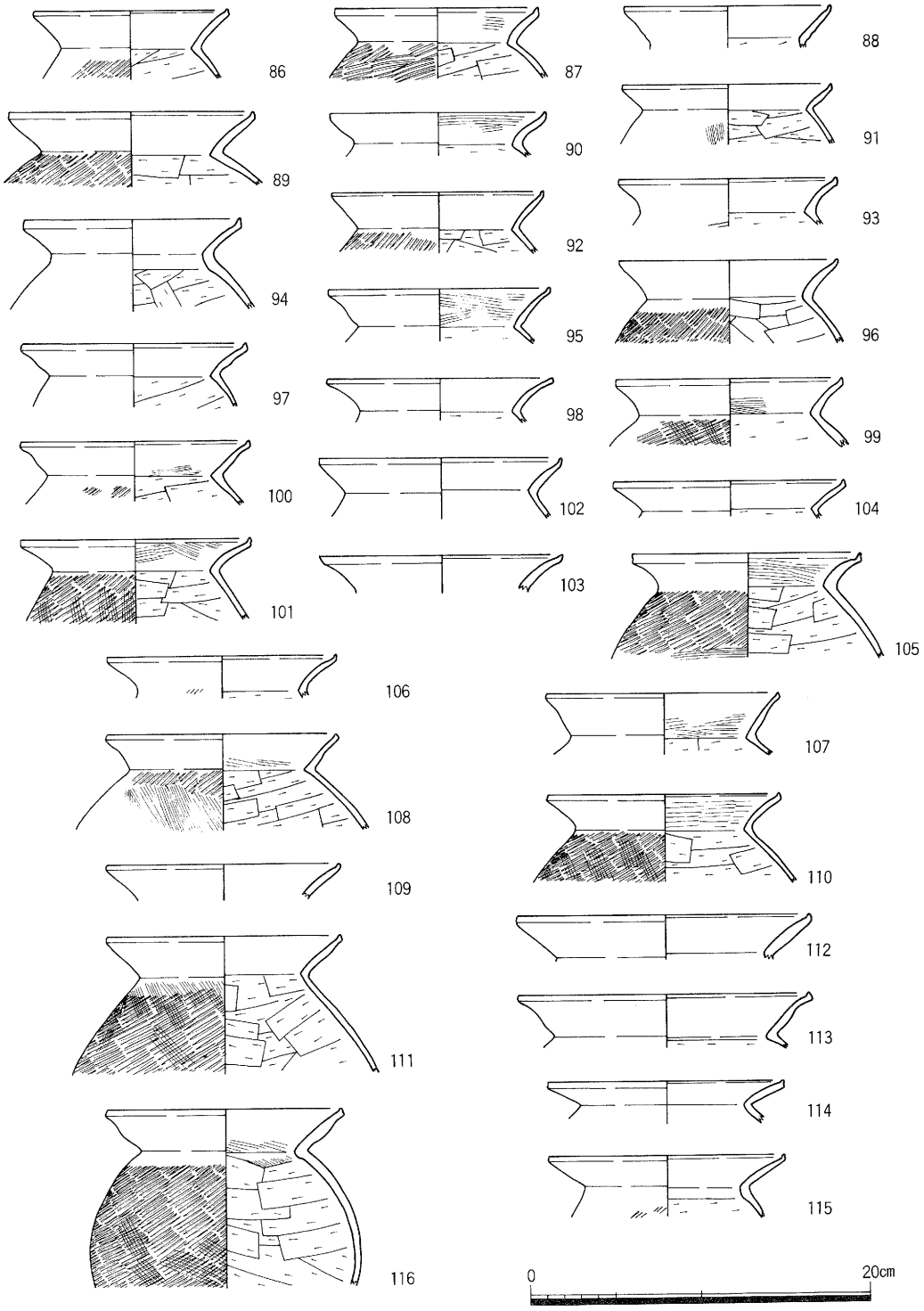
第64図　ＳＤ１出土遺物実測図６



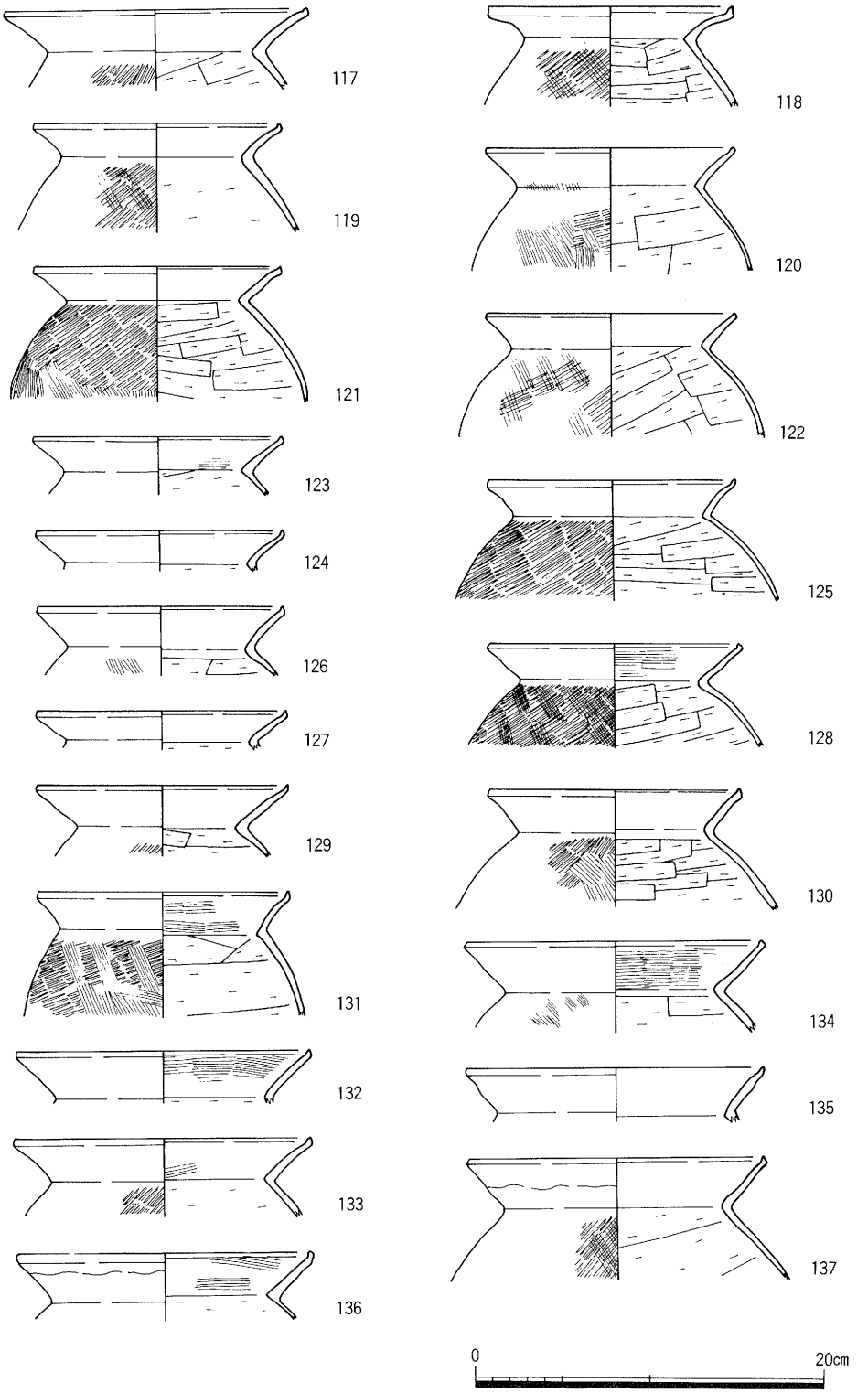
第65図　ＳＤ１出土遺物実測図７



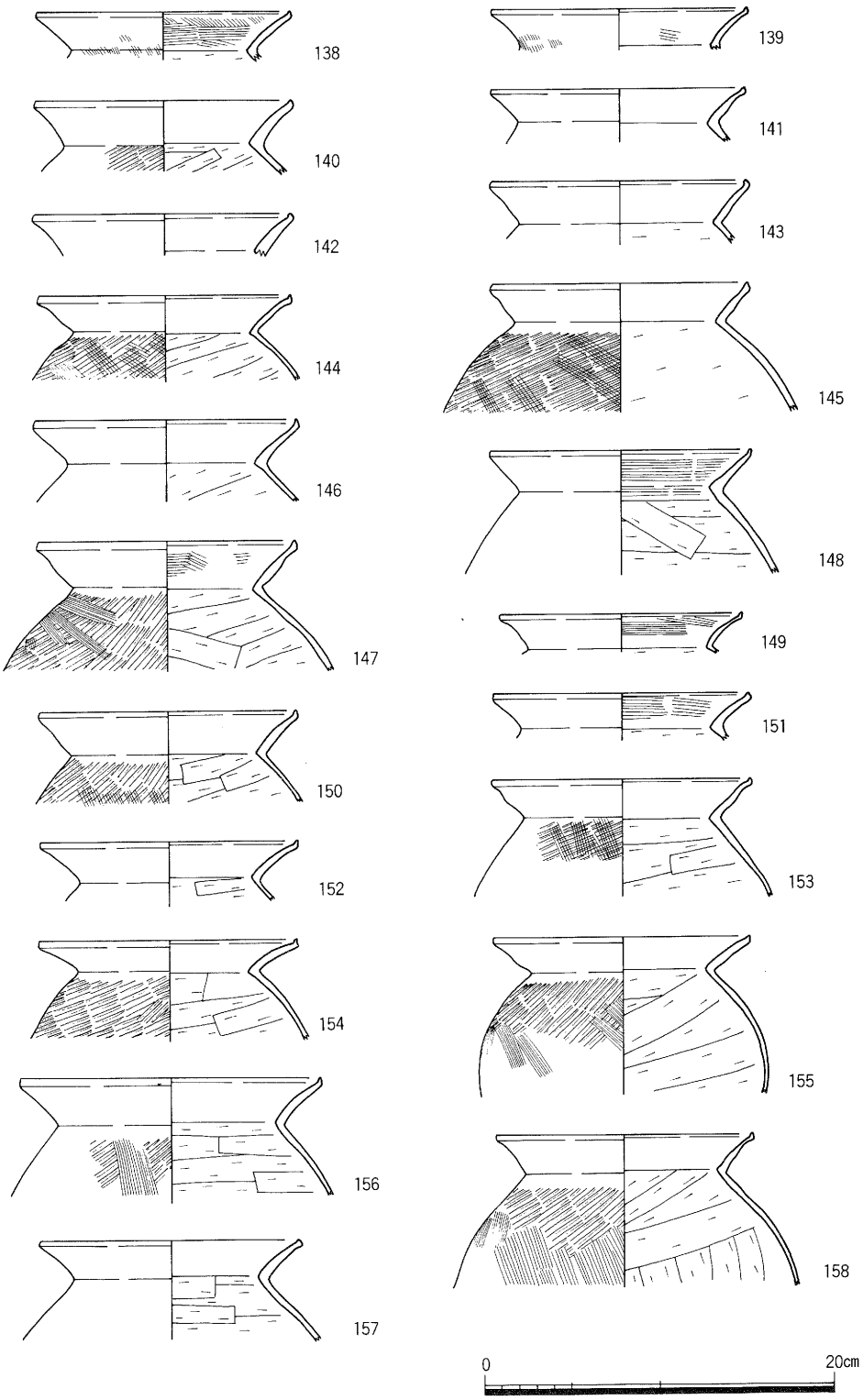
第66図　ＳＤ１出土遺物実測図８



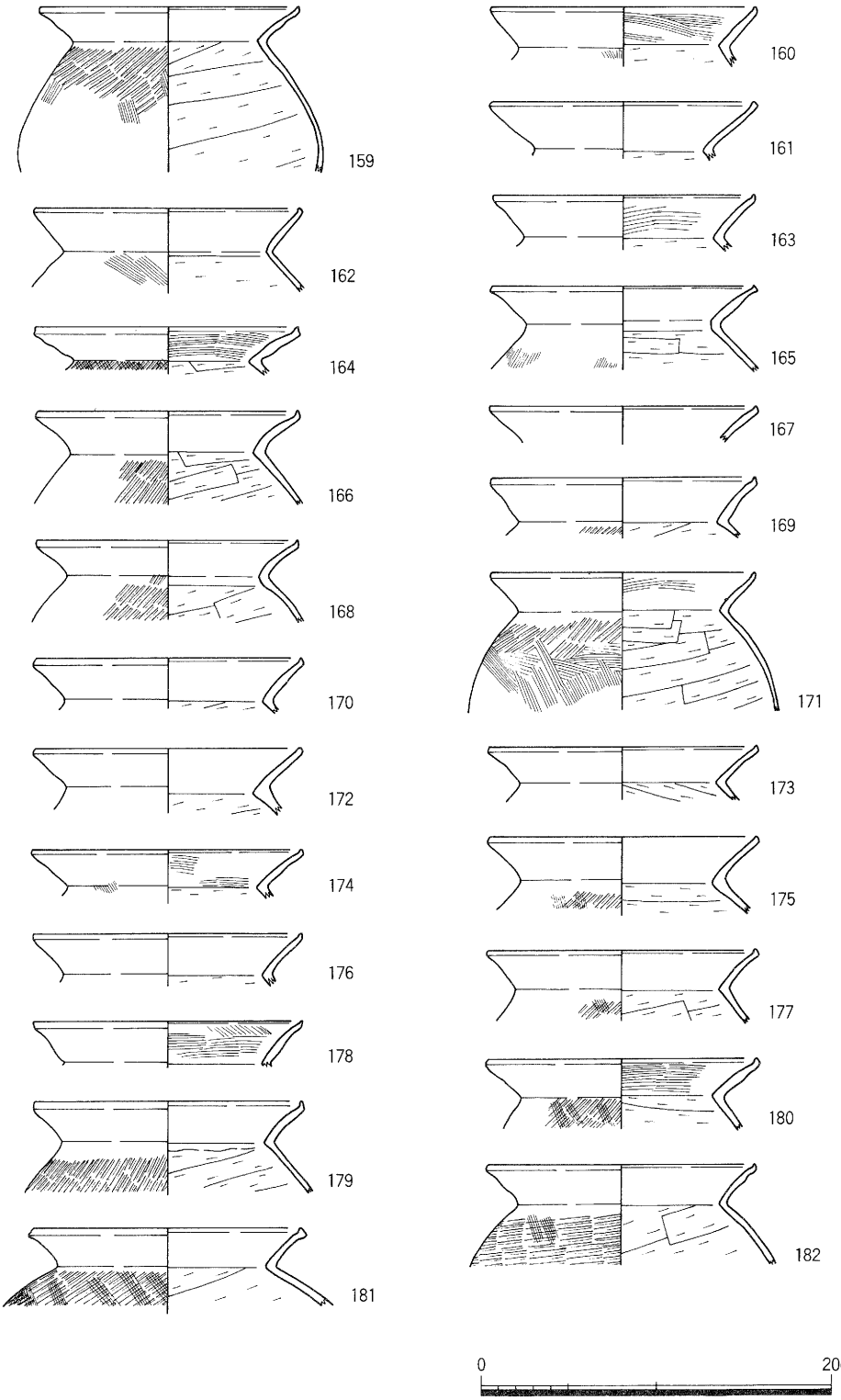
第67図　ＳＤ１出土遺物実測図９



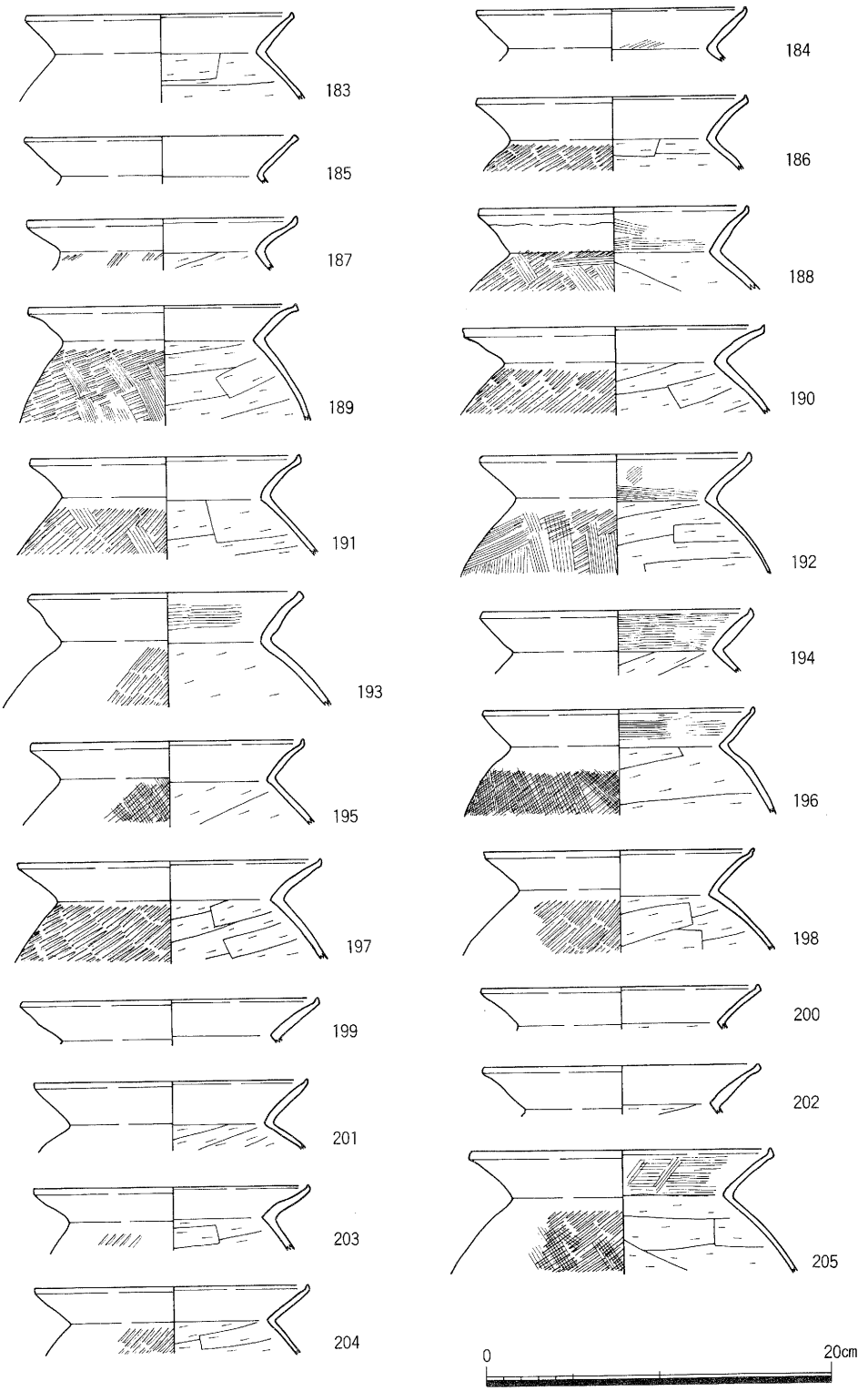
第68図　ＳＤ１出土遺物実測図10



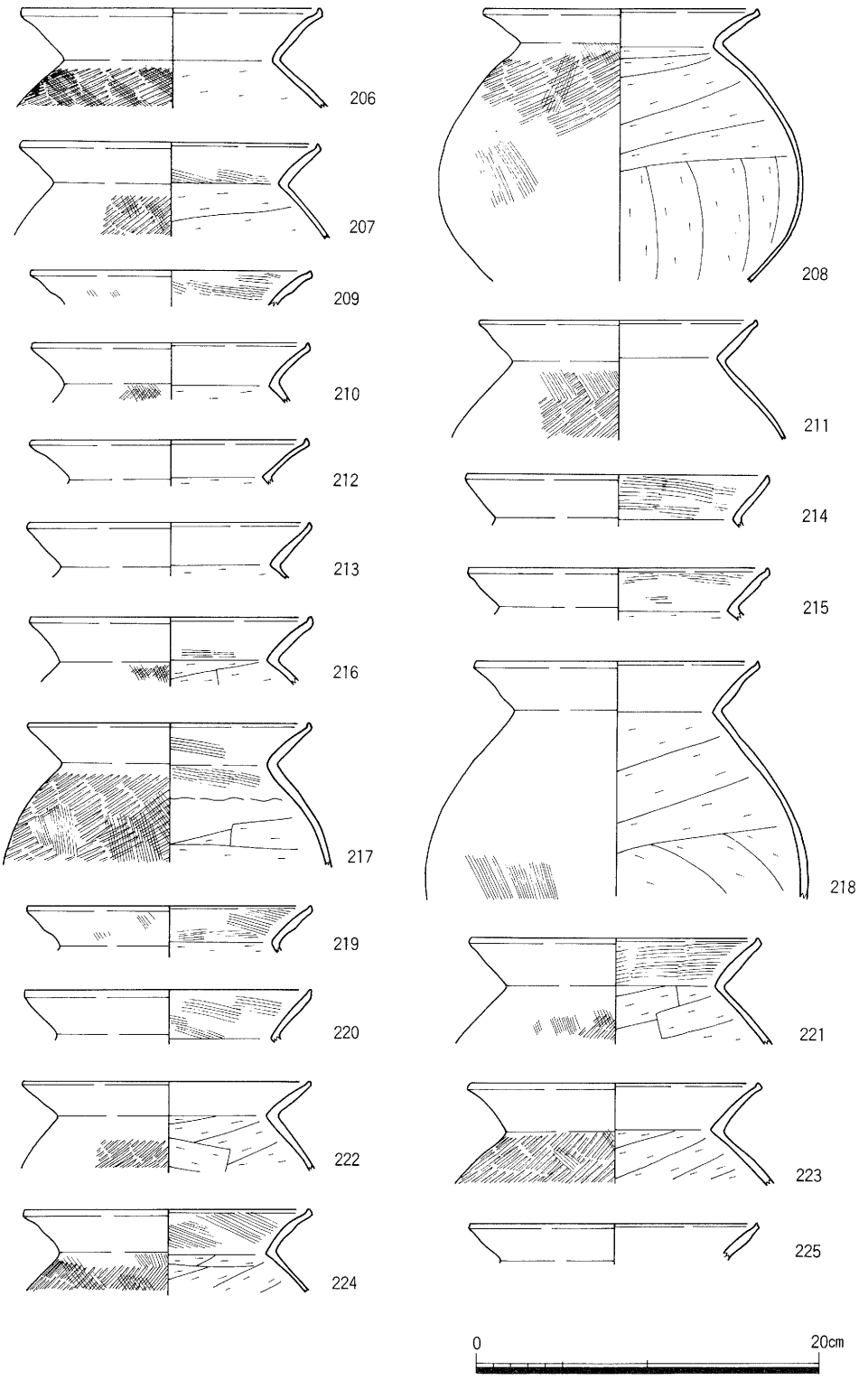
第69図　ＳＤ１出土遺物実測図11



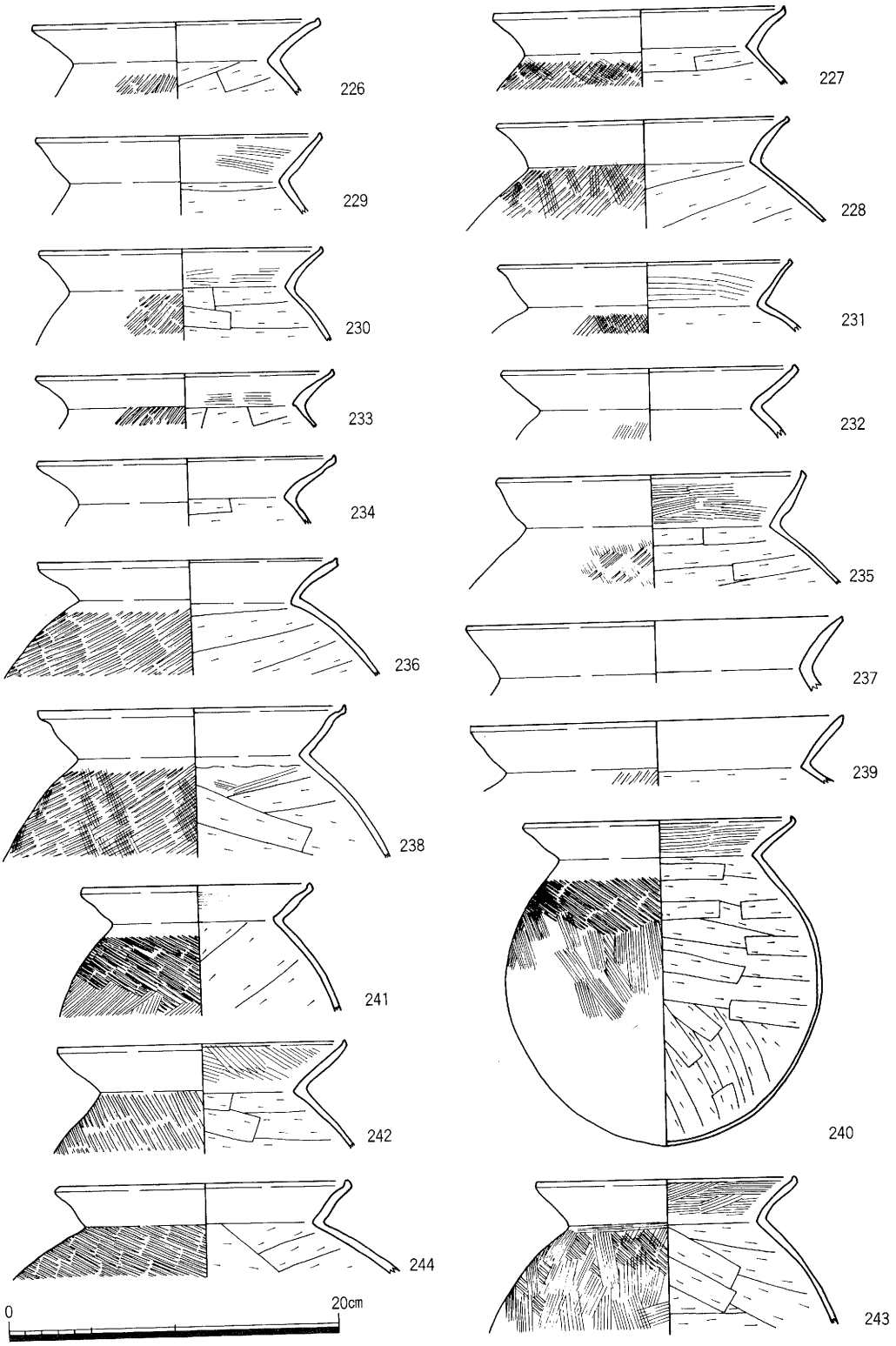
第70図　ＳＤ１出土遺物実測図12



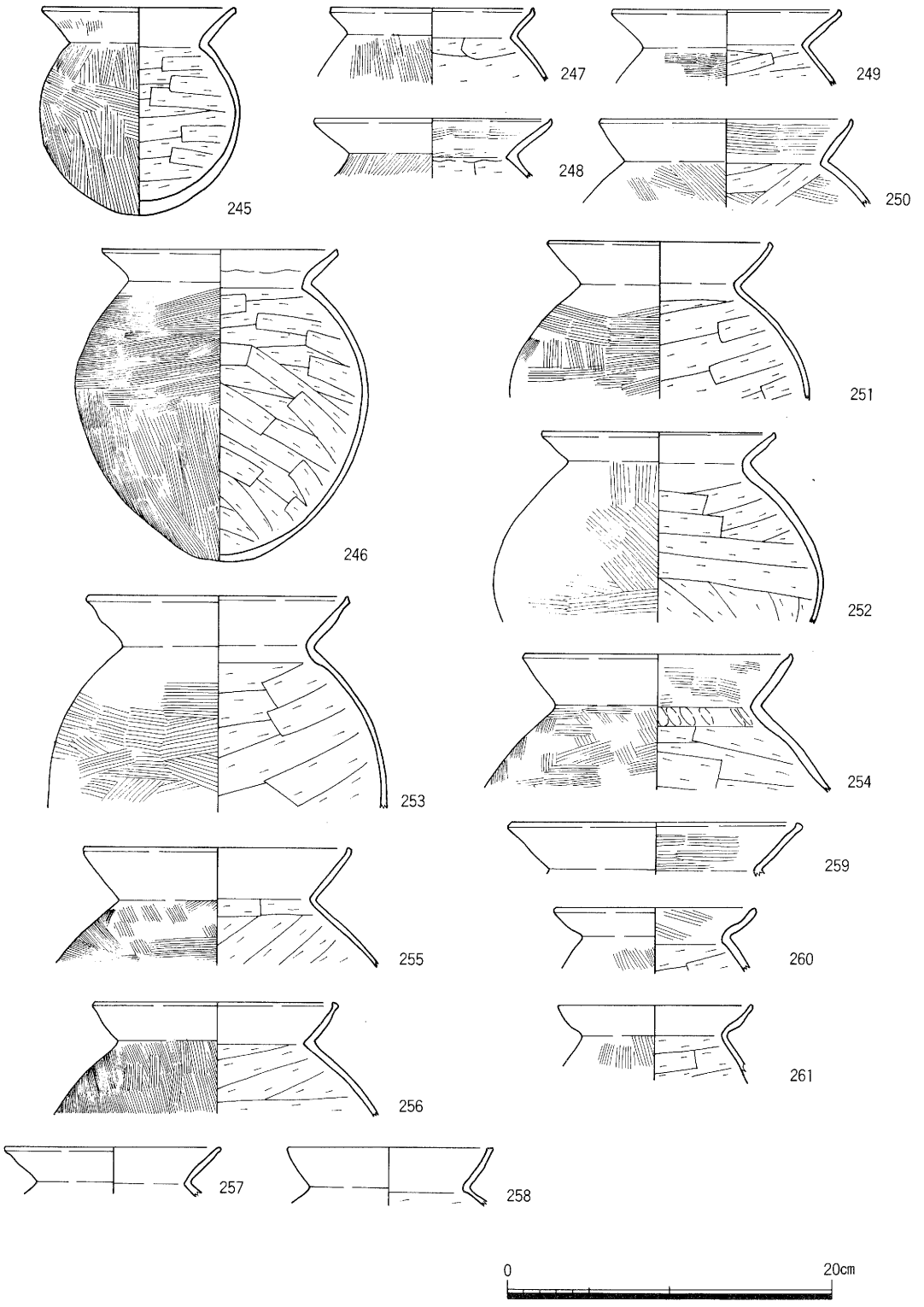
第71図　ＳＤ１出土遺物実測図13



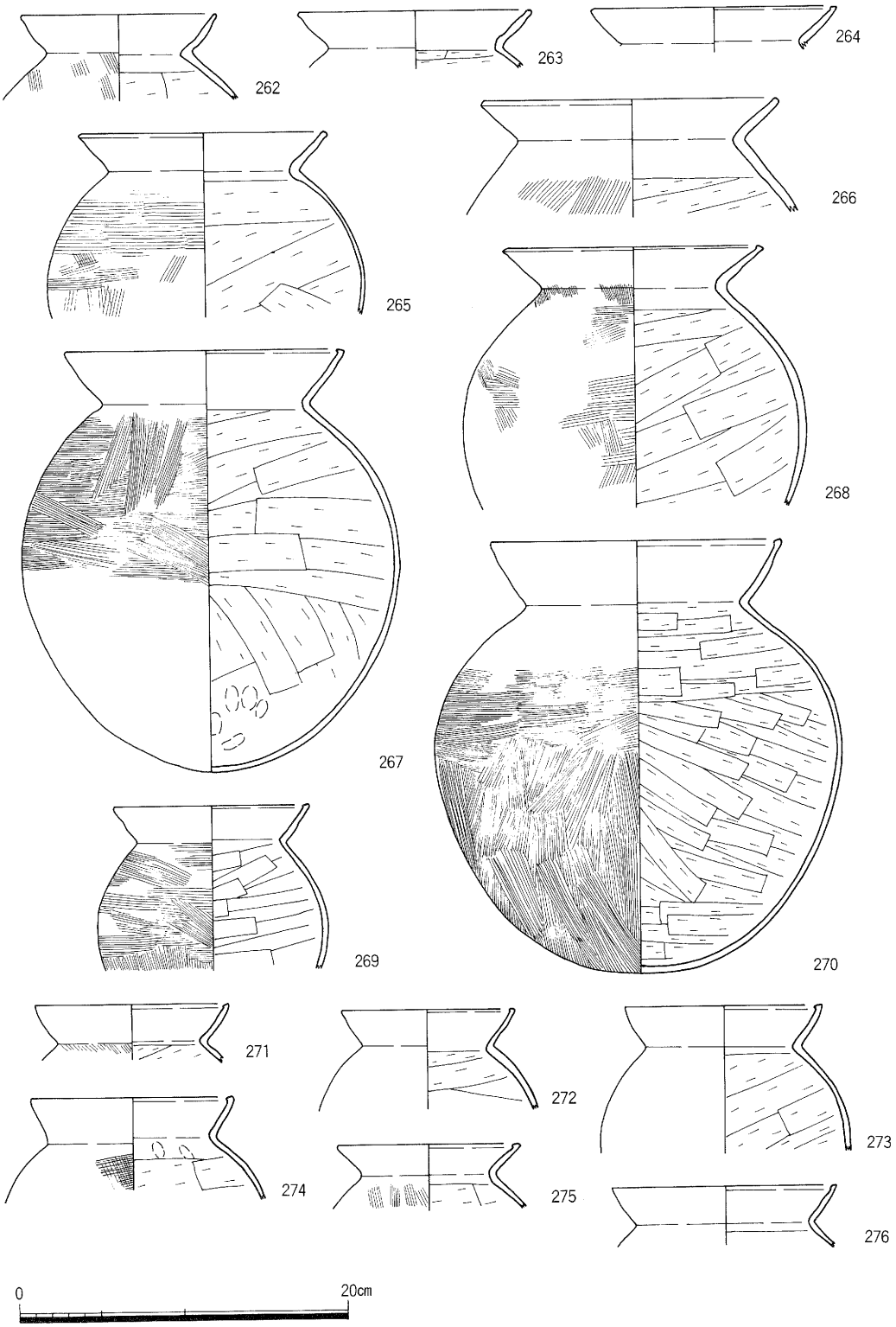
第72図　ＳＤ１出土遺物実測図14



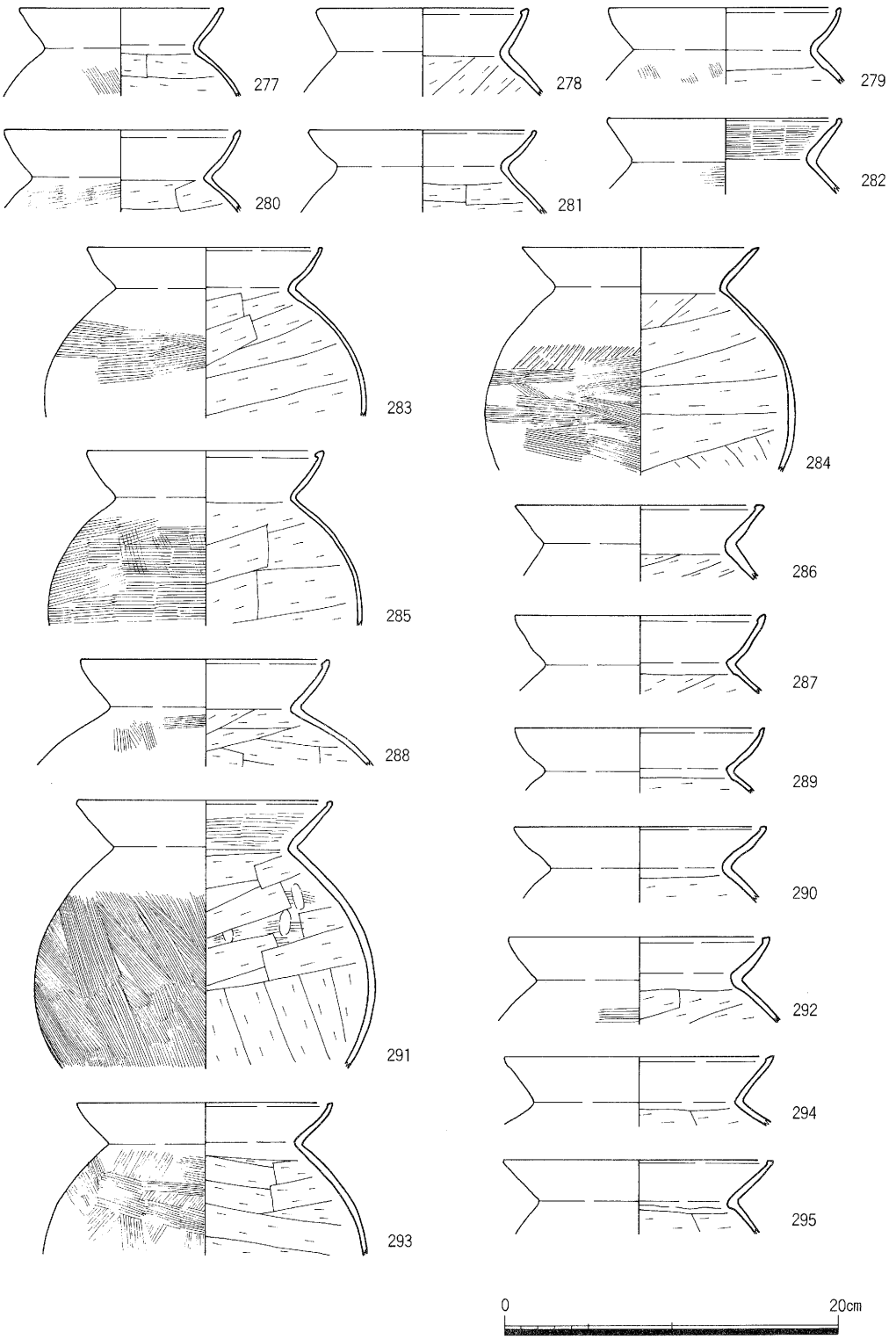
第73図　ＳＤ１出土遺物実測図15



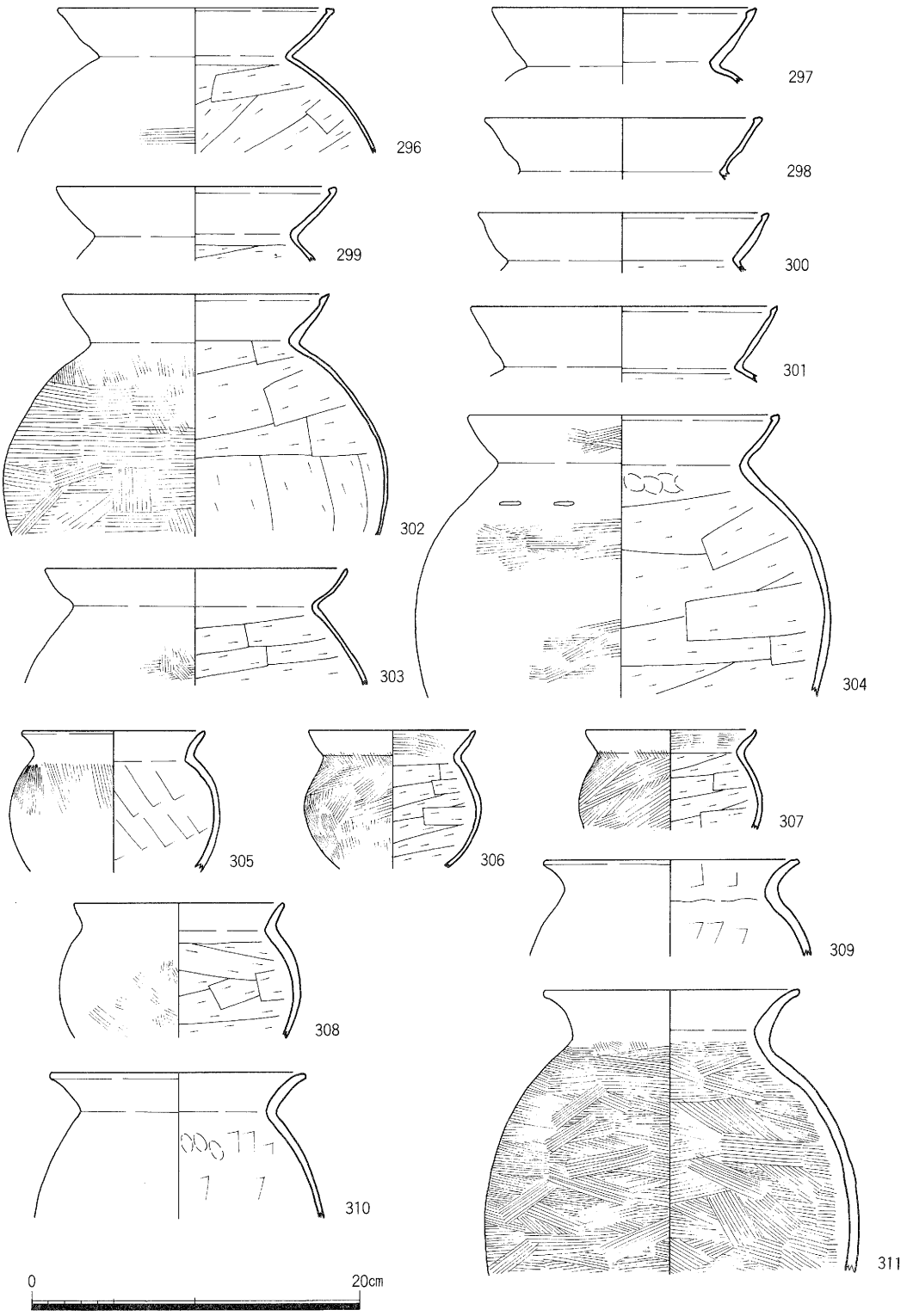
第74図　ＳＤ１出土遺物実測図16



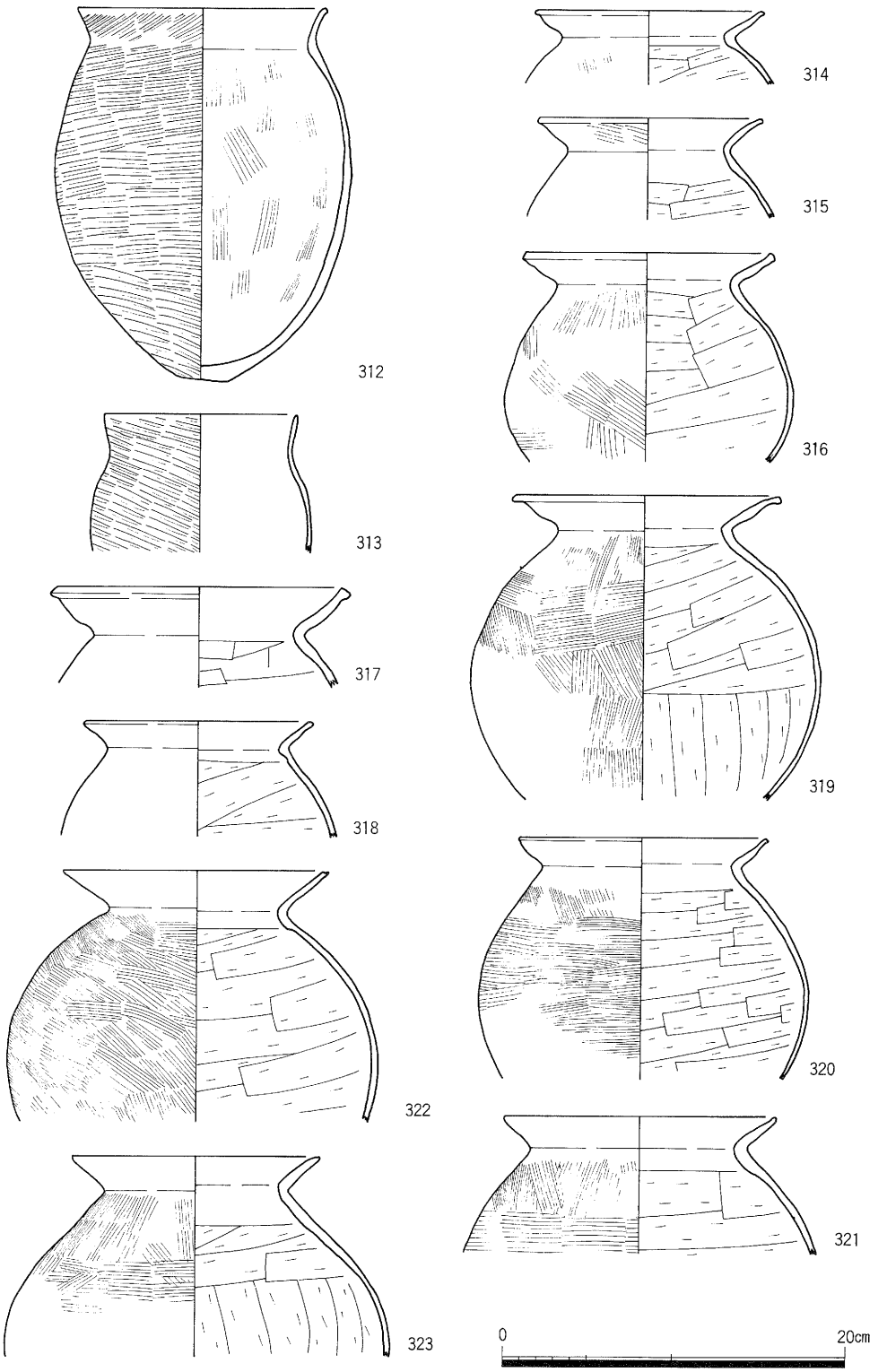
第75図　ＳＤ１出土遺物実測図17



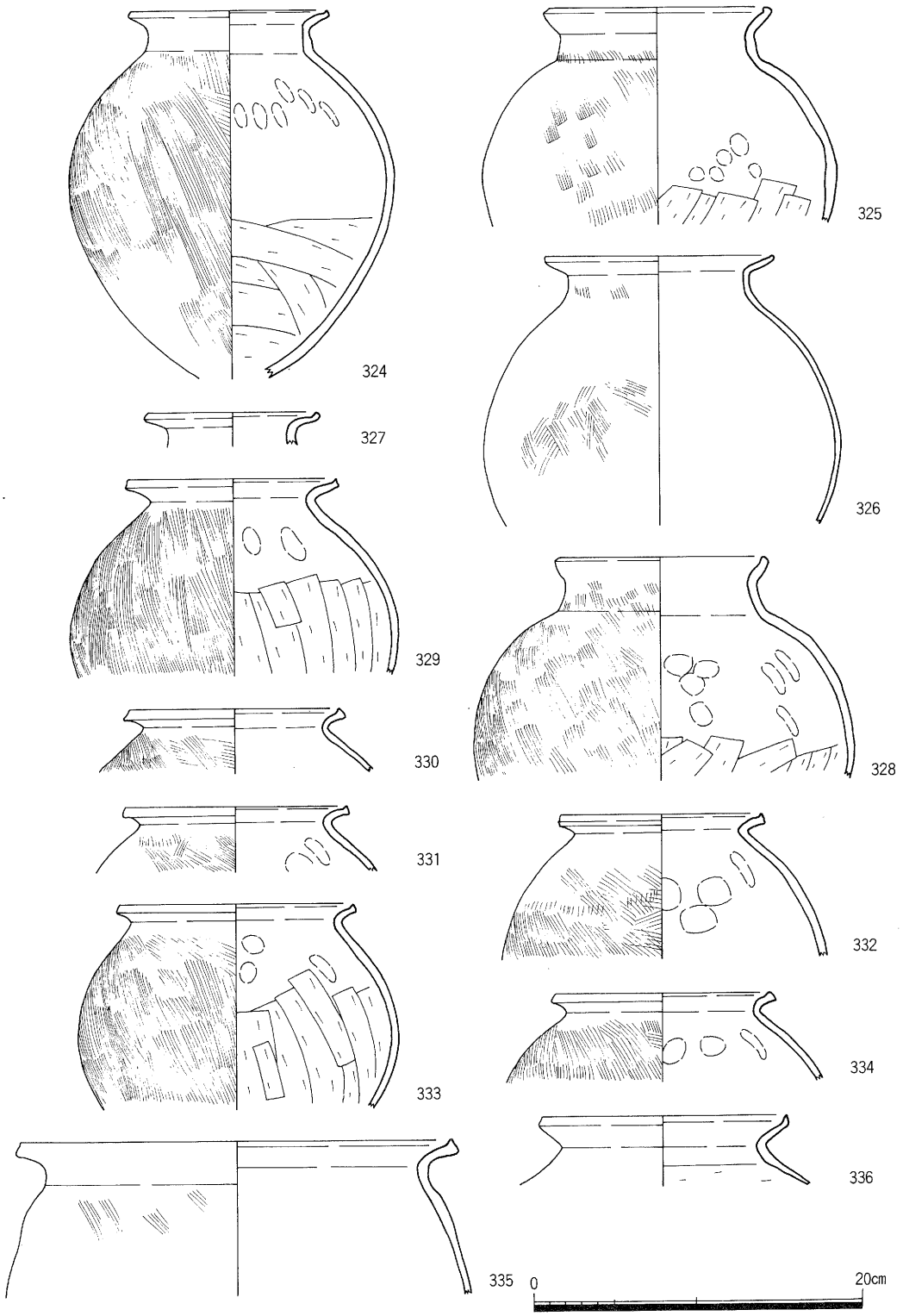
第76図　ＳＤ１出土遺物実測図18



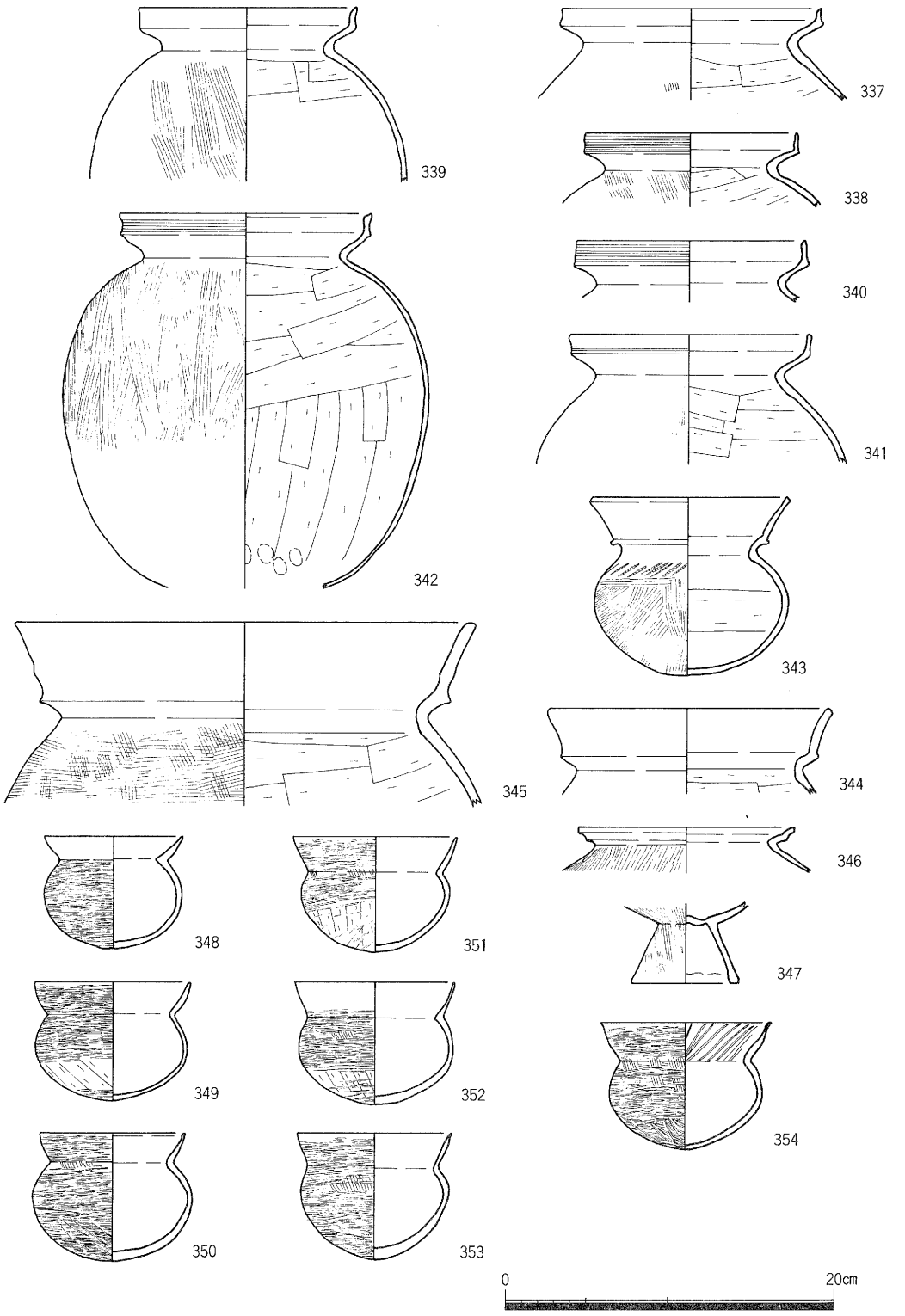
第77図　ＳＤ１出土遺物実測図19



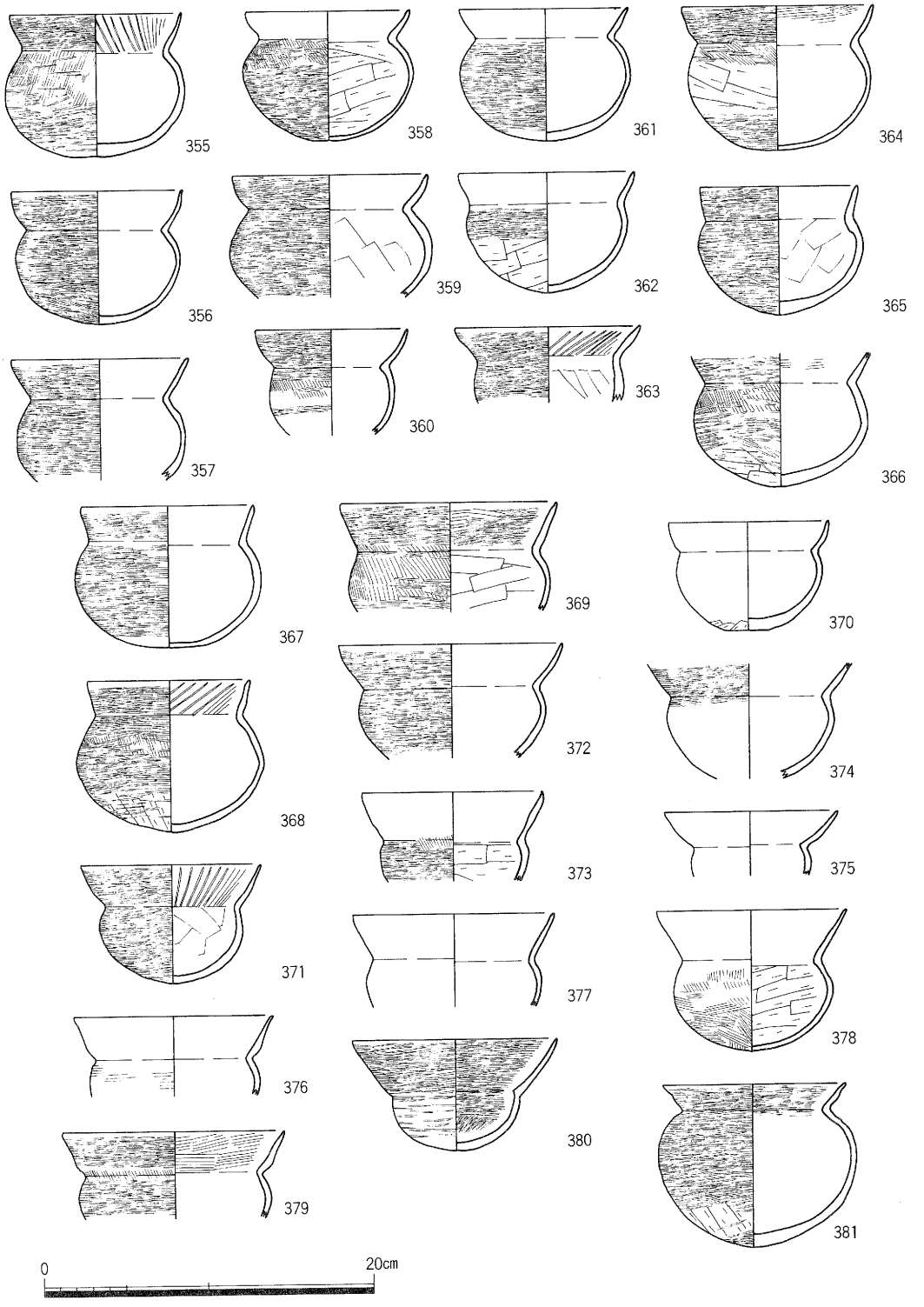
第78図　ＳＤ１出土遺物実測図20



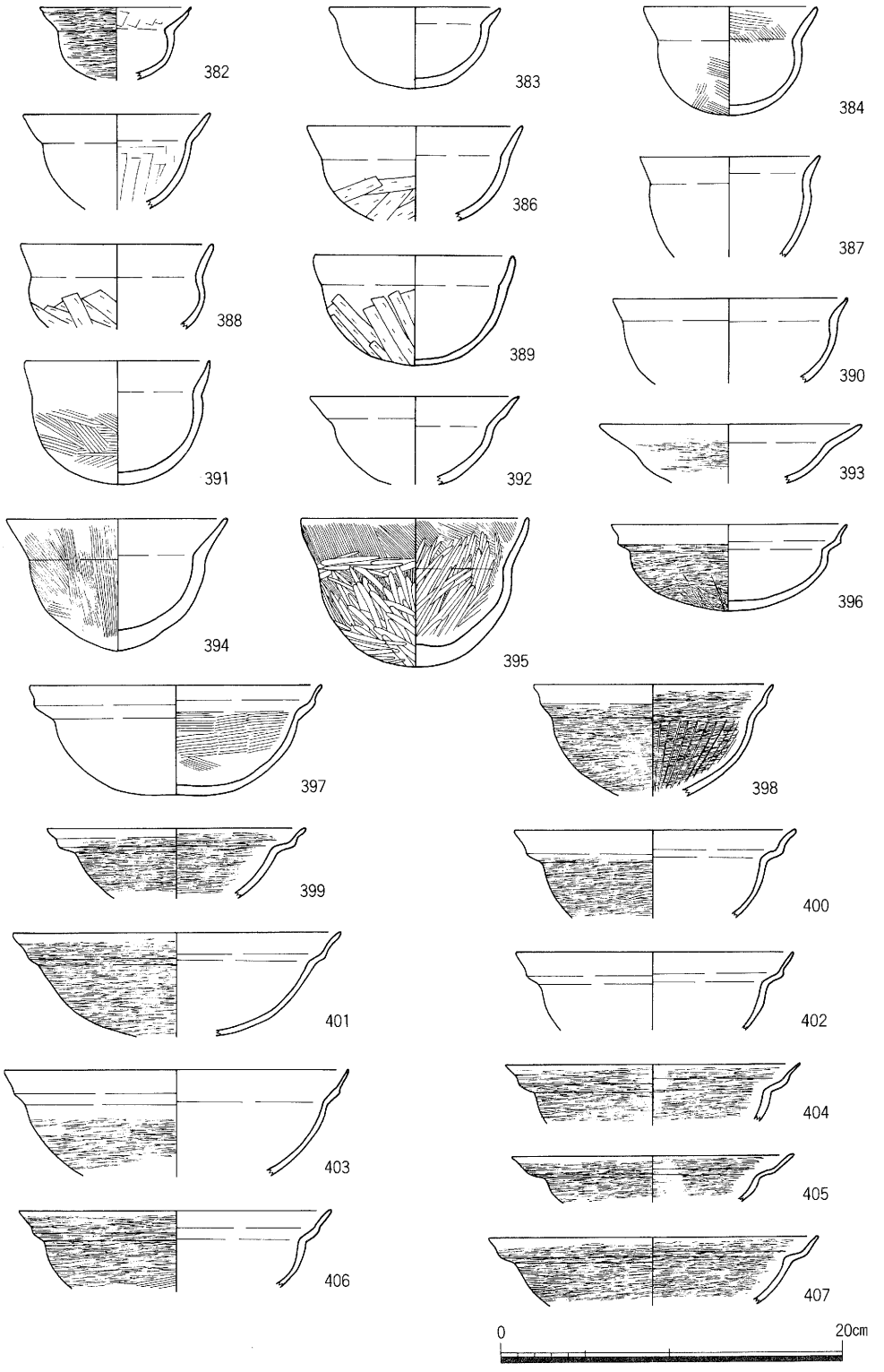
第79図　ＳＤ１出土遺物実測図21



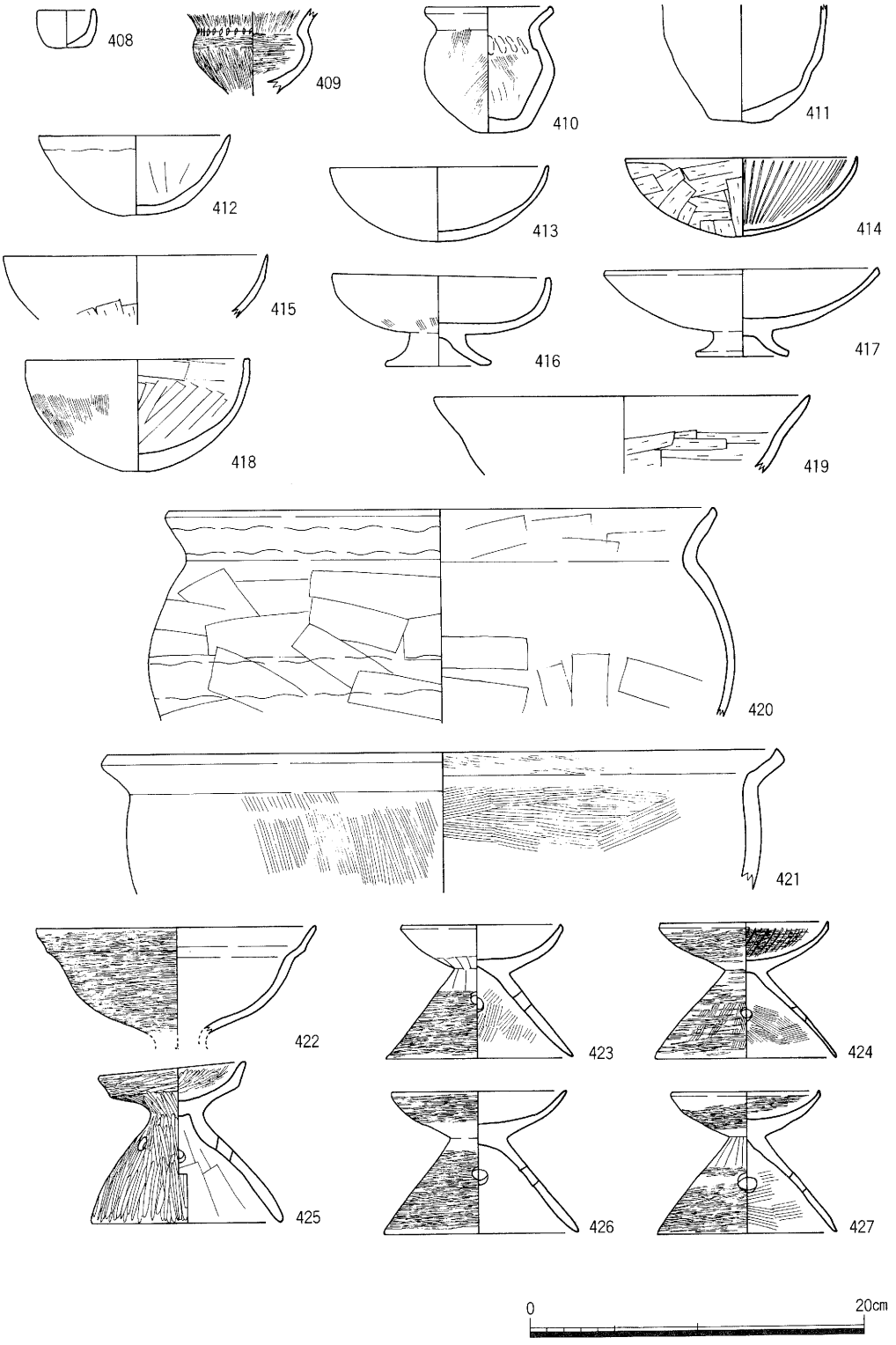
第80図　ＳＤ１出土遺物実測図22



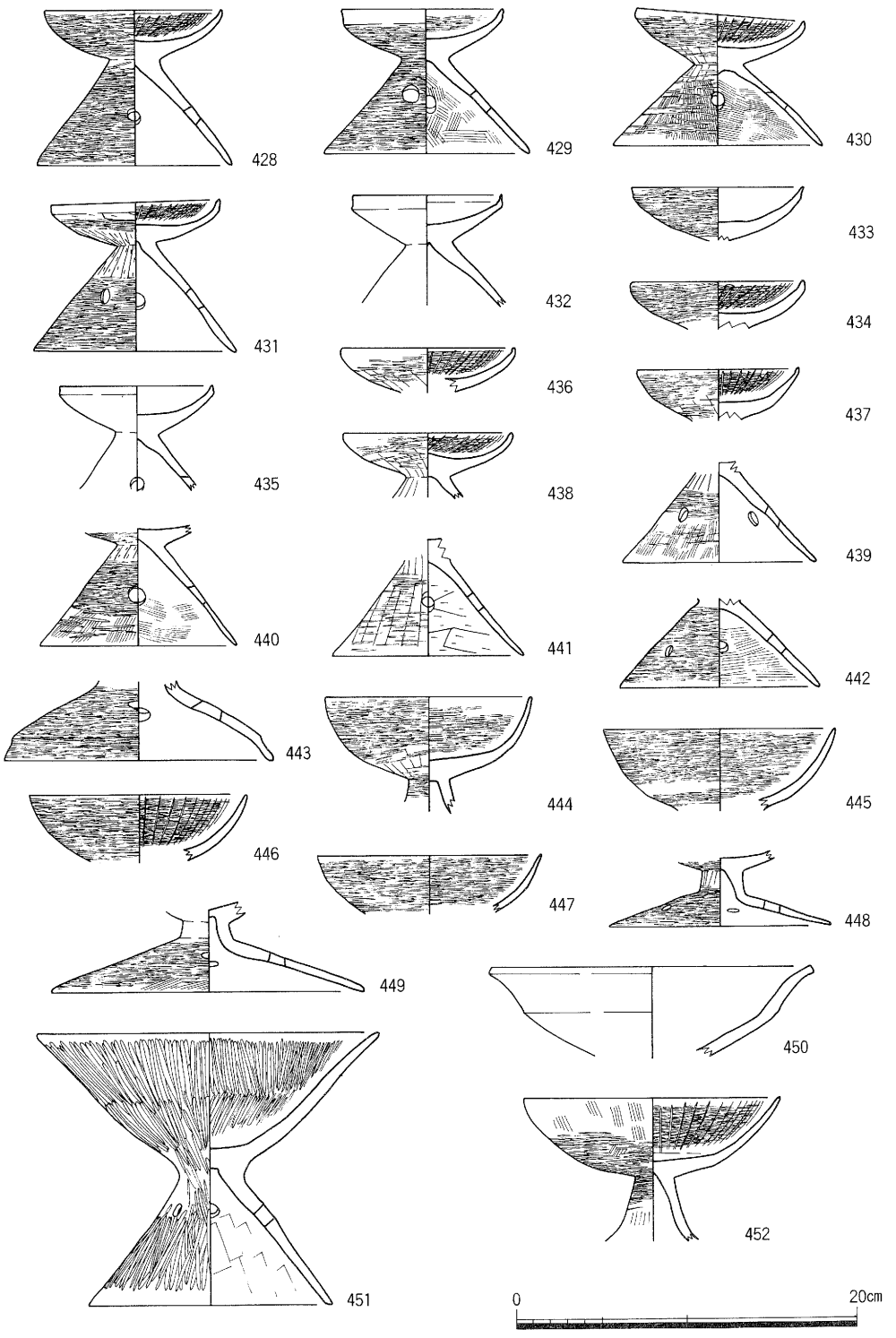
第81図　ＳＤ１出土遺物実測図23



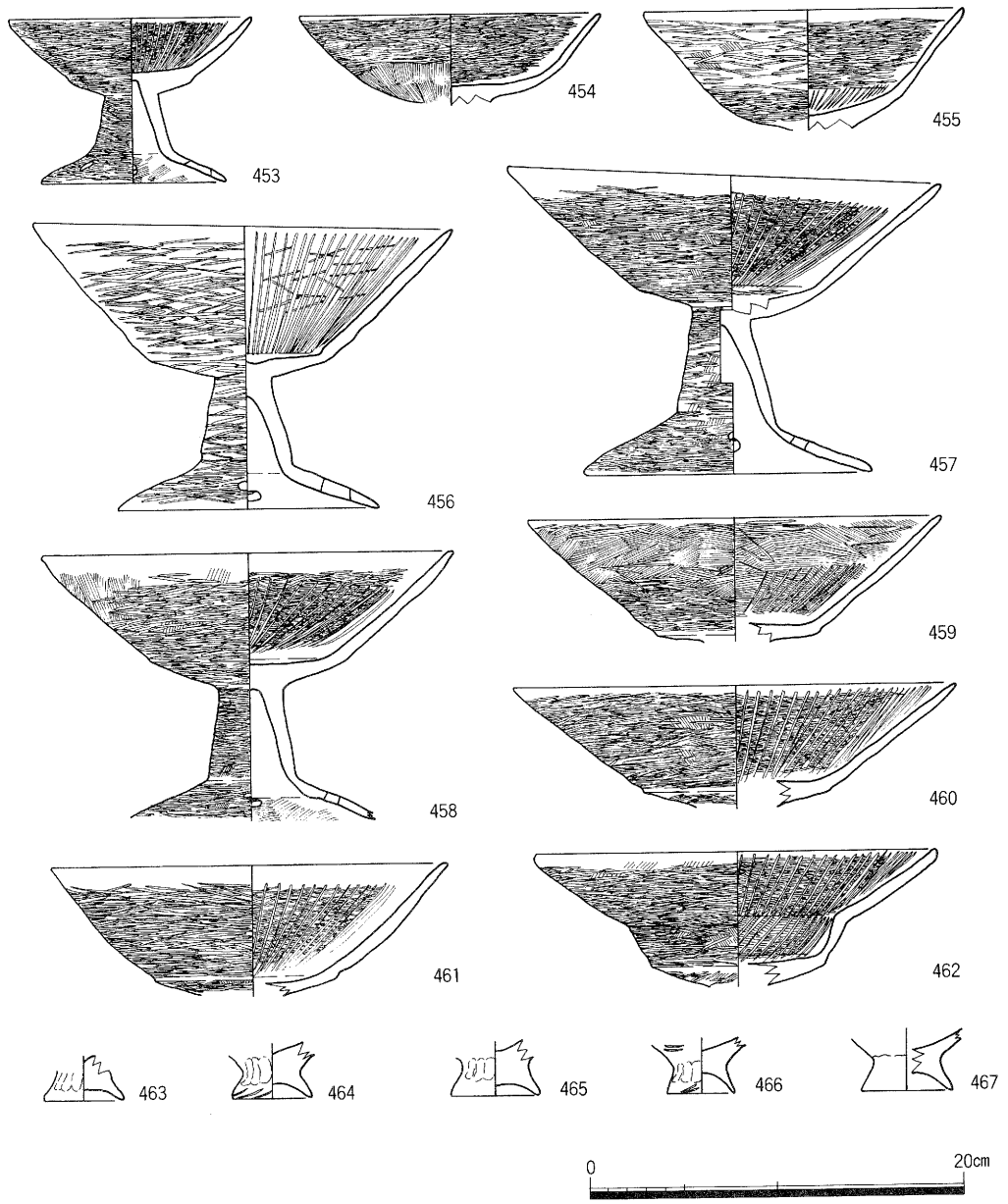
第82図　ＳＤ１出土遺物実測図24



第83図　ＳＤ１出土遺物実測図25



第84図　ＳＤ１出土遺物実測図26



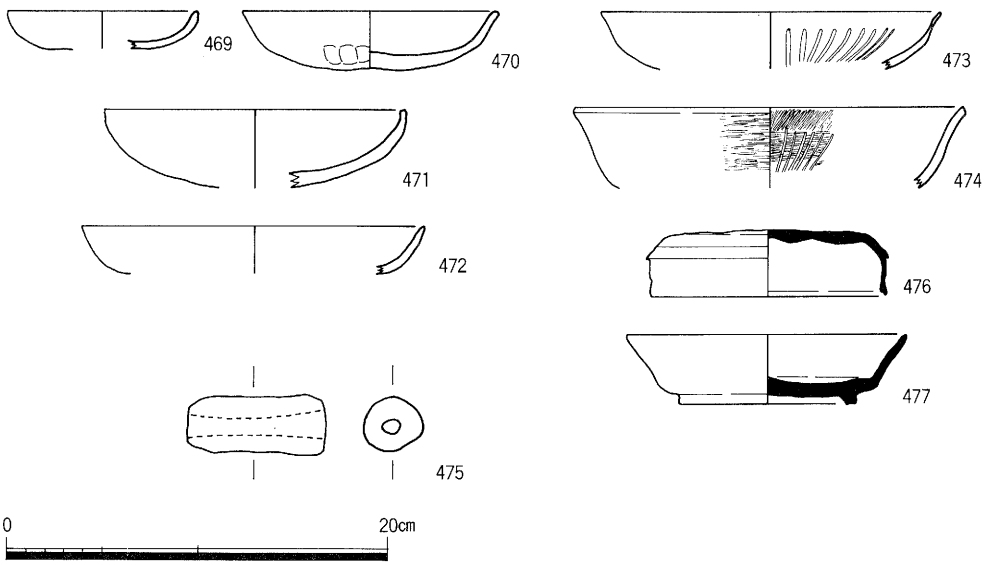
第85図　ＳＤ１出土遺物実測図27

ＳＤ２

ＧⅣ－ｄ３区で検出した溝である。方向は南東－北面方向を示す。南東部は途中で切れ、北部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅23cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は淡灰茶色粗砂混粘土である。遺物は出土していない。

河川１

ＧⅣ－ｄ３～ｄ５区で検出した自然河川である。南北・東部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、東西幅約19ｍを測るが第５調査区の南部でこの河川跡の東肩を検出している。これと合せると幅約25ｍを測り、方向が南北方向に流れをもつものと思われる。深さは40～70cmを測り、底面には起伏がみられる。堆積土は灰白色細砂・暗灰褐色粘土・灰色粗砂・黄灰色細砂・暗灰色粗砂混粘土・淡灰褐色細砂で砂層を基調として構成されている。この河川の下流部分は昭和57年度第１次調査のＡ－Ⅳ地区、昭和58年度第３次調査の22地区・25地区で検出している。遺物は、堆積土内から古墳時代～平安時代にかけての土師器・須恵器の小片が少量出土している。図示できたものは９点である。器種には古墳時代前期に比定される土錘(475)、古墳時代中期に比定される須恵器の杯蓋(476)、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身(477)、奈良時代に比定される土師器の杯(471～474)、平安時代に比定される土師器の皿（469・470）がある（第86図）。



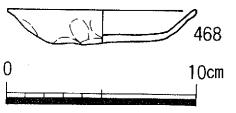
第86図　河川１出土遺物実測図

第２調査面

井戸（ＳＥ）

ＳＥ１

ＧⅣ－ｄ１区で検出した。昭和58年度第３次調査の28地区で検出したＳＥ９の東部の部分にあたる井戸で、前回の調査では底部付近から井戸側と思われる曲物１段が検出されてい



第87図　ＳＥ１出土遺物実測図

るが、今回の調査では東部の掘形を検出した。規模は検出部で、東西１ｍ、南北1.04ｍ、深さ27cmを測る。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は、掘形内から土師器の小片がごく少量出土している。器種には平安時代後期に比定される土師器の小皿（468)等がある（第87図)。

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＧⅣ－ｄ３区で検出した土坑である。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅約５ｍ、深さ14～26cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面が南部へ行くに従い深くなっている。堆積土は暗茶褐色砂混粘土である。遺物は、堆積土内から古墳時代～鎌倉時代にかけての土器の小片が少量出土している。器種には土師器・須恵器・瓦器椀等がある。

小穴（ＳＰ）

ＳＰ１

ＧⅣ－ｄ２区で検出した小穴である。平面は半円形を呈する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.1 ｍ、南北40cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

ＳＰ２

ＧⅣ－ｄ３区で検出した小穴である。平面はほぼ円形を呈する。規模は検出部で、径44～48cm、深さ11cmを測る。断面は逆凸形を呈し、下段の西寄りには平面円形を呈する柱痕（径16cm、深さ27cm）がある。堆積土は暗灰褐色細砂混粘土である。遺物は出土していない。

溝（ＳＤ）

ＳＤ３

ＧⅣ－ｄ１区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長1.16ｍ、幅46cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

ＳＤ４

ＧⅣ－ｄ１区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅30cm、深さ16cmを測る。断面は半円形を呈する。堆積土は暗灰褐色シルト混粘土である。遺物は出土していない。

第３調査面

ＳＤ５

ＧⅣ－ｄ１区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東西部はともに途中で切れ、中央部はＳＤ６と合流する。規模は検出部で、全長１ｍ、幅25cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

ＳＤ６

ＧⅣ－ｄ１区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。東西方向のＳＤ５とＳＤ８とは交差し、南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅33cm、深さ８cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

ＳＤ７

ＧⅣ－ｄ１区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。東西方向のＳＤ８によって切られている。規模は検出部で、幅1.25m、深さ17cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

ＳＤ８

ＧⅣ－ｄ１～ｄ２区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北方向のＳＤ６と交差し、南北方向のＳＤ７を切っている。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

ＳＤ９

ＧⅣ－ｄ２～ｄ３区で検出した溝である。方向はほぼ南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅20cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

ＳＤ10

ＧⅣ－ｄ５区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅25cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

第４調査面

ＳＤ11

ＧⅣ－ｄ１～ｄ２区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。南北部はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅25～35cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ12

ＧⅣ－ｄ２～ｄ４区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。中間付近で屈曲している。東部はＳＤ16と合流する。北東部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅60cm、深さ18cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ13

ＧⅣ－ｄ２～ｄ３区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。東部はＳＤ14・ＳＤ15と

合流する。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅40～60cm、深さ14cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂土である。遺物は出土していない。

ＳＤ14

ＧⅣ－ｄ３区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はＳＤ13・ＳＤ15と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅25～30cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ15

ＧⅣ－ｄ３区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はＳＤ13と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅1.2 m、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ16

ＧⅣ－ｄ４区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。北部はＳＤ12と合流する。南部は調査区外に至る。規模は検出部で、幅80cm、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ17

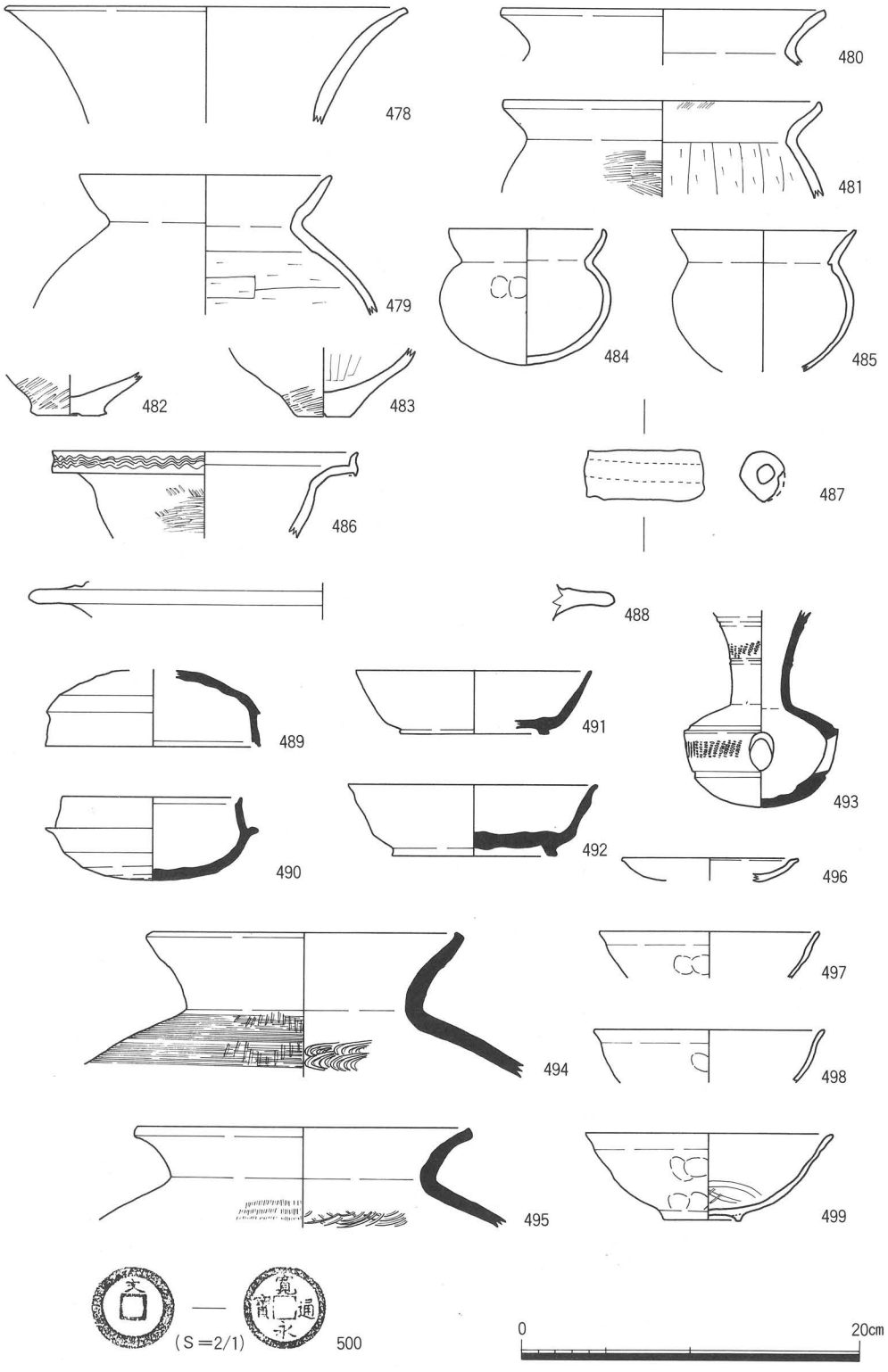
ＧⅣ－ｄ４区で検出した溝である。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、検出長1.5 m、幅30cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

ＳＤ18

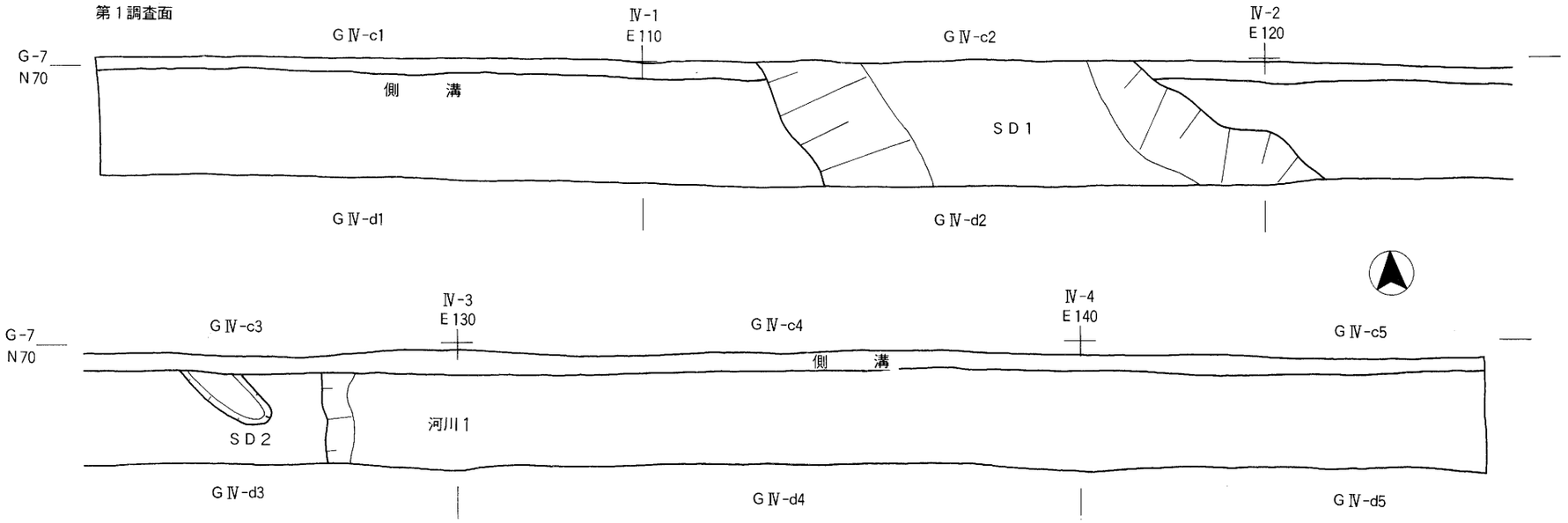
ＧⅣ－ｄ５区で検出した溝である。方向は南北方向を示す。南北はともに調査区外に至る。規模は検出部で、幅3.5 m、深さ15cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘砂である。遺物は出土していない。

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

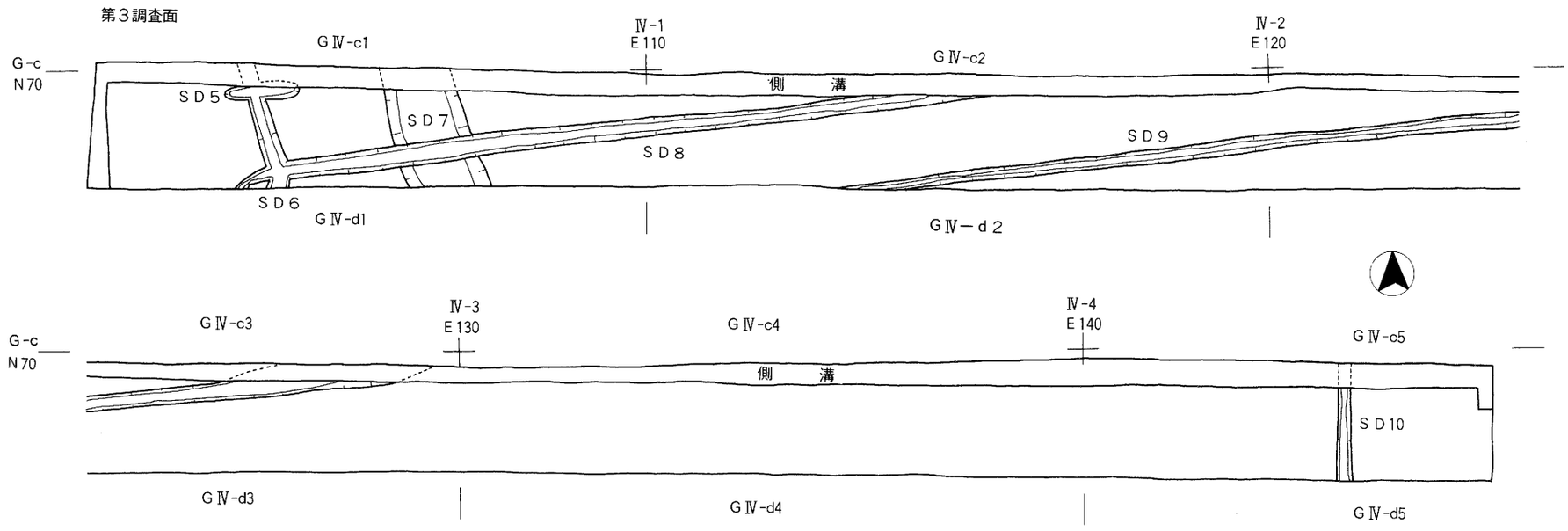
遺物は第２層～第５層内に含まれているが、出土量の多かったのは第４層と第５層である。出土量はコンテナ箱にして約２箱分を数える。第５層内から出土した遺物は古墳時代前期～中期に比定される土器片である。器種には古墳時代前期（庄内式新相～布留式）に比定される壺(478)・布留式甕（479～481）・第Ⅴ様式系甕（482・483）・小型丸底壺（484・485）・鉢(486)・土錘（487)、古墳時代中期に比定される須恵器の杯蓋（489）・杯身（490)、古墳時代後期に比定される羽釜（488）・須恵器の杯身（491・492）・甑（493）・甕（494・495）。第４４層内からは平安時代後期～鎌倉時代に比定される遺物が出土している。器種には平安時代後期に比定される小皿（496)、鎌倉時代初頭に比定される瓦器椀（497～499）がある。第２層内からは江戸時代に比定される寛永通寶１点（500）が出土している（第88図)。



第88図　包含層出土遺物実測図



第89図　第１・２調査面遺構平面図



第90図　第３・４調査面遺構平面図

第８節　第８調査区

第７調査区から西側へ約90～130 mに設定した南北に長い調査区（長さ23m）で、昭和58年度第３次調査の28地区の南部にあたる。調査面積は約58㎡である。

Ⅰ　基本層序

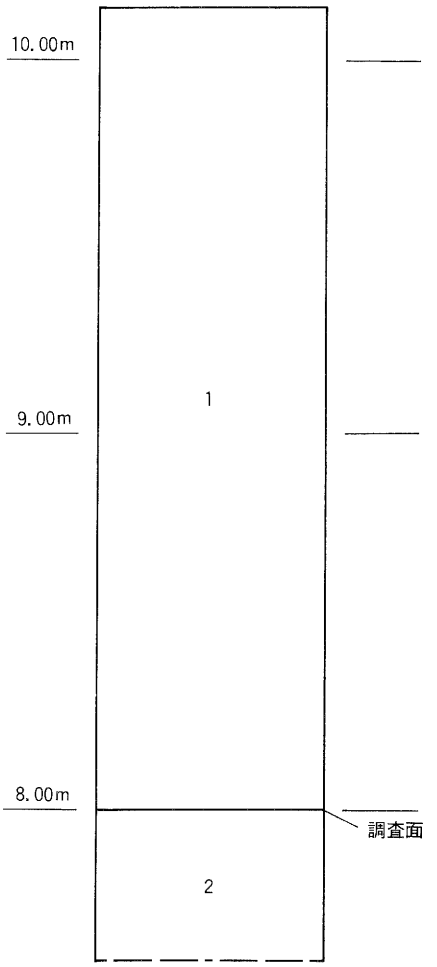
当調査区で普遍的にみられる２層を基本層序とした。現地表面は標高10.1m前後を測る。

第１層盛土：210cm。この土層は昭和50年にグラウンドの造成により整地された土層である。

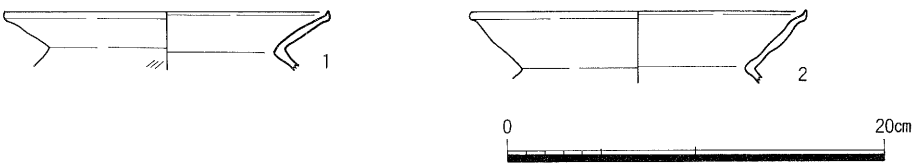
第２層淡灰茶色礫混細砂：層厚40cm以上：この土層は昭和57年度第１次調査と昭和58年度第３次調査で検出した自然河川（**河川１**）の堆積土である。この土層の上部は整地（第１層）によって削平されている。

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

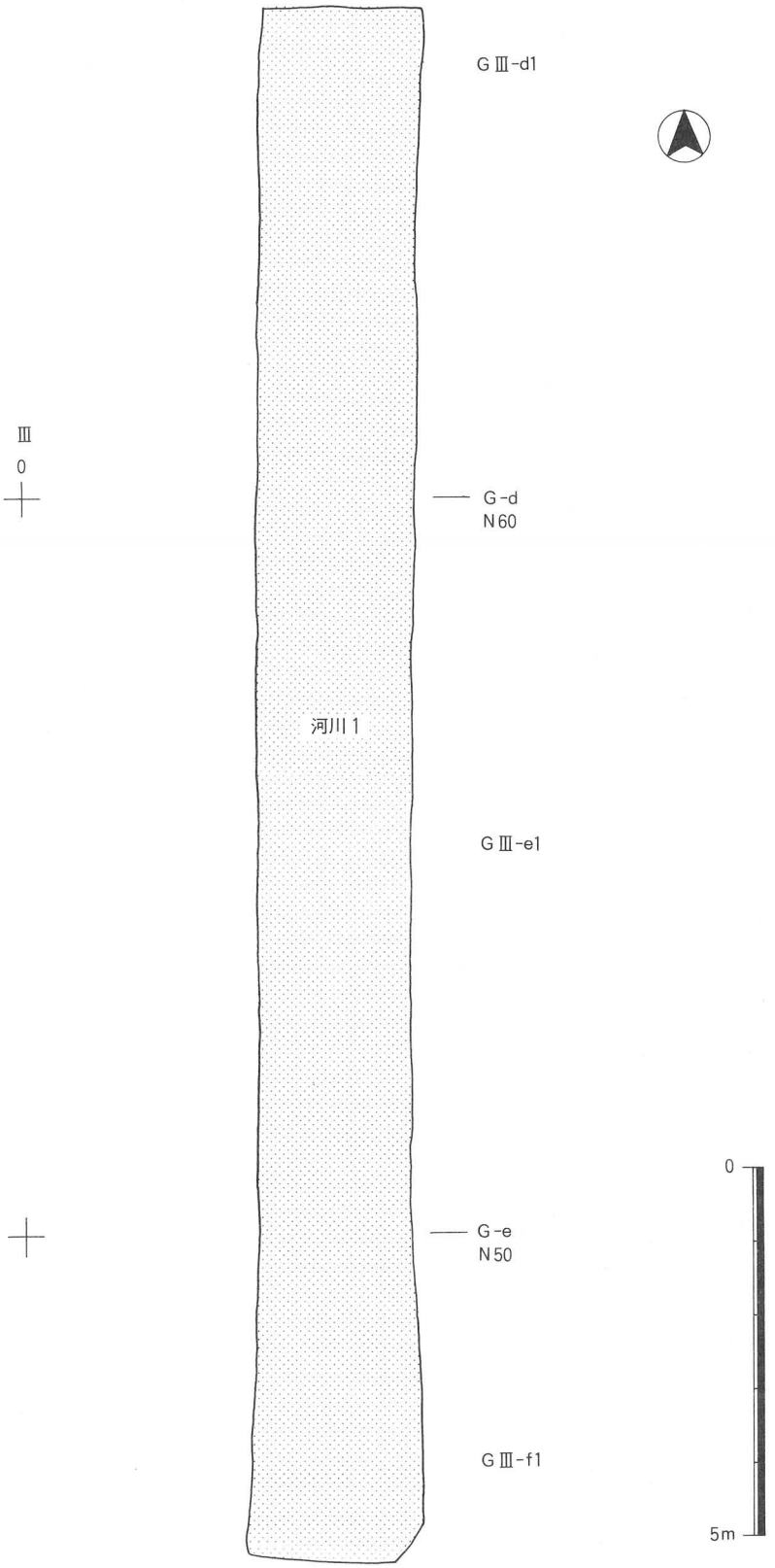
今回の調査では自然河川内に調査区を設定したかたちとなった。自然河川には砂層を基調する土層が堆積している。内部からは弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺物がごく少量出土している。器種には壺・第Ⅴ様式系甕・庄内式甕（１・２）などがある（第92図）。



第91図　基本層序柱状図（S＝1/20）



第92図　河川1 出土遺物実測図



第93図　遺構平面図

第９節　第９調査区

第７調査区の中央部から南側に設定した南北に長い調査区（長さ約32ｍ）である。調査面積は約64㎡である。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる６層を基本層序とした。現地表面は標高9.3 ｍ前後を測る。

第１層盛土：層厚20～30㎝。調査前まで耕されていた土層で、近年に盛土している。

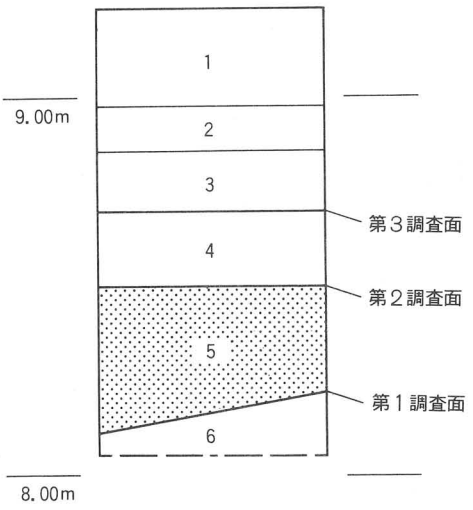
第２層旧耕土：層厚10～40㎝。この土層は、盛土される前までの耕作土である。

第３層灰茶色粘質土：層厚20～30㎝。この土層内から近世の遺物が出土している。

第４層明黄褐色砂質土：層厚10～30㎝。この土層は、当調査区のＧⅣ－ｅ３区中央から北側に堆積する土層である。この上面から鎌倉時代以降の遺構が切り込まれている。

第５層暗茶灰色～黄褐色粘質土：層厚15～40㎝。この土層内から古墳時代に比定される遺物が出土している。この上面では平安時代後期～鎌倉時代に比定される遺構が切り込まれている。標高は8.5ｍを測る。

第６層灰茶褐色粘土：層厚30㎝以上。この土層は弥生時代後期から古墳時代中期にかけての遺構が切り込まれている。上面は標高8.1～8.2ｍを測り、南が高く、北へ行くに従って低くなっている。



第94図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

当調査区では、第４層上面（第３調査面）、第５層上面（第２調査面）、第６層上面（第１調査面）の３面を調査面とした。その結果、第１調査面では、弥生時代後期～古墳時代前期に比定される溝４条（ＳＤ１～ＳＤ４）と、古墳時代中期に比定される小穴13個（ＳＰ１～ＳＰ13）を検出した。第２調査面では、平安時代後期～鎌倉時代に比定される井戸１基（ＳＥ１）・土坑10基（ＳＫ１～ＳＫ10）・小穴20個（ＳＰ14～ＳＰ33）・溝18条（ＳＤ５～ＳＤ22）を検出した。第３調査面では、室町時代～江戸時代に比定される溝３条（ＳＤ23～ＳＤ25）を検出した。

第１調査面

小穴（ＳＰ）

ＧⅣ－ｄ３～ｆ３区で小穴13個を検出した。平面の形状には楕円形のもの（８個）、円形のもの（５個）がある。特にＧⅣ－ｄ３区に集中して検出している。規模には、径46～90cmを測る大きい小穴（ＳＰ３・ＳＰ７・ＳＰ10）と、他の小穴は径20～42cmを測る小さいものがある。深さは大小の区別なく10～22cmを測る。断面は逆台形及び逆凸形を呈する。ＳＰ３には径16cmを測る平面円形の柱痕がみられる。堆積土は暗灰褐色砂混粘質土である。遺物は、小穴内から土師器の小片がごく少量出土している。

なお、個々の小穴の法量・形状等は第８表に記した。

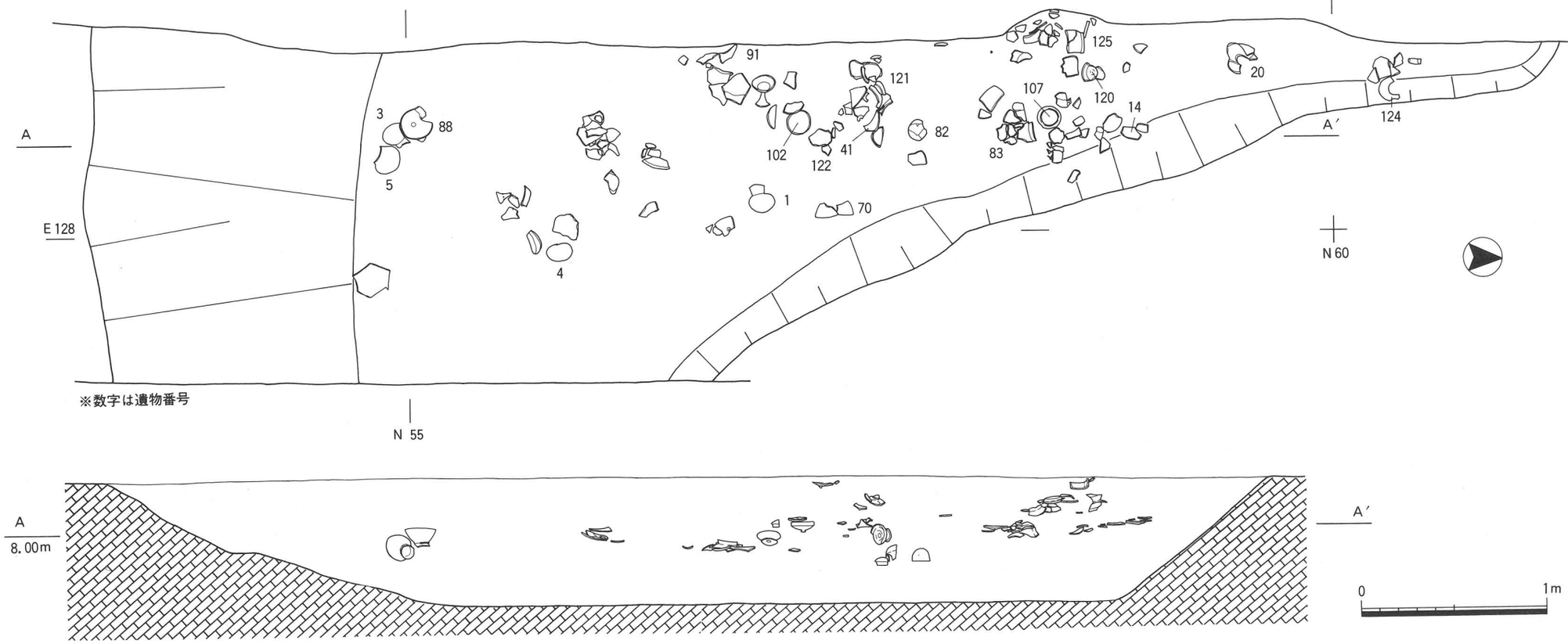
第８表　第１調査面小穴（ＳＰ）一覧表　　※　単位：cm

遺構番号	地　区	平面形	断面形	径	深さ	堆積土	備考
ＳＰ１	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	36～38	14	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ２	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	26	16	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ３	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆凸形	58～90	15	暗灰褐色砂混粘質土	径16cmの柱痕跡有り。
ＳＰ４	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	38～42	11	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ５	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	24	10	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ６	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	32	22	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ７	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	46～58	12	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ８	ＧⅣ－ｄ３	円　形	逆台形	20～22	11	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ９	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	30～72	13	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ10	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	34～50	10	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ11	ＧⅣ－ｅ３	楕円形	逆台形	30～42	11	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ12	ＧⅣ－ｅ３	楕円形	逆台形	24～32	24	暗灰褐色砂混粘質土	
ＳＰ13	ＧⅣ－ｆ３	楕円形	逆台形	26～38	17	暗灰褐色砂混粘質土	

溝（ＳＤ）

ＳＤ１

ＧⅣ－ｄ３～ｅ３地区で検出した溝である。東西部はともに調査区外に至る。規模は検出部で南北幅約3.2～7.8m、深さ70cmを測り、第７調査区で検出したＳＤ１に続くものと考えられる。断面は逆台形を呈する。堆積土は、上方から第１層淡灰茶色粗砂混粘土・第２層灰色粗砂混粘土・第３層灰色微破混粘土・第４層暗灰色粘土・第５層黄茶褐色粘土・第６層明茶灰色粗砂混粘土・第７層灰色シルト混粘土・第８層灰色シルト微砂混粘土・第９層明灰色粗砂混粘土で構成されている。堆積状況は断面観察及び出土遺物からみると二次堆積がみられ、Ａ層（第



第95図　ＳＤ１検出遺物平断面図

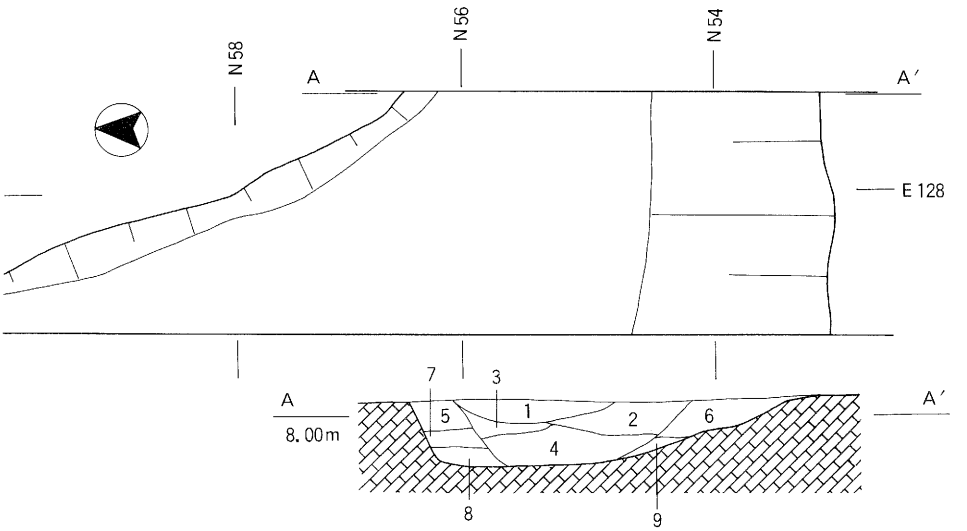
１層～第３層）とＢ層（第４層～第９層）に分けることができる。Ａ層内では古墳時代前期～中期に比定される土器（土師器・須恵器）の破片が中心として出土した。Ｂ層内では古墳時代前期（庄内式新相～布留式新相）に比定される土器の破片が出土した。しかし、Ａ層内には古墳時代前期の遺物が多く含まれていた。古墳時代前期に比定される遺物には壺（１～22）・庄内式甕（23～48）・布留式甕（49・50・53～55）・第Ⅴ様式系甕（51・52）・吉備系（56・57）・小型丸底壺（73～78）・鉢（79～82・84・85）・器台（86～88）がある。古墳時代中期に比定される遺物には土師器の甕（58～71）・平底鉢（83）・高杯（89～99）・甑（100）・壺(101）韓式系土器（72)、須恵器の杯蓋（102～106）・杯身（107～118）・高杯（119～112）・甕(123・124）がある（第95～第103図)。

ＳＤ２

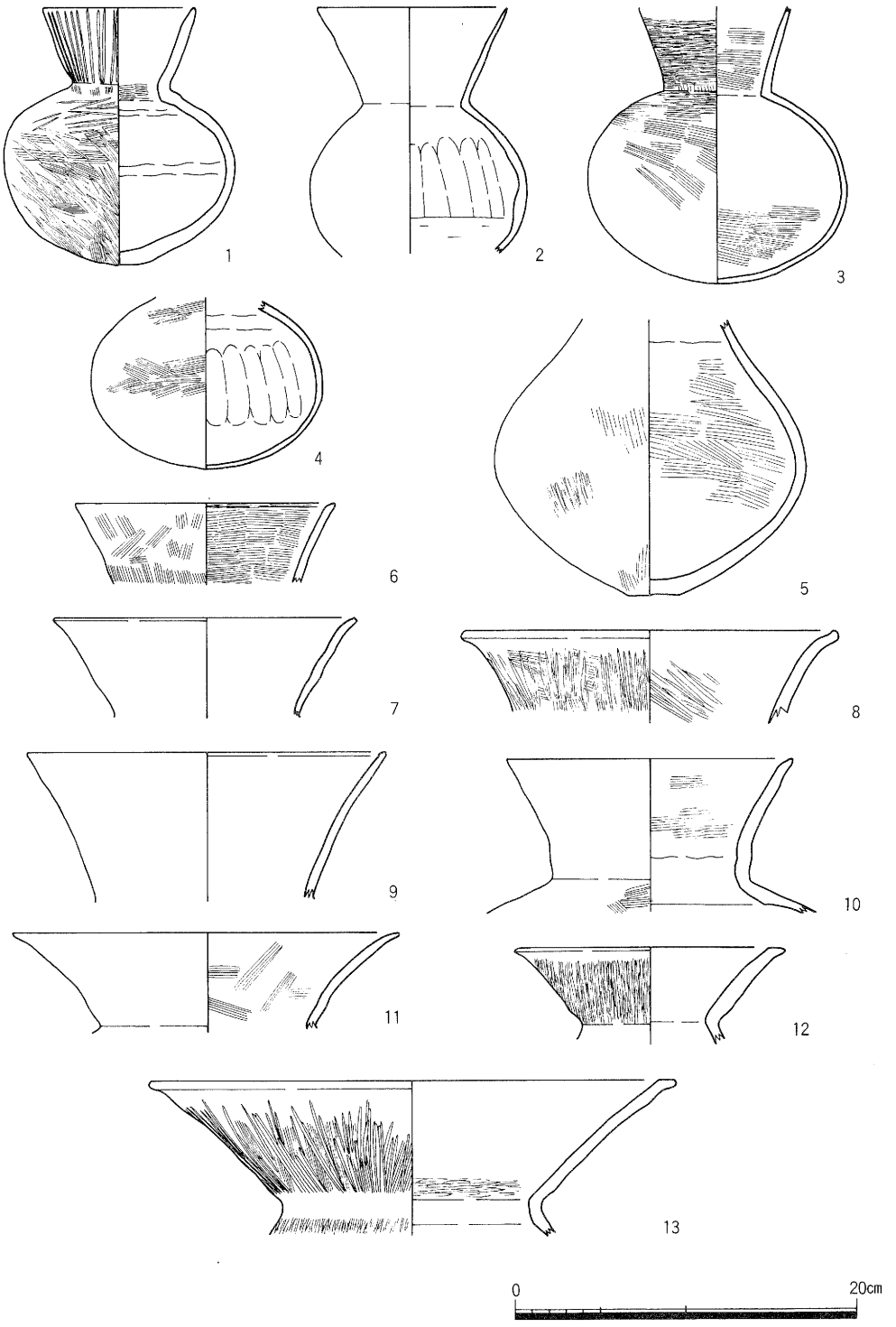
ＧⅣ－ｆ　３区で検出した。方向は東西方向を示すと考えられるが、東西は調査区外に至り、南部はＳＤ３によって切られている。規模は検出部で、幅2.7ｍ以上、深さ16cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質シルトである。遺物は、堆積土内から土器の小片を少量出土している。器種は古墳時代前期に比定される壺・庄内式甕などがみられる。

ＳＤ３

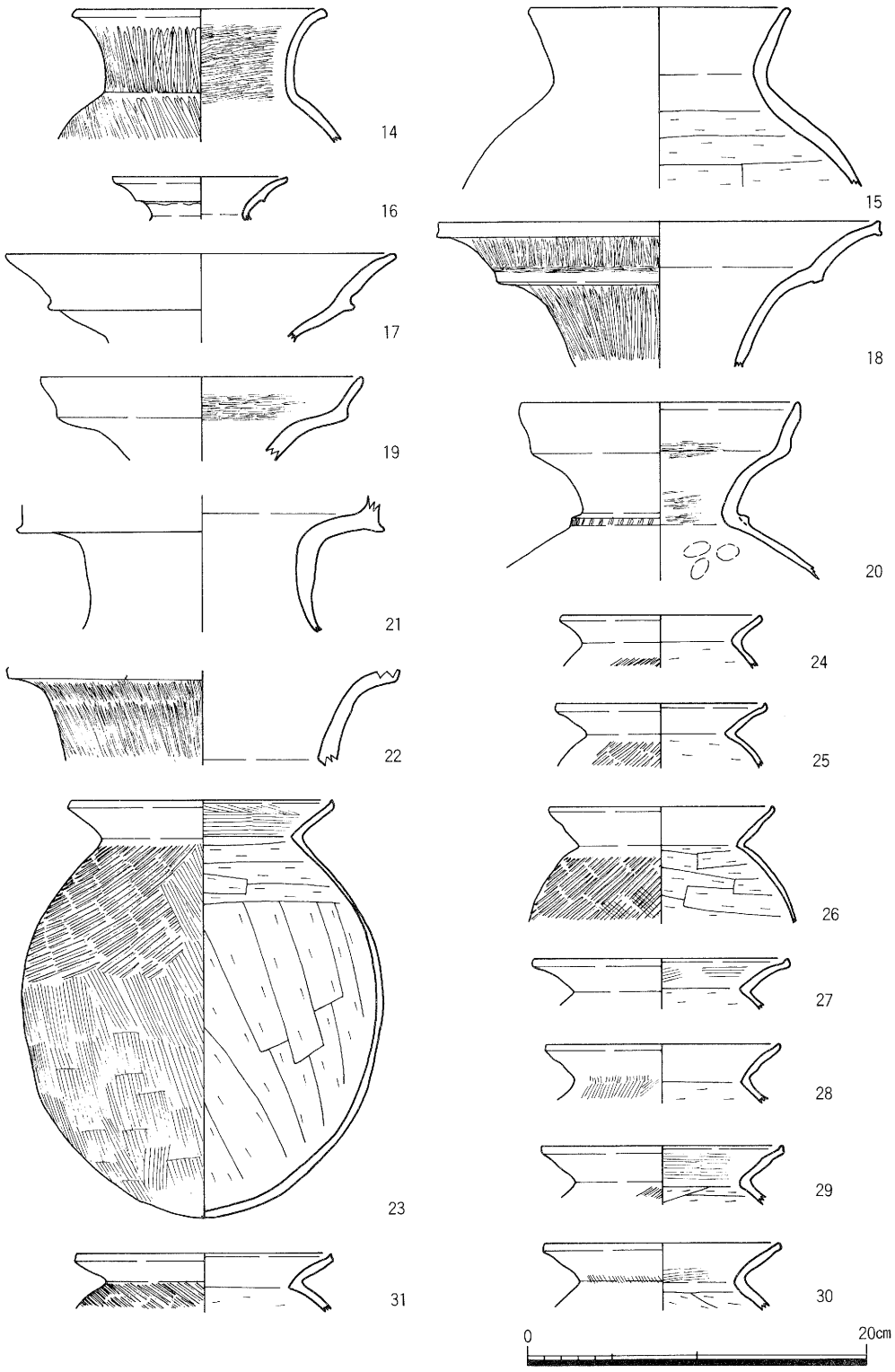
ＧⅣ－ｆ　３地区で検出した。北部はＳＤ２を切り、東西部は共に調査区外に至る遺構である。規模は検出部で東西２ｍ、南北3.8ｍ、深さ34cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面には起伏



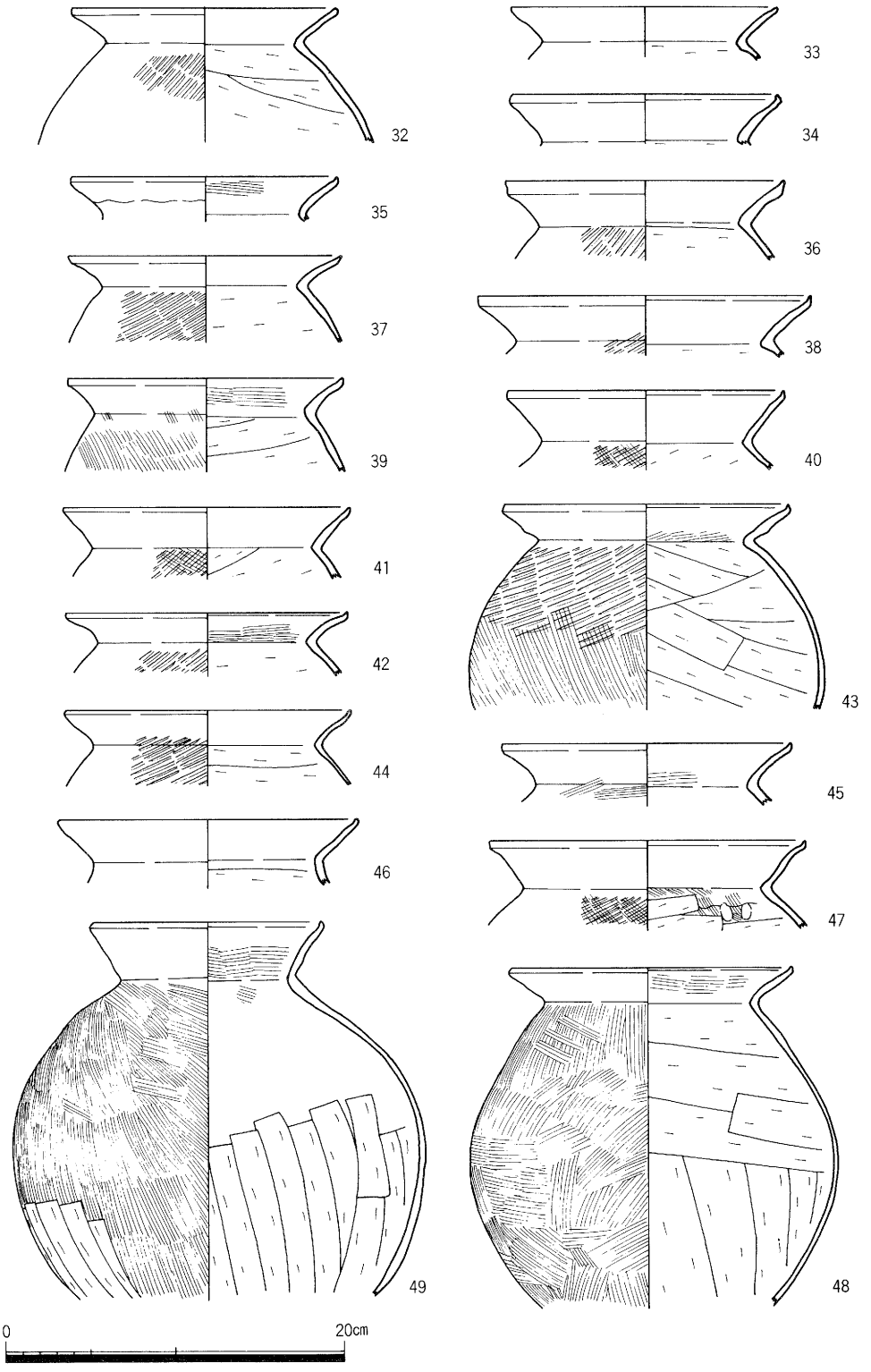
第96図　ＳＤ１平断面図



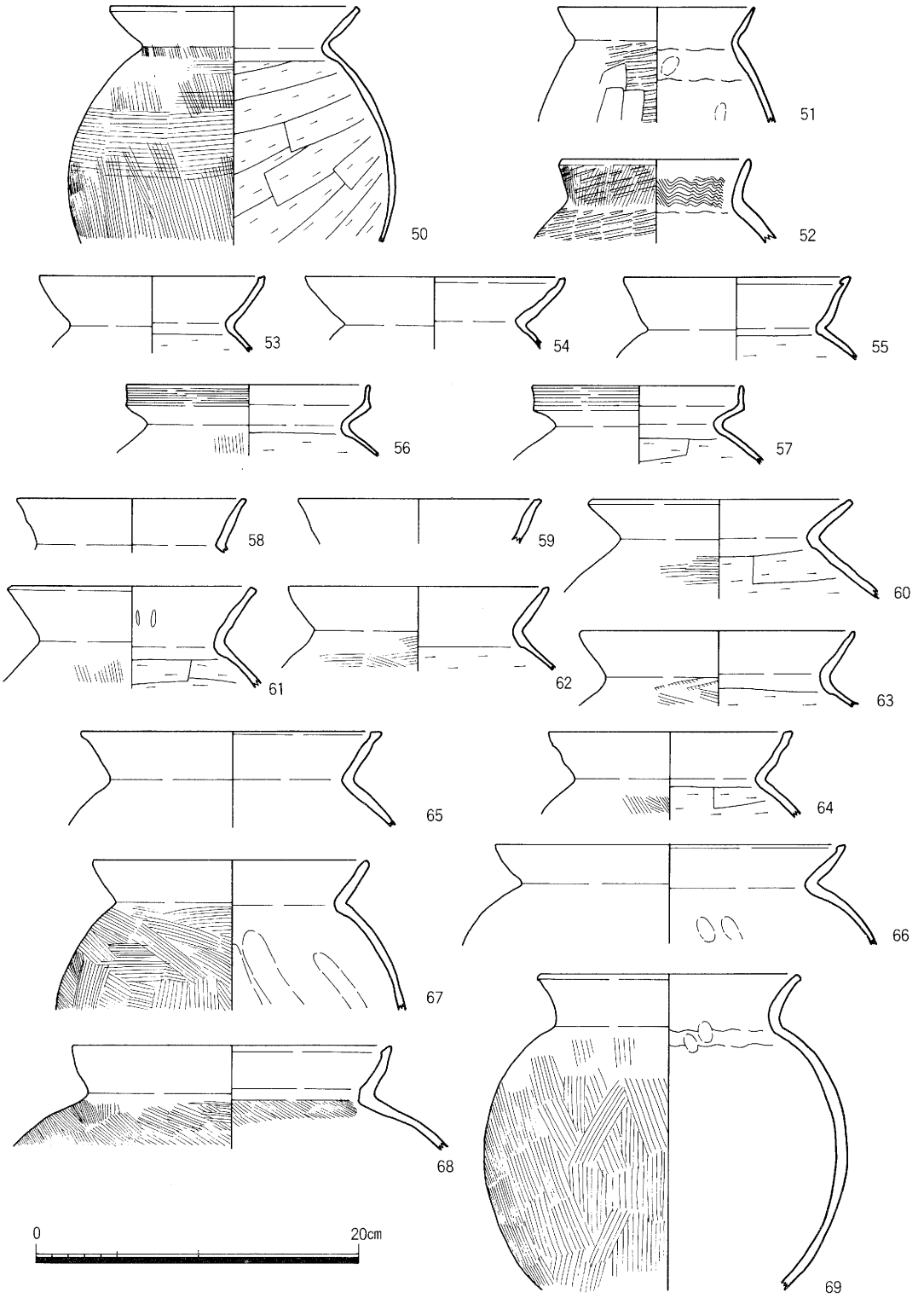
第97図　ＳＤ１出土遺物実測図１



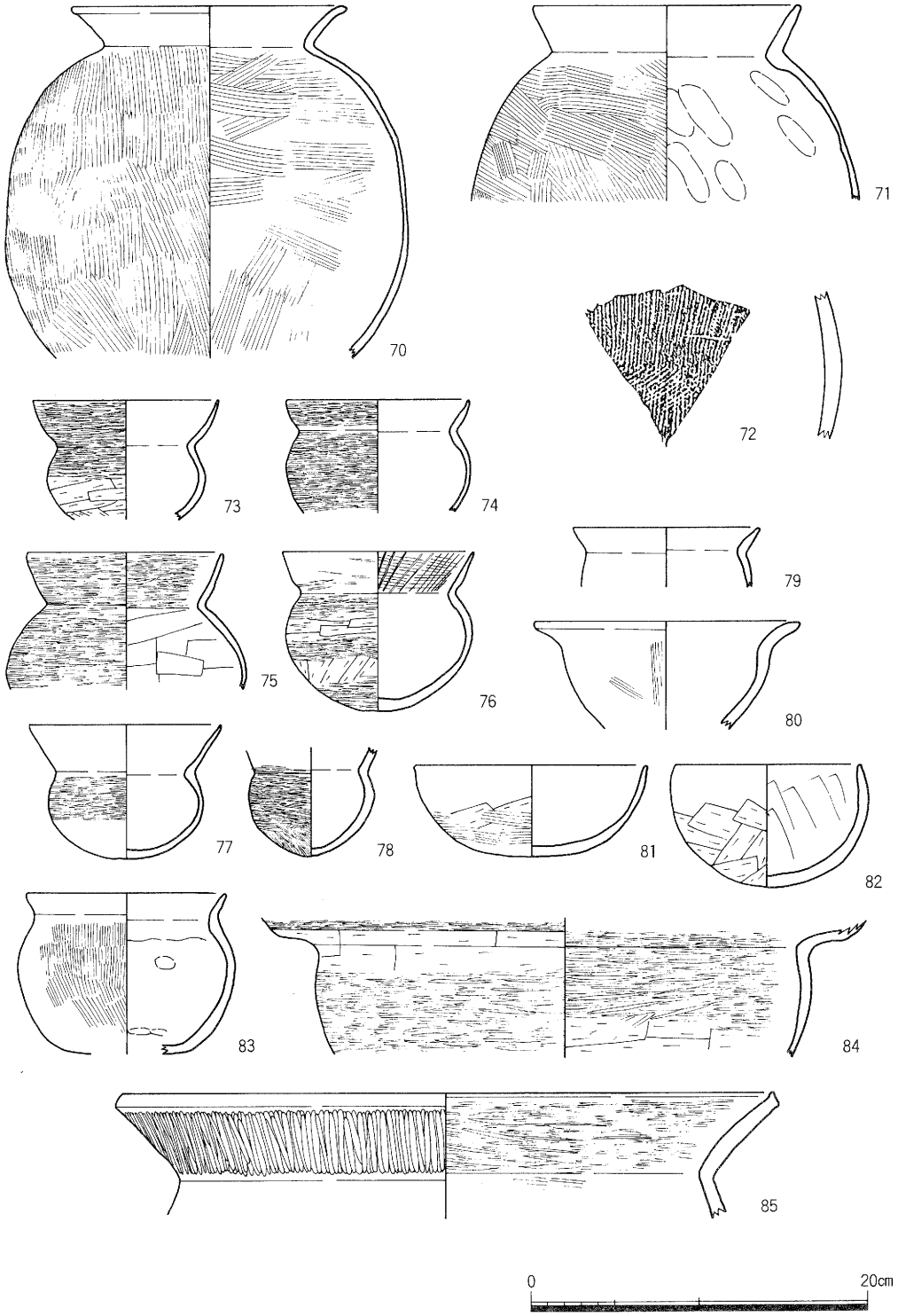
第98図　ＳＤ１出土遺物実測図２



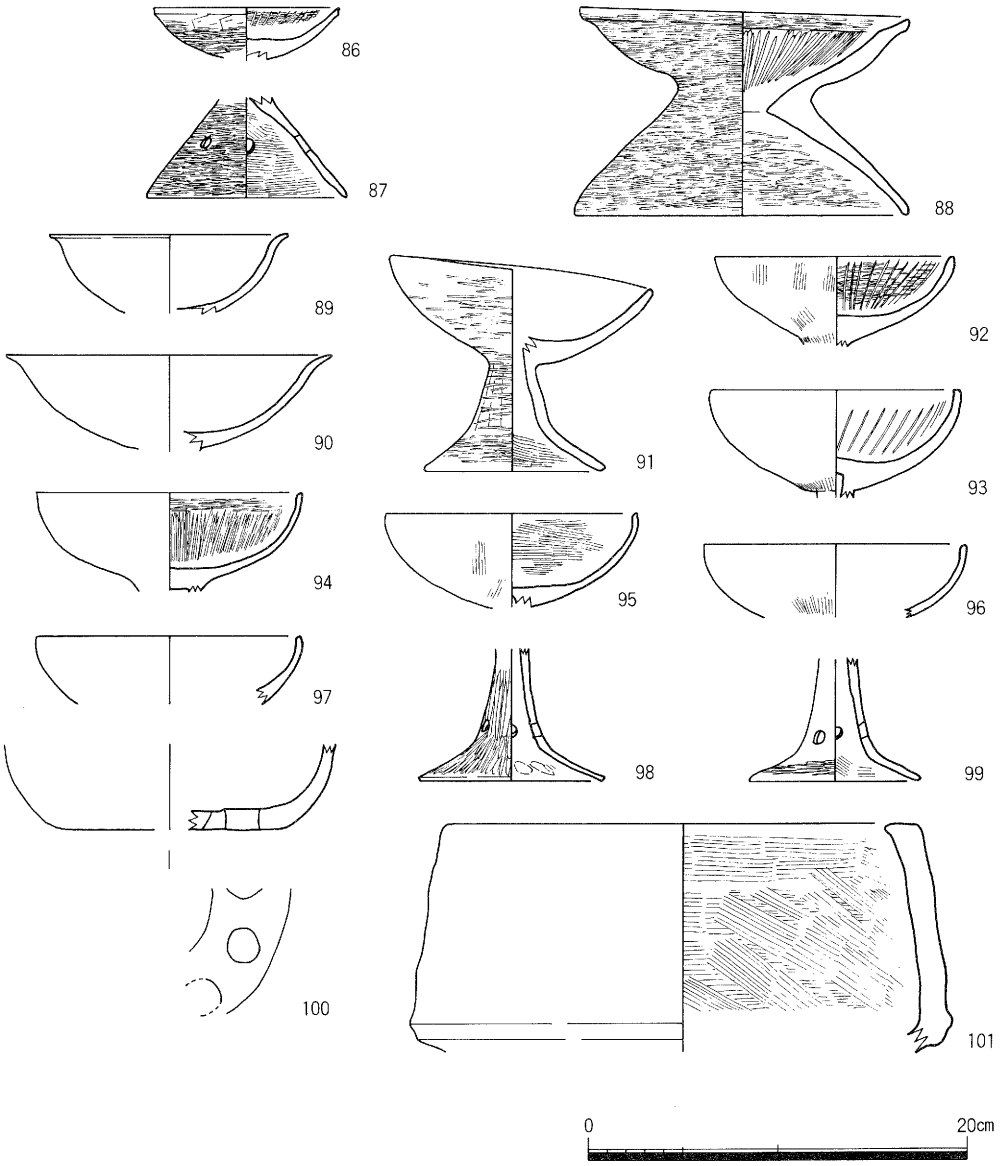
第99図　ＳＤ１出土遺物実測図３



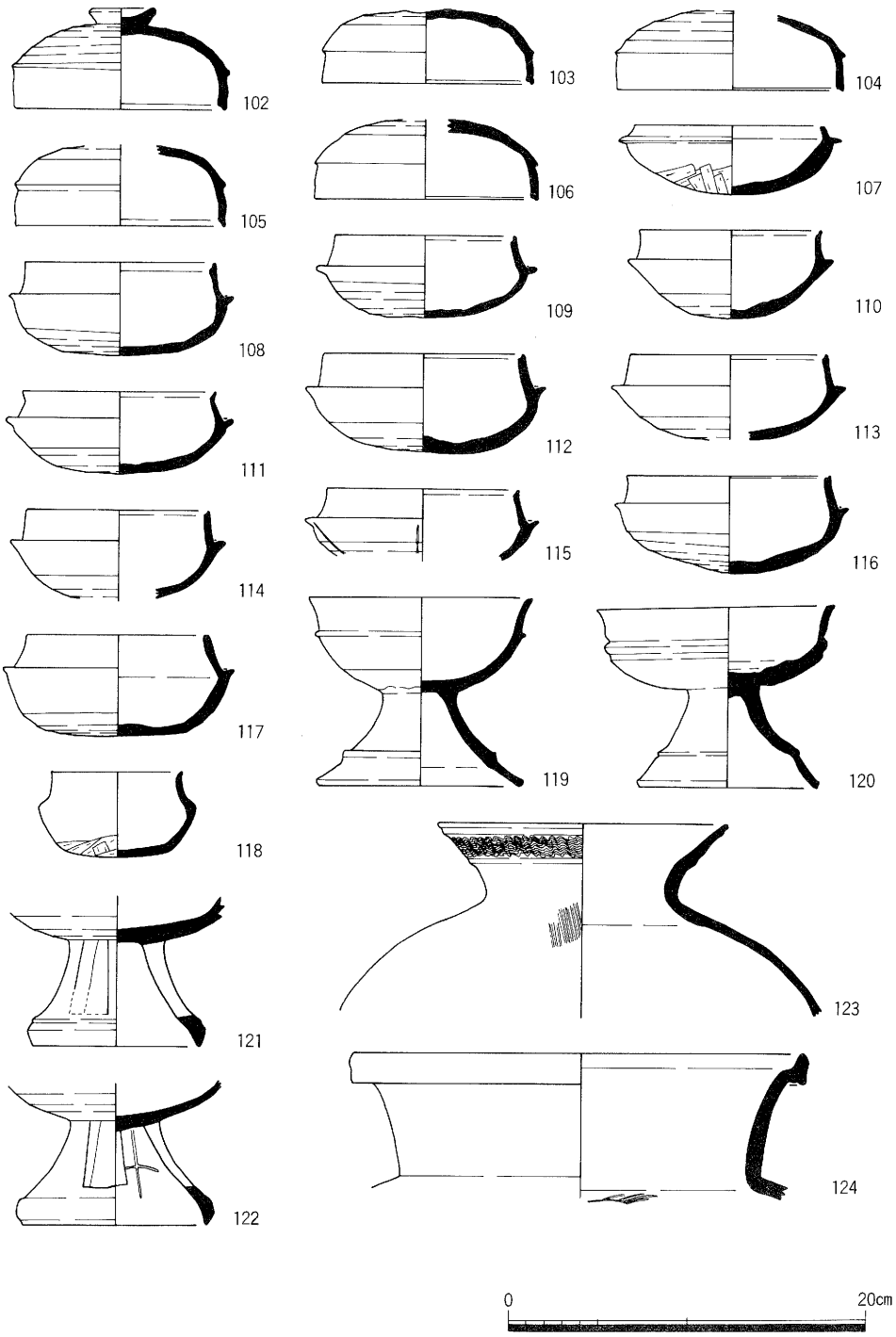
第100図　ＳＤ１出土遺物実測図４



第101図　ＳＤ１出土遺物実測図５



第102図　ＳＤ１出土遺物実測図６

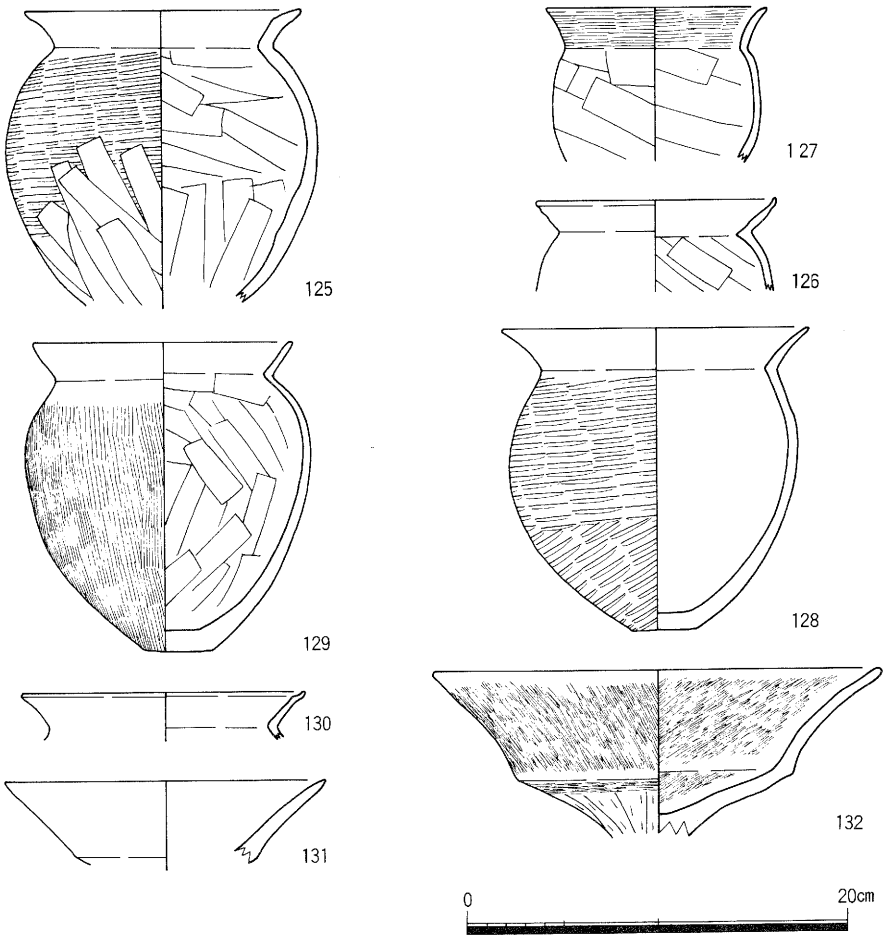


第103図　ＳＤ１出土遺物実測図

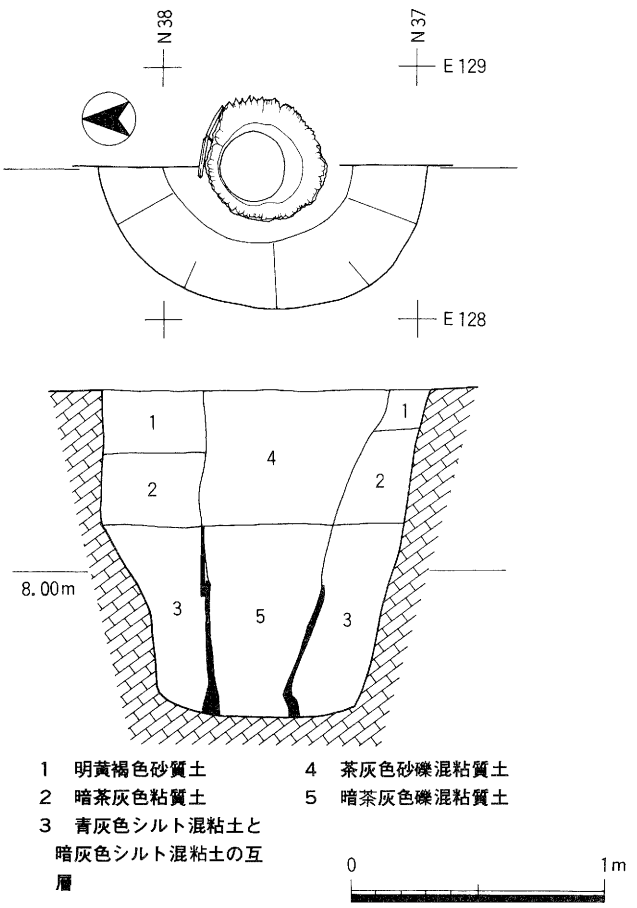
がみられる。堆積土は茶灰褐色粘土（ごく少量の砂礫を含む）・茶褐灰色粘質土の２層に分かれる。遺物は、堆積土内から土師器の小片がごく少量出土している。

ＳＤ４

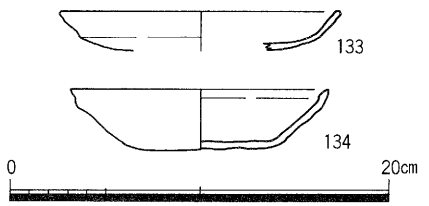
ＧⅣ－ｇ ３地区で検出した。南西部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西1.26m、南北1.25m、深さ64cmを測る。平断面の形状は不明であるが、北側斜面は約30° の角度で南側へ低くなっている。堆積土は暗灰茶色砂混粘土・黒灰色土(炭・灰を含む)・暗青灰色粘土である。遺物は、堆積土内から弥生時代後期に比定される土器の破片が少量出土している。器種には第Ⅴ様式系甕（125～128）甕　(129・131）・高杯（131・132）などがある（第104図）。



第104図　ＳＤ４出土遺物実測図



第105図　ＳＥ１平断面図



第106図　ＳＥ１出土遺物実測図

第２調査面

井戸（ＳＥ）

ＳＥ１

ＧⅣ－ｇ ３区で検出した板材とくりぬき材を組合わせた井戸側を備えた井戸である。東部は調査区外に至り、全容は不明である。掘形は東西1.29m、南北0.96m、深さ1.31mを測る。断面は逆台形を呈する。井戸側は掘形の検出面より約60cm下位で検出した。平面は円形を呈する。規模は検出部で、上端部径50cm、下端部径40cm、高さ80cmを測り、井戸側は上下に分かれる。上位は長さ30cm、幅12cm、厚み1.3cm、板材を立てて並べる。下位は上端部で径48cm、下端部で径40cm、厚み2～8cmを測るくりぬかれた臼形と組合わせて井戸側としている。この井戸側の下位の部分は丸木をくりぬいたもので、下部より上に約15cmのところは径（34cm）を小さくして削り取っている。下部は厚み（８cm）を付けている。また、この井戸側の内面は丁寧な削り跡がみられ、この削り面には漆状のものが塗ってある。堆積土は掘形が第１層明黄褐色砂質土・第２層暗茶灰色粘質土・第３層青灰色シルト混粘土と暗灰色シルト混粘土の互層で、井戸側内が第４層茶灰色砂礫混粘質土・第５層暗茶灰色礫混粘質土である。遺物は、第５層内から土師質皿（133・134）の小片が少量出土している。掘形内からは摩滅した土師器の小片がごく少量出土している。時期は平安時代後期から末期であろう（第105図・第106図）。

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＧⅣ－ｄ ３区で検出した土坑である。東部は調査区外に至る。平面は南北方向に長い方形を呈する。規模は検出部で、東西0.８ｍ、南北2.５ｍ、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ２

ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は楕円形を呈し、西側はＳＰ22によって切られている。規模は検出部で、東西94cm以上、南北52cm、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ３

ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西側はＳＰ23によって切られている。規模は検出部で、東西0.54m、南北1.24m、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ４

ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。東部はＳＰ24によって切られ、ＳＫ５を切っている。西部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.７ｍ、南北1.56m、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面に緩やかな起伏がみられる。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ５

ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西部はＳＫ４・ＳＰ24に切られている。東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西52cm、南北54cm、深さ10cmを測る。断画は逆台形を呈する。堆積土は茶灰色粘質土である。遺物は、内部から土師器が小片が少量出土している。

ＳＫ６

ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈し、南部はＳＫ７に切られ、東部は調査区外に至る。規模は検出部で、東西0.９ｍ、南北1.８ｍ、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土した。

ＳＫ７

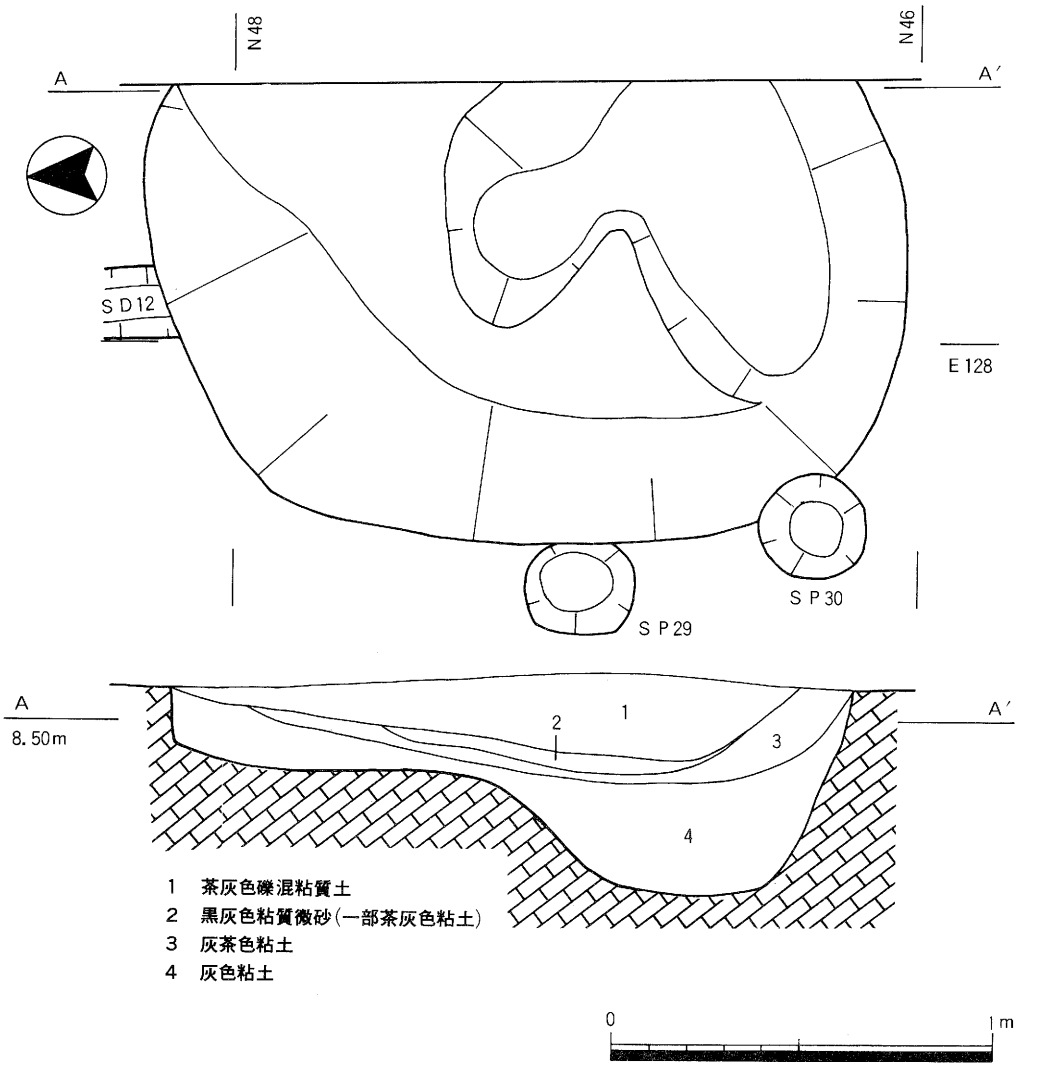
ＧⅣ－ｅ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。ＳＤ11に切られ、規模は検出部で、東西1.72m、南北1.９ｍ、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面には緩やかな起伏がみられる。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ８

ＧⅣ－ｆ ３区で検出した土坑である。検出面ではＳＤ12・ＳＰ29を切り、ＳＰ30に切られる。東部は調査区外に至る。平面は検出部で半円形を呈する。規模は検出部で、東西1.２ｍ、南北2.06m、深さ0.72mを測る。断面は逆台形を呈し、底面は南側に深くなっている部分がみられる。堆積土は、上方から第１層茶灰色礫混粘質土・第２層黒灰色粘質微砂（一部に茶灰色粘土）第３層灰茶色粘土・第４層灰色粘土で構成されている（107図）。遺物は、第２層から平安時代後期に比定される土器の小片が出土している。器種には土師質皿（135～146）、瓦器の小皿（147～149）・椀（150～157）がある（第108図）。

ＳＫ９

ＧⅣ－ｆ ３区で検出した土坑である。平面は不定形を呈する。西部は調査区外に至る。

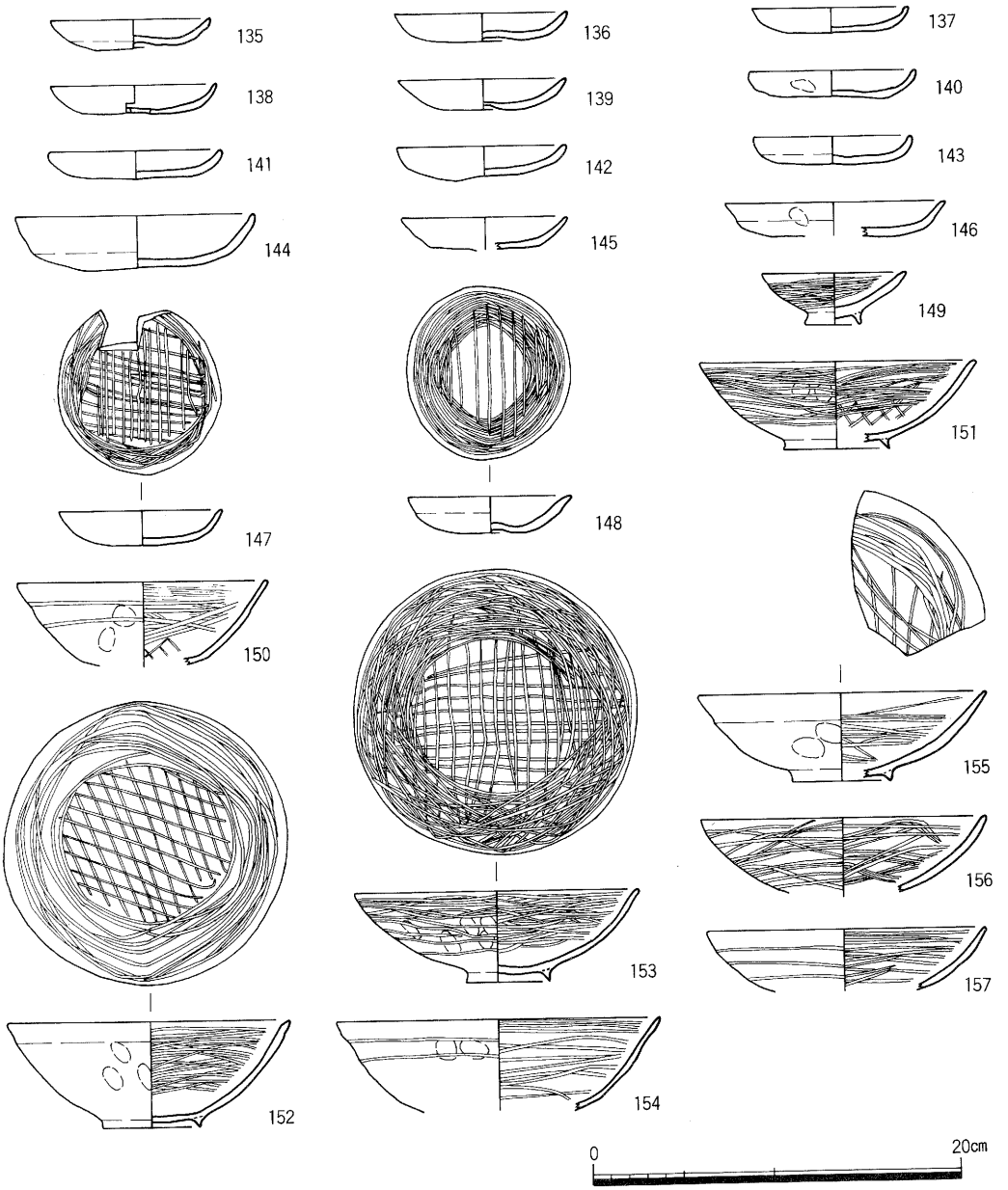


第107図　ＳＫ８平断面図

規模は検出部で、東西0.18～1.3 m、南北1.14m、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は茶灰褐色粘質土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ10

ＧⅣ－ｇ３区の南西偶で検出した土坑である。西部・南部はともに調査区外に至り、全容は不明である。規模は検出部で、東西１.６ｍ、南北1.96m、深さ22cmを測る。堆積土は灰茶褐色質粘土である。遺物は、内部から土師器の小片が少量出土している。

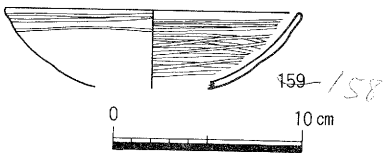


第108図　ＳＫ８出土遺物実測図

小穴（ＳＰ）

ＳＰ14～ＳＰ33

小穴は20個を数える。検出した小穴には調査区外に至るものもある。平面の形状には方形のもの２個（ＳＰ25・ＳＰ27）、円形のもの12個（ＳＰ15・ＳＰ18・ＳＰ19・ＳＰ21～ＳＰ24・ＳＰ28～ＳＰ31・ＳＰ33）、楕円形のもの６個（ＳＰ14・ＳＰ16・ＳＰ17・ＳＰ20・ＳＰ26・ＳＰ32）がある。規模は検出部で、径15～60cm、深さ10～30cmを測る。断面の形状には逆台形のもの（ＳＰ14～ＳＰ18・ＳＰ20・ＳＰ22～ＳＰ25・ＳＰ28～ＳＰ33）、逆凸形のもの（ＳＰ19・ＳＰ21・ＳＰ26・ＳＰ27）がある。また、小穴ＳＰ19内には径６～12cmの柱痕がみられる。小穴内堆積土はほとんどが１層（暗茶褐色砂混粘質土）である。小穴には建物跡に伴う柱穴と考えられるものもあるが、限られた調査区である為、規則性のある配列をもつものは見出せなかった。



第109図　ＳＰ16出土遺物実測図

遺物は、小穴の堆積土内から遺物の小片が少量出土しただけであり、時期を決定づけるものはＳＰ16内部から出土した瓦器の椀１点（158）だけである（第109図）。他の小穴は層位や周辺の検出遺構で判断すると平安時代後期から鎌倉時代初頭ごろであろう。なお、個々の小穴の法量・形状などについては第９表に記した。

第９表　第２調査面小穴（ＳＰ）一覧表

※　単位：cm

遺構番号	地区	平面図	断面形	径	深さ	堆積土	備考
ＳＰ14	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	38～58	9	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ15	ＧⅣ－ｄ３	円形	逆台形	26～28	10	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ16	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	36～60	8	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ17	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	46～56	7	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ18	ＧⅣ－ｄ３	円形	逆台形	28～30	8	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ19	ＧⅣ－ｄ３	円形	逆凸形	16～20	14	暗茶褐色砂混粘質土	径６～12柱痕有り
ＳＰ20	ＧⅣ－ｄ３	楕円形	逆台形	50～62	12	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ21	ＧⅣ－ｄ３	円形	逆凸形	28～32	32	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ22	ＧⅣ－ｅ３	円形	逆台形	38	17	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ23	ＧⅣ－ｅ３	円形	逆台形	28	24	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ24	ＧⅣ－ｅ３	円形	逆台形	26	16	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ25	ＧⅣ－ｅ３	方形	逆台形	28～34	16	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ26	ＧⅣ－ｅ３	楕円形	逆凸形	20～50	16	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ27	ＧⅣ－ｆ３	方形	逆凸形	24～38	37	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ28	ＧⅣ－ｆ３	円形	逆台形	22	8	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ29	ＧⅣ－ｆ３	円形	逆台形	26～28	9	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ30	ＧⅣ－ｆ３	円形	逆台形	28	10	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ31	ＧⅣ－ｆ３	円形	逆台形	26	9	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ32	ＧⅣ－ｆ３	楕円形	逆台形	46～68	12	暗茶褐色砂混粘質土	
ＳＰ33	ＧⅣ－ｇ３	円形	逆台形	32	10	暗茶褐色砂混粘質土	

溝（ＳＤ）

ＳＤ５

ＧⅣ－ｄ３区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至り、ＳＰ15を切る。規模は検出部で、幅26cm、深さ９cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ６

ＧⅣ－ｄ３区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、ＳＤ８・ＳＤ９と合流する。ＳＰ19・ＳＰ20と切り合う。規模は検出部で、幅60cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ７

ＧⅣ－ｄ３区で検出した。方向は南北方向を示し、北はＳＰ19に切られ、南はＳＤ９と合流する。規模は検出部で、幅44cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ８

ＧⅣ－ｄ３区で検出した。方向は東西方向を示す。東はＳＤ６と合流し、西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ８cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ９

ＧⅣ－ｄ３区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至り、ＳＤ６・ＳＤ７と合流する。規模は検出部で、幅60cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ10

ＧⅣ－ｅ３区で検出した。方向は東西方向を示し、ＳＫ５と切り合う。規模は検出部で、幅18cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ11

ＧⅣ－ｅ３区で検出した。方向は東西方向を示す。ＳＫ７を切り、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ12

ＧⅣ－ｆ３区で検出した。方向は南北方向を示し、ＳＫ８に切られる。規模は検出部で、幅20cm、深さ４cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土

していない。

SD13

GⅣ－f３区で検出した。方向は東西方向を示す。東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅18cm、深さ４cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD14

GⅣ－f３区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD21と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅74cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD15

GⅣ－f３区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD21と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅18～42cm、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD16

GⅣ－f３区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20と合流し、東西は調査区外に至る。規模は検出部で、幅30cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD17

GⅣ－f３区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD22と合流する。規模は検出部で、幅30cm、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD18

GⅣ－g３区で検出した。方向は東西方向を示し、東が一部広がっている。SD20と合流する。規模は検出部で、最大幅170cm、最小幅55cm、深さ４cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD19

GⅣ－g３区で検出した。方向は東西方向を示す。SD20・SD22と合流する。規模は検出部で、幅22cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD20

GⅣ－g３区で検出した。方向は南北方向を示す。SD14～SD19と合流し、SK10に切られる。規模は検出部で、幅26cm、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色

粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ21

ＧⅣ－ｆ３区で検出した。方向は南北方向を示す。ＳＤ14・ＳＤ15と合流する。規模は検出部で、幅10cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ22

ＧⅣ－ｆ３～ｇ３区で検出した。方向は南北方向を示す。ＳＤ18と合流する。規模は検出部で、幅16cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

第３調査面

溝（ＳＤ）

ＳＤ23

ＧⅣ－ｄ３～ｆ３区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅136cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ24

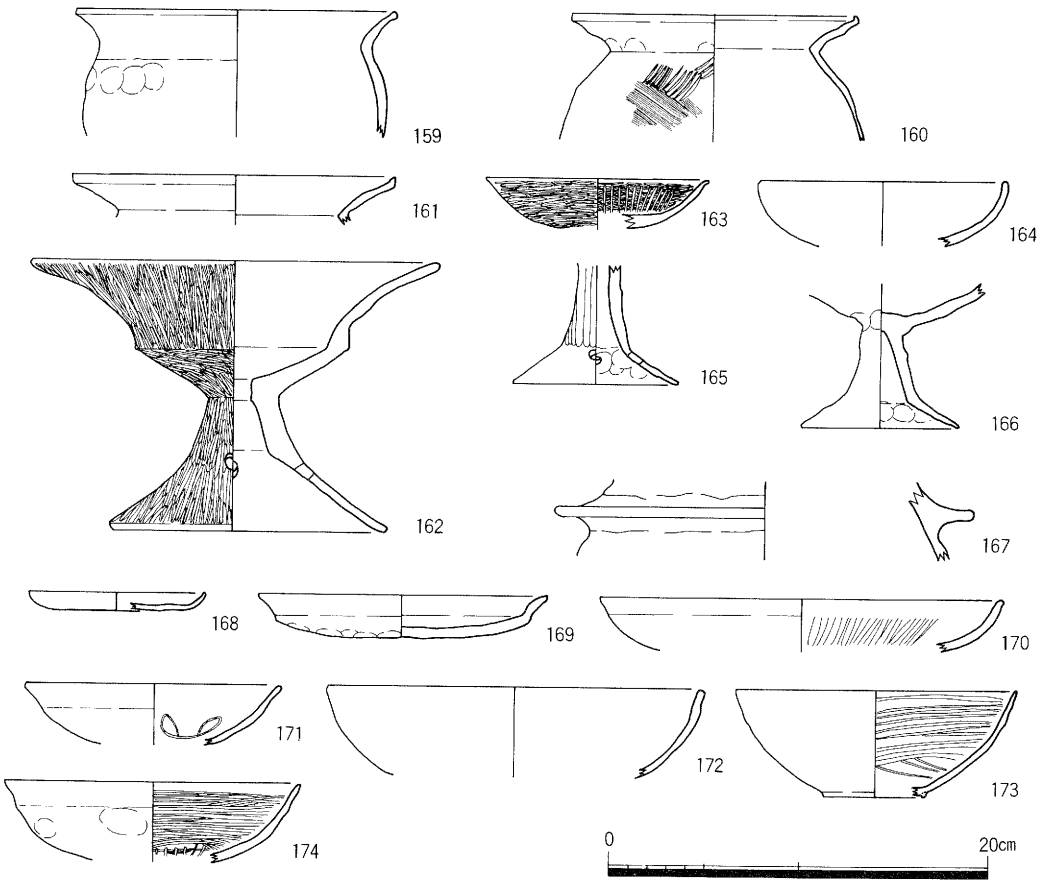
ＧⅣ－ｅ３～ｇ３区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅66cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ25

ＧⅣ－ｆ３～ｇ３区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。規模は検出部で、幅64cm、深さ12cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

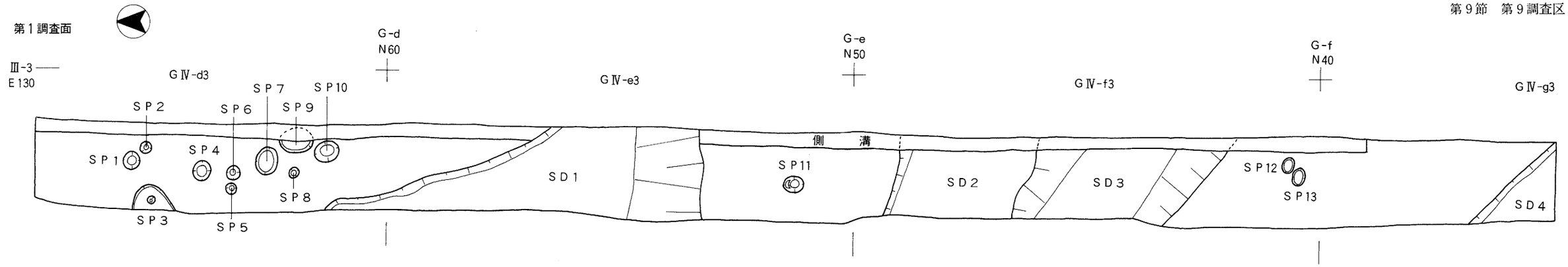
Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

第５層（包含層）内から遺物が出土している。出土遺物は古墳時代前期～鎌倉時代にかけてのもので、出土量はコンテナ箱にして約１箱分を数える。図示できたものは16点を数える。器種には古墳時代前期に比定される第Ⅴ様式系甕（159）・庄内式甕（160・161）・器台（163）・高杯（162）、古墳時代中期に比定される高杯（164～166）、奈良時代に比定される土師器の皿（170）・杯（171・172）、鎌倉時代初頭に比定される土師器の小皿（168）・中皿（169）、羽釜（167）、瓦器の椀（173・174）がある（第110図）。

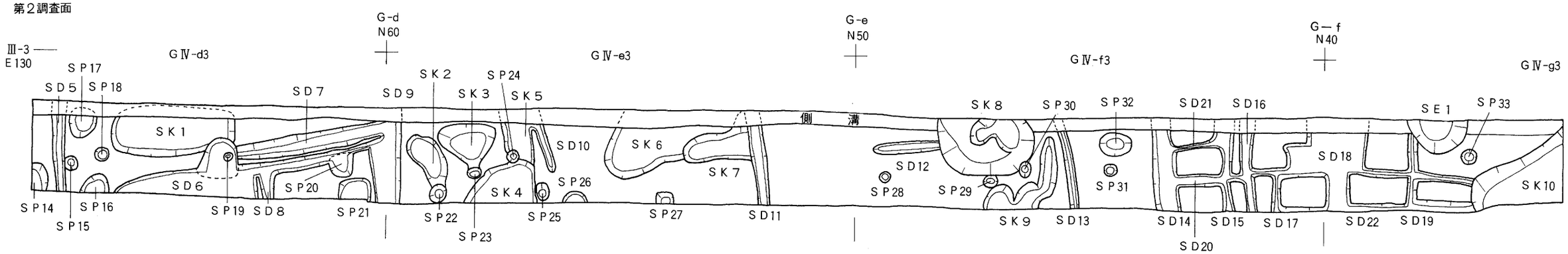


第110図　包含層出土遺物実測図

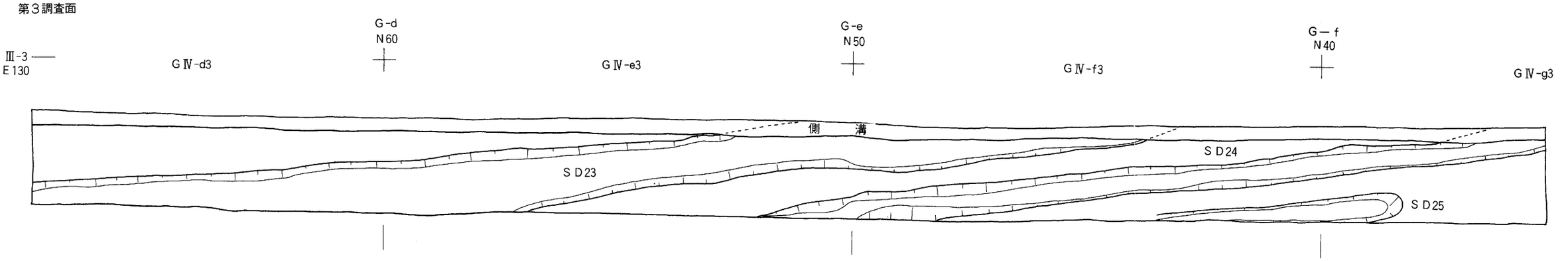
第１調査面



第２調査面



第３調査面



0　5m

第111図　遺構平面図

第10節　第10調査区

今回の調査で最も北部に設定した南北に長い調査区（長さ79m ）である。調査区の北部は小阪合ポンプ場建設の仮設道路により調査幅が狭くなっている。調査面積は約426㎡ である。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる７層を基本層序とした。現地表面は標高8.8m を測る。

第１層盛土：層厚60cm。工事による盛土である。当調査区の北部だけ盛土している。

第２層耕土：層厚10～20cm。調査前まで農地として耕されていた耕作土である。

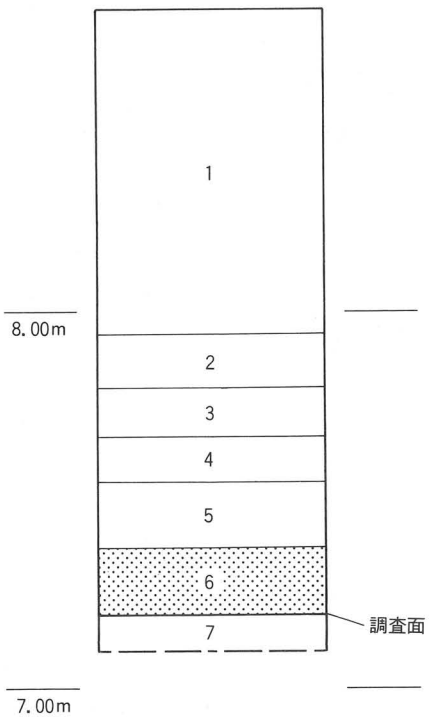
第３層暗茶褐色砂質土：層厚10～12cm。耕土の床土である。

第４層黄褐色砂礫混粘質土：層厚12～14cm。

第５層灰褐色～明茶褐色砂礫混粘質土：層厚４～16cm。北側へ行くにつれ色調が暗くなる。

第６層暗灰色砂礫混粘土：層厚20cm。古墳時代～平安時代後期までの遺物が含まれている。特に埴輪円筒棺を検出した周辺では埴輪片が多量出土している。

第７層青灰色砂質土～シルト：層厚20cm以上。この上面で古墳時代前期～平安時代後期にかけての遺構を検出した。標高7.2m を測る。



第112図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

第７層上面を調査面とした。その結果、古墳時代中期に比定される埴輪円筒棺１基・土坑１基（ＳＫ１）と、平安時代後期に比定される土坑１基（ＳＫ２）・溝14条（ＳＤ１～ＳＤ14）を検出した。

埴輪円筒棺

ＡⅣ－ｆ10地区で検出した。朝顔形円筒埴輪と円筒埴輪を組合せた埴輪円筒棺である。検出面は第７層上面で、平面が長方形を呈する掘形を検出した。掘形の規模は検出部で、最長幅２m 、最短幅約0.8m を測る。掘形内には朝顔形埴輪（１）と円筒埴輪（２）が南西－北東の方向に設置されていた。朝顔形埴輪は口縁部を南西側に向けて設置し、底部の北東側には円筒埴輪が同じ方向に設置されていた。朝顔形埴輪と円筒埴輪の間には10cmの隙間があり、上半部は

内側へ折れて潰された状態で検出した。また、埴輪円筒棺の南西部と北東部の両口には塞いだ形跡がみられなかった。人骨・副装品等は埴輪円筒棺内外部から検出されていない。時期は埴輪の編年（川西編年）によるⅡ期に比定されよう（第114図・第115図）。

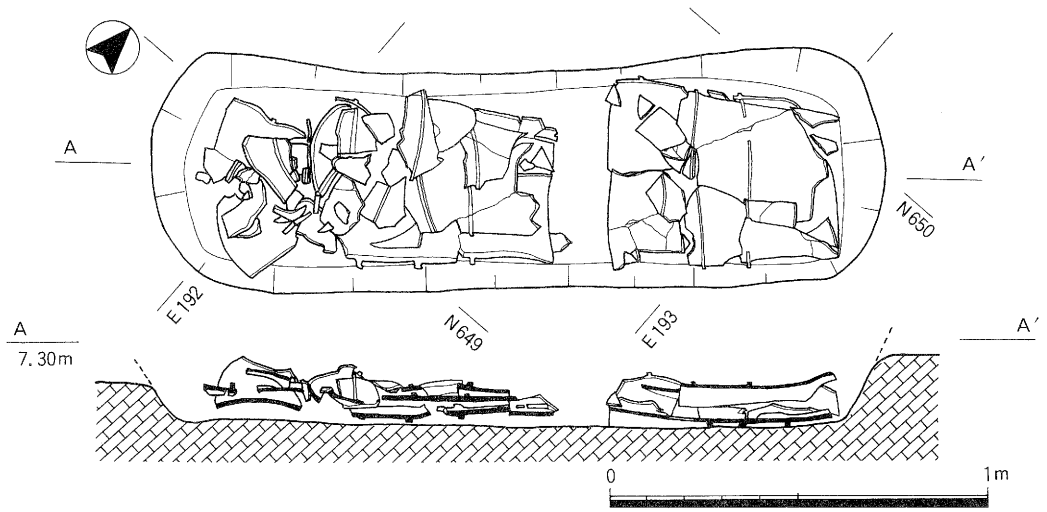
土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

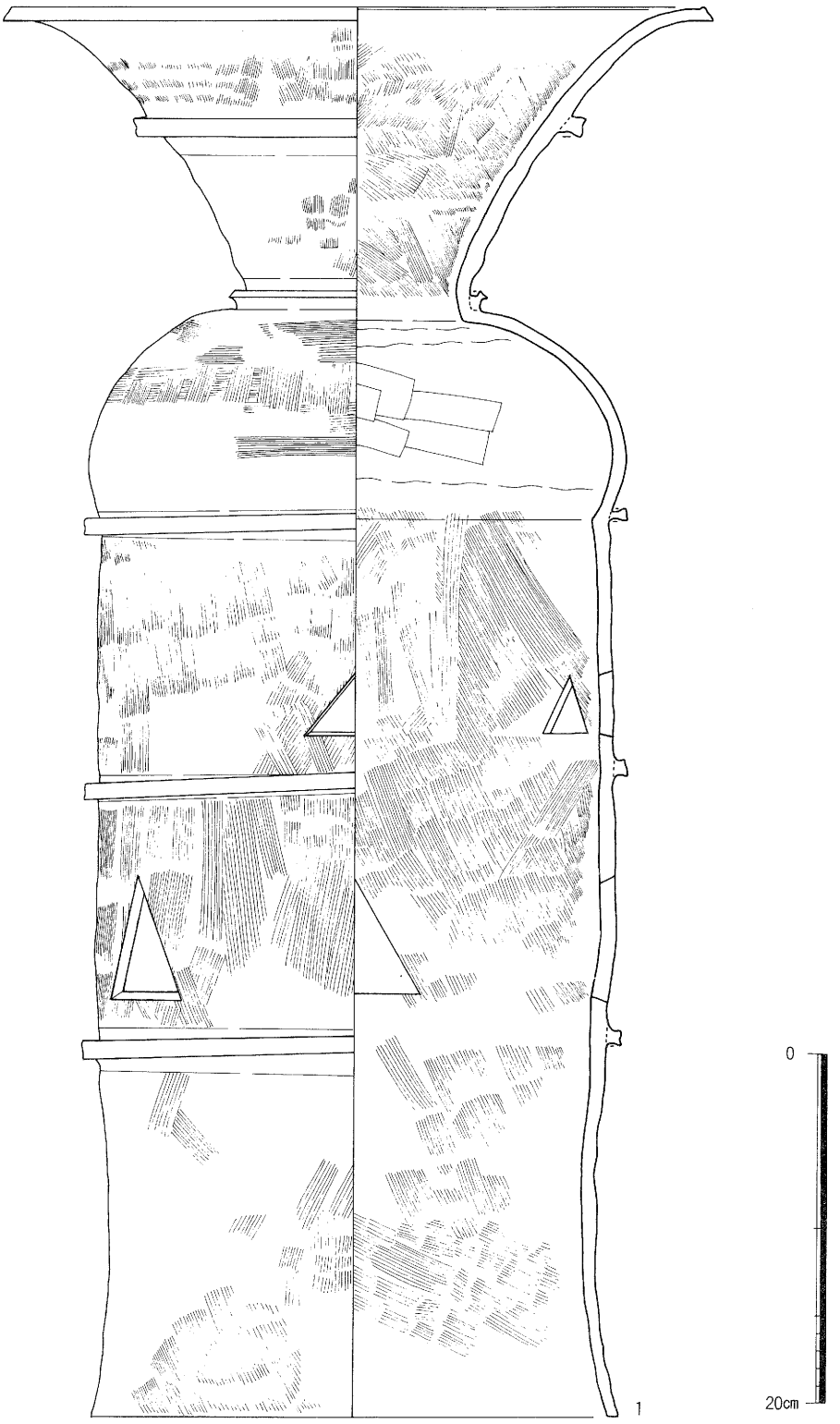
ＡⅤ－ｉ１区で検出した。平面はほぼ円形を呈する。規模は検出部で、径90cm、深さ60cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は、堆積土内から古墳時代中期に比定される土師器の小片が少量出土している。

ＳＫ２

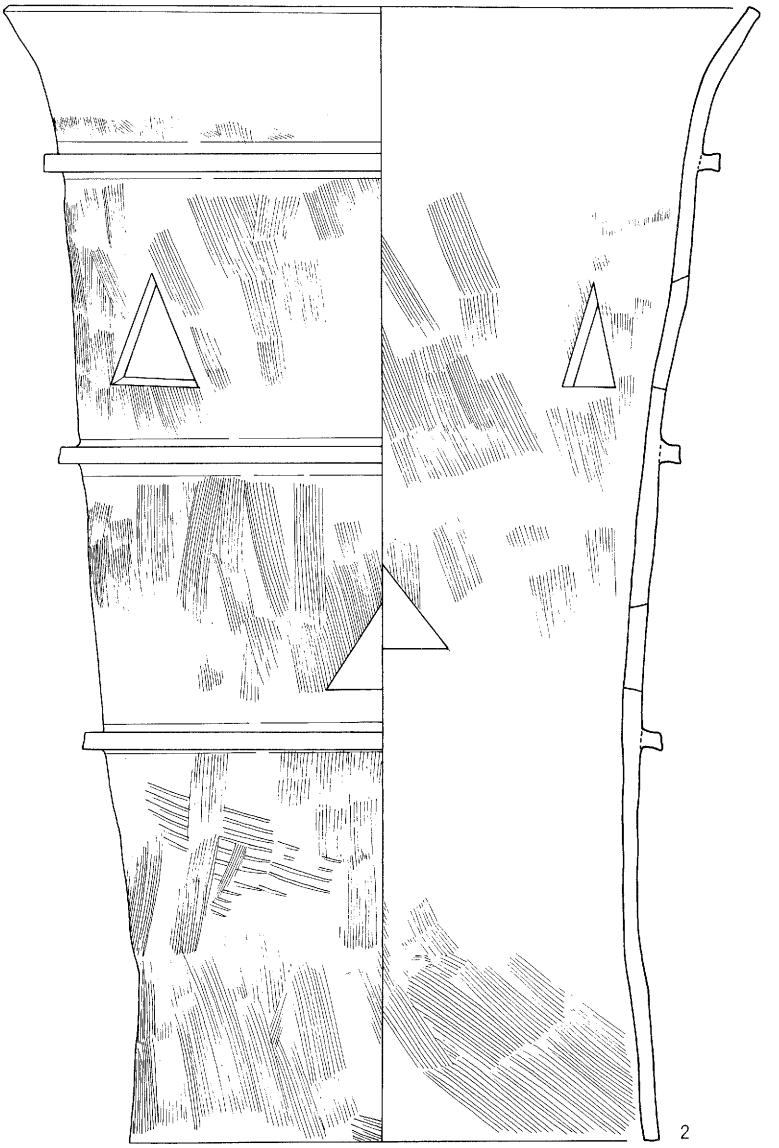
ＡⅣ－ｅ９区で検出した。東部は調査区外に至り不明である。平面は不定形を呈する。規模は検出部で、最大幅３ｍ、最小幅１ｍ、深さ13～21cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面にはやや起伏がみられる。堆積土は暗灰褐色細砂混シルトである。遺物は、堆積土内から土師器の小片が少量出土している。



第113図　埴輪円筒棺出土平断面図



第114図　朝顔形埴輪実測図



第115図　円筒埴輪実測図

溝（ＳＤ）

ＳＤ１

ＡⅣ－ｄ９区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅22cm、深さ５cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ２

ＡⅣ－ｄ９区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅22cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ３

ＡⅣ－ｄ９区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅24cm、深さ７cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ４

ＡⅣ－ｄ９区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅34cm、深さ６cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ５

ＡⅣ－ｅ９区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅28～37cm、深さ８cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ６

ＡⅣ－ｅ10区で検出した。方向は南北方向を示す。ＳＤ７と切り合う。規模は検出部で、幅22cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ７

ＡⅣ－ｅ10区で検出した。方向は南北方向を示す。ＳＤ６と切り合う。規模は検出部で、幅24cm、深さ10cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ８

ＡⅣ－ｅ10区で検出した。方向は南北方向を示す。規模は検出部で、幅24cm、深さ17cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ９

ＡⅣ－ｆ９～ｆ10区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅20cm、深さ16cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ10

ＡⅤ－ｈ１区で検出した。方向は南東－北西方向を示す。規模は検出部で、幅58cm、深さ13

cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は灰褐色粘質シルトである。遺物は出土していない。

SD11

AV－j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅48cm、深さ11cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD12

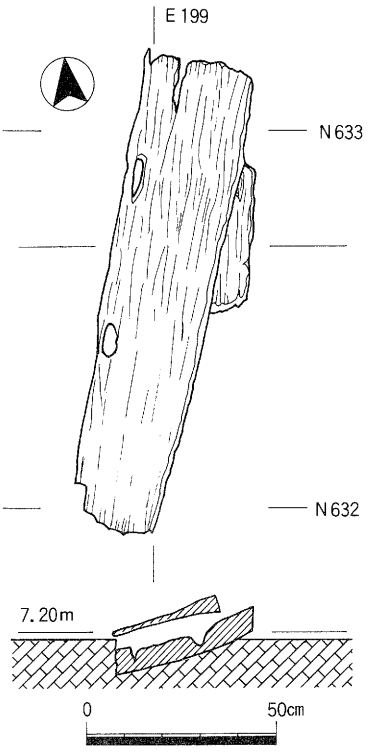
AV－j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅56～84cm、深さ5～13cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

SD13

AV－j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。規模は検出部で、幅2.1～4.4m、深さ20～24cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土で、この上面にSD14が切り込まれている。遺物は出土していない。

SD14

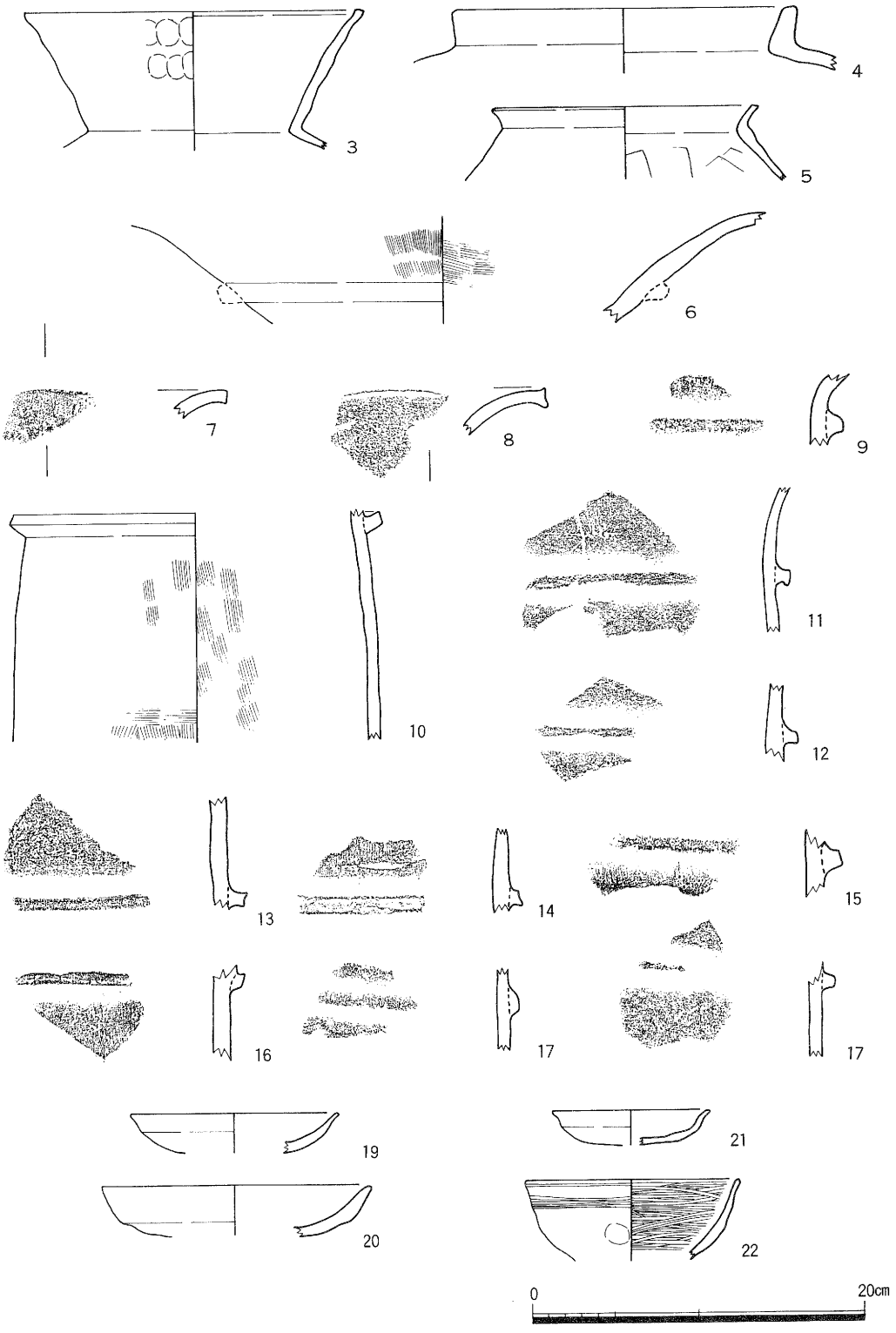
AV－j 1区で検出した。方向は東西方向を示す。堆積されたSD13の上面から切り込んでいる。規模は検出部で、幅25cm、深さ5cmを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。



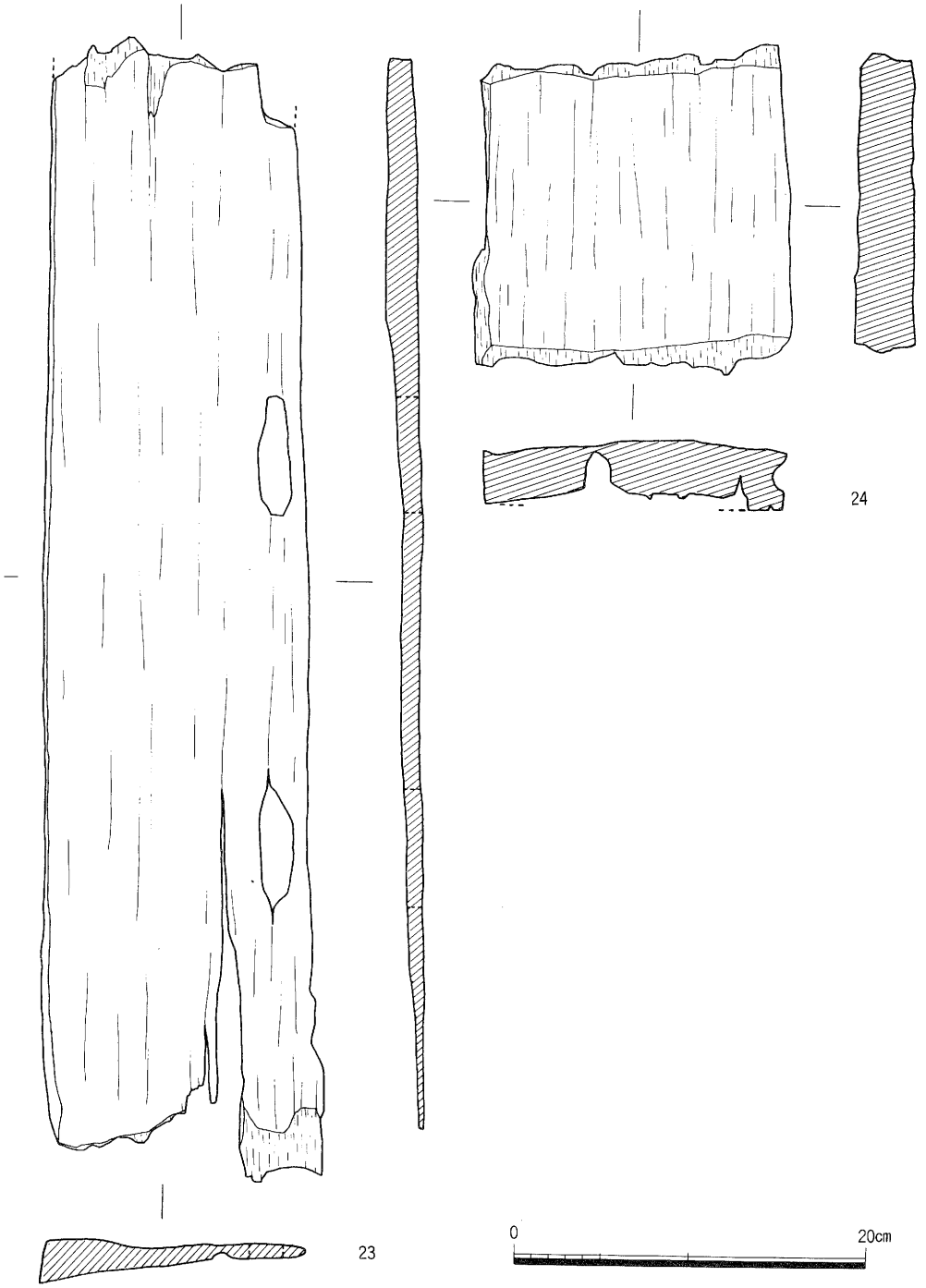
第116図　第6層検出木製品平断面図

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

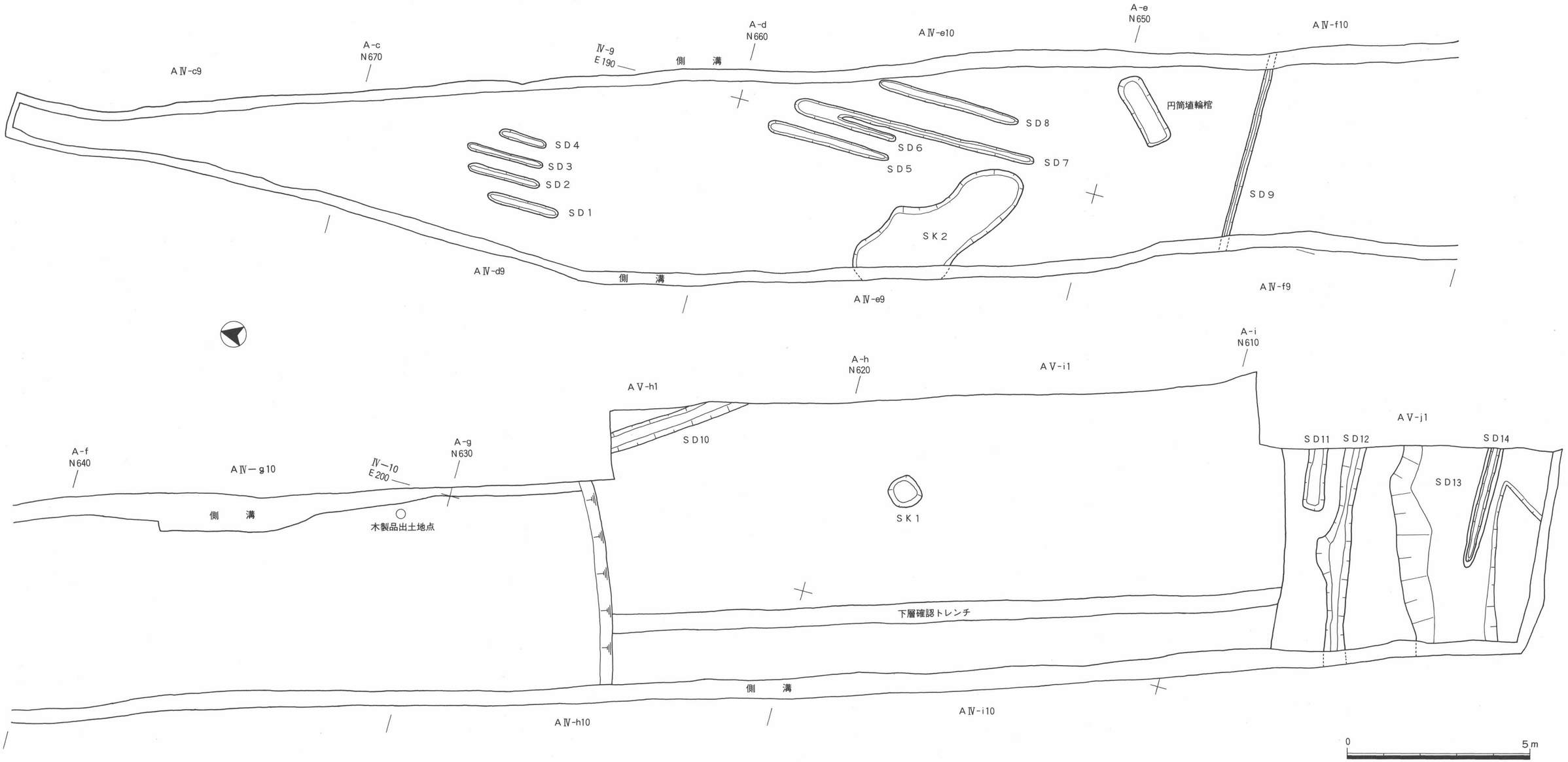
第6層内からは古墳時代前期～平安時代末期に至る遺物が出土している。出土量はコンテナ箱にして約2箱分を数える。図示したものは20点である。時期別には古墳時代前期（布留式古相）に比定される壺（3）、布留式新相に比定される土師器の壺（4）・甕（5）、朝顔形埴輪（6～9）・円筒埴輪（10～18）、平安時代末期に比定される土師器の小皿（19）・中皿（20）、瓦器の小皿（21）・椀（22）が出土している（第117図）。その他には、AV－h 1区東壁の第6層の上面で木製品2点（23・24）が重なって検出している。上部の木製品（23）は長方形の板状で、両端は腐敗して欠損している。全長131cm、幅30cm、厚み3.8cmを測る。長辺の片側付近には両端からそれぞれ30cmと38cmの所に長方形の孔（13.6×3.7cmと17.5×3.9cm）がある。下部の木製品（24）は方形の板状で、幅34.5×31.7cm、厚み7cmを測る（第116図・第117図）。



第117図　包含層出土遺物実測図２



第118図　第６層出土木製品実測図


A-c
N670
A-d
N660
A-e
N650
A-f
N640
A-g
N630
A-h
N620
A-i
N610
Ⅳ-9
E190
Ⅳ-10
E200
AⅣ-c9
AⅣ-d9
AⅣ-e9
AⅣ-e10
AⅣ-f9
AⅣ-f10
AⅣ-g10
AⅣ-h10
AⅣ-i10
AⅤ-h1
AⅤ-i1
AⅤ-j1
側　溝
SD1
SD2
SD3
SD4
SD5
SD6
SD7
SD8
SD9
SD10
SD11
SD12
SD13
SD14
SK1
SK2
円筒埴輪棺
木製品出土地点
下層確認トレンチ
0
5m

第119図　遺構平面図

第11節　第11調査区

第10調査区の南部へ約50m に設定した南北に長い調査区（長さ37m ）である。調査面積は222㎡を測る。当調査区と第10調査区の間には昭和57年度第１次調査のＣ－Ⅱ地区と、昭和59年度に大阪府教育委員会が小阪合ポンプ場の関係工事に伴う発掘調査を実施された調査地があり、古墳時代前期～江戸時代にかけての遺構・遺物が検出されている。

Ⅰ　基本層序

当調査区で普遍的にみられる６層を基本層序とした。現地表面は標高8.1m を測る。

第１層耕土：層厚10～20cm。調査前まで耕されていた土層である。

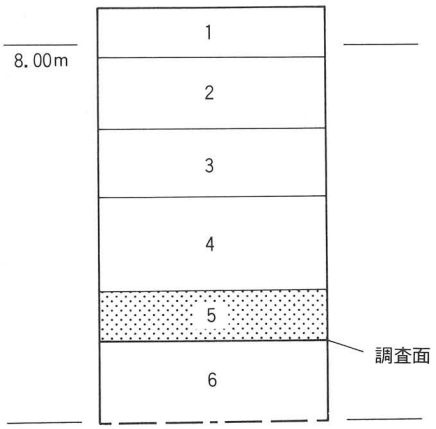
第２層床土：層厚20～25cm。耕土の床土である。

第３層茶灰色粘質土：層厚18～24cm。北側へ行くに従い灰色に変わり、粘性が強くなる。

第４層暗灰色細砂混粘質土：層厚25～28cm。

第５層青灰色粘質シルト：層厚10～15cm。古墳時代～鎌倉時代に至る土器の小片が含まれる。

第６層青灰色粘土：層厚25cm以上。粘性の強い土層である。上面は標高7.2m を測る。



第120図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20）

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

第６層上面を調査面とした。その結果、鎌倉時代に比定される土坑１基（ＳＫ１）・小穴１個（ＳＰ１）・溝６条（ＳＤ１～ＳＤ６）を検出した。

土坑（ＳＫ）

ＳＫ１

ＢⅤ－ｉ４区で検出した。東部の一部はＳＤ４に切られている。平面はほぼ楕円形を呈する。規模は検出部で、東西0.64m 、南北1.54m 、深さ13cmを測る。断面は逆台形を呈し、底面は平坦である。堆積土は暗茶褐色細砂混粘質土と暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

小穴（ＳＰ）

ＳＰ１～ＳＰ３

ＢⅤ－ｈ４～ｉ４区で３個検出した。平面はすべて円形を呈する。規模は検出部で、ＳＰ１が径24cm、深さ12cm、ＳＰ２が径18～24cm、深さ6.7cm、ＳＰ３が径22cm、深さ11.5cmをそれぞれ測る。断面はすべて逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色砂混粘質土である。遺物は出土していない。

溝（ＳＤ）

ＳＤ１

ＢＶ－ｈ４区で検出した。方向は南東－北西を示し、南東端はＳＤ２に切られ、北部は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長２ｍ、幅48㎝、深さ15㎝を測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ２

ＢＶ－ｈ４～ｉ４地区で検出した。方向はほぼ南北方向を示す。北西部はＳＤ１を切っている。規模は検出部で、検出長４ｍ、幅20～62㎝、深さ12㎝を測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗茶褐色砂混粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ３

ＢＶ－ｉ４区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、中央部の東側はＳＤ４を切っている。規模は検出部で、検出長約４ｍ、幅40㎝、深さ12㎝を測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ４

ＢＶ－ｉ４区で検出した。方向は南北方向を示す。北端はＳＤ３によって切られ、南側はＳＫ１を切っている。規模は検出部で、検出長３ｍ、幅36㎝、深さ10㎝を測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ５

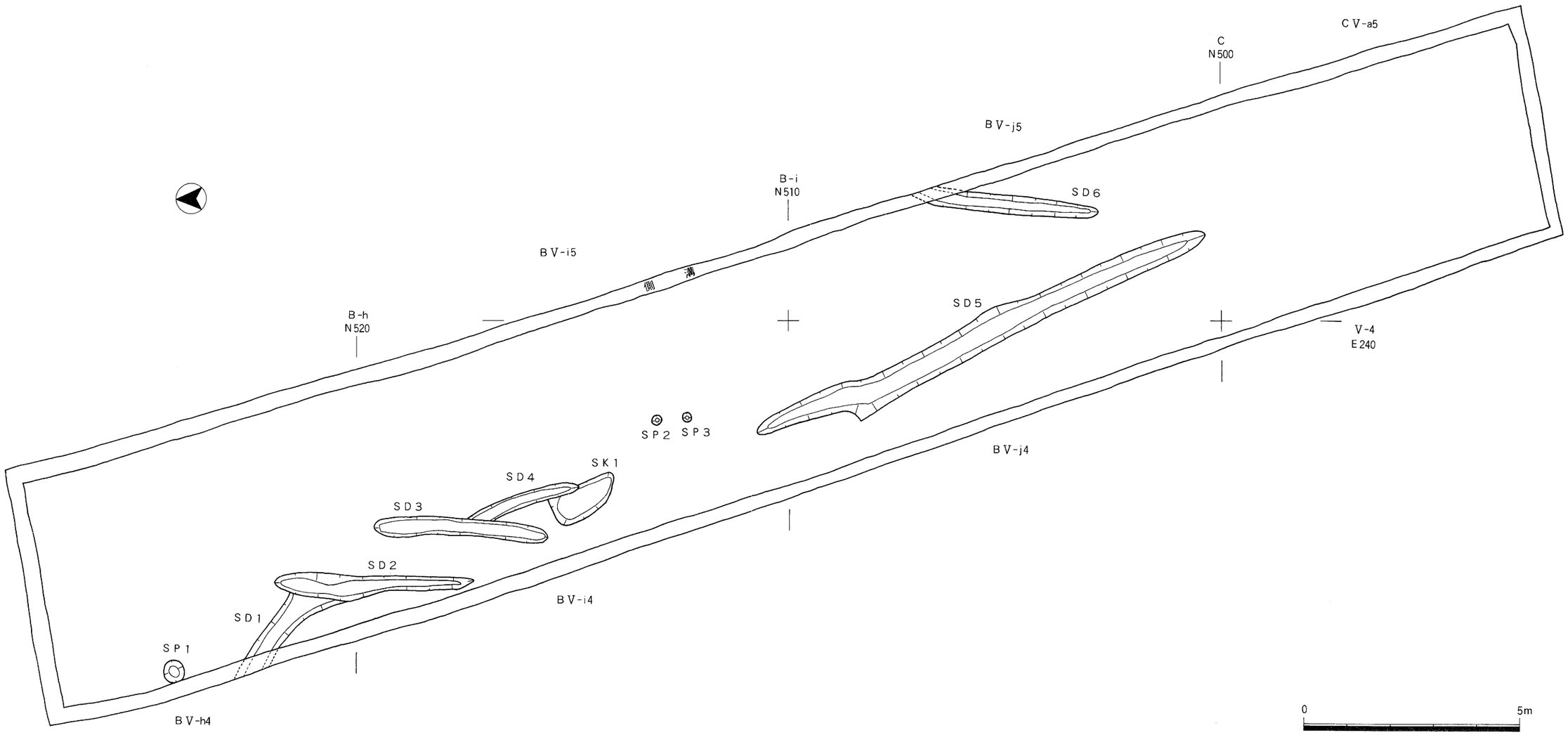
ＢＶ－ｉ４～ｊ５区で検出した。方向は南東－北西を示す。規模は検出部で、検出長11ｍ、幅62㎝、深さ19ｍを測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

ＳＤ６

ＢＶ－ｊ５区で検出した。方向はほぼ南北方向を示し、北側は調査区外に至る。規模は検出部で、検出長約４ｍ、幅26～36㎝、深さ５㎝を測る。断面は逆台形を呈する。堆積土は暗灰褐色細砂混粘質土である。遺物は出土していない。

Ⅲ　遺構に伴わない出土遺物

当調査区では第５層から古墳時代前期～鎌倉時代にかけての遺物が出土している。出土量はコンテナ箱にして約半箱分で、ほとんどの遺物は摩滅した土器の小片である。図示できたものはないが、器種が判別できたものには、古墳時代前期に比定される第Ⅴ様式甕・庄内式甕、古墳時代後期に比定される須恵器の杯身、鎌倉時代に比定される土師器小皿・瓦器椀などがある。


C
N500
CV-a5
BV-j5
B-i
N510
SD6
BV-i5
側溝
B-h
N520
SD5
V-4
E240
SP2
SP3
BV-j4
SK1
SD4
SD3
SD2
SD1
BV-i4
SP1
BV-h4
0
5m

第121図　遺構平面図

第12節　第12調査区

第11調査区の南部約15m を位置する南北に長い調査区（長さ102m ）である。調査面積は612㎡を測る。

Ⅰ　基本層序

当調査区において普遍的にみられる７層を基本層序とした。現地表面は標高9.2m を測る。

第１層盛土：層厚140cm。宅地開発によって埋立てられた層である。

第２層旧耕土：層厚12～16cm。近年まで耕作されていた層である。

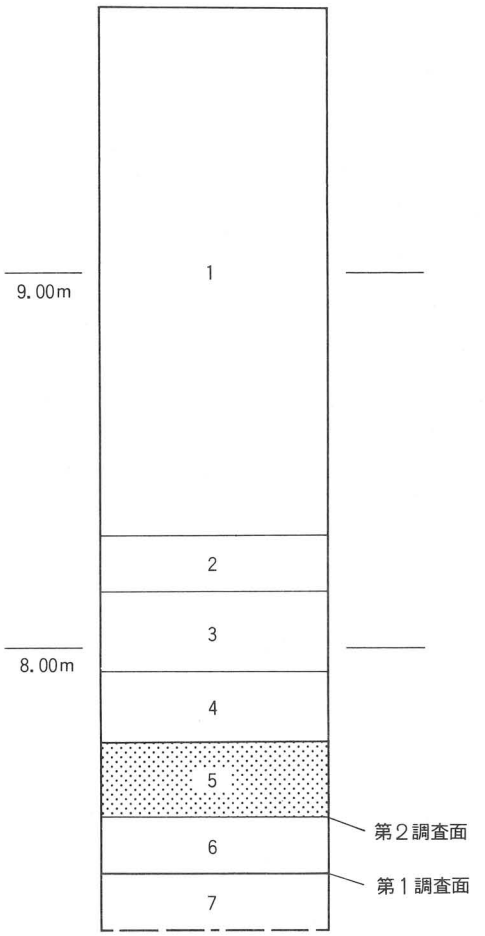
第３層黄灰色粘砂土：層厚14～25cm。耕土の床土である。

第４層茶灰色粘質土：層厚14～22cm。

第５層黄褐灰色細砂混粘質土：層厚10～26cm。古墳時代～鎌倉時代にかけての遺物が摩耗した状態でごく少量出土している。また下位には砂層が堆積している部分がみられ、一時的な氾濫によって堆積したものと考えられる。

第６層暗灰色～青灰色粘質土：層厚12～18cm。鎌倉時代～室町時代の耕作土である。この上面は標高7.8m を測り、上面の一部には足跡状の窪みが多数みられる（第２調査面)。

第７層青灰色粘土：層厚15cm以上。この上面で耕作によってできた溝が検出された。この上面は標高7.6m を測る。



第122図　基本層序柱状図（Ｓ＝1/20)

Ⅱ　検出遺構・出土遺物

第６層上面（第２調査面）と第７層上面（第１調査面）の２面を調査面とした。その結果、第１調査面では鎌倉時代に比定される溝10条（ＳＤ１～ＳＤ10）を検出した。第２調査面では鎌倉時代～室町時代に比定される足跡状遺構を検出した。

第１調査面

溝（ＳＤ）

第６層上面から切込む南北方向に伸びる溝10条（ＳＤ１～ＳＤ10）を検出した。この溝の堆積土は第５層と同じ土層である。これは農耕に関連するものと考えられる。以下、溝の法量・方向等については第10表に記した。

第10表　第１調査面溝(ＳＤ１) 一覧表

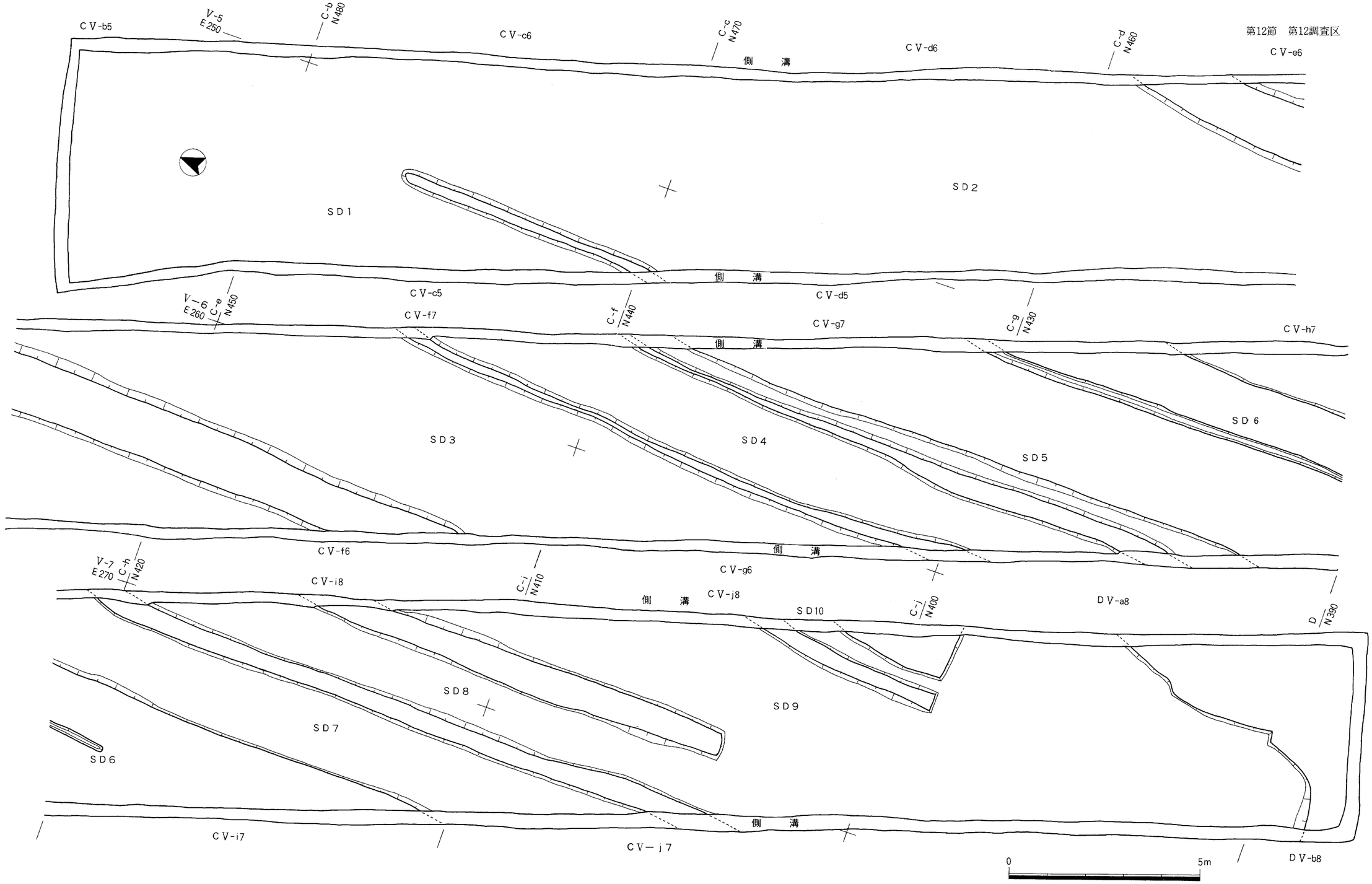
※　単位：cm

遺構番号	調　査　区	幅	深さ	方　向	質　面　形	堆　積　土	備　　考
ＳＤ１	ＣＶ－ｃ５	560	13	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ２	ＣＶ－ｃ５～ｆ６	1484	12	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ３	ＣＶ－ｅ６～ｇ６	470	6	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ４	ＣＶ－ｆ７～ｂ７	226	12	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ５	ＣＶ－ｇ７～ｈ７	54	13	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ６	ＣＶ－ｇ７～ｉ７	30	8	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ７	ＣＶ－ｈ７～ｊ７	200	13	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	
ＳＤ８	ＣＶ－ｉ８～ｊ８	156	13	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	ＳＤ９と合流
ＳＤ９	ＣＶ－ｉ８～ｊ８	288	15	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	ＳＤ８・ＳＤ10と合流
ＳＤ10	ＣＶ－ｊ８～ＤＶ－ａ８	46	14	南　北	逆　台　形	暗灰色粘質土	ＳＤ９と合流。

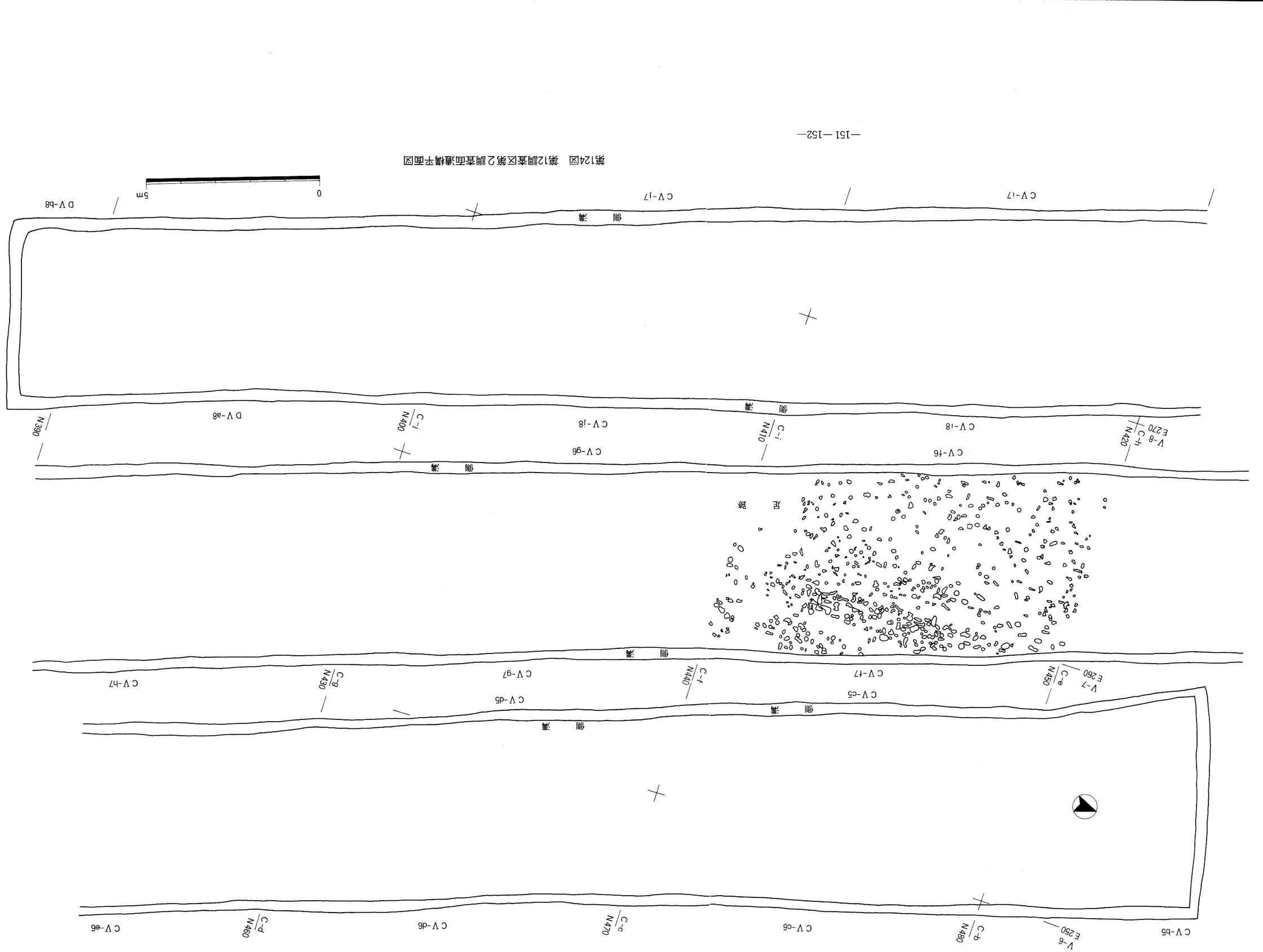
第２調査面

足跡状遺構

ＣＶ－ｆ６～ｆ７区に集中した状態で検出した。規模は径５～25cm、深さ４～12cmを測る。平面の形状には円形のもの、楕円形のもの、不定形のものがみられる。内部には第６層上面に薄く覆っている砂層が堆積している。遺物は、砂層内から鎌倉時代～室町時代に比定される土器の小片がごく少量出土している（第124図)。



第123図　第12調査区第１調査面遺構平面図



第124図　第12調査区第2調査面遺構平面図

第４章　出土遺物観察表

第1調査区

※タタキ・ハケ目の条線の数は1cmの値

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	甕 (土師器) SK1	口径	14.4	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(7本)、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	長石・雲母角閃石・赤褐色酸化粒等の粗粒砂を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着
2	同上 SK1	口径	16.6	口縁部は外上方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	淡褐色	長石・石英雲母・角閃石等の粗砂等を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
3	同上 SK1	口径	15.0	口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡黄褐色	赤褐色酸化粒・雲母・石英・チャート等を微量に含む。	良好	
4 二九	同上 SK1	口径	12.8	上内方に内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	淡灰色	石英・長石・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好	体部外面に煤付着。
5 二九	小型壺 SD1	口径 器高	6.4 8.1	球形の体部より上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面・肩部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ・指頭痕。	淡茶灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
6 二九	同上 SD1	口径 器高	5.1 6.6	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部外内面ハケナデ(7本)、体部外面上位剥離の為不明、下位ハケナデ(7本)内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
7 二九	同上 SD1	口径 器高 最大径	5.8 7.6 8.1	偏平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(13本)、体部外面上位ヘラミガキ、下位ヘラ削り、内面ナデ。	淡茶灰色	1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	
8 二九	同上 SD1	口径 器高	8.6 8.6	偏平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、肩部内面ヨコナデ、指頭痕、体部内面ヘラ削り。	暗橙色	2.5mm以下の長石・雲母等を多量に含む。	良好	完形。
9 二九	同上 SD1	口径 器高 最大径	9.15 9.45 10.4	最大径を上位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケ後ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケ後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	外 淡灰橙色 内 乳灰橙色	3mm以下の長石・石英等を少量含む。	良好	外面に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
10 三〇	小型壺 (土師器) SD1	口径 8.6 器高 9.9 最大径 10.4	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸び中位で膨らみをもつ口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面上位に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、肩部内面指頭痕、体部内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	完形。
11 三〇	同上 SD1	口径 7.8 器高 11.5	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ナデ・指ナデ、底部外面板状工具によるナデ。	灰橙褐色	3.5㎜以下の長石・角閃石・雲母等を多量に含む。	良好	
12 三〇	同上 SD1	口径 10.6 器高 14.2 最大径 13.7	最大径を上位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面ハケナデ後ナデ、内面ナデ、底部内面指ナデ。	灰茶色	0.4㎜以下の微砂粒を含む。	良	
13 三〇	同上 SD1	口径 13.2 最大径 17.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部中以下は欠損。肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面剥離の為不明、体部外面剥離の為不明、内面上位ナデ、指頭痕、中位ヘラ削り。	外 乳灰橙色 内 淡灰橙色	3.5㎜以下のチャート・長石・赤褐色酸化粒等を多量に含む。	良好	
14 三〇	同上 SD1	口径 11.4 器高 15.2 最大径 15.8	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面剥離の為不明、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	1㎜以下の雲母・石英・長石等の細砂粒を含む。	良好	完形。 体部外面下位に煤付着。
15 三〇	同上 SD1	頸部径 7.1 最大径 16.05	体部は球形である。底部は丸底。口縁部端部は欠損。底部内面に1本の接合痕を有す。 体部外面剥離の為不明、内面ナデ、底部内面指頭痕。	灰黄橙色	5㎜以下の石英・長石・チャート・赤褐色酸化粒・雲母等を多量に含む。	良好	体部外面～底部外面に煤付着。
16 三一	同上 SD1	口径 11.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ、内面ヘラ削り。	外 黒黄褐色 内 灰黄褐色	3㎜以下の長石・石英・チャート・雲母等を多量に含む。	良好	
17 三一	同上 SD1	口径 20.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。口縁部中位に凸面をもつ。端部は丸い。体部中位以下は欠損。口縁部外面に3本と肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラナデ、内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面指頭痕・ヘラナデ。	外 乳灰橙色 内 暗灰橙色	2.5㎜以下の長石・石英・チャート・雲母等を多量に含む。	良好	口縁部内面に炭化物付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
18 三一	壺 (土師器) SD1	口径 15.3	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ヨコナデ、下位ナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	乳灰橙色	1.5㎜以下の石英・長石・チャート等を多量に含む。	良好	
19 三一	同上 SD1	口径 11.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。肩部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	4㎜以下の砂礫粒を含む。	良好	
20 三一	同上 SD1	口径 11.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面指頭痕。	橙色	0.5㎜以下の長石・石英・角閃石等の微砂粒を多量に含む。	良好	
21 三一	同上 SD1	口径 15.7 最大径 23.7	楕円形と思われる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)後ナデ、内面ヘラ削り。	淡褐茶灰色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
22 三一	同上 SD1	口径 14.2	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、肩部内面ナデ、体部内面ヘラ削り。	外 淡灰色 内 黒褐色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
23 三一	同上 SD1	口径 21.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ。	淡灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良	口縁部内外面・体部内面に煤付着。
24 三一	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)後ヘラナデ、内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	1㎜以下の長石・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良	
25 三二	同上 SD1	口径 17.4 器高 29.6 最大径 26.5	最大径を中位よりやや上にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は内方につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面ナデ。	茶灰褐色	1㎜以下の長石等の細砂粒を少量含む。	良	完形。
26 三二	同上 SD1	口径 12.0 最大径 18.2	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は欠損。体部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ、底部内面ハケナデ。	茶灰色	5.5㎜以下の砂礫粒を含む。	良	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
27 三二	壺 (土師器) SD1	口径 15.0	最大径を中位にもつ楕円形と思われる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	褐灰色	5㎜以下の砂礫粒を含む。	良	体部外面中位に煤付着。
28 三二	同上 SD1	最大径 29.8	最大径を上位にもつ体部より直上して伸びる。底部は突出しない小さい平底。口縁部、端部は欠損。 頸部外面ヨコナデ後ハケナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、(10本)、内面上位ハケナデ(6本)、中位以下ヘラ削り。	茶灰色	1㎜以下の石英・長石・角閃石等の細砂粒を多量に含む。	良	
29 三二	同上 SD1	口径 21.6 器高 42.4	楕円形の体部より屈曲し、斜上方へ外反して伸びた後屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、上に凹面をもつ。底部は丸底。肩部内面に3本の接合痕を有す。体部外面にカゴの痕跡有り。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、肩部内面ナデ、体部内面ヘラ削り。	外 淡灰褐色 内 黒茶色	1㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒・チャート等の細砂粒を多量に含む。	良好	完形。 内面に炭化物付着。
30 三二	甕 (土師器) SD1	口径 12.9 器高 20.6 最大径 18.6	最大径を中位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為不明、体部外面剝離の為不明、内面上中位ヘラ削り、下位ヘラナデ。	灰褐色	1.5㎜以下の長石・石英・雲母等の粗粒砂を含む。	良好	外面に煤付着。
31 三三	同上 SD1	口径 17.0 器高 26.5 最大径 23.7	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	外 灰茶色 内 暗灰褐色	6㎜以下の砂礫粒を含む。	良	
32 三三	同上 SD1	口径 15.6	最大径を中位にもつ偏平な球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部タタキ(4本)後ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	0.5㎜以下の長石・雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む。	良	
33 三三	同上 SD1	口径 12.15 器高 17.95 最大径 17.6	球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不定方向のハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰茶色	1.5㎜以下長石・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
34 三三	同上 SD1	口径 13.6 器高 21.1 最大径 19.8	最大径を中位よりやや上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位磨滅の為不明、中位ハケナデ(5本)、下位磨滅の為不明、内面ヘラ削り。	外 暗茶褐色 内 茶灰褐色	3㎜以下の長石・チャート等の粗砂粒を少量含む。	良	完形。
35	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ナデ。	外 淡橙灰色 内 淡灰色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
36 三三	甕 (土師器) SD1	口径 14.0 器高 22.1 最大径 20.4	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚する。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面ハケナデ(12本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰茶色	3.5㎜以下の雲母・長石・チャート等の砂礫粒を含む。	良好	外面に煤付着。
37 三三	同上 SD1	口径 14.3 器高 24.8 最大径 21.5	最大径を上位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り後指頭痕。	淡灰茶色	0.4㎜以下の微砂粒を含む。	良	完形。 体部外面に煤付着。
38	同上 SD1	口径 13.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	淡茶色	1㎜以下の雲母・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	
39	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(?)、内面指押さえ、ナデ。	茶褐色	1㎜以下の長石・チャート等の細砂粒を少量含む。	良好	外面に煤付着。
40	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は斜上方へ内彎気味に伸び、端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面剥離の為不明。	乳灰橙色	1㎜以下の雲母・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良	
41	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に凹面をもつ。体部は欠損。口縁部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を微量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
42	同上 SD1	口径 14.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ?、内面指頭痕。	黒色	1㎜以下の雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
43	同上 SD1	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	外 淡茶橙色 内 淡橙色	0.5㎜以下の微砂粒を少量含む。	良	外面に煤付着。
44	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(4本)、内面ヘラ削り。	淡橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
45	甕 (土師器) SD1	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（9本)。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を微量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
46	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、体部内面指頭痕・ヘラ削り。	灰白色	1㎜以下の長石・雲母・石英等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面に煤付着。
47	同上 SD1	口径 12.5	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（12本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2㎜以下の雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	内面に炭化物付着。
48	同上 SD1	口径 12.5	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面不定方向のハケナデ、肩部内面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
49 三四	同上 SD1	口径 13.7	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ（12)、内面ナデ後ヘラ削り。	淡灰褐色	1.5㎜以下の角閃石・チャート・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面・肩部外面に煤付着。
50	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部下位は欠損。頸部内外面に1本ずつ接合痕を有す。 口縁部外面・端部内面ヨコナデ、内面ハケナデ（4本)、体部外面ハケナデ（5本)、内面上位指頭痕・ナデ、中位以下ヘラ削り。	外 淡乳灰色 内 茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	煤付着。
51	同上 SD1	口径 18.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面指頭痕・ヘラ削り。	淡黄橙色	1㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を少量含む。	良好	体部外面に一部黒斑有り。
52	同上 SD1	口径 20.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
53	同上 SD1	口径 14.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1本の沈線を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、肩部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指頭痕、体部外面ハケナデ（8本)、内面ナデ。	外 淡茶褐色 内 淡灰色	3㎜以下の砂礫粒を含む。	良	一部煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
54	甕 (土師器) SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、肩部内面指頭痕、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	3.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
55 三四	同上 SD1	口径 13.8 最大径 21.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	外 茶灰褐色 内 茶灰色	2㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良	体部外面中位に煤付着。体部外面に黒斑有り。
56 三四	同上 SD1	口径 14.25 最大径 21.4	最大径を中位よりやや上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚し、上に面をもつ。底部は欠損。肩部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色	3㎜以下の長石・角閃石・石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。 底部内面に炭化物付着。
57 三四	同上 SD1	口径 15.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り後指頭痕。	淡茶褐灰色	4㎜以下の砂礫粒を含む。	良	
58 三四	同上 SD1	口径 17.3 最大径 23.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰茶色	1㎜以下の長石・雲母・チャート等の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
59	同上 SD1	口径 13.2	口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して直上し、端部は外方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ。	外 淡茶灰色 内 淡茶褐色	1㎜以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
60	同上 SD1	口径 12.6	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ヘラ削り。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
61	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	灰白色	0.5㎜以下の長石・石英等の微砂粒を少量含む。	良好	
62	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、肩部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2㎜以下の雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	体部外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
63 三四	甕 (土師器) SD1	口径	15.5	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	外 黒色 内 茶灰褐色	1㎜以下の雲母・チャート等の細砂粒を少量含む。	良	口縁部外面・体部外面中位以下に黒斑有り。
64 三五	鉢 (土師器) SD1	口径	29.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、ハケナデ（5本)、内面ハケナデ後ヘラ削り。	淡灰褐色	3.5㎜以下の砂礫粒をやや多量に含む。	良	口縁部内面・体部内外面に煤付着。
65 三五	高杯 (土師器) SD1	口径 底径	22.45 15.8	広く平坦な杯底部より上外方へ伸びた後屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ハケ後ヘラミガキ、内面ハケ後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、柱状部外面ヘラ削りのちハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ、裾部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面上位指頭痕、下位ハケナデ(13本)。	灰黄橙色	0.3㎜以下の雲母・長石等を少量含む。	良好	口縁部外面¼弱・口縁部内面¼・裾部外面下位に黒斑有り。
66	同上 SD1	口径	12.65	丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。脚部以下は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後ち暗文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	2.5㎜以下の長石・石英・雲母等を少量含む。	良好	
67	同上 SD1	底径	19.7	杯部・柱状部は欠損。裾部は外下方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。裾部上位に四方孔を有す。 柱状部内面ヘラナデ、裾部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ハケナデ。	茶灰色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
68 三五	同上 SD1	口径	18.8	外上方に伸びる杯底部より上外方へ伸びた後、端部付近で外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。柱状部は下外方へ伸びる。裾部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ナデ、口縁部内面ヨコナデ、杯体部ナデ、柱状部外面ヘラ削り後ナデ、内面ヘラによるくりぬき、裾部内面ナデ。	暗茶褐色	3㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良好	
69 三五	同上 SD1	口径 器高 底径	16.75 11.5 12.4	平らに近い杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。柱状部外面上位にヘラ状工具による溝を有す。 杯部外面上位ヨコナデ、下位ハケナデ、内面剝離の為不明、脚部内外面ナデ。	外 乳灰橙色 内 暗灰橙色	2.5㎜以下の長石・チャート・雲母等を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
70 三五	高杯 (土師器) SD1	口径 15.55 器高 12.7	丸味をもつ杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ外反気味に伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。 杯部外面上位ハケナデ後ヨコナデ、下位ハケナデ(6本)、内面ハケナデ後ナデ、脚部外面ナデ、内面ナデ。	乳灰黄橙色	5.5mm以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒・雲母等を多量に含む。	良好	
71 三五	同上 SD1	口径 17.2 器高 13.0 底径 11.6	下方へ若干下る杯底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。 杯部内外面ハケナデ(10本)、柱状部外面ヘラケズリ、内面ヘラケズリ後ヘラナデ、裾部外面ナデ、内面ハケナデ。	淡灰褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良	杯体部内面に黒斑有り。
72 SD1	同上 SD1	口径 18.4	丸味をもつ杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(10本)、内面剥離の為不明。	淡茶灰色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良	
73 SD1	同上 SD1	口径 19.1	丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 坏部内外面ハケナデ(6本)。	外 灰褐色 内 灰茶色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良	
74 SD1	同上 SD1	底径 12.7	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ外反気味に伸びる裾部に至る。端部は丸い。柱状部下位に二方孔を有す。 杯底部内外面剥離の為不明、脚部外面剥離の為不明、内面上位ナデ、下位剥離の為不明。	乳黄橙色	3.5mm以下の長石・石英・チャート・雲母・赤褐色酸化粒等を多量に含む。	良好	
75 SD1	同上 SD1	底径 10.8	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びた後屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面剥離の為不明(一部ハケナデ)、柱状部内面ヘラによるくりぬき、裾部内面ハケナデ(9本)。	外 茶灰色 内 乳灰茶色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良	
76 SD1	同上 SD1	底径 10.9	杯部は欠損。脚部は下外方に伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面剥離の為不明、柱状部内面ヘラによるくりぬき、裾部内面ハケナデ(10本)。	淡灰茶色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良	
77 SD1	同上 SD1	底径 11.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反気味に伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は垂直な面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部内外面剥離の為不明。	灰茶色	3mm以下の粗砂粒をやや多量に含む。	良	
78 三五	小型壺 (土師器) SD1	口径 6.4 器高 8.4 最大径 9.4	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ、体部内外面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
79	甕 (土師器) SD1	口径 13.0	上内方へ内彎して伸びる体部より外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為不明、体部外面タタキ（4本）、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
80	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸びた後端部付近で屈曲し、外上方へ内彎して伸びる。端部は上につまむ。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（3本?）、内面ナデ。	淡灰橙色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
81	壷 (土師器) SD1	口径 13.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡橙茶色	3㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良	
82	甕 (土師器) SD1	口径 16.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面指頭痕後ハケナデ（10本）、内面ナデ・指頭痕。	外 淡茶灰色 内 乳茶灰色	2㎜以下の長石・雲母等を多量に含む。	良好	
83	同上 SD1	口径 18.2	内上方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外に面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ（8本）。	淡橙褐色	雲母・石英等を少量含む。	良好	
84	同上 SD1	口径 18.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剝離の為不明（一部ハケナデ有り）、内面ナデ。	淡橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	煤付着。
85	同上 SD1	口径 19.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する凹面をもち、若干肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	乳淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
86 三五	同上 SD1	口径 13.8 器高 22.0 最大径 19.4	球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に凹面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	淡褐灰色	2.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	体部外面下位に煤付着。
87	同上 SD1	口径 20.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ナデ。	淡灰褐色	2㎜以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
88	甕 (土師器) SD1	口径 12.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剝離の為不明（一部ハケナデ有り）、内面上位指頭痕・ナデ、中位ヘラ削り。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	
89	同上 SD1	口径 13.2	内上方に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部ハケナデ(5本)、内面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
90 三五	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（7本）、内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘラケズリ。	淡橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
91 三六	同上 SD1	口径 14.9 最大径 29.2	最大径を中位よりやや上にもつ偏平な球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ外反した後、緩やかに屈曲し、内彎気味に上方する口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。底部は欠損。肩部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（6本）、内面上位ナデ後指ナデ、下位ヘラ削り。	淡茶灰色	4㎜以下の砂礫粒を多量に含む。	良	口縁部外面・体部外面上位に黒斑有り。
92	同上 SD1	口径 19.4	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	
93	同上 SD1	口径 20.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に若干肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本）、内面ヘラナデ。	外 淡灰橙色 内 淡乳橙色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
94 三六	同上 SD1	口径 15.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後指頭痕、内面ハケナデ（8本）、体部外面ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色～淡茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
95	同上 SD1	口径 11.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ハケナデ（10本）後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ（9本）。	淡灰橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
96 三六	甕 (土師器) SD1	口径 20.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（6本)、内面ハケナデ後ナデ・指頭痕。	淡灰茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
97	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ（7本)、体部外面ハケナデ（8本)、内面指頭痕。	淡褐色	1.5㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
98	同上 SD1	口径 10.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（12本）後ヘラ削り、内面ヘラナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
99	同上 SD1	口径 12.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（5本)、体部内外面ハケナデ（5本)。	外 茶橙色 内 淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
100	同上 SD1	口径 11.8	口縁部は外上方へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	口縁部外面に煤付着。
101	同上 SD1	口径 13.4	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ（6本)、内面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	乳灰色	3㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
102	同上 SD1	口径 13.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰色	3㎜以下の砂礫粒及び1㎜以下の細砂粒を含む。	良	口縁部外面に煤付着。
103	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。肩部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ（7本)、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部ハケナデ（7本)、内面ナデ。	灰褐色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
104 三六	同上 SD1	口径 13.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面ハケナデ（4本)、内面ヘラ削り。	淡橙茶色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
105	甕 (土師器) SD1	口径 15.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡橙褐色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
106	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干肥厚し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)後ナデ、内面ナデ。	外 淡橙褐色 内 乳灰褐色	1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	
107	同上 SD1	口径 14.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	淡茶褐色	3㎜以下の長石を含む。	良好	
108	同上 SD1	口径 14.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)、内面ヘラ削り。	乳灰茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
109 三六	同上 SD1	口径 12.2 最大径 16.0	偏平な球形と思われる体部より屈曲し、外反して外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部内外面ハケナデ(9本)。	淡茶灰色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
110	小型丸底壺 (土師器) SD1	最大径 7.7	体部は最大径を中位にもつ偏平な球形である。底部は尖り気味底。口縁部・端部は欠損。体部内面上位に3本の接合痕を有す。 体部外面ハケナデ(8本)、内面上位ナデ、下位ナデ後指頭痕。	淡灰褐色	2.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
111	同上 SD1	最大径 9.7	体部は最大径を上位にもつ偏平な球形である。底部は丸底。口縁部・端部は欠損。 体部外面上位ヨコナデ、中位以下ナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
112 三六	鉢 (土師器) SD1	口径 8.0 器高 8.0	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指頭痕、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	体部内面に炭化物付着。
113	同上 SD1	口径 5.6	上内方へ内彎気味に伸びた後垂直に下る体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位ナデ、内面ナデ。	淡橙灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
114 三六	杯 (土師器) SD1	口径 12.2 器高 5.0	椀形の杯体部より屈曲し、外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
115	同上 SD1	口径 13.4	半球形と思われる杯体部より屈曲し、上外方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。杯底部は欠損。 内外面ナデ。	淡灰茶色	5㎜と3㎜の砂礫粒と1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	
116	鉢 (土師器) SD1	口径 41.6	杯体部は欠損。口縁部は外上方へ短く伸び、端部は外傾し肥厚する面をもつ。口縁部外面・体部内面に1本ずつ接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ後指押さえ、内面ハケナデ（6本)、体部内外面ハケナデ（6本)。	外内 灰橙色 断 乳灰橙色	2㎜以下の長石を多量に含み、石英・チャート・雲母・赤褐色酸化粒等を少量含む。	良好	
117	同上 SD1	口径 13.4	丸味をもつ杯底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ヘラミガキ。	淡灰橙色	5㎜以下の雲母等の砂礫粒を少量含む。	良好	杯部外面に煤付着。
118	同上 SD1	口径 18.0	丸味をもつ杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ（8本)。	淡灰褐色	4㎜以下の砂礫粒を少量含む。	良好	
119	同上 SD1	口径 30.2	平らに近い杯底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外上方へつまみ出し丸い。脚部は欠損。 端部内外面ヨコナデ、杯部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、下位ハケナデ、内面暗文状ハケナデ（8本）後ヘラミガキ。	淡橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	杯部外面に煤付着。
120 三六	同上 SD1	口径 12.4 器高 10.7 底径 9.0	丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。 杯部内外面剝離の為不明、柱状部外面ヘラ削りで、内面しぼり目・指頭痕、裾部内外面剝離の為不明。	淡茶灰色	5㎜以下の砂礫粒を微量に含む。	良	
121 三七	同上 SD1	口径 13.2	丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ、内面剝離の為不明、柱状部外面ハケナデ、内面しぼり目。	淡茶灰色	7㎜以下の砂礫粒を微量に含む。	良好	
122	同上 SD1	口径 14.8	平らに近い杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ（7本)、内面ハケナデ後ヨコナデ。	淡茶灰色	3㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
123	高杯 (土師器) SD1	口径 底径 10.2 器高	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。 杯底部内面ヨコナデ、脚部外面剝離の為不明、内面上位ヘラ削りによるくりぬき、下位ナデ。	外 淡灰茶色 内 茶褐色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
124	同上 SD1	口径 底径 9.0 器高	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は外側に面をもつ。 脚部外面上位ヘラ削り後ナデ、下位ナデ、内面上位しぼり目、下位ナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
125	同上 SD1	口径 底径 12.8 器高	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反気味に伸びる柱状部より屈曲し、外上方へ伸びる裾部に至る。端部は内傾する面をもつ。 脚部外面上位ハケナデ後ヘラナデ、下位ヨコナデ、内面上位ヘラによるくりぬき、下位ナデ。	淡茶色	1㎜以下の雲母・長石等の細砂粒を少量含む。	良好	
126	杯蓋 (須恵器) SD1	口径 13.2 器高 3.8 稜径 13.3	やや高く丸味をもつ天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部はわずかに外傾して下り、端部は丸い。 天井部外面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。
127 三七	同上 SD1	口径 13.0 器高 5.4 つまみ径 3.4 つまみ高 1.0 稜径 13.1	つまみをもち低く平らに近い天井部より斜下方へ伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は垂直へ外反気味に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。 天井部外面約¼回転ヘラ削り、内面⅙不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡黄灰色	3㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。
128	同上 SD1	口径 12.0 器高 4.2 稜径 11.8	低くやや丸味をもつ天井部より屈曲し、下外方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部はわずかに外傾して下り、端部は丸い。 天井部外面不定方向のヘラ削り、内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	ロクロ。
129 三七	杯身 (須恵器) SD1	口径 11.0 器高 4.7 受部径 13.0	やや深く平垣な底部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりはわずかに内傾した後直立して伸び、端部は平らで内傾する面をもつ。 底体部外面½回転ヘラ削り、底部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡青灰色	6㎜以下の砂礫粒を少量含む。	良好	完形。 ロクロ（右方向）。
130 三七	同上 SD1	口径 11.6 器高 5.0 受部径 14.0	やや深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底体部外面約⅓回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	完形。 ロクロ（右方向）。
131 三七	鉢 (須恵器) SD1	口径 10.0 器高 6.4	平垣な底部より上外方へ伸びる稜に至る。稜は2条有し、鈍い。口縁部は外反気味に直上し、端部は丸い。2条の稜の間に5条の波状文を有す。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（左方向）。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
132 三七	甕 (須恵器) ＳＤ１	最大径 12.2	体部は最大径を中位にもつ偏平な球形である。底部は丸底。口縁部・端部は欠損。体部外面中位に１帯７条の波状文を１つと１ヵ所円形の穿孔を有す。 体部外面下位不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。
133 三七	取手付高杯 (須恵器) ＳＤ１	口径 8.4	丸味をもつと思われる杯底部より外上方へ伸びた後屈曲し、外反気味に上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は上外方へ伸び、端部は丸い取手をもつ。脚部以下は欠損。口縁部外面に１帯16条の波状文を１つ有す。 杯体部外面回転ヘラ削り、内面上位回転ナデ、下位不定方向のナデ。	淡灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。 底体部内面に自然釉付着。
134	鉢 (須恵器) ＳＤ１	口径 32.6	底部は欠損。上外方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部外面に３本の沈線を有し、その沈線の間に１帯８条の波状文を４つ有す。 口縁部内外面・体部内面回転ナデ。	淡青灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	内面に自然釉付着。
135	壺 (須恵器) ＳＤ１	口径 19.2	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部付近で外方へ肥厚し、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面タタキ（８本)、内面タタキ後ナデ。	淡灰色	２mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	口縁部内面上位・体部外面灰かぶり。
136 ＳＤ１	同上	口径 24.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部付近で外方へ肥厚し、端部は若干つまむ。体部は欠損。口縁部外面に１帯８条の波状文２つ有す。 体部内面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	乳淡灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。
137 ＳＤ１	同上	口径 21.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ。	淡灰青色	１mm以下の細砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ（右方向)。 口縁部内外面に自然釉付着。
138 三七	同上 ＳＤ１	口径 26.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びた後、端部付近で若干内彎する口縁部に至る。端部は上下に肥厚し、外傾する凹面をもつ。口縁部下方に１条の凸線を巡らす。口縁部外面に一帯13条の波状文を２つ有す。 口縁部内外面・体部外面回転ナデ、体部内面ナデ（一部タタキ有り)。	淡青灰色	３mm以下の長石を含む。	良好	口縁部内面上位・体部外面に自然釉付着。
140 三八	甕 (土師器) 包含層	口径 11.0 最大径 14.2	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ、内面指ナデ。	淡赤褐色	３mm以下の石英・長石・角閃石・雲母等の粗砂粒を多量に含む。		
141	同上 包含層	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。肩部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ（４本）後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	２mm以下の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
142 三八	壺 (韓式系土器) 包含層	口径 13.8	内彎して上内方へ伸びる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面縄蓆タタキ、内面ナデ。	淡黄橙色	3㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
143 包含層	鉢 (土師器)	口径 12.0 器高 5.6	半球形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部・体部外面ナデ後ハケナデ、口縁部・体部内面ヘラナデ。	外 淡橙茶色 内 淡茶灰色	2㎜以下の長石・角閃石等の粗砂粒を少量含む。	良	
144 包含層	高杯 (土師器)	口径 15.0	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して外上方へ伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ヨコナデ。	淡灰白色	精良。	良好	
145 三八	同上 包含層	口径 23.0	広く平坦な杯底部より屈曲し、外反気味に斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面上位暗文状ヘラミガキ、下位ハケナデ(14本)後暗文状ヘラミガキ、内面暗文状ヘラミガキ、杯底部外面ナデ。	淡橙灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
146 三八	製塩土器 包含層	口径 4.6	上方へ伸びる体部より口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面磨滅の為不明、内面ナデ。	外 淡橙茶色 内 淡茶褐色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
147 三八	同上 包含層	口径 5.6	上内方へ伸びる体部より口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面ナデ・指頭痕、内面ナデ。	淡黄褐色	1.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
148 包含層	杯蓋 (須恵器)	口径 10.0 器高 5.1 稜径 9.4	やや高く丸い天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部は内彎して下方に下り、端部は段を有し、内傾する凹面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面 3/5 回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(右方向)。 外面灰かぶり。
149 三八	同上 包含層	口径 12.0 器高 4.7 稜径 11.8	やや高く丸味をもつ天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、平らに近い凹面をもつ。 天井部外面3/5回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ(左方向)。 天井部外面約1/5に自然釉付着。
150 三九	同上 包含層	口径 11.0 器高 4.75 稜径 11.0	やや高く上面凹状の天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、内傾する凹面をもつ。 天井部外面約3/5回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ(左方向)。 天井部外面3/4灰かぶり。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
151 三九	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.8 器高 4.6 稜径 13.0	やや低く若干上面凹状の天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、面をもつ。 天井部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（右方向)。
152 三九	同上 包含層	口径 13.0 稜径 12.8	やや低く平らと思われる天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は若干下外方へ下り、端部は段を有し、内傾する凹面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面約⅘回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	赤褐色酸化粒・雲母・石英等を微量に含む。	良好	ロクロ（右方向)。 外面灰かぶり。
153 三九	同上 包含層	口径 12.0 器高 4.15 稜径 11.8	低く上面平らの天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部は垂直へ伸びた後下外方へ外反して下り、端部は丸い。 天井部外面約⅗回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰青色	1mm以下の細砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ（右方向)。 外面灰かぶり。
154 三九	同上 包含層	口径 13.0 稜径 12.6	やや高く丸味をもつと思われる天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は下外方へ下り、端部は段を有し、平らに近い。天井部一部欠損。 天井部外面回転ヘラ削り、内面約⅗不定方向ナデ、他は回転ナデ。	外 淡青灰色 内 灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（左方向)。
155 三九	同上 包含層	口径 13.0 器高 3.6 稜径 12.4	低く平らに近いと思われる天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部は下外方へ内彎して下り、端部は内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面⅗回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 灰色 内 灰青色	3.5mm以下の砂礫粒を微量に含む。	良好	ロクロ（左方向)。 天井部外面灰かぶり。
156 三九	杯身 (須恵器) 包含層	口径 12.6 受部径 15.2	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底体部外面不定方向のヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	0.5mm以下の微砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。
157 三九	同上 包含層	口径 11.6 器高 4.9 受部径 13.4	やや深く平らの底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰茶色	精良。	良	ロクロ（左方向)。
158 三九	同上 包含層	口径 10.0 器高 4.9 受部径 12.0	やや深く平らに近い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	0.5mm以下の微砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（左方向)。
159 三九	同上 包含層	口径 10.0 器高 5.8 受部径 12.6	深く丸い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
160 四十	杯身 (須恵器) 包含層	口径 10.4 受部径 12.2	底部は欠損。体部は斜上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は若干段を有し、内傾する凸面をもつ。 底体部外面約¾回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	精良。	良好	
161 包含層	同上	口径 11.0 受部径 12.8	底部は欠損。体部は外上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 淡青灰色 内 淡灰茶色	1mm以下の細砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（右方向)。
162 包含層	同上	口径 12.6 受部径 14.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰青色	長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向)。
163 四十	高杯 (須恵器) 包含層	口径 10.7 器高 8.7 受部径 13.0 底径 8.3	深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。脚部は下外方へ下った後、裾部で外下方へひらく。端部は外傾する凹面をもつ。脚部中位に四方孔を有す。 内外面回転ナデ。	淡灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（右方向)。 外面に自然釉付着。
164 四十	同上 包含層	口径 10.0 器高 8.4 受部径 12.4 底径 8.8	深く平らの底部より上外方へ内彎して伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる。端部は外傾する凹面をもつ。脚部中位に四方孔を有す。 内外面回転ナデ。	灰黒色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（右方向)。
165 四十	同上 包含層	口径 11.0 器高 9.4 受部径 12.6 底径 9.4	やや深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。脚部は下外方へ下る。端部は外傾する面をもつ。脚部に三方孔を有す。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 灰色 内 灰白色	精良。	良好	ロクロ（左方向)。
166 包含層	壺 (須恵器)	口径 18.8	口縁部は上外方へ外反して伸びた後外上方へ伸びる。端部は外側に凹面をもつ。端部付近に1条の凸線が巡る。体部は欠損。口縁部外面に1帯10条と1帯13条の波状文を有す。 口縁部外面上位、内面ナデ。	外 淡灰紫色 内 淡灰色	4mm以下の砂礫粒を微量に含む。	良好	ロクロ。

第２調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
2	壺 (土師器) SK3	口径 8.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剥離の為不明、内面ナデ・指頭痕・ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良	
3	同上 SK3	口径 14.2	口縁部は斜上方へ伸びた後屈曲して上方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色	1.5㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
4	同上 SK3	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ、内面ナデ。	淡橙茶色	2㎜以下の長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
5	同上 SK3	口径 8.0 器高 8.7 最大径 9.6	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（9本）、体部外面ハケナデ（8本）、内面上位ナデ、中位以下ヘラ削り。	淡灰褐色	1㎜以下の細砂粗を含む。	良好	完形。
6	同上 SK3	口径 7.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（11本）、体部外面ハケナデ（11本）、内面ナデ・指頭痕。	橙茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良	
7	甕 (土師器) SK3	口径 11.0	最大径を上位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ、内面上位ナデ後ヘラナデ・指頭痕、下位剥離の為不明。	外 淡橙茶色 内 淡茶色	2㎜以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
8	鉢 (土師器) SK3	口径 11.6 器高 6.2	椀形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位以下ヘラ削り、内面ヘラナデ。	淡橙色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	完形。
9	高杯 (土師器) SK3	口径 7.2	杯底部は欠損。口縁部は外上方へ伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 端部付近内外面ヨコナデ、杯部外面ハケナデ（6本）、内面ナデ。	外 淡灰褐色 内 淡灰茶色	2㎜以下の粒砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
10	高杯 (土師器) SK3	口径 13.0	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 杯部内外面上位ヨコナデ、下位ナデ。	淡茶灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
11	同上 SK3	口径 13.6	丸味をもつ杯底部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	淡橙茶色	2mm以下の長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
12	取手付き鉢 (須恵器) SK3	口径 10.4	上方へ内彎して伸びる体部より口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部は突出しない平底。底部一部欠損。体部外面中位に1帯6条の波状文を有す。体部外面に粘土紐を縦に取り付けた取手と上方に球を有す。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面上位回転ナデ、下位回転ヘラ削り、内面上位回転ナデ、下位不定方向のナデ。	淡灰色	4mm以下の砂礫粒を少量含む。	良好	口縁部外面・内面上位に自然釉付着。
13	杯身 (須恵器) SK5	口径 9.6 器高 3.8 受部径 11.6	浅く平らに近い低体部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は尖る。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底体部外面½回転ヘラ削り、底部内面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	淡青灰色	3mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（右方向)。
14	甕 (土師器) SP10	口径 26.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ、内面ヨコナデ・指頭痕。	暗灰褐色	3mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
15	製塩土器 SP14	口径 4.4	上方へ伸びる体部より口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面タタキ、内面ナデ。	外 淡橙茶色 内 淡茶色	1mm以下の細砂粒を含む。	良好	
16	杯蓋 (須恵器) SD5	口径 13.2 稜径 13.2	天井部より斜下方へ伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は下外方へ下り、端部は丸い。天井部一部欠損。 天井部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	3mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ（左方向)。
17	同上 SD5	口径 13.4 稜径 13.0	やや低く丸味をもつ天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜部は鈍い。口縁部は下外方へ伸び、端部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（左方向)。
18	杯身 (須恵器) SD5	口径 11.8 受部径 14.4	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	2mm以下の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（左方向)。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
19	高杯 (須恵器) ＳＤ５	底径 9.3	杯部は欠損。脚部は下外方へ下った後、裾部で斜下方へひらく。端部は外傾する面をもつ。脚部に三方孔を有す。 内外面回転ナデ。	淡青灰色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
20	壺 (土師器) 包含層	口径 14.8	口縁部は上外方へ外反気味に伸びた後外上方へ伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ・指頭痕、内面ヨコナデ。	淡橙茶色	3㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	内面に煤付着。
21 四〇	甕 (土師器) 包含層	口径 12.7 器高 14.15 最大径 13.75 底径 3.9	最大径を中位よりやや上にもつ楕円形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は突出しない平底。肩部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り、体部外面上位ナデ、中位以下ハケナデ(９本)内面ヘラ削り、底部外面ハケナデ（９本)。	淡黄褐色	雲母・赤褐色酸化粒・角閃石・石英・長石等を微量に含む。	良好	体部外面中位以下・底部外面に煤付着。
22 四〇	同上 包含層	口径 14.6 器高 16.6 最大径 16.5 底径 4.6	最大径を上位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は突出したくぼみ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本)、内面調整不明。	外 淡黄色 内 暗黄橙色	１㎜以下の長石・チャート等の細砂粒を少量含む。	良好	体部外面下位に黒斑及び煤付着。
23 四〇	同上 包含層	口径 14.9 器高 22.9 底径 4.35 最大径 20.3	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部はやや突出したくぼみ底。体部内外面下位に１本ずつ接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ・ハケナデ、体部外面タタキ（３本)、内面ヘラナデ。	淡灰色	１㎜以下の細砂粒を含む。	良	炭化物及び煤付着。
24 四一	同上 包含層	口径 17.0 器高 23.4 最大径 20.1 底径 4.8	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部はやや突出した平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本)、内面ヨコナデ。	赤褐色	雲母・長石・赤褐色酸化粒・角閃石等を少量含む。	良好	外面・体部内面下位に煤付着。
25 四一	同上 包含層	口径 17.0 器高 26.4 最大径 24.45	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は内方へつまむ。底部は丸底。 口縁部内外面・頸部内外面ナデ、体部外面ハケナデ（８本)、内面ヘラ削り。	淡黄褐色	赤褐色酸化粒・雲母・長石・角閃石・石英等を微量に含む。	良好	体部外面中位以下・内面下位に煤付着。
26	高杯 (土師器) 包含層	底径 14.65	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反して伸る。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 杯底部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面上位しぼり目、中位以下ヨコナデ。	淡灰茶色	石英・長石・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	裾部外面に黒斑有り。
28	壺 (土師器) 包含層	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外側に面をもち、垂下する。体部は欠損。端部外面に１つの円形浮文と２本の沈線を有す。 口縁部内外面ナデ。	橙灰褐色	５㎜以下の砂礫粒を含む。	良	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
29	壺 (土師器) 包含層	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸びた後短く外上方へ外反して伸び、端部は下方へ肥厚し、外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面磨滅の為不明、内面ナデ。	外 淡黄赤褐色 内 淡灰色	赤褐色酸化粒・石英・角閃石等を微量に含む。	良好	
30	同上 包含層	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ナデ、頸部内面ナデ後ハケナデ。	淡橙茶色	3mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
31	同上 包含層	口径 8.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
32	同上 包含層	口径 18.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶白色	雲母・石英等を少量含む。	良	
33	同上 包含層	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。肩部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	灰茶色	1mm以下の石英・チャート・長石・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
34	甕 (土師器) 包含層	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方に外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡橙茶色	2mm以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良	体部外面に煤付着。
35	同上 包含層	口径 14.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。体部外面に2本と内面に3本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面タタキ（3本）、内面ナデ。	淡茶褐色	3mm以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
36	同上 包含層	口径 17.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 淡橙茶色 内 淡茶色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部内面上位に煤付着。
37	同上 包含層	口径 15.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（3本）、内面ナデ・指頭痕。	淡橙茶色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
38	甕 (土師器) 包含層	口径 18.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）、内面ナデ。	淡橙茶色	２㎜以下の角閃石・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面上部に黒斑有り。
39	同上 包含層	口径 16.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（５本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	１㎜以下の細砂粒を含む。	良	煤付着。
40	同上 包含層	口径 15.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（９本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	石英・長石・雲母・角閃石等を微量に含む。	良好	外面に煤付着。
41	同上 包含層	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面タタキ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ（３本）、内面ヘラ削り。	淡灰色	雲母・石英等を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
42	同上 包含層	口径 17.6 最大径 23.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部下位は欠損。口縁部外面に１本、体部外面に２本、肩部内面に３本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位以下タタキ（４本）、内面ナデ。	外 淡茶褐色 内 淡灰茶色	３㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
43	同上 包含層	口径 16.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（３本）、内面ヘラ削り。	淡灰色	１㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良	煤付着。
44	同上 包含層	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	淡橙茶色	２㎜以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
45 四一	同上 包含層	口径 14.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面タタキ（４本）後ヨコナデ、内面ハケナデ後ナデ、体部外面タタキ（４本）後ハケナデ（９本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	２㎜以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良	体部外面に煤付着。
46	同上 包含層	口径 16.8 最大径 19.4	楕円形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	外 灰白色 内 淡橙色	0.5㎜以下の微砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
47	甕 (土師器) 包含層	口径 15.8 最大径 21.2	最大径を中位にもつ偏平な球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（5本）後ハケナデ（5本）、内面ヘラ削り・ハケナデ。	淡茶灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	煤付着。
48	同上 包含層	口径 13.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ、体部内外面ハケナデ。	淡茶灰色	1mm以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
49	同上 包含層	口径 19.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位ヘラナデ、内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘラ削り。	淡茶灰色	1mm以下の細砂粒を含む。	良	煤付着。
50	同上 包含層	口径 12.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は外傾する凹面をもつ。体部は欠損。口縁部外面・頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ハケナデ（7本）。	淡灰褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
51	同上 包含層	口径 12.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡茶黄色	雲母・石英等を少量含む。	良好	
52	同上 包含層	口径 12.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡茶黄色	石英・長石・雲母・チャート等を少量含む。	良好	
53	同上 包含層	口径 12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。体部外面にヘラによる傷を2ヵ所有す。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ（7本）、体部外面ハケナデ（6本）、内面ヘラ削り。	淡橙灰色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
54	同上 包含層	口径 17.0	口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡橙灰色	1mm以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
55	同上 包含層	口径 14.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡橙茶色	2mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
56	甕 (土師器) 包含層	口径 12.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ後ハケナデ（８本)、体部内外面ハケナデ。	淡橙茶色	３mm以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
57	同上 包含層	口径 11.8	口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して内上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面上位櫛状文、下位ヨコナデ、内面ヨコナデ。	外 淡橙灰色 内 橙灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	
58 四一	小型丸底壺 (土師器) 包含層	胴部最大径 7.9	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部・端部は欠損。底部は丸底。 口縁部・体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 灰褐色 内 黒褐色	0.5mm以下の長石・雲母等の微砂粒を多量に含む。	良好	
59 四一	同上 包含層	口径 8.35 器高 8.45	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。体部内面に２本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ナデ、内面ナデ。	外 黒色～灰茶色 内 黒色～灰茶色	長石・雲母・赤褐色酸化粒等を多量に含む。	良好	完形。 体部外面に黒斑有り。
60	鉢 (土師器) 包含層	口径 17.55	椀形の体部より上外方へ内彎気味に伸びた後斜上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部はやや突出したあげ底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	赤褐色	長石・石英・雲母等を多量に含む。	良好	体部外面上位に黒斑有り。
61	同上 包含層	口径 22.4	口縁部は上外方へ伸びた後短く外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面上位ヨコナデ、下位ヘラミガキ。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	0.5mm以下の角閃石・雲母・長石等を多量に含む。	良好	
62 四一	同上 包含層	口径 7.8 器高 4.0	椀形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部は突出したくぼみ底。 口縁部・体部・底部外面ナデ、内面ヘラナデ後ヨコナデ。	赤茶褐色	雲母・チャート・角閃石等を微量に含む。	良好	
63	同上 包含層	口径 6.0	上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部外面上位・内面ヨコナデ、体部外面中位以下ハケナデ（６本)。	黒灰色	１mm以下の細砂粒を微量に含む。	良好	
64	有孔鉢 (土師器) 包含層	底径 3.0	体部は上外方へ伸びる。口縁部・端部は欠損。底部は突出しない小さい平底。底部に穿孔を有す。 体部外面タタキ（３本)、内面中位ナデ、下位ナデ・指頭痕、底部外面ナデ。	赤茶褐色	角閃石・雲母・石英・チャート等を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
65	鉢 (土師器) 包含層	口径 42.7	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面剝離の為不明、内面ハケナデ（8本)。	淡灰茶色	長石・チャート・石英・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
66	同上 包含層	口径 14.8 器高 5.2	椀形の体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 内外面剝離の為不明、底部外面指頭痕？。	乳褐色	長石・チャート・雲母等を含む。	良好	内面に黒斑有り。
67	同上 包含層	底径 8.4	口縁部・体部は欠損。脚部は外下方へ伸びた後下外方へ伸びる裾部に至る。端部は外傾する面をもつ。 底部内面・脚部内外面ナデ。	淡茶褐色	赤褐色酸化粒・角閃石・石英・チャート・雲母等を微量に含む。	良好	
68	高杯 (土師器) 包含層	口径 22.7	平らに近い杯底部より屈曲し、斜上方へ伸びた後端部付近で外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ後ヘラミガキ、杯底部外面剝離の為不明。	灰茶色	1㎜以下の長石・チャート・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
69	同上 包含層	口径 21.9	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、端部は若干外方へ肥厚する。脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
70	同上 包含層	口径 22.4	丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は内彎気味に下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる。裾部は欠損。 杯部外面上位ヨコナデ、下位調整不明、内面上位ヨコナデ、下位ナデ、脚部外面調整不明、柱状部内面ヨコナデ。	乳褐色	2㎜以下の長石・雲母・角閃石等の粗砂粒等を多量に含む。	良好	
71	同上 包含層	口径 15.4	平らに近い杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ（9本）後ヨコナデ、内面ハケナデ（10本)、杯底部内面ナデ。	淡黄褐色	雲母・石英・赤褐色酸化粒・角閃石等を微量に含む。	良好	
72	同上 包含層	口径 18.0	丸味をもつ杯底部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる。裾部は欠損。脚部外面上位に1本の接合痕を有す。脚部中位に三方孔を有す。 杯部外面上位ヨコナデ、中位以下ハケナデ（10本)、内面剝離の為不明、脚部外面剝離の為不明、柱状部内面ナデ・しぼり目、裾部内面ハケナデ。	灰茶色	長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
73	高杯 (土師器) 包含層	口径 20.0	丸味をもつ杯底部より斜上方へ内彎して伸びた後端部付近で外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	赤茶褐色	雲母・角閃石・チャート・石英等を微量に含む。	良好	
74	同上 包含層	口径 17.8	杯底部は欠損。体部は上外方へ伸びた後外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ（15本）後ヨコナデ、内面ハケナデ（15本）。	外 暗灰褐色 内 淡灰茶色	チャート・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
75	同上 包含層	底径 12.0	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ外反気味に伸びる裾部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部内面上位に１本の接合痕を有す。 柱状部外面ヨコナデ・ハケナデ後ヘラ削り、内面ヘラ削り、裾部内外面ナデ。	淡黄褐色	雲母・石英・赤褐色酸化粒・角閃石等を微量に含む。	良好	
76	同上 包含層	底径 12.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ外反して伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。 脚部外面ナデ、柱状部内面ヘラ削り、裾部内面ナデ。	赤茶褐色	赤褐色酸化粒・石英・長石・雲母・チャート等を微量に含む。	良好	完形。 脚部内面に黒斑有り。
77	製塩土器 包含層	口径 3.8	上方へ伸びる体部より若干内方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡茶灰色	１mm以下の細砂粒を含む。	良好	
78	甑 (土師器) 包含層	口径 34.0	上方へ伸びる体部よりそのまま上方へ伸びた後端部付近で斜上方へ内彎して短く伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。体部内外面中位に１本ずつ接合痕を有す。口縁部外面に１帯９条の波状文を有す。体部中位に扁平な牛角形の取手を有す。 口縁部外面上位ヨコナデ、下位ハケナデ後波状文、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（９本）、内面ヨコナデ・指頭痕、取手外面ナデ。	淡黄褐色	1.5mm以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
79 四一	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.8 器高 5.4 稜径 12.6	やや高く丸味をもつ天井部より下外方へ内彎気味に伸びる稜に至る。稜は尖る。口縁部は下外方へ下り、端部は平らで内傾する。 天井部外面約⅔回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰白色	精良。	良好	完形。 ロクロ（右方向）。
80 四一	同上 包含層	口径 10.4 器高 4.3 稜径 12.2	やや低く上面凹状の天井部より斜下方へ伸びる稜に至る。稜は尖る。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 天井部外面約⅔回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰色	３mm以下の粗砂粒を含む。	良好	天井部外面約⅔灰かぶり。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
81 四一	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.6 稜径 12.0	天井部より下外方へ下る稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は下外方へ下り、端部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 内外面回転ナデ。	灰色	精良。	良好	
82	杯身 (須恵器) 包含層	口径 10.4 器高 4.3 立ちあがり高 2.1 受部径 12.4	やや深く凹状の底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は鈍く尖る。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	精良。	良好	
83	同上 包含層	口径 13.4 立ち上がり高 1.1 受部径 15.6	丸味をもつと思われる底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は丸い。底部は欠損。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰白色	精良。	良好	

第3調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	壺 (土師器) 包含層	口径 21.8	直上する頸部より外上方へ外反して伸びた後屈曲し、斜上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内外面調整不明。	乳褐色	6㎜以下の長石等の砂礫粒を含む。	良好	
2	甕 (土師器) 包含層	口径 15.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラナデ。	赤褐色	1㎜以下の雲母・チャート・角閃石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
3	同上 包含層	口径 21.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

第5調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	壺 (土師器) SE1	口径 18.0	口縁部は外反して垂直した後外上方へ外反して伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面・内面上位ヨコナデ、下位ナデ。	外 淡茶灰色 内 淡灰色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を少量含む。	良好	
2 四二	同上 SE1	口径 13.6 最大径 24.3	球形の体部より屈曲し、下外方へ外反して伸びる頸部より屈曲して直立する口縁部に至る。端部は内外方へ肥厚する。底部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。肩部内面に1帯5条の波状文を1つ有す。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	赤褐色	0.5㎜以下の石英等の微砂粒を少量含む。	良好	体部外面下位に煤付着。

遺物番号 図版地号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
3	壺 (土師器) SE1	口径 12.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ後ハケナデ、頸部内面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡茶褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良	
4	同上 SE1	口径 14.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 黒色 内 暗灰褐色	0.5㎜以下の雲母・チャート・長石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
5 四二	同上 SE1	口径 15.0 最大径 18.2	偏平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ナデ、体部外面ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡灰色	雲母・長石・角閃石等を微量に含む。	良好	
6	同上 SE1	口径 15.3	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面タタキ(7本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(8本)、頸部外面タタキ(7本)、体部内面ナデ。	外 黒色 内 暗灰茶色	1㎜以下の雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
7	同上 SE1	口径 16.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外側に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1㎜以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	頸部外面に煤付着。
8 四二	同上 SE1	口径 16.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、口縁部内面・頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡茶色	1.0㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を少量含む	良好	体部外面に煤付着。
9 四二	同上 SE1	口径 14.8 最大径 21.6	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びた後屈曲して内方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部外面上位クシ状工具によるナデ、下位・口縁部内面ナデ、体部外面上位ハケナデ(11本)、下位ヘラミガキ、内面上位・中位ヘラ削り、下位ヘラ削り後指頭痕。	淡黄褐色	雲母・長石等を微量に含む。	良好	内外面に煤付着。
10 四二	小型壺 (土師器) SE1	口径 10.6 器高 11.0	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラケズリ後ヘラミガキ、内面上位ヨコナデ、中位以下ヘラ削り。	淡茶灰色	3㎜以下の長石・雲母・石英・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
11 四二	鉢 (土師器) SE1	口径 14.2	斜上方へ内彎して伸びる体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 端部付近内外面ヨコナデ、口縁部・体部外面ヘラ削り、口縁部・体部内面ハケナデ(8本)。	乳茶灰色	3㎜以下のチャート・長石等の粗砂粒を含む。	良好	完形 黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
12	台付鉢 (土師器) SE1	体部径 6.3	体部は斜上方へ伸びた後屈曲し、内方へ伸びる。口縁部・高台は欠損。 体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 暗茶褐色 内 淡茶灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
13 四三	同上 SE1	口径 9.6	上外方へ伸びる体部より内彎気味に直上した後上外方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は欠損。 内外面ヘラミガキ。	淡乳茶色	5㎜以下の石英・赤褐色酸化粒・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
14	器台 (土師器) SE1	底径 11.6	受部は欠損。脚部は斜下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 脚部外面上位ヘラナデ後ヘラミガキ、中位以下ハケナデ(13本)後ヘラミガキ、内面上位ナデ、中位以下ハケナデ(7本)。	淡橙茶色	2㎜以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を微量に含む。	良好	黒斑有り。
22	甕 (土師器) SK2	口径 9.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ナデ。	淡茶灰色	3㎜以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	内面に煤付着。
23	同上 SK2	口径 13.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡灰褐色	1㎜以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を多量に含む。	良	
24	同上 SK2	口径 15.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 淡茶色 内 淡茶灰色	2㎜以下の雲母・長石・チャート・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
25	同上 SK2	口径 15.8	口縁部は斜上方へ内彎気味に伸び、端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	口縁部外面に煤付着。
26	同上 SK2	口径 19.2	口縁部は外上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶灰色	5㎜以下の長石・チャート・雲母・角閃石等の砂礫粒を含む。	良好	
27 四三	同上 SK2	口径 15.4 器高 18.5 最大径 18.2	最大径を中位より下にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
28 四三	甕 (土師器) SK2	口径 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ（24本)、内面ナデ。	淡褐色	2.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
29 SK2	同上	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して直上する口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部外面クシ状工具によるヨコナデ、内面ヨコナデ、頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	外 淡茶色 内 淡灰茶色	1㎜以下の長石・チャート等の細砂粒を含む。	良好	
30 河川1	壺 (土師器)	口径 14.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ（11本)、内面ハケナデ後ヨコナデ。	外 暗灰褐色 内 淡灰色	5㎜以下の砂礫粒を含む。	良好	
31 河川1	同上	口径 21.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面剝離の為不明、内面ヘラミガキ。	乳灰橙色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
32 河川1	同上	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸びた後斜上方へ外反して伸び、端部は内方に肥厚し、外傾する凹面をもつ。体部は欠損。頸部外面に1本の沈線を有す。 口縁部外面上位ヨコナデ、下位ナデ後ハケナデ（10本)、内面ヨコナデ。	淡褐色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
33 四三 河川1	同上	口径 17.6	上方へ伸びる頸部より屈曲し、斜上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 端部外面ナデ、口縁部・頸部内外面ヘラミガキ、体部内面ハケナデ後ヘラミガキ。	乳灰色	1.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
34 河川1	同上	口径 20.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部内外面ヘラミガキ。	淡褐色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
35 河川1	甕 (土師器)	口径 13.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	外面に煤付着。
36 河川1	同上	口径 15.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（10本)、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	暗灰色	3㎜以下の雲母・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
37	甕 (土師器) 河川1	口径 14.0	斜上方へ外反して伸びる頸部より屈曲し、直上する口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡赤褐色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	
40	壺 (土師器) 河川2	口径 25.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部はたれ下がる。体部は欠損。端面外面に1帯9条と内面に1帯8条と体部外面に1帯4条の波状文を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ナデ、下位ヘラミガキ、体部内面ナデ。	外 淡橙乳灰色 内 淡橙灰色	3㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	煤付着。
41	同上 河川2	口径 14.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面上位ヨコナデ、中位以下ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	淡橙灰色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
42	甕 (土師器) 河川2	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指頭痕。	茶褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・チャート等の細砂粒を少量含む。	良好	
43	同上 河川2	口径 14.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干内外方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ヨコナデ。	暗茶褐色	0.5㎜以下の微砂粒を少量含む。	良好	煤付着。
44	同上 河川2	口径 15.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干内外方に肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・体部内外面ヨコナデ。	乳褐色	3㎜以下の石英・長石等を含む。	良好	
45	同上 河川2	口径 16.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 淡灰色	2.5㎜以下の石英・雲母・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
46	鉢 (土師器) 河川2	口径 14.6	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ヨコナデ。	赤淡黄色	雲母・長石等の微量含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。
47	杯 (土師器) 河川2	口径 18.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部・底部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡赤褐色	赤褐色酸化粒・雲母・角閃石等を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
48	杯 (土師器) 河川2	口径 18.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ後ナデ。	外 淡赤茶色 内 淡灰褐色	赤褐色酸化粒・石英・雲母等を微量に含む。	良好	口縁部外面に自然釉付着。
49	同上 河川2	口径 14.0	平らと思われる底部より上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡褐色	雲母等を微量に含む。	良好	内面に自然釉付着。
50	同上 河川2	口径 18.1	口縁部は上外方へ内彎して伸び、端部は外方につまむ。底部は欠損。 内外面ナデ。	暗褐色	雲母・石英・赤褐色酸化粒等を微量に含む。	良好	内面に自然釉付着。
51	壺 (土師器) 包含層	胴部最大径 15.0	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる頸部に至る。口縁部・端部は欠損。底部は丸底。体部内面中位に4本の接合痕を有す。底部に穿孔を有す。 頸部外面上位ヨコナデ、下位・頸部内面・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ、底部外面ハケナデ後ヘラミガキ。	淡灰茶色	長石・チャート・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む。	良好	底部外面に黒斑有り。
52	甕 (土師器) 包含層	口径 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本)、内面ヘラナデ。	外 淡黄褐色 内 淡灰褐色	1㎜以下の長石・石英・チャート等の細砂粒を含む。	良好	
53	同上 包含層	口径 14.6	口縁部は上外方へ伸びた後外上方へ短く伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（4本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	長石・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	
54 四三	同上 包含層	口径 13.0 器高 14.1 最大径 14.6	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り底。体部内面に3本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)・指頭痕、内面上位・中位ヘラ削り、下位指頭痕。	外 茶褐色 内 明茶褐色	0.5㎜以下の角閃石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む。	良好	
55	同上 包含層	口径 13.6	最大径を中位よりやや下にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外に面をもつ。底部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（9本)、体部外面タタキ後ハケナデ（9本)、内面ヘラ削り。	淡褐色	石英・長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	
56	同上 包含層	口径 14.4	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 暗褐色	1㎜以下の石英・チャート等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
57	甕 (土師器) 包含層	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	1㎜以下の雲母・石英等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面に煤付着。
58	同上 包含層	口径 14.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 黒茶褐色 内 茶褐色	0.5㎜以下の雲母・石英・角閃石等の微砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
59	同上 包含層	口径 15.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外側に面をもち、若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	茶褐色	角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
60	同上 包含層	口径 16.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外傾する面をもち、内方につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	茶褐色	4㎜以下の長石等の砂礫粒を含む。	良好	
61	小型丸底壺 (土師器) 包含層	口径 10.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡赤茶褐色	2㎜以下の赤褐色酸化粒・角閃石・雲母・長石・チャート等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
62	同上 包含層	胴部最大径 11.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。 内外面剝離の為不明。	灰茶色	長石・チャート・石英等の細砂粒を含む。	良好	
63 四三	鉢 (土師器) 包含層	口径 9.8 器高 4.1	上外方へ伸びる体部より口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面ナデ・指頭痕、内面ヘラナデ。	暗茶灰色	1㎜以下の長石・雲母・石英・角閃石等の細砂粒を多量に含む。	良好	黒斑有り。
64 四三	同上 包含層		体部は上外方へ内彎気味に伸びる。底部は偏平した丸底。口縁部は欠損。 外面剝離の為不明、内面ナデ。	暗褐色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	底部外面に煤付着。
65	器台 (土師器) 包含層	口径 9.5	受部は上外方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。脚部は下外方へ伸びる。裾部は欠損。脚部内面上位に1本の接合痕を有す。 受部・脚部外面ヘラミガキ、受部内面剝離の為不明、脚部内面ナデ。	淡灰茶色	長石・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
66	鉢 （土師器） 包含層	口径 11.0	上外方へ内彎して伸びる体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部は欠損。 外面・口縁部内面ナデ、体部内面ハケナデ（６本）。	淡赤褐色	１mm以下の角閃石・雲母・長石・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を微量に含む。	良好	外面に自然釉付着。
67	土錘 （土師質） 包含層		管状形。	淡赤茶褐色	３mm以下の雲母・チャート・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
68	杯身 （須恵器） 包含層	口径 9.7 器高 3.2	上面凸状の天井部より外下方へ伸びる。稜は痕跡なし。口縁部は内彎気味に下外方へ下り、端部は丸い。 外面¼不定方向のナデ、他は回転ナデ。	青灰色	長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	ロクロ。
69	同上 包含層	口径 10.4 器高 3.3	平らに近い天井部より下外方へ伸びる。稜は痕跡なし。口縁部は下外方に伸び、端部は丸い。 外面約½不定方向ナデ、他は回転ナデ。	青灰色	長石等の微砂粒を少量含む。	良好	ロクロ。
70	同上 包含層	口径 8.8 ～9.7 器高 3.3	丸味をもつ底部より屈曲し、上外方へ伸びる。受部は痕跡なし。口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。 外面約½不定方向のナデ、他は回転ナデ。	青灰色	精良。	良好	ロクロ。
71	甕 （須恵器） 包含層	口径 20.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は若干上下に肥厚し、外端面する凸面状を成す。体部は欠損。 内外面回転ナデ。	灰白色	精良。	良好	ロクロ。

第７調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1 四四	壺 （土師器） ＳＤ１	口径 11.4 器高 15.3 最大径 13.5	最大径を中位より若干上にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗文状のヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ（10本）。	淡灰茶色	長石・雲母・赤褐色酸化粒を含む。	良好	
2 四四	同上 ＳＤ１	口径 12.8 器高 17.6 最大径 15.4	肩部に張りをもつ球形に近い体部より鋭く屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面上位ヘラ削り後ヘラミガキ、下位ヘラ削り、内面ハケナデ(11本)。	淡灰茶色	１mm以下の赤褐色酸化粒・チャート・長石等の細砂粒を含む。	良好	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
3 四四	壺 (土師器) SD1	口径 器高 最大径	14.2 18.4 14.8	最大径を中位にもつ球形の体部より鋭く屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、中位以下ヘラ削り後ヘラミガキ、内面上位指ナデ・指頭痕、中位以下ハケナデ(8本)、底部外面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。
4 四四	同上 SD1	口径 器高 最大径	16.6 26.8 25.1	最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ハケナデ後ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、中位ハケナデ(10本)、下位ヘラ削り後ヘラミガキ内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を微量に含む。	良好	完形。 底部外面に黒斑有り。
5 四四	同上 SD1	口径 器高 最大径	17.0 28.3 23.8	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(11本)後端部付近にヘラミガキ、体部外面ハケナデ(11本)後中位にヘラミガキ、内面上位ヘラナデ、中位以下ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 灰色	長石・チャート等の細砂粒を多量に含み、雲母等の微砂粒を微量に含む。	良好	完形。
6 SD1	同上	口径	12.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ後ヘラミガキ後放射状暗文。	淡茶灰色	0.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良	外面に一部煤付着。
7 SD1	同上	口径	12.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(10)後ヘラミガキ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
8 SD1	同上	口径	12.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は尖る。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ・一部ハケナデ(12本)、内面ヘラミガキ後暗文。	淡茶灰色	0.5㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・石英等の微砂粒を含む。	良好	
9 SD1	同上	口径	12.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は尖る。体部は欠損。 口縁部外面調整不明、内面ハケナデ(5本)後ナデ。	淡灰茶色	0.3㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良	
10 SD1	同上	口径 最大径	17.0 24.2	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
11 四四	壺 (土師器) ＳＤ１	口径 13.6 最大径 23.2	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ(９本)、体部外面上位ハケナデ(８本)、中位以下タタキ後ハケナデ(７本)後ヘラミガキ、内面指ナデ後ハケナデ(９本)。	外 淡灰茶色 内 黄灰色	チャート等の細砂粒を多量に含み、長石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
12 四五	同上 ＳＤ１	口径 14.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。体部内面上位に３本の接合痕を有す。 口縁部外面ハケナデ(９本)、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(９本)、内面上位ナデ・中位ハケナデ(９本)。	淡灰褐色	１㎜以下のチャート・石英・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
13	同上 ＳＤ１	口径 11.0	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後ヘラ状工具によるナデ。	淡灰褐色	３㎜以下のチャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
14	同上 ＳＤ１	口径 15.6	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ（外11本、内10本）後ヨコナデ。	淡灰茶色	１㎜以下の雲母・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
15 四五	同上 ＳＤ１	口径 18.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(９本)後ヨコナデ、内面ハケナデ(８本)。	淡灰茶色	角閃石等の微砂粒を多量に含み、石英・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
16	同上 ＳＤ１	口径 10.9	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
17	同上 ＳＤ１	口径 14.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は小さく外方へ肥厚する。体部は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ（外11本、内12本）、頸部内面指頭痕。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・石英・雲母・チャート等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に黒斑有り。
18	同上 ＳＤ１	口径 13.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外側に面をもつ、体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(５本)後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・チャート・石英等の細砂粒を含む。	良好	
19	同上 ＳＤ１	口径 17.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ハケナデ（７本）後ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	灰褐色	1.5㎜以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
20	壺 (土師器) SD1	口径 16.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。 口縁部外面剥離の為調整不明、内面ヨコナデ、端部付近剥離の為調整不明。	淡灰褐色	3㎜以下の石英・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
21	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(12本)後ナデ、端部付近ヘラミガキ、内面ナデ、頸部内面指頭痕。	暗灰褐色	3㎜以下の石英・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	
22	同上 SD1	口径 16.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内面指頭痕。	茶褐色	3㎜以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
23	同上 SD1	口径 18.8	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、	淡灰茶色	0.5㎜以下の雲母・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
24 四五	同上 SD1	口径 19.0	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	暗灰茶色	1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の細砂粒を多量に含む。	良好	
25	同上 SD1	口径 15.8	斜下方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ小さく肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
26	同上 SD1	口径 16.3	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、内面ハケナデ(6本)。	暗灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
27	同上 SD1	口径 16.3	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は内方へ小さく肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面剥離の為調整不明。	灰茶色	1.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
28	同上 SD1	口径 15.7	内上方へ伸びる体部より屈曲し、外反して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、内面ナデ・指頭痕。	淡灰茶色	1㎜以下のチャート・石英・長石・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
29	壺 （土師器） ＳＤ１	口径 18.7	口縁部は上方外へ外反して伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ヘラナデ。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・チャート・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
30	同上 ＳＤ１	口径 20.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は外側に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ(12本)、内面ナデ。	淡黄褐色	３㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良	
31	同上 ＳＤ１	口径 21.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部・体部内外面剝離の為調整不明。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・チャート・石英等の微砂粒を含む。	良好	
32 四五	同上 ＳＤ１	口径 20.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は若干内方につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	３㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
33 四五	同上 ＳＤ１	口径 15.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、短く直上した後外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外側に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。肩部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（10本）、肩部外面ハケナデ(８本)、体部外面タタキ(４本)、内面ハケナデ後ヘラナデ。	外 淡灰橙色 内 淡灰色	１㎜以下のチャート・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
34	同上 ＳＤ１	口径 21.4	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ、体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明。	淡灰茶色	２㎜以下の石英・長石・チャート・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
35 四五	同上 ＳＤ１	口径 16.0	内上方に内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ若干肥厚し、上に面をもつ、体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（８本）後ナデ、内面上位指ナデ、中位ヘラ削り。	暗灰茶色	２㎜以下のチャート・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
36 四五	同上 ＳＤ１	口径 15.6	肩部に張りをもつ球形に近いと思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（10本）後ナデ、頸部内面指頭痕、体部外面ハケナデ(10本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り。	暗灰茶色	１㎜以下のチャート・長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
37 四五	同上 ＳＤ１	最大径 12.8	体部は最大径を中位にもつ球形である。底部は丸底。口縁部は欠損。 体部外面ヘラミガキ、内面上位指頭痕、中位以下ヘラナデ、底部ヘラミガキ。	淡灰茶色	１㎜以下のチャート・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
38 四六	壺 (土師器) SD1	口径 13.7 最大径 18.8	最大径を中位にもつ楕円形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部内面上位に2本の接合痕を有す。 口縁部外面剝離の為調整不明、内面ヨコナデ、体部外面タタキ（2本）、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	3㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
39 四六	同上 SD1	最大径 14.2	体部は最大径を中位にもつ球形である。底部は丸底。口縁部・底部の一部欠損。体部内面に2本の接合痕を有す。 体部外面磨耗の為調整不明、内面上位ヘラ削り、中位以下ナデ。	乳灰茶色	4㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	体部下位・底部外面に黒斑有り。
40 四六	同上 SD1	口径 15.2 器高 25.5 最大径 22.6	最大径を中位より若干上にもつ楕円形の体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は尖り気味底。頸部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本）、内面上位ヘラ削り、中位以下ヘラナデ、底部外面タタキ（2本）後ナデ。	淡灰茶色	5㎜以下の砂礫粒を含む。	良好	完形。
41 四六	同上 SD1	最大径 21.4	体部は最大径を中位より若干上にもつ偏平な球形である。底部は丸底。口縁部は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 体部外面上位・中位ハケナデ（11本）後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面上位指ナデ、中位以下ヘラナデ、底部ヘラ削り後ヘラミガキ。	淡灰茶色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	
42 四六	同上 SD1	最大径 19.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部・体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（3本）後ハケナデ（11本）、内面ナデ後ヘラ削り・上位指頭痕。	淡茶色	2.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
43 四六	同上 SD1	最大径 30.3	最大径を中位より若干下にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。体部内面上位に2本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラナデ、内面ヘラミガキ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヘラナデ、上位指ナデ。	淡灰茶色	3㎜以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化砂粒を多量に含む。	良好	
44 四六	同上 SD1	最大径 22.8	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部・体部下位は欠損。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（4本）後ハケナデ（10本）、内面上位指ナデ、中位ヘラナデ。	外 淡灰茶色 内 淡黄灰色	1㎜以下の石英・長石・チャート・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。
45	同上 SD1	口径 22.2	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は垂下し、外側に面をもつ。体部は欠損。端面に5条の平行沈線を施し、円形浮文を付着する。 口縁部内外面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
46	壺 (土師器) SD1	口径 18.4	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。屈曲部外面に円形竹管文・ヘラキザミを施す。頸部外面に粘土のつなぎ目を有す。 口縁部外面ヘラミガキ後ヨコナデ、内面ヘラミガキ、頸部外面ナデ、内面ヘラミガキ。	外 淡灰茶色 内 灰褐色	2㎜以下の長石・角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
47 四六	同上 SD1	口径 21.8	内上方へ伸びる体部より屈曲して上外方へ伸びた後屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまみ、外傾する凸面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ（11本）後ヨコナデ、端部付近ヨコナデ、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	1㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
48	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は外側に面をもつ。頸部・体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内面ナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
49	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ・大部分剝離の為調整不明、内面ヨコナデ・大部分剝離の為調整不明、頸部外面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
50	同上 SD1	口径 16.6	口縁部は上外方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	4㎜以下のチャート・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
51 四六	同上 SD1	口径 21.3	内上方へ伸びる体部より緩やかに屈曲し、上外方へ外反して伸びた後屈曲して斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。体部は欠損。頸部外面にヘラキザミを施す。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	3㎜以下の石英・長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
52	同上 SD1	口径 22.4	口縁部は外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。頸部・体部は欠損。 口縁部外面剝離の為調整不明、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
53 四六	同上 SD1	口径 18.4	上方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ。	淡灰茶色	3㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
54 四七	同上 SD1	口径 21.3	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部・頸部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明、体部外面ハケナデ（12本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	3㎜以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良	口縁部外面・体部外面に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
55	壺 (土師器) SD1	口径 21.4	上方へ伸びる頸部より屈曲し、外上方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部外面ヨコナデ、内面指頭痕。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母・長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を多量に含む。	良好	
56	同上 SD1		上外方へ内彎気味に伸びる頸部より屈曲し、外上方へ短く伸びた後屈曲して外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部・体部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヘラミガキ。	灰茶色	0.3㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
57 四七	同上 SD1	口径 24.0	上外方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、屈曲部内外面ヨコナデ、頸部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	淡灰茶色	3㎜以下のチャート・石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	端部付近外面に黒斑有り。
58 四七	同上 SD1	口径 16.0 器高 16.5	最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる頸部より屈曲し、水平に伸びた後屈曲して外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部・頸部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ後ヘラミガキ、下位ハケナデ(11本)、内面ナデ。	暗灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	完形。
59 四七	同上 SD1	口径 27.8 器高 37.4 最大径 31.6	最大径を中位にもつ球形の体部より屈曲し、直上する頸部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。口縁屈曲部外面は垂下する。頸部外面に凸帯を有す。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、口縁屈曲部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)、頸部外面ハケナデ(7本)、内面ヨコナデ、頸部屈曲部外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、中位以下ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	底部外面に黒斑有り。
60 四七	甕 (土師器) SD1	口径 13.0 器高 14.6 底径 3.7	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は突出した平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面上位ヘラナデ、下位ハケナデ(9本)、底部外面ナデ・指頭痕。	茶褐色	4㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	完形。
61 四七	同上 SD1	口径 14.2 器高 13.8 底径 3.0	肩部に張りをもつ楕円形に近い体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面上位・中位ヘラナデ、下位ハケナデ(15本)、底部外面ヘラ削り。	外 暗灰褐色 内 灰褐色	4㎜以下の角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
62	甕 (土師器) SD1	口径 11.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。体部内面上位に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）、内面ナデ。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.1㎜以下の雲母・角閃石等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
63	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（３本）、内面ヘラナデ。	外 黒茶色 内 淡灰茶色	0.5㎜以下の石英等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
64	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外に若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明、体部外面タタキ（３本）、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面・体部外面中位に煤付着。
65	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は斜上方に外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）後ナデ、内面ハケナデ（６本）後ヘラ削り。	乳灰茶色	3㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良好	
66 四七	同上 SD1	口径 19.8 器高 37.0 最大径 30.8	楕円形の体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する凹面をもつ。底部は丸底。体部外面下位に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（２本）後ハケナデ（８本）、内面上位ハケナデ（11本）・ナデ、中位以下ヘラ削り後ハケナデ（11本）。	淡灰茶色	2.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒・石英等の粗砂粒を含む。	良好	完形 体部外面下位に黒斑有り。
67 四八	同上 SD1	口径 12.6	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ(14本)、下位ヘラ削り、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	2㎜以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
68 四八	同上 SD1	口径 15.8 最大径 18.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ（３本）後ヘラナデ、内面ハケナデ（４本）後ヘラ削り。	外 淡灰黄褐色 内 灰褐色	3.5㎜以下の長石・チャート・角閃石・石英等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
69 四八	同上 SD1	口径 10.8 器高 10.2 最大径 11.5	最大径を中位にもつやや偏平な球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（７本）、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（10本）、内面上位ヘラ削り・指ナデ、下位ナデ。	淡灰褐色	0.5㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。
70 四八	同上 SD1	口径 13.0 器高 15.3 最大径 15.9	球形の体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	4㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒・長石等の砂礫粒を多量に含む。	良	体部外面中位以下に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
71 四八	甕 (土師器) SD1	口径 12.2 器高 15.7 最大径 16.3	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる、底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.1㎜以下の長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。 体部外面中位以下に煤付着。
72 四八	同上 SD1	口径 13.6 器高 15.4 最大径 16.2	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.1㎜以下の雲母・角閃石等の微砂を含む。	良好	外面全面に煤付着。
73 四九	同上 SD1	口径 15.6 器高 16.5 最大径 18.4	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は小さく上につまむ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	2㎜以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
74 四九	同上 SD1	口径 13.8 器高 17.8 最大径 17.2	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(7本)後ハケナデ(7本)、中位以下剝離の為調整不明、内面ヘラ削り。	暗灰茶色	2㎜以下の長石・雲母・角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
75 四九	同上 SD1	口径 14.4 器高 15.8 最大径 16.1	球形の体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5㎜以下の雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	完形。 体部外面中位以下に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。
76 四九	同上 SD1	口径 15.0 器高 19.3 最大径 18.8	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。底部に穿孔を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	4㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	完形。 体部外面に煤付着。
77 四九	同上 SD1	口径 14.4 最大径 18.6	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	外 茶褐色 内 灰茶色	5㎜以下の長石・角閃石・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面中位以下に煤付着。 体部内面に炭化物付着。
78 四九	同上 SD1	口径 15.3 器高 19.0 最大径 19.0	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)後ハケナデ(16本)、下位煤付着の為調整不明、内面ハケナデ(11本)後ヘラ削り、下位指頭痕。	暗茶灰色	0.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
79 五〇	甕 （土師器） ＳＤ１	口径 15.4 最大径 19.4	最大径を中位にもつ楕円形に近い体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（５本）後ヨコナデ、体部外面タタキ（９本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	外 灰茶色 内 灰褐色	４㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。 体部内面下位に炭化物付着。
80 五〇	同上 ＳＤ１	口径 17.0 器高 20.8 最大径 21.2	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1㎜以下の長石・雲母・角閃石・石英等の微砂粒を含む。	良好	体部外面中位以下に煤付着。
81 五〇	同上 ＳＤ１	口径 14.4 最大径 16.9	最大径を中位にもつ楕円形に近いと思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びると思われる。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	暗褐色	５㎜以下の長石・角閃石・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好	体部外面に煤付着。
82 五〇	同上 ＳＤ１	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（４本）後ハケナデ（６本）、内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	角閃石・雲母・長石等を含む。	良好	外面全面に煤付着。
83 五〇	同上 ＳＤ１	口径 17.7	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（８本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	３㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・石英・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面・端部付近内面・体部外面中位に煤付着。
84 五〇	同上 ＳＤ１	口径 18.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	１㎜以下の雲母・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
85 五〇	同上 ＳＤ１	口径 19.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（６本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	３㎜以下の石英・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
86 ＳＤ１	同上	口径 11.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干上につまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）、内面ヘラ削り。	暗褐茶色	２㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
87 ＳＤ１	同上	口径 12.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（７本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	２㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
88	甕 (土師器) SD1	口径 12.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干内方に肥厚し、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（6本)、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
89	同上 SD1	口径 14.5	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（5本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	4.5㎜以下の角閃石・雲母・石英等の砂礫粒を少量含む。	良好	
90	同上 SD1	口径 12.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（5本)、体部内面ヘラ削り。	淡褐茶色	2㎜以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
91	同上 SD1	口径 12.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（12本)、内面ヘラ削り。	淡茶色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
92	同上 SD1	口径 12.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本)、内面ヘラ削り。	乳灰色 （口縁部に黒褐色のところや茶灰色のところがある。）	2㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
93	同上 SD1	口径 12.8	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は外傾する凹面をもち、上に小さくつまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	明灰褐色	1.5㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
94	同上 SD1	口径 12.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。頸部ヨコナデ。	暗茶灰色	2㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
95	同上 SD1	口径 13.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（7本)、体部内面ヘラ削り。	乳灰褐色	2㎜以下の雲母・角閃石・長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
96	同上 SD1	口径 13.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（7本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
97	甕 (土師器) SD1	口径 13.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面磨耗の為調整不明、内面ヘラ削り。	外 暗灰茶褐色 内 灰茶色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
98	同上 SD1	口径 13.4	口縁部は斜上方へ外反して伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1.5㎜以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
99	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（6本）、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（5本）、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
100	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（7本）後ヨコナデ、体部外面ハケナデ（6本）後タタキ（5本）、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 淡灰褐色	0.1㎜以下の雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
101	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（10本）、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	淡褐茶色	1.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
102	同上 SD1	口径 14.5	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部・体部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明。	外 淡灰褐色 内 淡黒褐色	0.5㎜以下の角閃石・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	内外面全面に煤付着。
103	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は外側に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰褐色	0.3㎜以下の長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	
104	同上 SD1	口径 13.6	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
105	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（7本）、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1.5㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
106	甕 (土師器) SD1	口径 13.6	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰茶色	0.1 ㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
107	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(18本)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5 ㎜以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
108	同上 SD1	口径 13.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	1㎜以下の角閃石・石英・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
109	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は斜上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗茶灰色	3.5 ㎜以下の角閃石・長石・雲母・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
110	同上 SD1	口径 13.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外側に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	3㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
111	同上 SD1	口径 13.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	1.5 ㎜以下の角閃石・雲母・石英長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
112	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰褐色	0.1 ㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
113	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。頸部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
114	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は外側に残い凹面をもち、若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面タタキ(3本)、内面ヨコナデ体部外面ナデ。	淡灰褐色	0.5 ㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
115	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(煤の為不明瞭)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色	2㎜以下の角閃石・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面・端部付近内面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
116	同上 SD1	口径 13.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（5本）ヨコナデ、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（6本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1.5㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
117	同上 SD1	口径 14.6	体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（5本）、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 灰褐色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・赤褐色酸化粒・長石等の粗砂粒を多量に含む	良好	口縁部外面に煤付着。
118	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本）後タタキ（6本）、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良	
119	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（9本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着
120	同上 SD1	口径 14.1	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（12本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	
121	同上 SD1	口径 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）後タタキ（5本）、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
122	同上 SD1	口径 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	2㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
123	同上 SD1	口径 14.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・一部ハケナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を多量に含む。	良好	
124	同上 SD1	口径 14.2	体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.2㎜以下の雲母・長石・チャート等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
125	甕 (土師器) SD1	口径	14.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	褐灰色	3㎜以下の長石・角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良	
126	同上 SD1	口径	14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
127	同上 SD1	口径	14.4	体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
128	同上 SD1	口径	14.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	1.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
129	同上 SD1	口径	14.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	暗灰茶色	4㎜以下の角閃石・雲母・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
130 五一	同上 SD1	口径	14.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(5本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の石英・雲母・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	
131	同上 SD1	口径	14.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2㎜以下の角閃石・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
132	同上 SD1	口径	17.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部内面ヘラ削り。	暗灰褐色	0.3㎜以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
133	同上 SD1	口径	17.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・一部ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の細砂粒を含む。	良	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
134	甕 (土師器) SD1	口径 17.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、内上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する凹面をもつ。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ、(８本)、体部外面ハケナデ(８本)、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 淡灰褐色	１㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
135	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	灰褐色	0.3㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
136	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げ、上に面をもつ。体部は欠損。口縁部外面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（６)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	2.5㎜以下の角閃石・長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
137	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部外面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(４本)後ハケナデ（８本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	１㎜以下の雲母・角閃石・赤褐色酸化粒・長石等の細砂粒を含む。	良好	
138	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は斜上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、一部ハナナデ（10本)、内面ハケナデ（９本)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	0.3㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
139	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケ目、内面ハケナデ。	外 黒茶色 内 淡灰褐色	１㎜以下の角閃石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
140	同上 SD1	口径 14.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜方上へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。体部は欠損 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(７本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.3㎜以下の角閃石・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
141	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部・体部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明。	淡灰褐色	３㎜以下の角閃石・長石・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
142	同上 SD1	口径 14.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
143	甕 (土師器) SD1	口径 14.6	口縁部は上外方に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
144	同上 SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	外面に一部煤付着。
145	同上 SD1	口径 14.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	3㎜以下の長石・角閃石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面に一部煤付着。
146	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ヨコナデ、体部外面剝離の為調整不明、内面ヘラ削り。	外 淡茶色 内 灰褐色	3㎜以下の雲母・角閃石・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良	
147	同上 SD1	口径 14.7	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(9本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 暗灰褐色	3㎜以下の長石・角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
148 五一	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干内方へ肥厚し、上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ(7本)、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	茶褐色	5㎜以下の角閃石・石英・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
149	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(8本)、体部内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
150	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(12本)、内面ヘラ削り。	暗灰茶色	3㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
151	同上 SD1	口径 14.8	口縁部は斜上方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部内面ヘラ削り。	茶灰色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	端部付近外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
152	甕 （土師器） SD1	口径 14.8	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 褐茶色 内 灰褐色	3㎜以下の角閃石・雲母・石英等・の粗砂粒を含む。	良好	
153	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	黒褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等・の細砂粒を含む。	良好	
154	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）、内面ヘラ削り。	暗灰茶色	3㎜以下の角閃石・雲母・長石等・の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
155 五一	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（15本）、内面ヘラ削り。	褐灰色	8㎜以下の角閃石・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	
156	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（９本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	外 淡灰褐色 内 淡灰茶色	1㎜以下の雲母・長石角閃石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
157	同上 SD1	口径 14.9	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.1 ㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
158 五一	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（６本）、内面ヘラ削り。	褐灰色	3㎜以下の角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
159 五一	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	褐茶色	3.5 ㎜以下の角閃石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
160	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ（８本）、体部外面ナデ後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	4㎜以下の角閃石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
161	甕 (土師器) SD1	口径 15.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面剝離の為調整不明、体部内面ヘラ削り。	淡橙褐色	1㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
162	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡橙褐色	1㎜以下の石英・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
163	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部内面ヘラ削り。	外 黒茶色 内 淡灰茶色	0.1㎜以下の雲母・長石・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
164	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	3.5㎜以下の角閃石・雲母・石英等の砂礫粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
165	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ・ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
166	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
167	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	暗灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
168	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 乳灰褐色 内 灰褐色	1.5㎜以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
169	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	暗褐色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
170	甕 (土師器) SD1	口径 15.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	
171	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干内方に肥厚し、上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	3㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
172	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方に若若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1.5㎜以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
173	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
174	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。頸部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、一部ハケナデ(8本)、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
175	同上 SD1	口径 15.3	上内方へ伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	3.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の砂礫粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
176	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
177	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.3㎜以下の角閃石・長石・雲母石英等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
178	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(9本)。	外 黒褐色 内 灰褐色	1.5㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
179	甕 (土師器) SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	2㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
180	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(8本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	暗灰色	2㎜以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
181	同上 SD1	口径 15.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の角閃石・長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	外面に一部煤付着。
182	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、端部付近に指押さえ、内面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	角閃石・長石・雲母等を含む。	良	
183	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剝離の為調整不明、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の角閃石・長石・石英等の細砂粒を多量に含む。	良好	
184	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(4本)後ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1㎜以下角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
185	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を多量に含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
186	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(8本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2㎜以下の角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
187	同上 SD1	口径 15.6	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2㎜以下の石英・長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
188	甕 （土師器） SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	１㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良	外面に一部煤付着。
189	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2.5 ㎜以下の角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
190	同上 SD1	口径 17.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（７本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	８㎜以下の角閃石・雲母・長石等の砂礫粒を含む。	良	
191	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り、頸部に指押さえ。	淡茶灰色	３㎜以下の長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面一部煤付着。
192	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（７本）、体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（６本）、内面ヘラ削り。	淡茶色	２㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
193	同上 SD1	口径 15.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（９本）、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	２㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良	
194	同上 SD1	口径 15.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（８本）、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	暗褐灰色	１㎜以下の雲母・石英等の細砂粒を少量含む	良好	
195	同上 SD1	口径 15.8	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。端部付近外面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ヨコナデ、体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	４㎜以下の雲母・角閃石・長石・石英等の砂礫粒を少量含む。	良好	
196	同上 SD1	口径 15.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケによるヨコナデ、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（12本）、内面ヘラ削り。	暗茶褐色	長石・角閃石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
197	甕 (土師器) SD1	口径 17.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	灰茶色	2㎜以下の角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
198	同上 SD1	口径 15.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方に肥厚し、つまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	角閃石・雲母・長石等を含む。	良好	外面全面に煤付着。
199	同上 SD1	口径 17.4	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	淡褐灰色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
200 五一	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
201	同上 SD1	口径 16.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 暗灰褐色	5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の砂礫粒を多量に含む。	良	
202	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	灰茶色	3㎜以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
203	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	3㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
204	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	褐茶色	2.5㎜以下の角閃石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
205	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)・ヘラ先による傷(4本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	1㎜以下の雲母・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
206	甕 (土師器) SD1	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	淡灰黄色	2mm以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
207	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	3mm以下の角閃石・長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
208 五一	同上 SD1	口径 16.0 最大径 21.3	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	5.5mm以下の長石・角閃石・石英赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	
209	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケナデ、内面ハケナデ(8本)。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.1mm以下の角閃石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
210	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(3本)後ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	長石・雲母等を含む。	良	
211	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰茶色	2mm以下の長石・石英・角閃石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
212	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げ、外に小さい面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	1mm以下の角閃石・長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
213	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	0.5mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
214	同上 SD1	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(6本)、体部内面ヘラ削り。	灰褐色	1mm以下の雲母・角閃石・石英・チャート等の細砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
215	甕 (土師器) SD1	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部内面ヘラ削り。	外 黒茶色 内 灰茶色	0.5㎜以下の角閃石・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
216	同上 SD1	口径 16.4	内上方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(5本)、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 暗灰褐色	1㎜以下の角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
217 五一	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。頸部内面・体部内面上位に1本ずつの接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(7本)後ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(11)、内面ハケナデ(7本)後ナデ、ヘラ削り。	褐灰色	5㎜以下の角閃石・長石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
218 五二	同上 SD1	口径 16.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	4.5㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
219	同上 SD1	口径 16.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケナデ(7本)、内面ハケナデ(8本)、体部内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
220	同上 SD1	口径 16.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ後ハケナデ(5本)。	灰褐色	1㎜以下の雲母・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	
221	同上 SD1	口径 16.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.1㎜以下の角閃石・雲母・石英等の微砂粒を多量に含む。	良好	
222	同上 SD1	口径 16.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)、内面ヘラ削り。	茶灰褐色	2㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
223	同上 SD1	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ(6本)。内面ヘラ削り。	褐灰色	2.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
224	甕 (土師器) SD1	口径 16.8	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（10本）、体部外面タタキ（７本）後ハケナデ（９本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	２mm以下の角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
225	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は外傾する凹面をもち、若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	淡灰褐色	雲母等を微量に含む。	良好	
226	同上 SD1	口径 17.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	１mm以下の角閃石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
227	同上 SD1	口径 17.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）後ハケナデ（５本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.3 mm以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を多量に含む。	良好	
228	同上 SD1	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（８本）後タタキ（７本）、内面ヘラ削り。	褐灰色	２mm以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良	
229	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（６本）、体部外面タタキ（３本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡灰褐色	１mm以下の角閃石・長石・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	
230	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面タタキ（５本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5 mm以下の角閃石・長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
231	同上 SD1	口径 17.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（５本）体部外面タタキ（５本）後ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	２mm以下の角閃石・石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良	外面全面に煤付着。
232	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方へつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（８本）、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	２mm以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
233	甕 (土師器) SD1	口径 18.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・一部ハケナデ、体部外面タタキ（6本）、内面ヘラ削り。	茶褐灰色	4.5㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
234	同上 SD1	口径 18.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	暗茶褐色	2㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
235	同上 SD1	口径 18.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（8本）、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
236 五二	同上 SD1	口径 18.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外側に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（5本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	3.5㎜以下の長石・角閃石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
237	同上 SD1	口径 22.8	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部・体部外面ナデ、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	3㎜以下の角閃石・雲母・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
238	同上 SD1	口径 18.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。体部内面上位に1本の粘土のつなぎ目を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケによるヨコナデ、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（5本）、内面ハケナデ後ヘラ削り。	外 茶灰色 内 灰褐色	3㎜以下の角閃石・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
239	同上 SD1	口径 22.8	体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（3本）、内面ヘラ削り。	茶褐色	0.1㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
240 五二	同上 SD1	口径 16.4 器高 19.8 最大径 19.4	球形の体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干内方に肥厚し、つまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（6本）、体部外面タタキ（5本）後ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5㎜以下の長石・角閃石・雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	体部内面下位に炭化物付着。
241	同上 SD1	口径 13.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（7本）、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
242	甕 (土師器) SD１	口径 17.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（５本）、体部外面タタキ（５本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1.5㎜以下の石英・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
243 五二	同上 SD１	口径 15.7	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（８本）、体部外面タタキ（８本）後ハケナデ(７本)、内面ヘラ削り。	暗黒褐色	２㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
244	同上 SD１	口径 17.6	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（６本）・一部ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	２㎜以下の角閃石・長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面屈曲部に煤付着。
245 五二	同上 SD１	口径 11.8 器高 12.9	球形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ（７本）後ヨコナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（９本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
246 五二	同上 SD１	口径 14.4 器高 19.4 最大径 18.1	最大径を中位にもつ楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。口縁部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（13本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	0.5㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。
247	同上 SD１	口径 12.5	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外側に浅い凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（８本）、内面ヘラ削り。	茶褐灰色	１㎜以下の角閃石・赤褐色酸化粒・石英等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
248	同上 SD１	口径 14.6	上内方へ伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。体部は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ（８本）、内面ヘラ削り。	暗灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
249	同上 SD１	口径 14.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（12本）、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	１㎜以下の角閃石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
250	同上 SD１	口径 15.6	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（５本）、体部外面ハケナデ（８本）、内面ヘラ削り後ハケナデ（７本）。	乳灰褐色	２㎜以下の雲母・角閃石・石英・赤褐色酸化粒・長石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
251	甕 (土師器) SD1	口径 13.6	斜上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	灰茶色	3.5㎜以下の石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
252 五二	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（13本）、内面ヘラ削り。	淡褐灰色	1.5㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
253	同上 SD1	口径 16.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	灰茶色	2.5㎜以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
254	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ（6本）、体部外面（8本）、内面ヘラ削り、頸部に指頭痕。	淡褐灰色	1.5㎜以下の雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
255	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	灰茶色	2.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
256	同上 SD1	口径 14.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（5本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	2.5㎜以下の石英・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
257	同上 SD1	口径 13.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部・体部内外面ヨコナデ。	外 淡灰茶色 内 乳灰茶色	1㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
258	同上 SD1	口径 12.6	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は外方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	0.5㎜以下の長石・石英等の微砂粒を少量含む。	良好	
259	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（8本）。	外 灰褐色 内 淡茶灰色	1㎜以下の雲母・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
260	甕 (土師器) SD1	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（6本)、体部外面タタキ後ハケナデ（7本)、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1㎜以下の長石等の細砂粒を含む。	良好	
261	同上 SD1	口径 11.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	3㎜以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。		外面全面に煤付着。
262	同上 SD1	口径 11.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干外方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本)、内面ヘラ削り。	灰白色	1.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
263	同上 SD1	口径 14.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡褐灰色	1㎜以下の石英・雲母・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	
264	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ若干肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	乳灰褐色	1㎜以下の石英・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
265 五三	同上 SD1	口径 14.6 最大径 19.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（9本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	2㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
266	同上 SD1	口径 17.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（9本)、内面ヨコナデ・ヘラ削り。	灰茶色	3㎜以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
267 五三	同上 SD1	口径 16.5 器高 25.9 最大径 23.3	最大径を中位にもつ楕円形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（9本)、内面ヘラ削り、下位に指頭痕、底部剝離の為調整不明。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒・石英等の微砂粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。
268	同上 SD1	口径 15.1 最大径 21.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（15本)、内面ヘラ削り。	外 黒橙色 内 淡灰橙色	4㎜以下の長石・石英・雲母・チャート等の砂礫粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
269 五三	甕 (土師器) SD1	口径 最大径	11.8 14.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	乳白褐色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
270 SD1	同上	口径 器高 最大径	17.6 26.4 24.9	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り、底部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下長石・石英雲母等の微砂粒を多量に含む。	良好	
271 SD1	同上	口径	11.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・石英・長石等の細砂粒を含む。	良好	
272 SD1	同上	口径	10.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	乳灰色	1.5㎜以下の石英・長石・角閃石雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良	
273 SD1	同上	口径	12.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り	淡橙褐色	1.5㎜以下の石英・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
274 五三	同上 SD1	口径	12.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後タタキ（5本）、内面指頭痕・ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
275 SD1	同上	口径	11.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	淡灰色	2㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	口縁部内面に煤付着。
276 SD1	同上	口径	13.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
277 SD1	同上	口径	12.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	暗灰色	2㎜以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
278	甕 (土師器) SD1	口径 12.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡褐色	2mm以下の雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面の一部に煤付着。
279	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ（8本）、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
280	同上 SD1	口径 14.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（11本）、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2mm以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
281	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
282	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（8本）、体部外面ハケナデ（8本）、内面ナデ。	淡灰茶色	2mm以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
283	同上 SD1	口径 14.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（15本）、内面ヘラ削り。	灰茶色	5mm以下の石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良	外面全面に煤付着。
284	同上 SD1	口径 14.2 最大径 18.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（7本）後ハケナデ（16本）、内面ヘラ削り。	灰茶色	5mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
285 五三	同上 SD1	口径 14.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（15本）、内面ヘラ削り。	外 暗灰茶色 内 茶灰褐色	1mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
286	同上 SD1	口径 14.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剥離の為調整不明、内面ヘラ削り。	暗茶灰色	1mm以下の長石・雲母等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
287	甕 (土師器) SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	褐灰色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
288 五三	同上 SD1	口径 14.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（9本）、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
289	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は上外方に内彎して伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
290	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳灰色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
291 五四	同上 SD1	口径 15.0 最大径 20.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部下位は欠損。 口縁部外面・体部外面上位ヨコナデ、口縁部内面ハケナデ（6本）、体部外面中位ハケナデ（7本）、内面ハケナデ後ヘラ削り・指頭痕。	外 淡灰茶色 内 灰茶色	1㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒・長石等の細砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
292	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する浅い凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（6本）、内面ヘラ削り。	暗灰色	2㎜以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全体に煤付着。
293	同上 SD1	口径 15.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は若干内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）、内面ヘラ削り。	灰褐色	2㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部・体部外面中位に煤付着。
294	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡赤褐色	1.5㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良	
295	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面磨耗の為調整不明、体部外面磨耗の為調整不明、内面ヘラ削り。	暗赤褐色	2.5㎜以下の石英・長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
296	甕 (土師器) SD1	口径 16.8	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に凹面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（5本)、内面ヘラ削り。	灰白茶色	1.5㎜以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良	口縁部外面に煤付着。
297	同上 SD1	口径 16.2	口縁部は内彎気味に上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部・体部内外面ヨコナデ。	乳茶色	1.5㎜以下の雲母・石英・長石等の粗砂粒を含む。	良	
298	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 茶灰色 内 茶橙色	1㎜以下の雲母・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
299	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5㎜以下の雲母・石英・長石等の微砂粒を含む。	良好	
300	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	乳黄色	1㎜以下の石英・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
301	同上 SD1	口径 18.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方に肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内面ヘラ削り。	外 淡茶灰色 内 乳灰橙色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
302	同上 SD1	口径 18.3 最大径 23.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ後ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	1.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
303	同上 SD1	口径 18.3	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ・ハケナデ（10本)、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	3㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面と体部外面中位に煤付着。
304 五四	同上 SD1	口径 18.8 最大径 25.3	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケナデ（8本)、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（13本)・上位にヘラ先による傷（2本)、内面ヘラ削り・指頭痕。	淡褐灰色	2㎜以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面（口縁部・体部上位の一部）に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
305 五四	甕 (土師器) SD1	口径 11.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ハケナデ(9本)、中位剝離の為調整不明、内面ヘラナデ。	暗褐茶色	3㎜以下の角閃石・雲母・チャート・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
306	同上 SD1	口径 10.2	球形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ(10本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	暗灰茶色	1㎜以下の長石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	
307 五四	同上 SD1	口径 10.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に若干つまむ。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ(9本)、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	0.5㎜以下の長石・チャート・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
308 五四	同上 SD1	口径 12.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	淡茶褐色	1.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
309	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外に若干つまむ。体部中位以下は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	暗褐色	0.1㎜以下の角閃石・長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
310	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剝離の為調整不明、内面ヘラナデ・指頭痕。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・チャート・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
311 五四	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。頸部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(8本)。	淡橙褐色	4㎜以下の石英・雲母・長石等の砂礫粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。
312 五五	同上 SD1	口径 14.6 器高 22.0 底径 2.8 最大径 17.5	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面タタキ(2本)、内面ナデ、体部外面タタキ(2本)、内面ハケナデ(8本)、底部外面タタキ(2本)。	外 白灰色 内 灰褐色	1.5㎜以下の石英・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
313	同上 SD1	口径 11.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部・体部外面タタキ(3本)、内面ナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の石英・長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
314	甕 (土師器) SD1	口径	13.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳灰褐色	1㎜以下の石英・長石・チャート等の細砂粒を多量に含む。	良好	
315	同上 SD1	口径	13.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・一部ハケナデ、内面ヨコナデ、体部外面磨耗の為調整不明、内面ヘラ削り。	淡乳灰色	2㎜以下の石英・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
316	同上 SD1	口径 最大径	14.4 17.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	2.5㎜以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
317	同上 SD1	口径	16.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	乳褐色	1.5㎜以下の雲母・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
318	同上 SD1	口径	13.	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部外面剥離の為調整不明、内面ヨコナデ、体部外面剥離の為調整不明、内面ヘラ削り。	外 黒黄褐色 内 淡灰黄橙色	1.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
319 五五	同上 SD1	口径 最大径	15.8 20.6	球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外側に面をもつ。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ(12本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	3㎜以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。 体部下位内面に炭化物付着。
320 五五	同上 SD1	口径 最大径	14.6 19.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚し、外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(11本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
321	同上 SD1	口径	16.2	上内方へ内彎して伸びる体部に屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	2㎜以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
322 五五	同上 SD1	口径 最大径	15.6 21.9	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は上に凹面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(13本)、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	2㎜以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
323	甕 (土師器) SD1	口径 14.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(16本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
324 五五	同上 SD1	口径 12.0 最大径 19.8	最大径を中位より若干上にもつ楕円形の体部より屈曲し、上方へ伸びた後屈曲して外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面上位ナデ・指頭痕、下位ヘラ削り。	乳灰茶色	5㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を多量に含む。	良好	体部外面に黒斑有り。
325 五五	同上 SD1	口径 13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上内方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ハケナデ後ナデ、頸部外面ハケナデ(10本)後ヨコナデ、内面ナデ、体部外面ハケナデ(8本)後ナデ、内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘラ削り。	淡灰茶色	0.5㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む。	良好	体部外面中位に黒斑有り。
326	同上 SD1	口径 14.0 最大径 22.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ(16本)、内面ナデ。	淡橙褐色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
327	同上 SD1	口径 10.3	口縁部は上方へ伸びた後屈曲して外上方へ内彎気味に伸び、端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ナデ、内面ナデ。	外 黒灰色 内 淡灰黄色	2㎜以下の石英・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面全面に黒斑有り。
328 五六	同上 SD1	口径 12.4 最大径 23.3	内上方へ内彎して体部より屈曲し、上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ(10本)、頸部外面ハケナデ(10本)、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面上位ナデ、指頭痕、中位ヘラ削り。	淡灰色	2.5㎜以下の雲母・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	
329 五六	同上 SD1	口径 12.8 最大径 19.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する凹面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)、内面上位ナデ・指頭痕、中位ヘラ削り。	外 黒茶色 内 淡褐灰色	2㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。
330	同上 SD1	口径 13.0	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ナデ。	淡灰褐色	4㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
331	甕 (土師器) SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ・指頭痕。	淡灰褐色	1.5mm以下の雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
332 五六	同上 SD1	口径 12.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、端面に1条の稜線がみられる。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、中位ハケナデ(8本)、内面ナデ・指頭痕。	淡黄褐色	1mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
333	同上 SD1	口径 15.2 最大径 20.0	球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(6本)、内面ナデ後ヘラ削り・指頭痕。	淡黄茶色	1.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位に煤付着。
334	同上 SD1	口径 13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ・指頭痕。	淡乳茶色	2.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
335	同上 SD1	口径 26.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して短く伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ナデ。	灰茶色	2mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
336	同上 SD1	口径 15.0	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剝離の為調整不明、内面ヘラ削り。	乳灰色	2mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
337 五六	同上 SD1	口径 15.8	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面磨耗の為調整不明・一部にハケナデの痕跡有り、内面ヘラ削り。	乳茶灰色	2mm以下の石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
338 五六	同上 SD1	口径 12.9	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文(10条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)、内面ヘラ削り。	外 暗灰茶色 内 淡灰茶色	2mm以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
339 五六	甕 (土師器) SD1	口径 13.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。体部中位以下は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文(7条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(18本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
340 五七	同上 SD1	口径 13.8	体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文(8条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ヨコナデ。	乳灰茶色	1㎜以下の石英・赤褐色酸化粒・チャート等の細砂粒を含む。	良好	
341 五七	同上 SD1	口径 14.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。体部中位以下は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文(磨耗の為不明瞭)、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡乳茶灰色	3㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
342 五七	同上 SD1	口径 15.4 最大径 22.6	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上方に拡張する。底部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文(8条)、内面ヨコナデ、口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(9本)・ヘラ状工具による傷(3本)、内面ヘラ削り・指頭痕。	淡褐灰色	1㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	体部外面下位に煤付着。
343 五七	同上 SD1	口径 11.8 器高 11.0	球形の体部より屈曲し、上外方に外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。山陰地方に見られる二重口縁の甕の形態をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位クシ状工具によるヘラキザミ、中位以下ハケナデ(16本)、内面上位ナデ、中位ヘラ削り、下位ナデ、底部ハケナデ(16本)。	白灰色	1.5㎜以下の石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面中位・下位・底部外面に煤付着。
344 五七	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。体部は欠損。山陰地方に見られる二重口縁の甕の形態をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ヘラ削り。	外 黒褐色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の石英・チャート等の微砂粒を含む。	良好	
345 五七	同上 SD1	口径 28.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反して伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部中位以下は欠損。山陰地方に見られる二重口縁の甕の形態をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡乳灰色	1.5㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
346	甕 （土師器） SD1	口径 13.2	内上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ外反気味に伸びた後屈曲して外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。体部中位以下は欠損。東海地方に見られるS字口縁の甕の形態をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（５本）、内面ナデ。	淡乳茶色	２㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
347 五七	同上 SD1	高台径 6.6	体部大半は欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。脚部下位に粘土のつなぎ目を有す。東海地方に見られるS字口縁の甕の形態をもつ。 底体部外面ハケナデ（７本）、内面ハケナデ、脚部外面ハケナデ（７本）、内面ナデ。	灰乳茶色	１㎜以下の石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
348 五八	小型丸底壺 （土師器） SD1	口径 8.6 器高 6.9	最大径を中位にもつ体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	１㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
349 五八	同上 SD1	口径 9.6 器高 7.3	最大径を中位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	１.５㎜以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部・体部外面に黒斑有り。
350 五八	同上 SD1	口径 9.0 器高 7.8 最大径 9.8	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（10本）後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	０.１㎜以下の雲母・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	完形。 口縁部外面・体部外面½に黒斑有り。
351 五八	同上 SD1	口径 10.0 器高 7.1	肩部に張りをもつ半球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ（９本）後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	０.５㎜以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	完形。 口縁部外面・体部外面上中位に黒斑有り。
352 五八	同上 SD1	口径 9.8 器高 7.4	最大径を中位より若干上にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	暗灰色	１.５㎜以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	完形。 内外面に漆を塗ってある可能性有り。
353 五八	同上 SD1	口径 9.4 器高 7.7	最大径を上位にもつ半球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面上位ハケナデ（６本）後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰褐色	１㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	完形。 体部外面下位・底部外面に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
354 五八	小型丸底壺 (土師器) SD1	口径 10.4 器高 7.7	最大径を中位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、体部外面上位ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面上位指ナデ、中位以下ナデ。	乳灰茶色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	完形。
355 五八	同上 SD1	口径 10.4 器高 8.6 最大径 10.9	最大径を中位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、体部外面ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰乳茶色	1.5㎜以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	完形。
356 五九	同上 SD1	口径 10.4 器高 8.1	最大径を上位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。底部は丸底。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面剝離の為調整不明。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
357 五九	同上 SD1	口径 10.8	球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
358 五九	同上 SD1	口径 9.8 器高 7.9 最大径 10.2	最大径を上位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(12本)後ヘラミガキ、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
359	同上 SD1	口径 10.8	最大径を中位にもつ偏平な球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	暗赤茶色	1.5㎜以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
360	同上 SD1	口径 9.2	最大径を中位にもつ球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 灰茶色 内 褐灰色	0.5㎜以下の石英・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
361 五九	同上 SD1	口径 10.4 器高 8.0	最大径を中位より若干上にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	乳灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。
362 五九	同上 SD1	口径 10.6 器高 7.3	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面上位ヘラミガキ、中位以下ヘラ削り、内	淡赤茶色	2㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
363	小型丸底壺 (土師器) SD1	口径 11.2	上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。体部内面上位に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	暗灰茶色	0.1㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
364 五九	同上 SD1	口径 11.5 器高 8.8	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後ハケナデ（８本）、体部外面上位ハケナデ（10本）後ヘラミガキ、中位ヘラ削り、下位ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	完形。
365 六〇	同上 SD1	口径 9.4 器高 7.8	最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。体部内面上位に１本の接合痕を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ後ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡乳茶色	1.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
366 六〇	同上 SD1	最大径 10.9	最大径を中位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ、体部外面上位ハケナデ（９本）後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
367 六〇	同上 SD1	口径 10.4 器高 8.6	最大径を上位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部・体部外面ハケナデ（11本）後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡赤茶色	2.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
368 六〇	同上 SD1	口径 10.0 器高 9.4 最大径 11.4	最大径を中位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面暗文状ヘラミガキ、体部外面上位・中位ハケナデ（13本）後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。
369	同上 SD1	口径 13.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干上につまむ。体部下位は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ハケナデ（外８本・内５本）後ヘラミガキ、体部外面ハケナデ（８本）後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
370 六〇	同上 SD1	口径 9.6 器高 6.6	最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は小さい平らな面が見られる。 口縁部・体部内外面ナデ、底部外面ヘラ削り。	暗灰褐色	0.5㎜以下の角閃石・雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	完形。 口縁部内外面・体部外面約⅔・内面約⅔に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
371 六〇	小型丸底壺 (土師器) SD1	口径 11.0 器高 7.2	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ後暗紋状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	完形 体部内外面下位に黒斑有り。
372	同上 SD1	口径 13.6	最大径を上位にもつ偏平な半球形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ内弯気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（9本）後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 橙茶色 内 淡灰茶色	0.3㎜以下の石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
373	同上 SD1	口径 11.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ナデ、体部外面ハケナデ(9本）後ヘラミガキ、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を少量含む。	良好	
374	同上 SD1		最大径を上位にもつ半球形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部・底部は欠損。口縁部外面に粘土のつなぎ目を有す。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	灰茶色	5㎜以下の長石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	
375	同上 SD1	口径 10.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部外面剝離の為調整不明、内面ヨコナデ、体部外面剝離の為調整不明、内面ナデ。	灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
376	同上 SD1	口径 12.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.1㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
377	同上 SD1	口径 12.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡赤褐色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
378 六〇	同上 SD1	口径 11.4 器高 8.6	最大径を上位にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（7本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
379	同上 SD1	口径 13.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部下位は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ（9本)、頸部外面ハケナデ（9本)、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 灰茶色 内 淡灰茶色	0.3㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
380 六〇	小型丸底壺 (土師器) SD1	口径 12.4 器高 6.7	半球形の体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	完形。
381 六一	同上 SD1	口径 11.0 器高 9.9 最大径 11.8	肩部に張りをもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り気味底。 口縁部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ、体部外面上位・中位ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	2.5㎜以下の長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	体部外面に一部煤付着。
382 SD1	鉢 (土師器)	口径 9.0	半球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ後ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗褐灰色	0.5㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
383 六一	同上 SD1	口径 10.0 器高 4.9	半球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部・体部内外面ナデ。	灰赤褐色	雲母・赤褐色酸化粒・石英等を微量に含む。	良好	完形。 外面全面灰かぶり。
384 六一	同上 SD1	口径 10.0 器高 6.4	半球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（9本)、体部外面ハケナデ（8本)、内面ナデ。	茶灰色	4.5㎜以下の長石・石英・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	
385 六一	同上 SD1	口径 11.0	半球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	0.1㎜以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
386 SD1	同上	口径 12.6	半球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り後ナデ、内面ナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	0.1㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	外面全面に煤付着。
387 SD1	同上	口径 10.4	半球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ、体部外面ハケナデ後ナデ。	淡灰褐色	0.1㎜以下の雲母・石英等の微砂粒を含む。	良好	
388 SD1	同上	口径 11.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
389 六一	鉢 (土師器) SD1	口径 11.4 器高 6.5	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ（11本）後ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
390 SD1	同上	口径 13.5	椀形と思われる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位ヨコナデ、下位ナデ、内面ヨコナデ。	淡灰褐色	0.1㎜以下の長石等の微砂粒を含む。	良好	
391 六一	同上 SD1	口径 11.0 器高 7.3	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（5本）、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
392 SD1	同上	口径 12.2	椀形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡灰褐色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
393 SD1	同上	口径 15.2	浅い椀形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
394 六一	同上 SD1	口径 13.0 器高 7.8	半球形の体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は尖り底。 口縁部・体部外面ハケナデ（11本）、内面ナデ。	灰褐色	5㎜以下の雲母・石英・長石・チャート・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	口縁部外面・体部外面½に黒斑有り。
395 六一	同上 SD1	口径 13.6 器高 8.8	半球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部外面ハケナデ（13本）後ヘラミガキ、内面ハケナデ（12本）後暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。 内面全面に黒斑有り。
396 六二	同上 SD1	口径 13.8 器高 5.1	椀形の体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
397 六二	同上 SD1	口径 17.2 器高 6.45	椀形の体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。底部はやや平ら。 口縁部・体部外面磨耗の為調整不明、内面ハケナデ（9本）。	淡茶灰色	2㎜以下の長石・雲母・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
398	鉢 (土師器) SD1	口径 14.2	半球形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ、体部外面ヘラミガキ、内面暗文状のヘラミガキ。	淡灰茶色	0.1㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を少量含む。	良好	
399	同上 SD1	口径 15.4	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	茶灰色	2㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
400	同上 SD1	口径 16.6	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗灰茶色	0.5㎜以下の長石・チャート等の微砂粒を含む。	良好	
401	同上 SD1	口径 19.2	椀形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
402	同上 SD1	口径 16.4	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部・体部外面剝離の為調整不明、内面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
403	同上 SD1	口径 20.4	椀形と思われる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	灰茶色	0.3㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
404	同上 SD1	口径 17.4	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部下位は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	外 茶灰色 内 茶褐色	2㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
405	同上 SD1	口径 16.6	外上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部下位は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	淡灰茶色	3㎜以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
406	同上 SD1	口径 18.6	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ・一部ハケナデ（6本)、内面ナデ。	茶灰色	3㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
407	鉢 (土師器) SD1	口径 器高	19.4	上外方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	淡茶灰色	2㎜以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
408 六二	ミニチュア (土師器) SD1	口径 器高	3.4 2.3	半球形の体部より上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない小さい平底。 内外面ナデ。	灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	完形。
409 六二	台付き鉢 (土師器) SD1			最大径を上位にもつ半球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部・脚部は欠損。頸部外面にヘラキザミを施す。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ。	暗褐灰色	3.5㎜以下の石英・角閃石・雲母・長石等の砂礫粒を含む。	良	
410 六二	小型壺 (土師器) SD1	口径 器高 最大径	7.4 7.6 7.7	最大径を中位より若干上にもつ体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は若干つまみ上げる。底部は突出しない小さい平底。体部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ後ハケナデ（12本）、内面上位指ナデ、中位以下ハケナデ（12本）後ヘラナデ、底部外面ナデ。	暗灰褐色	0.5㎜以下の長石・角閃石・石英雲母等の微砂粒を含む。	良好	完形。
411 六二	鉢 (土師器) SD1	底径	3.2	底部より上外方へ伸びる体部に至る。底部は突出しない平底。口縁部・端部は欠損。 体部内外面ナデ、底部外面ナデ。	淡褐灰色	3.5㎜以下の長石・角閃石・雲母等の砂礫粒を多量に含む。	良好	体部外面に黒斑有り。
412 六二	同上 SD1	口径 器高	11.4 4.8	半球形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。口縁部外面に3本の接合痕を有す。 外面ナデ、内面ヘラナデ・指頭痕。	淡灰褐色	1㎜以下のチャート・赤褐色酸化粒・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
413 六二	同上 SD1	口径 器高	13.0 4.5	椀形の体部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面・体部内外面ナデ、底部外面に葉脈跡有り。	外 褐灰色 内 茶灰色	4㎜以下の石英・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	
414 六三	同上 SD1	口径 器高	14.0 4.8	椀形の体部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 外面ヘラ削り、内面暗文。	暗灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
415	同上 SD1	口径	15.8	外上方へ内彎して伸びる体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は尖る。底部は欠損。 外面ナデ・ヘラ削り、内面ナデ。	外 茶灰色 内 暗灰色	1.5㎜以下の石英・長石・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
416 六三	鉢 (土師器) ＳＤ１	口径 器高 底径	13.0 5.5 6.0	水平に近い杯底部より緩やかに屈曲し、上方に伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。脚部は外下方へ伸び、端部は丸い。 杯部外面上位ヨコナデ、中位以下ハケナデ後ナデ、内面ナデ、脚部外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡茶灰色	2.5 mm以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を含む。	良好	完形。 脚部内面に黒斑有り。
417 六三	同上 ＳＤ１	口径 器高 底径	16.4 5.2 5.4	水平に近い杯底部より外上方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は外上方へ伸び、端部は外側に面をもつ。 杯部内面中位以下ヘラミガキ、他はナデ。	乳灰茶色	3 mm以下の長石・石英・雲母・角閃石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
418 六三	同上 ＳＤ１	口径 器高	13.4 7.7	半球形の体部より上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部は突出しない小さい平底。 口縁部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（12本）後ナデ、内面ヘラナデ。	灰茶色	0.5 mm以下の赤褐色酸化粒・長石等の微砂粒を含む。	良好	
419 ＳＤ１	同上	口径	22.6	上外方へ内彎して伸びる体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 外面ナデ、口縁部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	暗灰褐色	1 mm以下の角閃石・石英・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
420 ＳＤ１	同上	口径	32.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、若干つまむ。体部下位は欠損。口縁部外面と体部外面中位に２本ずつ接合痕を有す。 口縁部・体部内外面ヘラナデ。	乳灰色	3 mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
421 ＳＤ１	同上	口径	40.4	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、若干つまみ上げる。体部中位以下は欠損。口縁部内外面に１本ずつ接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（６本）後ナデ、体部外面ハケナデ（６本）、内面ハケナデ（９本）。	灰茶色	3 mm以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
422 ＳＤ１	器台 (土師器)	口径	16.8	椀形の受部より緩やかに屈曲し、外上方へ伸びた後屈曲して上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。脚部と受部の間は貫通する。 受部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	暗赤灰色	1 mm以下の長石・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
423 六三	同上 ＳＤ１	口径 器高 底径	9.5 8.0 11.2	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部外面ヨコナデ、内面剥離の為調整不明、頸部外面ヘラ削り、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ（７本）後ナデ。	淡茶色	2 mm以下の長石・赤褐色酸化粒・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
424 六三	器台 (土師器) SD1	口径 器高 底径	10.2 8.15 10.8	受部は上外方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ハケナデ（6本）後ヘラミガキ、内面上位ナデ、中位ハケナデ（12本）、下位ヨコナデ。	淡褐灰色	1.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
425 六三	同上 SD1	口径 器高 底径	8.7 9.4 11.3	受部は上外方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方に伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 受部内外面・脚部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡褐灰色	7㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	
426 六三	同上 SD1	口径 器高 底径	10.4 8.5 11.4	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面剝離の為不明、頸部外面調整不明、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶褐色	1.5㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
427 六四	同上 SD1	口径 器高 底径	8.9 8.5 10.8	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ後ハケナデ（6本）。	灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
428 六四	同上 SD1	口径 器高 底径	10.4 9.2 11.5	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面上位ヘラ削り後ヘラミガキ、中位以下ヘラミガキ、内面上位・中位ハケナデ（8本）後ナデ、下位ヨコナデ。	淡灰茶色	0.1㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む。	良好	完形。
429 六四	同上， SD1	口径 器高 底径	9.6 8.5 12.1	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上につまみ、外側に凹面をもつ。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部は三方孔を有す。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、端面ナデ、内面ヘラミガキ、脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ（7本）。	淡褐灰色	1.5㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒・長石等の粗砂粒を少量含む。	良好	
430 六四	同上 SD1	口径 器高 底径	9.8 7.8 12.4	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面上位ヘラ削り後ハケナデ（8本）後ヘラミガキ、中位以下ハケナデ（8本）後ヘラミガキ、内面ハケナデ（11本）。	淡茶褐色	2㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
431 六四	器台 (土師器) SD1	口径 9.85 器高 8.8 底径 11.9	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面上位ヘラ削り、中位以下ヘラミガキ、内面ナデ。	外 茶褐色 内 茶灰色	3㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	完形。 外面全面に煤付着。
432 六四	同上 SD1	口径 8.8	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、鈍く尖る。脚部は下外方へ伸びる。端部は欠損。 受部内外面・脚部外面磨耗の為調整不明内面ナデ。	茶灰褐色	2.5㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
433	同上 SD1	口径 10.2	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 受部外面ヘラミガキ、内面磨耗の為調整不明。	淡茶色	2㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
434	同上 SD1	口径 10.0	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。脚部は欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、後暗文状ヘラミガキ。	乳灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
435 六四	同上 SD1	口径 9.0	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外面に凹面をもつ。脚部は下外方へ伸びる。端部は欠損。脚部に四方孔を有す。 受部内外面・脚部外面磨耗の為調整不明、内面ナデ。	淡茶色	2.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
436	同上 SD1	口径 10.1	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚する。脚部は欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	3㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
437	同上 SD1	口径 9.5	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ若干肥厚する。脚部は欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	3㎜以下の長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
438	同上 SD1	口径 10.0	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。脚部は大半欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ハケナデ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り、内面ナデ。	淡灰褐色	0.1㎜以下の長石・チャート・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
439	同上 SD1	底径 11.4	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 脚部外面上位ヘラ削り、中位以下ハケナデ（8本）後ヘラミガキ、内面ナデ。	灰褐色	0.5㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
440	器台 (土師器) SD1	底径 11.6	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は鈍く尖る。脚部に四方孔を有す。 受部内外面ヘラミガキ、脚部外面上位ヘラ削り、中位以下ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ(8本)後ナデ・指頭痕。	乳灰茶色	0.3mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を少量含む。	良好	
441	同上 SD1	底径 11.4	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラ削り。	乳灰茶色	0.1mm以下の長石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
442	同上 SD1	底径 11.8	受部は欠損。脚部は外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(7本)。	外 茶褐色 内 茶灰色	長石・石英・雲母等を含む。	良好	
443	同上 SD1	底径 15.8	受部は欠損。脚部は外下方へわずかに内彎して伸びた後緩やかに屈曲し、下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 脚部外面ヘラミガキ、内面上位・中位ナデ、下位ヨコナデ。	淡茶色	2mm以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
444	高杯 (土師器) SD1	口径 12.2	丸い杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。柱状部は下外方へ短く伸びる。裾部は欠損。 杯部外面上位・中位ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ、柱状部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶色	1mm以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
445	同上 SD1	口径 13.8	杯底部は欠損。口縁部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 杯部外面上位・中位ヘラミガキ、下位ヘラミガキ後ヘラ削り、内面ヘラミガキ。	淡茶灰色	2mm以下の長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
446	同上 SD1	口径 12.8	杯底部は欠損。口縁部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面暗文状ヘラミガキ。	淡茶灰色	1.5mm以下の石英・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
447	同上 SD1	口径 13.2	杯底部は欠損。口縁部は上外方へわずかに内彎して伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ヘラミガキ。	外 茶灰色 内 淡茶灰色	0.5mm以下の長石・石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
448	同上 SD1	底径 13.1	杯部は欠損。脚部は下外方へ短く伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 杯底部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後放射状暗文、脚部外面ヘラミガキ、柱状部ヘラ削り、内面ナデ。	灰茶色	0.5mm以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
449	高杯 (土師器) SD1	底径 18.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ短く伸びる柱状部より屈曲し、外下方へわずかに内彎して伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に四方孔を有す。 脚部外面ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	灰茶色	2㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良	
450	同上 SD1	口径 18.8	杯底部は欠損。口縁部は外上方へ外反して伸び、端部は外傾する面をもつ。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	暗褐灰色	3㎜以下の長石・石英・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
451 六四	同上 SD1	口径 20.2 器高 16.1 底径 14.4	丸い杯底部より外上方へわずかに外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部に三方孔を有す。 杯部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヨコナデ後ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡褐灰色	5㎜以下の角閃石・雲母・長石・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
452	同上 SD1	口径 15.0	丸い杯底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる。裾部は欠損。 杯部外面上位・中位ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、柱状部外面ヘラ削り後ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡乳茶色	1㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
453 六五	同上 SD1	口径 13.0 器高 8.9 底径 9.8	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へわずかに内彎して伸びる裾部に至る。端部は丸い。裾部に三方孔を有す。 杯部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(8本)後暗文状ヘラミガキ、脚部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ(11本)。	淡褐灰色	1.5㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
454	同上 SD1	口径 16.2	丸い杯底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面上位ヘラミガキ、下位ハケナデ(9本)、内面ヘラミガキ。	淡灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
455 SD1	同上	口径 17.2	丸い杯底部より上外方へわずかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面上位・中位ハケナデ(8本)後ヘラミガキ、下位ヘラミガキ、内面上位・中位ヘラミガキ、下位暗文状ヘラミガキ。	淡茶褐色	1㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
456 六五	同上 SD1	口径 22.6 器高 15.3 底径 14.0	平らに近い杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へわずかに内彎して伸びる柱状部より屈曲し、外上方へ伸びる裾部に至る。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後放射状暗文、脚部外面ヘラミガキ、内面ナデ後ヨコナデ。	淡灰茶色	4㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒の砂礫粒を含む。	良好	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
457 六五	高杯 (土師器) SD1	口径 23.0 器高 16.2 底径 15.0	平らに近い杯底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶褐色	2㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を少量含む。	良好	
458 六五	同上 SD1	口径 22.0	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は欠損。裾部に四方孔を有す。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、脚部外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ(6本)。	乳灰茶色	0.1㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
459 SD1	同上 SD1	口径 22.3	平坦な杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ、杯底部ナデ、内面ハケナデ(9本)後ヘラミガキ後放射状の暗文。	灰茶色	0.5㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を微量に含む。	良好	
460 SD1	同上 SD1	口径 24.0	平坦と思われる杯底部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰褐色	0.3㎜以下の雲母・長石等の微砂粒を含む。	良好	
461 SD1	同上 SD1	口径 21.3	丸い杯底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、杯底部ハケナデ(5本)後ヘラミガキ、内面ハケナデ(10本)後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	乳灰茶色	0.1㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を多量に含む。	良好	
462 SD1	同上 SD1	口径 21.6	平坦な杯底部より屈曲し、上外方へわずかに内彎して短く伸びた後屈曲して外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、丸い。杯底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ(7本)後ヘラミガキ、内面上位ハケナデ(6本)後ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、下位ハケナデ(6本)後暗文状ヘラミガキ。	乳茶灰色	0.1㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
463 六五	製塩土器 SD1	底径 4.2	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後指頭痕、内面ナデ。	乳茶灰色	0.5㎜以下の長石・石英等の微砂粒を含む。	良好	
464 六五	同上 SD1	底径 4.3	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後タタキ(2本)後指頭痕、内面ナデ。	乳茶灰色	0.5㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
465 六五	製塩土器 SD1	底径 2.8	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後指頭痕、内面ナデ後指頭痕。	灰茶色	0.5mm以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
466 六五	同上 SD1	底径 5.0	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び、端部は丸い。 杯部外面ナデ・一部タタキ、内面ヘラナデ、脚部外面ナデ後指頭痕・一部タタキ。	灰茶色	2mm以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
467 六五	同上 SD1	底径 5.0	杯部は大半欠損。脚部は下外方へ伸び。端部は丸い。頸部外面に1本の接合痕を有す。 杯部外面ナデ、内面剝離の為調整不明、脚部内外面ナデ。	灰茶色	3mm以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
468 六六	小皿 (土師器) SE1	口径 10.0 器高 1.8	浅く平らな底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面ヨコナデ、内面調整不明、底部外面指頭痕。	乳褐色	2mm以下の粗砂粒を含む。	良好	
469	同上 河川1	口径 10.0	浅く平らと思われる底部より緩やかに屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部一部欠損。 内外面指ナデ。	灰黒色	1mm以下の雲母・角閃石・石英等を含む。	良好	
470	皿 (土師器) 河川1	口径 13.6 器高 3.0	平らに近い底部より緩やかに屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面指頭痕、内面ヨコナデ。	外 灰褐色 内 褐色	精良。	良好	内面全面に煤付着。
471	杯 (土師器) 河川1	口径 16.0	外上方へ伸びる底部より緩やかに屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部一部欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、底部外面指ナデ、内面ヨロナデ。	淡赤茶褐色	雲母・角閃石・石英等を微量に含む。	良好	
472	同上 河川1	口径 18.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部内外面ナデ。	外 赤茶色 内 淡黄褐色	雲母等を微量に含む。	良好	外面全面に黒斑有り。
473	皿 (土師器) 河川1	口径 18.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は外につまむ。底部は欠損。 口縁部外面ナデ、内面ナデ後暗文。	淡赤茶褐色	赤褐色酸化粒・雲母等を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
474	杯 (土師器) 河川1	口径 20.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は若干つまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰茶色	0.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を微量に含む。	良好	
475	土錘 (土師質) 河川1	長さ 7.3 長径 2.9 穴径 0.8	管状形を呈する。 ナデ。	赤茶色	雲母・長石等を少量含む。	良好	
476	杯蓋 (須恵器) 河川1	口径 12.4 器高 3.5 稜径 12.8	低い平らな天井部より斜下方へ直線的に伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は垂直に下り。端部は段を有し、内傾する面をもつ。 天井部外面回転ヘラ削り、口縁部内外面回転ナデ、内面回転ナデ。	暗灰色	精良。	良好	ロクロ(左方向)
477	杯身 (須恵器) 河川1	口径 14.8 器高 3.8 底径 9.4	平らな底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は断面方形で、低い。 内外面回転ナデ。	灰色	精良。	良好	
478	壺 (土師器) 包含層	口径 24.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面剝離の為調整不明、内面ナデ。	外 剝離の為不明 内 赤茶色	7㎜以下の赤褐色酸化粒・雲母・石英等の砂礫粒を少量含む。	良好	
479	甕 (土師器) 包含層	口径 15.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。体部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ナデ、体部外面ナデ、内面ヘラ削り。	淡赤褐色	3㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒・石英等の粗砂粒を少量含む。	良	
480	同上 包含層	口径 19.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡褐色	2㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・石英等の粗砂粒を少量含む。	良好	
481	同上 包含層	口径 19.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヘラ削り後ナデ、内面ハケナデ(10本)後ナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡灰褐色	1.5㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	外面黒斑有り。
482	同上 包含層	底径 3.8	口縁部・体部大半は欠損。底部は突出した小さなくぼみ底。 体部外面下位タタキ(2本)、内面下位ヘラナデ、底部ナデ。	淡灰褐色	5㎜以下の角閃石・雲母・石英等の砂礫粒を微量に含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
483	甕 (土師器) 包含層	底径 3.1	口縁部・体部大半は欠損。底部はやや突出した小さなくぼみ底。 体部外面下位タタキ（３本)、内面下位ヘラナデ、底部タタキ（４本)。	外 灰褐色 内 黒褐色	５㎜以下の雲母・角閃石・石英等の砂礫粒を微量に含む。	良好	
484	小型丸底壺 (土師器) 包含層	口径 9.2 器高 8.1 最大径 10.2	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラナデ？指頭痕、内面調整不明。	赤褐色	３㎜以下の長石・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
485	鉢 (土師器) 包含層	口径 11.0	最大径を中位より若干上にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ナデ、体部外面ナデ、内面ナデ、ハケナデ。	外 淡褐色 内 赤茶色	２㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	
486	同上 包含層	口径 18.0	口縁部は上外方へ伸びた後屈曲して外上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外側に凹面をもつ。体部は欠損。端面に一帯５条の波状文を１個有す。 口縁部外面タタキ(８本)後ヘラミガキ、内面ナデ。	茶褐色	２㎜以下の石英・長石雲母・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
487 六六	土錘 (土師器) 包含層	長さ 7.0 径 2.9 穴径 1.1	管状形を呈する。 ナデ。	淡灰白色	赤褐色酸化粒・雲母等を少量含む	良好	
488	羽釜 (土師器) 包含層		鍔は水平に伸び、端部は丸い。他は欠損。 鍔外面ヨコナデ。	灰褐色	３㎜以下の長石・雲母・角閃石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
489 六六	杯蓋 (須恵器) 包含層	口径 12.8	水平に近い天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部は内彎して下り端部は段を有し、内傾する面をもつ。天井部は一部欠損。 天井部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰色	精良。	良好	天井部外面約½灰かぶり。
490 六六	杯身 (須恵器) 包含層	口径 10.5 器高 5.3 受部径 12.6	平らに近い底部から上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底部より約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	精良。	良好	ロクロ（右方向)。
491 六六	同上 包含層	口径 14.0 底径 8.8	底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。高台は断面方形で、低い。 内外面回転ナデ。	灰色	赤褐色酸化粒・石英等を微量に含む。	良好	ロクロ（右方向)。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
492 六六	杯身 (須恵器) 包含層	口径 14.8 器高 4.2 底径 9.8	平らな底部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は断面方形で、低い。 高台内面静止ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰色	精良。	良好	
493 六六	甑 (須恵器) 包含層	最大径 9.2	最大径を上位にもつ球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。体部に一方孔を有す。 口縁部外面回転ナデ後タタキ(4本)、内面回転ナデ、体部外面上位・中位回転ナデ後タタキ(5本)、下位回転ヘラ削り、内面回転ナデ、底部回転ヘラ削り。	淡灰色	1.5㎜以下の長石等の粗砂粒を微量に含む。	良好	ロクロ(左方向)。 底面に「一」のヘラ記号。
494 包含層	甕 (須恵器)	口径 18.0	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げ、外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面タタキ(3本)後回転ハケナデ(5本)、内面円孤タタキ(2本)。	灰色	4㎜以下の砂礫粒を微量に含む。	良好	ロクロ(右方向)。
495 包含層	同上	口径 19.5	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面タタキ(3本)後回転ナデ、内面円孤タタキ(4本)。	青灰色	0.5㎜以下の長石等の微砂粒を多量に含む。	良好	ロクロ(右方向)。
496 包含層	小皿 (瓦器)	口径 10.2	口縁部は外上方へ内彎気味に伸び、端部は内傾する面をもつ。底部は欠損。 外面ヨコナデ、内面暗文。	黒灰色	精良。	良好	
497 包含層	椀 (瓦器)	口径 13.0	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面調整不明、体部外面調整不明・指頭痕、内面調整不明。	黒色	精良。	良好	
498 包含層	同上	口径 13.6	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面調整不明、体部外面調整不明・指頭痕、内面調整不明。	黒灰色	精良。	良好	
499 六六	同上 包含層	口径 14.8 器高 5.2 底径 4.6	丸味をもつ底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台は断面方形で、低い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面指頭痕、内面暗文状のヘラミガキ。	灰黒色	精良。	良好	

第８調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1	甕 (土師器) 包含層	口径 17.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	明茶褐色	2㎜以下の雲母・石英・角閃石・長石・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	
2	同上 包含層	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げ、外に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ハケナデ（８本)、内面ナデ。	黄褐色	2㎜以下の雲母・角閃石・石英・長石・赤褐色酸化粒・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	

第９調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1 六七	壺 (土師器) SD1	口径 8.9 器高 15.1 最大径 13.6	球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。体部内面に４本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ内面ヨコナデ、頸部内面ハケナデ（12本)、体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ナデ。	淡茶色	0.5 ㎜以下の微砂粒を少量含む。	良好	完形。
2 六七	同上 SD1	口径 11.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部外面・内面上位ヨコナデ、体部内面中位以下指ナデ後ヘラ削り。	茶灰色	0.5 ㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
3 六七	同上 SD1	最大径 15.3	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ口縁部に至る。端部は欠損。底部は丸底。 口縁部・頸部外面ハケナデ後ヘラミガキ口縁部内面ハケナデ（８本)、体部外面ハケナデ（４本)、内面ハケナデ(５本)後ナデ、底部外面磨耗の為不明。	淡灰茶色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
4 六七	同上 SD1	最大径 13.7	体部は偏平な球形である。底部は丸底。口縁部・端部は欠拡。肩部内面に２本の接合痕を有す。底部に穿孔を有す。 体部外面ハケナデ（15本)、内面ナデ後指ナデ。	茶灰色	0.5 ㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
5 六七	同上 SD1	最大径 18.0 底径 2.8	体部は最大径を中位よりやや下にもつ偏平な球形である。底部は突出しない平底。口縁部・端部は欠損。体部内面上位に１本の接合痕を有す。 体部外面ハケナデ後ヘラミガキ、内面ハケナデ(７本)後ナデ、底部外面ナデ。	外 灰褐色 内 淡橙色	1㎜以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の細砂粒を微量に含む。	良好	体部外面下位に黒斑有り。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
6	壺 (土師器) SD1	口径 15.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ハケナデ(6本)。	外 淡灰色 内 淡橙灰色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
7	同上 SD1	口径 17.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ナデ・指頭痕。	淡灰色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	
8	同上 SD1	口径 21.6	口縁部は上外方に伸びた後外上方へ短く伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面上位ヨコナデ、外面中位以下ハケナデ後ヘラミガキ、内面中位以下ヘラミガキ。	淡赤褐灰色	1㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
9	同上 SD1	口径 21.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡茶褐色	雲母・長石等を微量に含む。	良好	口縁部外面に黒斑有り。
10	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ外反して伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。口縁部内面下位に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面・頸部内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヘラ削り。	淡茶黄色	雲母等を少量含む。	良好	口縁部外面上位に煤付着。
11	同上 SD1	口径 22.8	口縁部は外反気味に上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ。	乳灰色	1㎜以下の雲母・石英・長石等の細砂粒を含む。	良好	
12	同上 SD1	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 端部外面・口縁部内面・体部内外面ヨコナデ、口縁部外面ヘラミガキ。	淡灰赤褐色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
13	同上 SD1	口径 30.6	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ハケナデ(6本)後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、頸部外面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡灰色	2㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
14	同上 SD1	口径 14.4	口縁部は直上した後上外方へ外反して伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 端部内外面ヨコナデ、口縁部内外面・体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	淡橙灰色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
15	壺 （土師器） ＳＤ１	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・体部外面・内面上位ヨコナデ、内面中位ヘラ削り。	淡灰色	２㎜以下の長石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
16	同上 ＳＤ１	口径 10.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は垂下し、面をもつ。屈曲部に稜をもつ。体部は欠損。口縁部外面中位（稜）に１本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ。	外 乳灰茶色 内 灰茶色	２㎜以下の雲母・角閃石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
17	同上 ＳＤ１	口径 23.0	口縁部は外上方へ外反して二段に屈曲して伸び、端部は丸い。屈曲部に稜をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	乳黄褐色	1.5 ㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
18	同上 ＳＤ１	口径 26.0	口縁部は外反して上外方へ伸び、二段に屈曲して伸び、端部は外傾する浅い凹面をもつ。屈曲部に稜をもつ。体部は欠損。 端部外面ヨコナデ、口縁部外面上位ヘラミガキ、屈曲部外面ヨコナデ、外面中位以下ヘラミガキ、内面剝離の為不明。	淡茶灰色	１㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
19	同上 ＳＤ１	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸びて屈曲した後上外方へ外反して伸び端部は外方へ肥厚する。屈曲部に鈍い稜をもつ。体部は欠損。 口縁部外面は剝離の為不明。内面上位ヨコナデ、中位ヘラミガキ。	淡茶灰色	５㎜以下の長石・角閃石・雲母・石英等の砂礫粒を含む。	良	
20 六七	同上 ＳＤ１	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びた後屈曲して外反気味に上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。屈曲部・頸部外面に凸帯を有す。頸部外面の凸帯にキザミ目文を有す。 口縁部内外面剝離の為不明。	茶灰色	４㎜以下の雲母・長石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
21	同上 ＳＤ１		口縁部は直上した後丸く屈曲し、外上方へ伸び、さらに屈曲して外反気味に上がる。二重口縁を有すが、端部及び体部は欠損。 口縁部内外面剝離の為不明。	淡橙灰色	６㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	
22	同上 ＳＤ１		口縁部は上外方へ伸びる。口縁部 端部・体部は欠損。 口縁部外面ヘラミガキ、内面ヨコナデ。	灰褐色	３㎜以下の角閃石・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部内面中位に煤付着。
23 六八	甕 （土師器） ＳＤ１	口径 15.4 器高 24.6 最大径 21.4	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（６本）、体部外面タタキ後ハケナデ（７本）、内面ヘラ削り。	外 黒灰色 内 淡灰褐色	５㎜以下の長石・角閃石・赤褐色酸化粒・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
24	甕 (土師器) SD1	口径 11.8	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
25	同上 SD1	口径 12.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰色	1㎜以下の角閃石・石英等の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
26	同上 SD1	口径 13.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部外面タタキ後ヨコナデ、体部外面タタキ(7本)後ハケナデ(8本)、内面ヘラ削り。	淡褐茶色	2㎜以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面・体部外面上位に煤付着。
27	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は外上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ナデ、体部外面タタキ、内面ヘラ削り。	暗灰色	1㎜以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	
28	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は若干上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡橙茶色	1㎜以下の雲母・石英・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良	煤付着。
29	同上 SD1	口径 14.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ・指頭痕、内面ナデ後ハケナデ(7本)、体部外面タタキ(4本)、内面ヘラ削り。	灰色	0.5㎜以下の角閃石・雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	
30	同上 SD1	口径 13.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、頸部内外面ハケナデ(7本)、体部内面ヘラ削り。	乳灰色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
31	同上 SD1	口径 15.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	茶褐色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良	
32	同上 SD1	口径 15.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は上につまむ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ(5本)、中位ハケナデ(16本)、内面ヘラ削り。	外 暗茶灰色 内 茶灰色	角閃石・雲母・石英等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
33	甕 (土師器) SD1	口径 15.8	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り。	淡茶褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
34	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は内方につまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ・指頭痕、頸部外面調整不明、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の雲母・角閃石等の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
35	同上 SD1	口径 15.8	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。口縁部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ハケナデ、下位ヨコナデ。	淡灰色	1㎜以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
36	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(5本)、内面ヘラ削り。	灰褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・長石等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。
37	同上 SD1	口径 16.2	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方に伸びる口縁部に至る。端部は尖る。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(6本)後ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母・長石・角閃石等の細砂粒を含む。	良好	
38	同上 SD1	口径 19.7	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ。	淡灰茶色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
39	同上 SD1	口径 16.4	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもち、つまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ(10本)、体部外面ハケナデ(10本)、内面ヘラ削り。	淡乳灰色	2㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良	
40	同上 SD1	口径 16.4	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ後ハケナデ(7本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母・角閃石・石英・長石等の細砂粒を含む。	良好	
41	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ(4本)後ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 淡灰褐色 内 淡灰色	2㎜以下の雲母・角閃石・長石等の粗砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
42	甕 (土師器) SD1	口径 16.8	口縁部は外上方へ外反して伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面上位ヨコナデ下位ハケナデ、体部外面タタキ（7本)、内面ヘラ削り。	外 灰褐色 内 灰色	1㎜以下の雲母・角閃石・長石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
43 六八	同上 SD1	口径 16.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方につまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ後ヨコナデ、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（10本)、内面ヘラ削り。	褐灰色	3㎜以下の角閃石・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良	外面に煤付着。
44	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面上位・内面ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面タタキ（10本)、内面ヘラ削り。	淡茶褐色	1㎜以下の雲母・角閃石・石英等の細砂粒を含む。	良好	
45	同上 SD1	口径 17.2	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は上につまむ。体部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後一部ハケナデ、体部外面ハケナデ、内面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の角閃石・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
46	同上 SD1	口径 17.8	口縁部は斜上方へ伸び、端部は内方へ肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	乳灰茶色	1㎜以下の石英・雲母・長石等の細砂粒を含む。	良好	
47	同上 SD1	口径 18.8	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。体部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面タタキ（6本）後ハケナデ（7本)、内面ハケナデ（6本）後ヘラ削り・指頭痕。	外 淡灰茶色 内 淡灰色	1㎜以下の角閃石・長石・雲母等の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
48 六八	同上 SD1	口径 16.6	最大径を中位よりやや下にもつ球形に近い体部より屈曲し、斜外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は内方へつまみ上げる。底部は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ、体部外面ハケナデ（11本)、内面ヘラ削り。	茶灰色	長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
49 六八	同上 SD1	口径 13.4	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、内方につまみ上げる。体部下位は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ハケナデ（9本)、体部外面ハケナデ（9本）後一部ヘラ削り、内面ハケナデ後ナデ後ヘラ削り。	淡灰褐色	2㎜以下の石英・雲母・チャート等の粗砂粒を含む。	良	体部外面中位に黒斑有り。
50 六八	同上 SD1	口径 15.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもち、内方につまむ。体部下位は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（8本)、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2㎜以下の石英・雲母・長石等の粗砂粒を多量に含む。	良好	外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
51	甕 （土師器） ＳＤ１	口径 12.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸び、端部は丸い。体部中位以下は欠損。体部内面に３本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（３本）後ヘラナデ、内面ナデ・指頭痕。	淡灰色	１㎜以下の長石・石英等の細砂粒を含む。	良	外面に煤付着。
52	同上 ＳＤ１	口径 11.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。体部は欠損。頸部内面に１本の接合痕を有す。口縁部内面に１帯10条の波状文を有す。 端部内外面ヨコナデ、口縁部外面タタキ（３本）後ハケナデ（８本）、体部外面タタキ（４本）、内面ナデ。	淡乳灰色	３㎜以下のチャート等の粗砂粒を含む。	良好	
53	同上 ＳＤ１	口径 13.8	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	淡茶色	0.5 ㎜以下の石英・雲母・角閃石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	煤付着。
54	同上 ＳＤ１	口径 16.7	口縁部は上外方へ内彎気味に伸び、端部は内方に肥厚する。体部は欠損。 口縁部内外面・体部内面ヨコナデ、外面ハケナデ。	乳灰茶色	３㎜以下の粒砂粒を含む。	良好	
55	同上 ＳＤ１	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面調整不明、内面ヘラ削り。	外 淡茶色 内 淡灰茶色	１㎜以下の雲母・長石・石英・チャート等の細砂粒を含む。	良好	外面に煤付着。
56	同上 ＳＤ１	口径 15.0	口縁部は斜上方へ伸び、端部は上方に拡張し丸い。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文（10条）、内面ヨコナデ、口縁部内外面・頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色	0.5 ㎜以下の石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	煤付着。
57	同上 ＳＤ１	口径 12.8	口縁部は外上方へ伸び、端部は上方に拡張し丸い。体部は欠損。吉備地方の酒津式の特徴をもつ。 拡張部外面櫛描き文（９条）、内面ヨコナデ、口縁部内外面・頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡茶色	0.5 ㎜以下の石英・長石・雲母・角閃石等の微砂粒を含む。	良好	煤付着。
58	同上 ＳＤ１	口径 14.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方に肥厚し、上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	乳灰茶色	１㎜以下の石英・チャート等の細砂粒を含む。	良好	
59	同上 ＳＤ１	口径 15.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ。	淡乳灰色	１㎜以下の石英・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	口縁部外面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
60	甕 (土師器) SD1	口径 16.4	口縁部は斜上方へ伸び、端部は外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳褐色	1㎜以下の長石等の細砂粒を含む。	良好	
61	同上 SD1	口径 15.4	口縁部は上外方へ伸び、端部は外方へ肥厚し、体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡灰茶色	2.5 ㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
62	同上 SD1	口径 16.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	外 淡灰茶色 内 淡乳褐色	1㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
63	同上 SD1	口径 17.0	口縁部は上外方へ伸び、端部は丸い。体体は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	乳灰色	1㎜以下の石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
64	同上 SD1	口径 15.2	口縁部は上外方へ伸び、端部は上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラ削り。	淡茶灰色	1㎜以下の雲母・長石等の細砂粒を少量含む。	良好	
65	同上 SD1	口径 18.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、上に凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	外 淡橙茶色 内 灰褐色	1㎜以下の石英・長石・雲母等の細砂粒を含む。	良	
66	同上 SD1	口径 20.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内方へ肥厚し、内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ナデ・指頭頭。	淡灰色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	煤付着。
67	同上 SD1	口径 17.2	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（7本)、内面指ナデ。	淡乳茶色	1㎜以下の石英・チャート・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
68	同上 SD1	口径 19.6	口縁部は上外方へ伸び、端部は内傾する凹面をもつ。体部は欠損。 口縁部内外面・頸部外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（6本)、内面ハケナデ(9本)後ナデ。	淡灰色	1㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
69 六八	甕 (土師器) SD1	口径 16.0 最大径 22.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部は欠損。頸部内面に2本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(3本)、内面上位ナデ後指頭痕、中位以下ナデ。	外 灰茶色 内 白灰色	チャート・長石・赤褐色酸化粒を含む。	良好	体部外面中位以下に煤付着。
70 六九	同上 SD1	口径 16.0	楕円形と思われる体部より屈曲し、斜上方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外上方へ若干つまみだし、丸い。体部下位は欠損。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ハケナデ(5本)。	淡褐茶色	7㎜以下の石英・チャート・長石・雲母等の砂礫粒を含む。	良好	体部外面に煤付着。
71 SD1	同上	口径 16.0	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・頸部内面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(7本)、内面指ナデ。	淡乳茶色	1㎜以下の石英・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
72 六九	壺 (韓式系土器) SD1		体部の破片。 外面縄帯タタキ、内面ナデ。	淡赤茶色	3㎜以下の石英等の粗砂粒を含む。	良	
73 六九	小型壺 (土師器) SD1	口径 11.0	偏平な球形と思われる体部より屈曲し、上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は欠損。 口縁部外面・体部外面上位ヘラミガキ、口縁部内面ヨコナデ、体部外面下位ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	茶灰色	0.5㎜以下の長石・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
74 SD1	同上	口径 10.8	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方へつまむ。底部は欠損。 口縁部・体部外面ヘラミガキ、口縁部・頸部内面ヨコナデ、体部内面ナデ。	乳灰色	1.5㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
75 SD1	同上	口径 11.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面・体部外面ヘラミガキ、内面ヘラナデ。	淡灰橙色	1㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を少量含む。	良好	
76 六九	同上 SD1	口径 11.4 器高 9.5	最大径を中位よりやや上にもつ偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面ハケによるヨコナデ後暗文状ヘラミガキ、体部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ。	外 淡茶灰色 内 淡灰褐色	0.5㎜以下の雲母・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
77 六九	同上 SD1	口径 11.4 器高 8.0	偏平な球形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部は丸底。 口縁部剝離の為不明、内面ヨコナデ、体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	茶褐灰色	3㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
78 六九	小型壺 (土師器) SD1		体部は球形である。口縁部・端部は欠損。底部は丸底。 体部外面ヘラミガキ、内面ナデ。	外 茶灰色 内 白灰色	長石・雲母・赤褐色酸化粒等を含む。	良好	体部外面に黒斑有り。
79	鉢 (土師器) SD1	口径 11.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部中位以下は欠損。 内外面ヨコナデ。	灰橙色	1㎜以下の雲母・石英等の細砂粒を含む。	良	
80	同上 SD1	口径 16.0	上外方へ伸びた後短く直上する体部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面・体部内面ナデ、体部外面ハケナデ。	外 淡橙茶色 内 淡茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	頸部内面に煤付着。
81 七十	同上 SD1	口径 13.8 器高 5.5	上外方へ内彎して伸びる体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は丸底。 口縁部内外面・体部内面ナデ、外面ヘラ削り後ハケナデ（8本）。	茶灰色	角閃石・長石・雲母等を含む。	良好	
82 七十	同上 SD1	口径 10.85 器高 7.4	半球形の体部より内彎気味に直上する口縁部に至る。端部は上に面をもつ。底部は丸底。 外面ヘラ削り後ナデ、内面ナデ。	灰黄褐色	3㎜以下の雲母・長石・石英等の粗砂粒を多量に含む。	良好	完形。
83	平底鉢 (土師器) SD1	口径 11.8 器高 9.6	平坦で広い底部から上内方へ内彎して伸びる体部に至る。口縁部は上外方へ短く外反して伸び、端部は丸い。底部は一部欠損。肩部内面に1本の接合痕を有す。 口縁部・頸部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ（11本）、内面ナデ・指頭痕。	灰茶褐色	1㎜以下の雲母・石英・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
84	鉢 (土師器) SD1		上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる。口縁部・端部・体部中位以下は欠損。 外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラ削り後ヘラミガキ。	外 淡灰色 内 淡橙灰色	1㎜以下の長石・雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	内面に煤付着。
85	同上 (土師器) SD1	口径 39.0	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は内方へつまみ、外傾する面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面ナデ後ヘラミガキ、内面・体部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ナデ。	乳灰茶色	1㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・石英・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	
86	器台 (土師器) SD1	口径 9.8	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びる口縁部に至る。端部は外側に凹面をもつ。脚部は欠損。 受部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ、底部剥離の為不明。	茶灰色	0.5㎜以下の雲母・長石・チャート等の微砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
87	器台 (土師器) SD1	底径 10.7	受部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部中位に三方孔を有す。 脚部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(12本)。	灰茶色	0.5㎜以下の石英・雲母等の微砂粒を含む。	良好	
88 七十	同上 SD1	口径 17.4 器高 10.4 ～11.0 底径 17.6	受部は外上方へ緩やかに内彎して伸びた後外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部と受部は貫通する。 受部外面・脚部内外面ヘラミガキ、内面ハケナデ後ヘラミガキ。	茶灰色	0.5㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	裾部内外面に黒斑有り。
89	高杯 (土師器) SD1	口径 12.6	丸いと思われる杯底部より内彎気味に上外方へ伸びた後外上方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は外側に面をもつ。杯底部・脚部は欠損。 杯部内外面ヨコナデ。	外 茶灰色 内 灰茶色	1㎜以下の長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
90	同上 SD1	口径 17.0	丸味をもつ杯底部より斜上方へ内彎気味に伸びた後短く外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	淡赤褐色	1㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	
91 七十	同上 SD1	口径 13.55 器高 9.7 ～11.45 底径 9.2	平らに近いと思われる杯底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。杯体部外面に2本の接合痕を有す。 杯部外面ヨコナデ後ヘラミガキ、内面磨耗の為不明、柱状部外面ヘラ削り後ヘラミガキ、内面ナデ、裾部外面ヘラミガキ、内面ハケナデ(10本)。	灰茶色	1㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒・チャート等の細砂粒を含む。	良好	完形。
92	同上 SD1	口径 12.7	平坦な杯底部より上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヘラミガキ後暗文。	淡黄褐色	1.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
93	同上 SD1	口径 12.5	丸い杯底部より上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰茶色	3㎜以下の長石・石英・赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
94	同上 SD1	口径 14.0	平坦な杯底部より外上方へ伸びた後上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ナデ、内面ヘラミガキ後暗文状ヘラミガキ。	外 灰茶色 内 黒灰色	1㎜以下の石英・雲母等の細砂粒を含む。	良好	
95	同上 SD1	口径 13.2	平らに近い杯底部より上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ナデ、内面ハケナデ(9本)。	茶灰褐色	1㎜以下の雲母・長石・赤褐色酸化粒等の細砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
96	高杯 (土師器) SD1	口径 13.8	杯底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。脚部は欠損。 杯部外面ハケナデ後ヨコナデ、内面ナデ。	茶灰色	3㎜以下の長石・石英・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
97	同上 SD1	口径 13.8	杯底体部は欠損。口縁部は上方へ内彎して伸び、端部は丸い。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ。	茶灰色	4.5㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の砂礫粒を含む。	良好	
98	同上 SD1	底径 9.6	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は外傾する面をもつ。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面ヘラミガキ、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ後ナデ・指頭痕。	淡乳褐色	2㎜以下の長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	
99	同上 SD1	底径 9.0	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸び、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。柱状部下位に三方孔を有す。 脚部外面ハケナデ後ヘラミガキ、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ。	茶褐色	2.5㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	
100	甑 (土師器) SD1		平坦な底部より上方へ内彎して伸びる。口縁部・体部上中位は欠損。底部中央に大きな円孔（復元径約 4.4cm）、周囲に小さい円孔（径約 1.7cm）が巡る。 内外面ヨコナデ。	乳灰褐色	3㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良	底部内面に黒斑有り。
101	壺 (土師器) SD1	口径 24.0	口縁部は上内方へ伸び、端部は上に面をもつ。口縁部下位以下は欠損。 口縁部外面ヨコナデ、内面ハケナデ（6本）。	淡橙灰色	4㎜以下の雲母・石英・長石・角閃石等の砂礫粒を含む。	良好	
102 七十	杯蓋 (須恵器) SD1	口径 11.85 器高 5.7 つまみ径 3.6 つまみ高 1.0 稜径 11.7	やや高く丸味をもつ天井部より下外方へ伸びる稜は鈍い。口縁部は内彎して下方に下り、端部は段を有し内傾する面をもつ。天井部中央に断面凹状のつまみをもつ。 天井部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	1㎜以下の長石・チャート等の細砂粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（右方向）。 天井部外面に自然釉付着。
103	同上 SD1	口径 11.8 器高 4.3 稜径 11.7	やや高く上面凹状の天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は垂直に下り、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 天井部外面約⅓回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 灰白色 内 暗灰色	精良。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。 天井部外面約⅓に自然釉付着。
104	同上 SD1	口径 12.7 稜径 13.0	丸いと思われる天井部より外下方へ伸びる稜に至る。稜は鋭い。口縁部は垂直に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面¾回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 暗灰色 内 青灰色	1.5㎜以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
105	杯蓋 (須恵器) SD1	口径 11.6 稜径 11.65	丸味をもつと思われる天井部より下外方へ伸びる稜に至る。稜は鈍い。口縁部は垂直に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	2㎜以下の長石等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。
106	同上 SD1	口径 12.4 器高 4.5 稜径 12.4	やや高く丸味をもつと思われる天井部より下外方へ伸びる稜に至る。端部は鈍い。口縁部は垂直に下り、端部は平らで内傾する面をもつ。天井部一部欠損。 天井部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	暗灰色	精良。	良好	ロクロ（左方向）。
107 七十	杯身 (須恵器) SD1	口径 10.65 器高 3.9 受部径 12.65	深く丸味をもつ底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。 底部外面回転ナデ後不定方向のヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	3㎜以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。 底部にヘラ記号有り。
108	同上 SD1	口径 10.6 器高 5.2 受部径 12.6	深く平らに近い底部より内彎して上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	乳灰色	精良。	良好	ロクロ（右方向）。
109	同上 SD1	口径 10.05 器高 4.65 受部径 12.3	やや深く平らに近い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	3㎜以下の長石等の粗砂粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。
110	同上 SD1	口径 10.1 器高 5.0 受部径 11.5	深く丸い底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	外 暗灰褐色 内 灰白色	精良。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。
111	同上 SD1	口径 10.8 器高 4.7 受部径 12.8	深く丸味をもつ底部より外上方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。 底体部外面約½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰青色	0.5㎜以下の石英・チャート等の微砂粒を含む。	良好	底体部外面に自然釉付着。
112	同上 SD1	口径 11.1 器高 5.5 受部径 13.3	やや深く丸味をもつ底部より上方へ内彎して伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は鈍く尖る。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	暗青灰色	5.5㎜以下の石英・チャート等の砂礫粒を含む。	良好	完形。 ロクロ（左方向）。
113	同上 SD1	口径 11.0 受部径 13.2	やや深く丸味をもつと思われる底部より斜上方へ伸びる受部に至る。受部は水平に伸び、端部は尖る。立ち上がりは内傾し、端部は平らで内傾する面をもつ。底部一部欠損。 底体部外面½回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡青灰色	2.5㎜以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	底体部外面に自然釉付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 法量	口径 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
114	杯身 (須恵器) SD1	口径 受部径	10.1 12.0	丸味をもつと思われる底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。底部一部欠損。 底体部外面約⅓回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡緑灰色	3㎜以下の長石・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（左方向）。 底体部外面約⅓に自然釉付着。
115	同上 SD1	口径 受部径	10.8 13.2	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は尖る。立ち上がりは内傾し、端部は段を有し、内傾する面をもつ。 体部外面⅔回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰青色	4.5㎜以下の長石・チャート等の砂礫粒を含む。	良好	ロクロ（左方向）。 体部外面にヘラ記号。
116	同上 SD1	口径 器高 受部径	11.4 5.5 13.2	深く丸味をもつ底部より上方へ内彎して伸びる受部に至る。受部は外上方へ伸び、端部は尖る。立ち上がりは内傾し、端部は内傾する凹面をもつ。 底体部外面⅔回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	2.5㎜以下の長石・石英・チャート等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。
117	同上 SD1	口径 器高 受部径	10.2 5.7 13.0	深く平らの底部より上外方へ伸びる受部に至る。受部は上外方へ伸び、端部は丸い。立ち上がりは内傾し、端部は上に平坦な面をもつ。 底体部外面約⅓回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	青灰色	2㎜以下の長石・チャート等の粗砂粒を少量含む。	良好	ロクロ（完形。方向）。
118	鉢 (須恵器) SD1	口径 器高	7.2 4.8	上外方へ伸びる体部より上方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 底部外面不定方向のナデ、他は回転ナデ。	暗青灰色	精良。	良好	
119 七十	無蓋高杯 (須恵器) SD1	口径 器高 底径	12.4 10.6 11.2	丸味をもつ底部より上外方へ内彎して伸びる稜に至る。稜は丸い。口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は内傾する面をもつ。脚部は下外方へ伸びる柱状部より外下方へ伸びる裾部に至る。端部は外方へ肥厚する。裾部外面に断面三角形の凸線が巡る。脚部外面上位に1本の接合痕を有す。 内外面回転ナデ。	淡青灰色	1.5㎜以下の長石・石英等の粗砂粒を含む。	良好	完形。
120 七十	同上 SD1	口径 器高 底径 稜径	13.4 10.3 10.0 12.6	丸味をもつ底部より外上方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は上方へ伸び、端部は内傾する面をもつ。脚部は下外方へ外反気味に伸びる柱状部より下外方へ伸びる裾部に至る。端部は垂直な凹面を成す。裾部外面に凸線が巡る。 内外面回転ナデ。	淡灰色	0.5㎜以下の長石等の微砂粒を微量に含む。	良好	脚部外面灰かぶり。
121	同上 SD1	底径	10.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸び裾部に至る。端部は下外方へ緩やかに屈曲する。柱状部に三方孔のスカシを有す。 杯底部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	淡灰色	4㎜以下の長石・チャート等の砂礫粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。 柱状部内面にヘラ記号。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
122	無蓋高杯 (須恵器) SD１	底径 9.4	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる裾部に至る。端部は下内方へ緩やかに屈曲する。脚部に三方孔のスカシを有す。 杯底部外面回転ヘラ削り、他は回転ナデ。	灰青色	2.5㎜以下の長石等の粗砂粒を含む。	良好	ロクロ（右方向）。杯底部内面・脚部外面に自然釉付着。
123 七一	甕 (須恵器) SD１	口径 16.2	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、斜上方へ伸びる口縁部に至る。稜は痕跡有り。端部は段を有し、丸い。体部中位以下は欠損。口縁部外面に１帯14条の波状文を有す。 口縁部内外面回転ナデ、体部外面タタキ、内面不定方向のナデ。	青灰色	１㎜以下の長石・石英等の細砂粒を少量含む。	良好	口縁部内外面・頸部外面・体部外面に自然釉付着。
124 七一	同上 SD１	口径 25.1	口縁部は上方へ外反気味に伸び、端部は下方へ肥厚し、外端面に凹凸面を成す。体部は欠損。 口縁部内外面回転ナデ、体部内面円弧タタキ。	淡灰色	１㎜以下の長石・チャート・赤褐色酸化粒等の微砂粒を含む。	良好	
125 七一	同上 SD４	口径 14.6 最大径 15.4	最大径を上位にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ伸びた後外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面上位タタキ（２本）、中位下タタキ後ヘラナデ、内面ヘラナデ。	淡灰褐色	７㎜以下の砂礫粒を多量に含む。	良好	
126	同上 SD４	口径 11.6	上方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部下位は欠損。 口縁部内外面ハケナデ（７本）、体部内外面ヘラナデ。	暗茶灰色	２㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
127	同上 SD４	口径 12.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外面に面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ、内面ヘラナデ。	暗灰褐色	４㎜以下の雲母・角閃石・石英等の砂礫粒を含む。	良好	
128 七一	同上 SD４	口径 16.4 器高 16.0 底径 3.3	最大径を中位よりやや上にもつ球形に近い体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面タタキ（３本）、内面ナデ。	暗褐灰色	３㎜以下の粗砂粒を含む。	良	
129 七一	同上 SD４	口径 13.6 器高 16.4 底径 3.7	楕円形の体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は突出しない平底。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ(24本)、内面ヘラナデ。	淡緑灰褐色	4.5㎜以下の砂礫粒を多量に含む。	良好	完形。
130	同上 SD４	口径 15.0	口縁部は上外方へ伸び、端部はつまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	茶灰色	２㎜以下の雲母・石英・角閃石等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
131	高杯 (土師器) SD4	口径 17.0	杯底部は欠損。口縁部は上外方へ伸び、端部は鈍く尖る。脚部は欠損。 杯部内外面ナデ	橙褐色	2㎜以下の粗砂粒を多量に含む。	良好	
132 七一	同上 SD4	口径 23.4	斜上方へ伸びる杯底部より屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 端面内外面ヨコナデ、杯部外面上位・中位内面ヘラミガキ、杯部外面下位ヘラ削り。	淡茶灰色	4㎜以下の砂礫粒を少量含む。	良好	
133	小皿 (土師器) SE1	口径 14.8	底部は欠損。体部は上外方へ伸びた後上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。 口縁内外面ヨコナデ、体部内外面ナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	体部内面に煤付着。
134 七二	同上 SE1	口径 13.8 器高 3.2	平坦な底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は内方に肥厚し、内傾する面をもつ。 外面ナデ・指頭痕、内面ナデ。	茶灰色	0.5㎜以下の雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	内外面に煤付着。
135 七二	同上 SK8	口径 8.8 器高 1.6	凹面をもつ底体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の雲母等の粗砂粒を少量含む。	良好	完形。
136	同上 SK8	口径 9.4 器高 1.6	凹面をもつ底体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	完形。
137 七二	同上 SK8	口径 8.6 器高 1.5	平坦な底体部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚する。 内外面ナデ。	乳灰茶色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	完形。
138 七二	同上 SK8	口径 9.2 器高 1.6	平坦な底体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部に穿孔を有す。 内外面ナデ。	淡灰茶色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	完形。
139 七二	同上 SK8	口径 9.4 器高 1.7	凹面をもつ底体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	2㎜以下の雲母等の粗砂粒を含む。	良好	完形。
140	同上 SK8	口径 9.0 器高 1.4	平坦な底体部より上外方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ・指頭痕、内面ナデ。	乳灰茶色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	完形。
141 七二	同上 SK8	口径 9.4 器高 1.6	平らに近い底体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡灰茶色	雲母等を少量含む。	良好	
142 七二	同上 SK8	口径 9.2 器高 1.8	平らに近い底体部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。 内外面ナデ。	淡灰茶色	0.5㎜以下雲母等の微砂粒を少量含む。	良好	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
143 七二	小皿 (土師器) ＳＫ８	口径 8.4 器高 1.5	平坦な底体部より上外方へ内彎気味に伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の雲母・石英等の細砂粒を含む。	良好	
144 七三	同上 ＳＫ８	口径 13.2 器高 2.9	平らに近い底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 内外面ナデ。	淡茶灰色	1㎜以下の雲母等の細砂粒を含む。	良好	完形。
145 七三	同上 ＳＫ８	口径 9.0	平らに近いと思われる底体部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部一部欠損。 外面ヨコナデ、内面暗文状ヘラミガキ。	外 暗灰色 内 淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	
146 七三	同上 ＳＫ８	口径 12.0 器高 1.9	平坦と思われる底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は鈍く尖る。底部一部欠損。 外面ナデ・指頭痕、内面ナデ。	外 暗灰色 内 乳灰色	1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	
147 七三	小皿 (瓦器) ＳＫ８	口径 9.0 器高 1.9	平らに近い底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ、内面ナデ後暗文状ヘラミガキ。	暗灰色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	完形。
148 七三	同上 ＳＫ８	口径 9.0 器高 2.0	凹面をもつ底体部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ、内面ナデ後暗文状ヘラミガキ。	淡灰色	3㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	完形。
149 七三	同上 ＳＫ８	口径 8.0 器高 2.9	椀形の底体部より斜上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は台形をもつ。 口縁部・体部内外面ヘラミガキ、高台内外面ヨコナデ。	暗灰色	1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	
150	椀 (瓦器) ＳＫ８	口径 13.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面指ナデ後ヘラミガキ、口縁部体部内面ハケナデ（10本）後ヘラミガキ。	淡乳茶色	2㎜以下の粗砂粒を含む。	良好	
151	同上 ＳＫ８	口径 15.0 器高 4.8 底径 5.8	椀形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。 口縁部・体部外面暗文・指頭痕、口縁部・体部内面暗文、底部外面・高台内外面ナデ。	灰黒色	1㎜以下の細砂粒を微量に含む。	良好	
152 七三	同上 ＳＫ８	口径 15.4 器高 5.8 底径 4.9	椀形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。 口縁部・体部外面ナデ・指頭痕、口縁部・体部内面暗文、高台内外面ナデ。	淡灰黒色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	
153 七三	同上 ＳＫ８	口径 15.5 器高 5.0 底径 4.6	椀形の底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。 口縁部・体部外面ナデ後暗文・指頭痕、口縁部内面暗文状、体部内面格子状暗文、高台内外面ナデ。	淡灰色	1㎜以下の細砂粒を含む。	良好	完形。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
154	椀 (瓦器) SK 8	口径 17.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面ヘラミガキ後指ナデ、口縁部・体部内面ヘラミガキ後暗文。	淡灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
155	同上 SK 8	口径 15.4 器高 4.9 底径 5.2	椀形の体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は台形をもつ。 口縁部外面ヨコナデ、内面螺旋状暗文、体部外面指ナデ、内面上位螺旋状暗文、下位格子暗文、高台外面ヨコナデ。	灰黒色	精良。	良好	
156	同上 SK 8	口径 15.6	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 外面ナデ後暗文状ヘラミガキ・指頭痕、内面ナデ後暗文状ヘラミガキ。	暗灰色	1㎜以下の細砂粒を少量含む。	良好	
157	同上 SK 8	口径 15.0	底部は欠損。体部は上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部外面に1本の接合痕を有す。 口縁部外面上位ヨコナデ、口縁部外面下位・体部外面ナデ後ヘラミガキ、口縁部・体部内面ヘラミガキ後暗文。	淡灰色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
158	同上 SP16	口径 15.6	椀形と思われる底体部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面指ナデ後ヘラミガキ、内面ヘラミガキ。	外 淡茶灰色 内 淡灰色	2.5 ㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	内外面に黒斑有り。
159	甕 (土師器) 包含層	口径 16.6	上内方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。肩部内面上位に1本の接合痕を有す。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ハケナデ？・指頭痕、内面ハケナデ？。	赤褐色	0.5 ㎜以下の微砂粒を含む。	良好	
160	同上 包含層	口径 14.6	上内方へ内彎気味に伸びる体部より屈曲し、外上方へ伸びる口縁部に至る。端部はつまみ上げる。体部中位以下は欠損。 口縁部外面・内面上位ヨコナデ、内面下位指頭痕、体部はタタキ（4本）後ハケナデ（9本）、内面ヘラ削り。	茶褐色	0.5 ㎜以下の雲母・角閃石・長石等の微砂粒を含む。	良好	
161	同上 包含層	口径 17.0	口縁部は外上方へ外反気味に伸び、端部は内方へ肥厚し、つまみ上げる。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ヘラ削り。	暗灰褐色	2㎜以下の粗砂粒を少量含む。	良好	外面に煤付着。
162	高杯 (土師器) 包含層	口径 21.4 器高 14.2 ～14.5 底径 14.2	丸いと思われる杯底部より外上方へ伸びる稜に至る。稜は痕跡あり。口縁部は上方へ短く外反気味に伸びた後外上方へ外反して伸び、端部は丸い。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。脚部中位に四方孔を有す。 杯部・脚部外面ヘラミガキ、杯部内面剝離の為不明、柱状部内面ナデ、裾部内面ハケナデ後ナデ。	淡乳茶色	2.5 ㎜以下の赤褐色酸化粒等の粗砂粒を含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
163	高杯 (土師器) 包含層	口径 11.6	平坦と思われる底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は外方へ肥厚する。底部一部・脚部は欠損。 杯部外面ヘラミガキ、内面放射状ヘラミガキ。	淡茶褐色	1㎜以下の長石・雲母等の細砂粒を微量に含む。	良好	
164	同上 包含層	口径 13.0	杯底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。脚部は欠損。 口縁部内面ヨコナデ、他はナデ。	淡茶褐色	2㎜以下の赤褐色酸化粒・長石・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
165	同上 包含層	底径 8.6	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は垂直な面をもつ。裾部内面に1本の接合痕を有す。裾部に四方孔を有す。 杯状部外面ヘラミガキ、内面しぼり目、裾部外面ナデ、内面指頭痕。	赤褐色	2㎜以下の石英・長石等の粗砂粒を含む。	良好	
166	同上 包含層	底径 8.2	杯部は欠損。脚部は下外方へ伸びる柱状部より屈曲し、外下方へ伸びる裾部に至る。端部は丸い。 杯部・脚部外面ナデ、杯部内面ヘラミガキによる放射状暗文、柱状部内面ナデ、裾部内面指頭痕。	外 茶褐色 内 黒色	0.5㎜以下の微砂粒を含む。	良好	内面に煤付着。
167	羽釜 (土師器) 包含層	鍔径 22.0	鍔部は水平で、端部は丸い。外面に2本の接合痕を有す。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡茶褐色	1㎜以下の長石等の細砂粒を少量含む。	良好	
168	小皿 (土師器) 包含層	口径 9.2	平らに近いと思われる底部より上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部一部欠損。 内外面ナデ。	淡茶褐色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	
169	中皿 (土師器) 包含層	口径 15.2 器高 2.3	平坦な底部より外上方へ伸びた後屈曲し、上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、底体部外面指頭痕、内面剝離の為不明。	赤褐色	0.5㎜以下の微砂粒を含む。	良好	
170	杯 (土師器) 包含層	口径 21.2	底部は欠損。体部は外上方へ伸びた後上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面・体部外面ヨコナデ、内面ヘラミガキ。	赤褐色	0.5㎜以下の微砂粒を含む。	良好	
171	同上 包含層	口径 13.1	底部は欠損。体部は上外方へ内彎気味に伸びた後上外方へ短く伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヘラミガキ。	外 赤茶色 内 灰褐色	2㎜以下の雲母・長石・角閃石等の粗砂粒を多量含む。	良好	
172	同上 包含層	口径 19.8	底部は欠損。体部は上方へ内彎して伸びる口縁部に至る。端部は内方へ肥厚し、上に面をもつ。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ。	淡茶褐色	2㎜以下の粗砂粒を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
173	椀 （瓦器） 包含層	口径 14.8 器高 5.7	底部は欠損。体部は外上方へ伸びた後上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。高台断面は逆三角形をもつ。 口縁部外面ヨコナデ、内面・体部内面上位ヘラミガキ、体部外面ナデ、内面下位平行状暗文。	灰黒色	精良。	良好	
174	同上 包含層	口径 15.6	底部は欠損。体部は外上方へ伸びた後上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。 口縁部外面上位ヨコナデ、下位・体部外面ナデ・指頭痕、口縁部・体部内面ナデ後ヘラミガキ、底部内面ナデ後放射状暗文。	外 淡茶褐色 内 淡灰褐色	1㎜以下の長石等の細砂粒を少量含む。	良好	

第10調査区

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
1 七四	朝顔形埴輪 埴輪円筒棺	口径 39.4 器高 81.0 底径 30.0 タガ幅 0.7 ～ 1.0 タガ高 0.8 ～ 1.0	筒状の体部で、肩部にやや脹らみをもち、内上方へ内彎する。口縁部は体部から屈曲し上外方へ大きく外反して伸びる。端部は上につまみ、外傾する面をもつ。底部は体部からそのまま下方へ下り、底端部付近でやや外反気味に開く。端部は下方に面をもつ。外面にはタガ5帯（口縁部・頸部に各1帯、体部に3帯）が巡る。体部にはタガとタガの間に三角形の三方スカシが2段ある。スカシは下段が大きく、上段がやや小さい。 口縁部端部付近の内外面とタガはヨコナデ、口縁部内外面縦ハケ、肩部外面横ハケ後縦ハケ、内面ヘラナデ、体部外面縦ハケ、内面上位縦ハケ、下位斜上方のハケナデ。	乳灰褐色	長石・チャート・石英角閃石・雲母等の細砂粒を少量含む。	良好	黒班有り。
2 七五	円筒埴輪 埴輪円筒棺	口径 38.6 器高 60.3 底径 27.8 ～32.5 タガ幅 0.9 ～ 1.0 タガ高 1.0 ～ 1.2	筒状の体部で、上外方へやや外反気味に伸び、口縁部付近でやや大きく開く。端部は外傾する面をもつ。底部端部は下に面をもつ。体部外面には3帯のタガがあり、その間に三角形のスカシが2段ある。スカシは上段が二方、下段が三方である。 口縁部付近の内外面とタガはヨコナデ、体部外面縦ハケで下位の一部にタタキが残る。内面縦ハケ。	乳灰褐色	長石・チャート・石英角閃石・雲、母等の細砂粒を少量含む。	良好	黒班有り。
3	壷 （土師器） 包含層	口径 20.6	体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は上に面をもつ。体部は欠損。 口縁部外面上位指頭痕、下位ナデ、内面ナデ。	淡褐色	2㎜以下の長石・角閃石・チャート等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
4 七六	甕 （土師器） 包含層	口径 20.4	内上方へ内彎して伸びる体部より屈曲し、上外方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。体部は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面ナデ、内面ヨコナデ。	茶灰色	4㎜以下のチャート等の砂礫粒を多量に含む。	良好	
5 七六	同上 包含層	口径 15.2	上内方へ伸びる体部より屈曲し、上外方へ外反気味に伸びる口縁部に至る。端部は外傾する面をもつ。体部中位以下は欠損。 口縁部内外面ヨコナデ、体部外面剥離の為調整不明、内面ヘラナデ。	黒褐色	雲母・長石・石英等の砂礫粒を多量に含む。	良好	内外面全面に煤付着。

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
6 七六	朝顔形埴輪 包含層		朝顔形の口縁部と思われる。外面にタガの痕跡が見られる。タガ外面・口縁部内面下位に一本ずつの接合痕を有す。 口縁部外面上位・中位ハケナデ（９本）、下位ヨコナデ、内面ハケナデ（13本）。	淡灰茶色	３㎜以下の長石・チャート・雲母等の粗砂粒を多量に含む。	良好	
7 七六	同上 包含層		朝顔形の口縁部と思われる。口縁部は外反して伸び、端部は外側に面をもつ。 内外面ナデ。	淡黄褐色	赤褐色酸化粒・石英・雲母・チャート・角閃石等を微量に含む。	良好	
8 七六	同上 包含層		朝顔形の口縁部と思われる。口縁部は外反して伸び、端部は垂下し、外側に浅い凹面をもつ。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡黄褐色	雲母・角閃石・赤褐色酸化粒・石英・チャート等を微量に含む。	良好	外面に煤付着。
9	同上 包含層		朝顔形埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高ち１cm、上の幅 0.7cm、下の幅 2.2cm）がある。 外面ハケナデ（８本）、内面摩滅の為調整不明。	淡黄茶褐色	３㎜以下の赤褐色酸化粒・角閃石・石英・雲母・長石・チャート等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
10	円筒埴輪 包含層		円筒埴輪の破片と思われる。外面に台形タガ（高ち 1.2cm、上の幅 0.7cm、下の幅 1.2cm）がある。 外面ハケナデ（10本）、内面ハケナデ（10本）・指頭痕。	淡黄赤褐色	雲母・石英・角閃石・赤褐色酸化粒・チャート等を微量に含む。	良好	外面全面に黒斑有り。
11	同上 包含層		円筒埴輪の破片と思われる。外面に台形タガ（高ち 0.9cm、上の幅 0.9cm、下の幅 1.8cm）がある。 内外面ハケナデ（外８本、内11本）。	淡黄褐色	２㎜以下の角閃石・石英・チャート・長石・雲母・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	内面に自然釉付着。
12	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 0.9cm、上の幅 0.7cm、下の幅 1.5cm）がある。 内外面ハケナデ（外６本、内９本）。	淡黄淡褐色	２㎜以下の雲母・角閃石・長石・チャート・石英等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
13 七七	同上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 1.2cm、上の幅 0.8cm、下の幅 1.5cm）がある。 内外面ナデ、一部ハケナデ。	外 淡乳茶色 内 淡黄茶褐色	３㎜以下の雲母・チャート・長石・赤褐色酸化色粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	

遺物番号 図版番号	器種 出土地点	(cm) 口径 法量 器高	形態・調整等の特徴	色調	胎土	焼成	備考
14 七七	円筒埴輪 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 0.8cm、上の幅 0.9cm、下の幅 1.9cm）がある。 外面ハケナデ（9本）、内面ナデ。	外 淡灰色 内 淡茶褐色	3㎜以下の雲母・チャート・長石等の粗砂粒を含む。	良好	外面全面に黒斑有り。
15 七七	同 上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 1.2cm、上の幅 0.9cm、下の幅 2.1cm）がある。外面に二本、タガ断面に1本の接合痕を有す。 内外面磨滅の為調整不明。	淡黄褐色	石英・赤褐色酸化粒・長石・チャート等を微量に含む。	良好	
16 七七	同 上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 0.7cm、上の幅 0.8cm、下の幅 1.2cm）がある。タガ付近外面に二本、タガ断面に1本の接合痕を有す。 外面ハケナデ、タガはヨコナデ、内面指ナデ。	黄褐色	赤褐色酸化粒・石英・長石・チャート・雲母等を微量に含む。	良好	
17 	同 上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 0.7cm、上の幅 0.9cm、下の幅 2.0cm）がある。 内外面ナデ。	淡茶褐色	長石・石英・赤褐色酸化粒等を少量含む。	良好	
18 	同 上 包含層		円筒埴輪の小片と思われる。外面に台形タガ（高さ 0.8cm、上の幅 0.7cm、下の幅 1.5cm）がある。タガ断面に1本の接合痕を有す。 外面ハケナデ（9本）、内面ハケナデ後指ナデ。	淡黄茶褐色	3㎜以下の雲母・角閃石・チャート・長石・赤褐色酸化粒等の粗砂粒を微量に含む。	良好	
19	小 皿 (土師器) 包含層	口 径 12.4	口縁部は上外方へ外反気味に伸び、端部は丸い。底部は欠損。 内外面ナデ。	淡茶灰色	2㎜以下の赤褐色酸化粒・雲母等の粗砂粒を含む。	良好	
20	皿 (土師器) 包含層	口 径 16.4	平らと思われる底部より外上方へ伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は欠損。 外面ヨコナデ、内面ナデ。	淡灰褐色	1㎜以下の長石・石英等の細砂粒を少量含む。	良好	
21	小 皿 (瓦 器) 包含層	口 径 9.6 器 高 2.1	平らな底部より上外方へ外反して伸びる口縁部に至る。端部は丸い。底部は一部欠損。 内外面調整不明。	暗灰色	精良。	良好	
22	椀 (瓦 器) 包含層	口 径 12.8	半球形の体部からヨコナデによってわずかに外反する口縁部に至る。端部は丸く終る。 内面はヘラミガキ、外面上位ヨコナデ後部ヘラミガキ、下位ナデで指頭圧痕が認められる。	灰黒色	微砂粒を少量含む。	良好	

第5章　ま　と　め

今回の調査地は昭和57年度第１次調査と昭和58年度第３次調査を実施した調査区に接している。既往調査では弥生時代後期～鎌倉時代に至る遺構・遺物が多数検出されている。特に古墳時代前期（庄内期）に比定される土器が多量に出土しており、庄内式土器の良好な資料が得られている。さらに、この調査報告の刊行（昭和62年度）までには当調査研究会が第14次調査を実施し、多くの遺構・遺物を新たに検出している。

以下、今回の調査の成果について各時代ごとに要約して述べる。

古墳時代前期

区画整理事業区域内の南西部で実施した各調査区で遺構・遺物を検出している。居住に関連する遺構としては第５調査区で検出している。この時期の遺構としては昭和58年度第３次調査で方形周溝墓などの墓域に関連する遺構を検出しているが、居住に関連する遺構が検出されたのは当遺跡内において今回の調査がはじめてである。その後の調査では、第５調査区の南東部（約20m ）で実施した調査（昭和62年度第13次調査）で居住に関連する遺構が検出しており、居住域が南東部に広がることが明らかになった。

古墳時代前期に比定される土器は第１調査区のＳＤ１・第７調査区のＳＤ１・第９調査区のＳＤ１から庄内式新相～布留式新相に比定される土器が多量に出土している。この時期の土器は既往調査（昭和57年度第１次調査・昭和58年度第３次調査）でもこの時期の土器が出土しており、当遺跡における古墳時代前期の時期が土器によって変遷が明らかにされるであろう。また、出土した土器の中には他地域の土器が含まれており、当遺跡と他地域との交流が盛んに行われていたことがうかがえる。

古墳時代中期

この時期の遺構は第１調査区・第２調査区・第９調査区・第10調査区で検出している。第１調査区のＳＤ１の第９調査区のＳＤ１内のＡ層から土師器・須恵器が一括で出土している。出土した土器には初期須恵器・韓式系土器がみられる。また、第10調査区では朝顔形埴輪と円筒埴輪をセットにした埴輪円筒棺１基が検出している。この埴輪円筒棺は当遺跡内ではじめての検出である。埴輪円筒棺の検出例としては周辺遺跡で東弓削遺跡と中田遺跡の２例がみられる。

第２調査区では古墳時代中期に比定される小穴が多数検出した。この中には建物に伴うものと考えられる小穴列が検出しており、この付近に居住地が存在していたと考えられる。

平安時代後期～鎌倉時代

この時期の遺構は全調査区で検出した。当遺跡範囲内の南部に位置する第９調査区では、井戸・土坑・小穴等の居住に関連する遺構が検出されている以外、ほとんどの調査区は農耕に関連する東西・南北方向に伸びる溝である。平安時代後期以降は当遺跡内の大半は農地としていたようである。その後の調査（昭和61年度第８次調査）では当遺跡範囲内の北西部でこの時期の居住区域が検出されている。

以上、今回の調査で得られた成果である。その後の調査においても多数の遺構・遺物が検出されており、今後、当遺跡の変遷が明らかにされるであろう。

参考文献

○　佐原真「畿内地方」『弥生式土器集成』本編２　1968

○　川西宏幸「円筒埴輪総論」『考古学総論』第64巻２号　1979

○　大阪府教育委員会「挟山遺跡・軽里遺跡発掘調査概要」　1974

○　（財）大阪文化財センター「船橋」－大和川環境整備事業柏原地区高水敷整正工事に伴う船橋遺跡試掘調査報告書－　1976

○　大阪府教育委員会「萱振遺跡発掘調査概要Ⅰ」－八尾市緑ヶ丘２丁目所在－　1983

○　（財）大阪文化財センター「美園」－近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書－　1985

○　岡山県教育委員会「旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査１」岡山県埋蔵文化財発掘調査報告39　1980

○　愛知県教育委員会　編集「朝日遺跡Ⅰ（本文篇）」　1982

○　橿原考古学研究所篇（石野博信・関川尚功他）「布留式成立に関わる覚書」『纒向』－奈良県桜井市纒向遺跡の調査－　1976

○　八尾市教育委員会「中田遺跡調査報告Ⅱ」『中田遺跡』　1975．３

○　八尾市教育委員会「東弓削遺跡」－大阪府水道部送水管布設工事に伴う埋蔵文化財調査－　1976．４

○　米田敏幸・奥田尚「土器の胎土分析方法について」『古代学研究』第99巻　1983

○　八尾市教育委員会「成法寺遺跡」－八尾市光南町１丁目29番地の調査－　1983

○　八尾市教育委員会「東郷遺跡－第５次調査－」『八尾市埋蔵文化財発掘調査概要　1980・1981年度』　1983

○　（財）八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡（第３次調査）」『昭和58年度事業報告』（財）八尾市文化財調査研究会報告６　1985

○　（財）八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」『昭和59年度事業報告』（財）八尾市文化財調査研究会報告７　1985

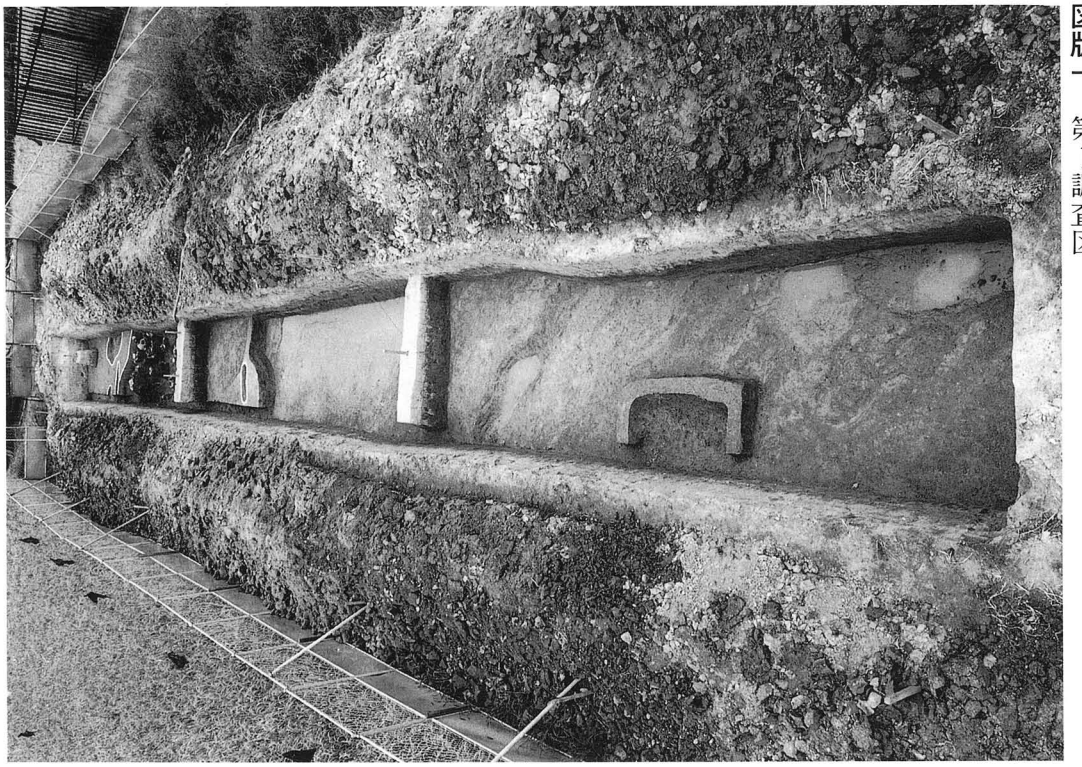
○　（財）八尾市文化財調査研究会『小阪合遺跡発掘調査概要』－流域下水道等整備に伴う発掘調査－（財）八尾市文化財調査研究会報告８　1986

○　（財）八尾市文化財調査研究会「小阪合遺跡」『昭和60年度事業報告』（財）八尾市文化財調査研究会報告９　1986．４

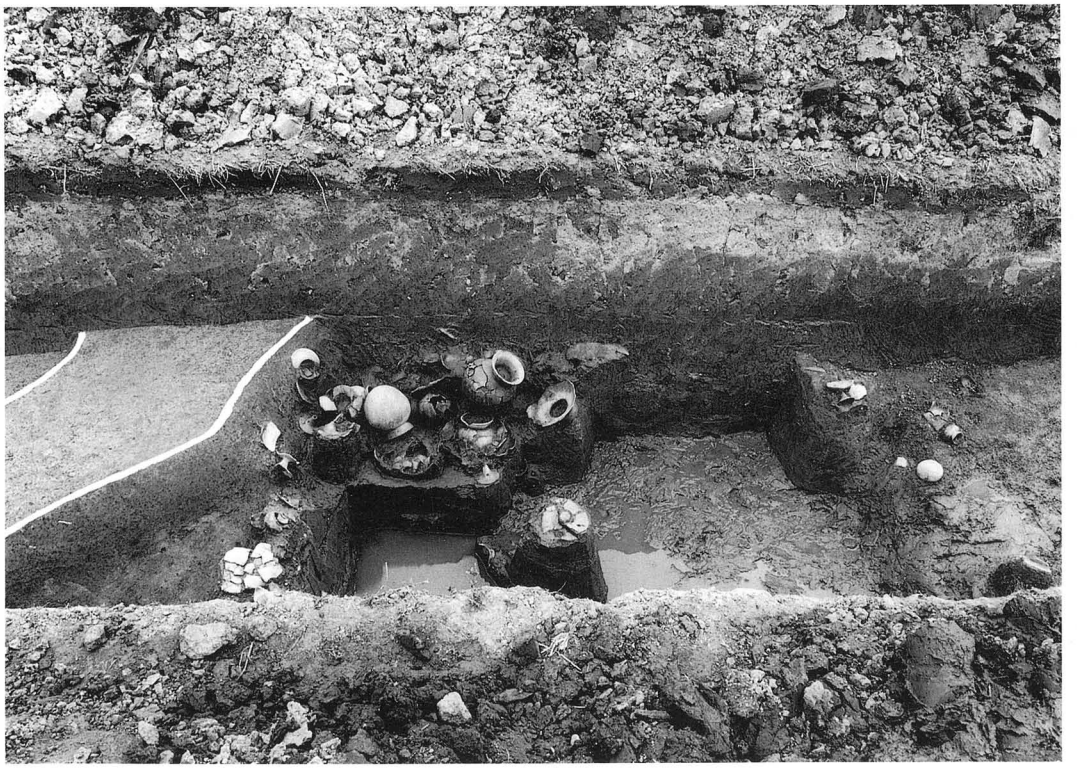
○　（財）八尾市文化財調査研究会『小阪合遺跡』－八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査－〈昭和57年度　第１次調査報告書〉（財）八尾市文化財調査研究会報告10　1987

○　（財）八尾市文化財調査研究会『小阪合遺跡』－八尾都市計画事業南小阪合土地区画整理事業に伴う発掘調査－〈昭和58年度　第２次・第３次調査報告書〉（財）八尾市文化財調査研究会報告11　1987

図　　版

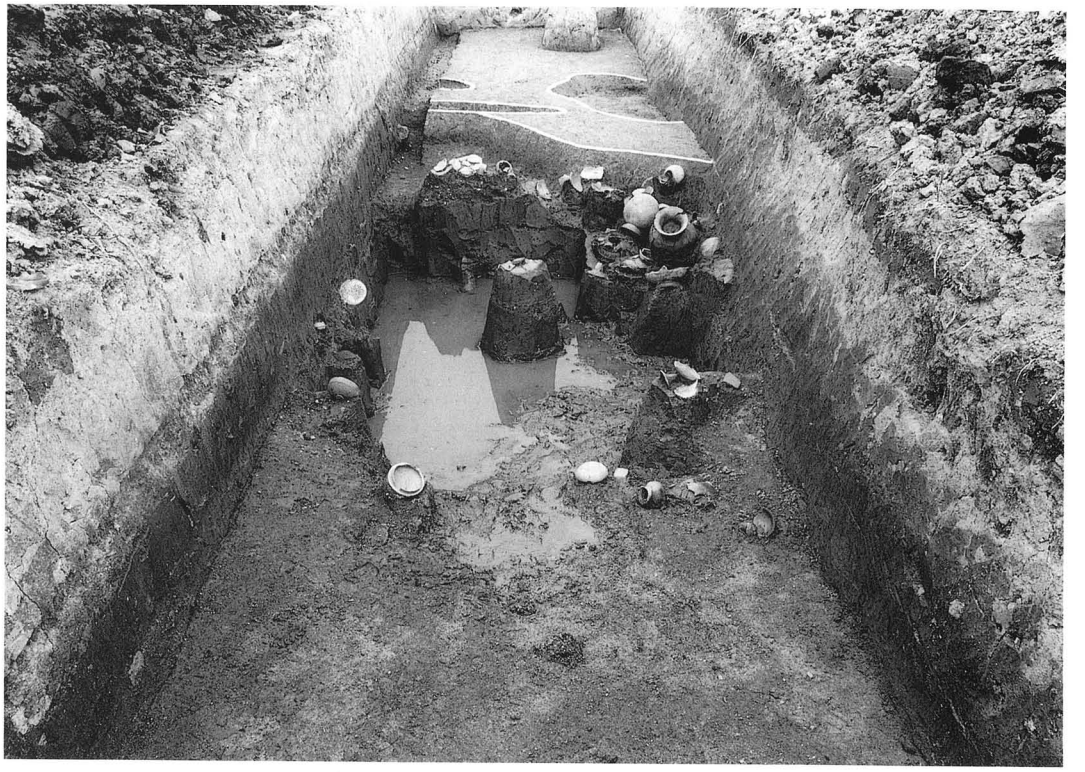


第１調査面（南から）



ＥⅡ－ｂ６～ｃ６区ＳＤ１遺物検出状況（西から）

ＳＤ１遺物検出状況（西から）



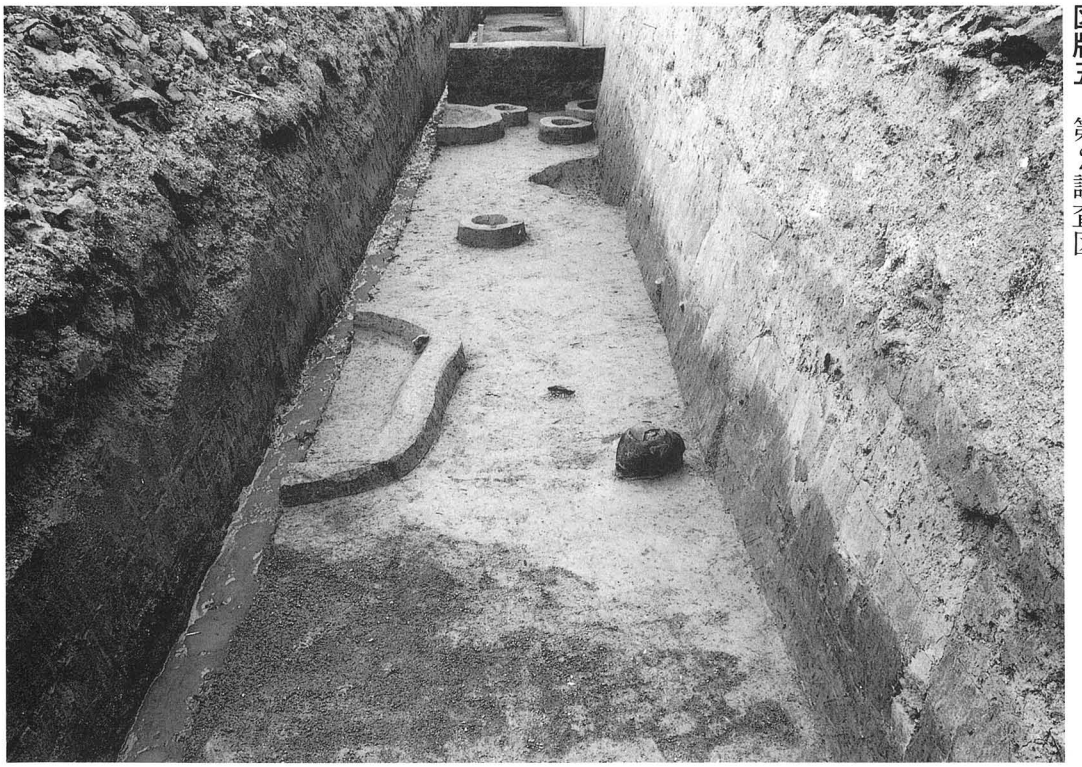
ＳＤ１遺物検出状況（南から）

ＳＤ１完掘（南から）

第２調査面全景（南から）

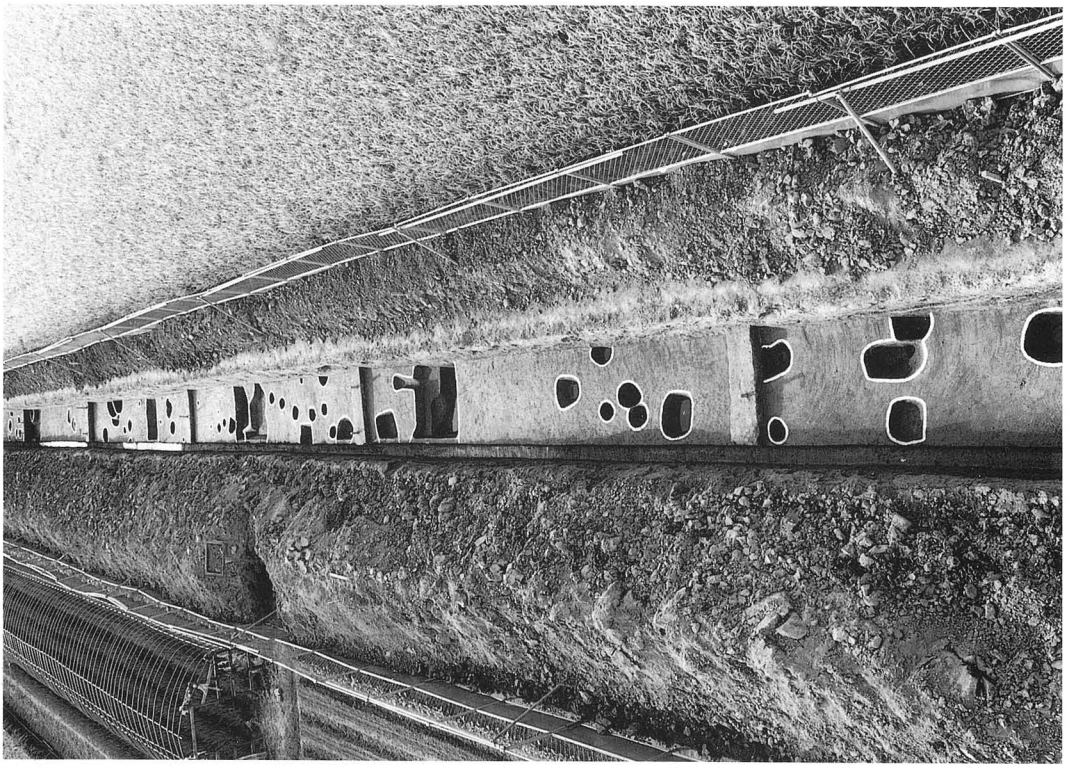
第1調査面全景（東から）

DⅡ－i8～j8区SK1

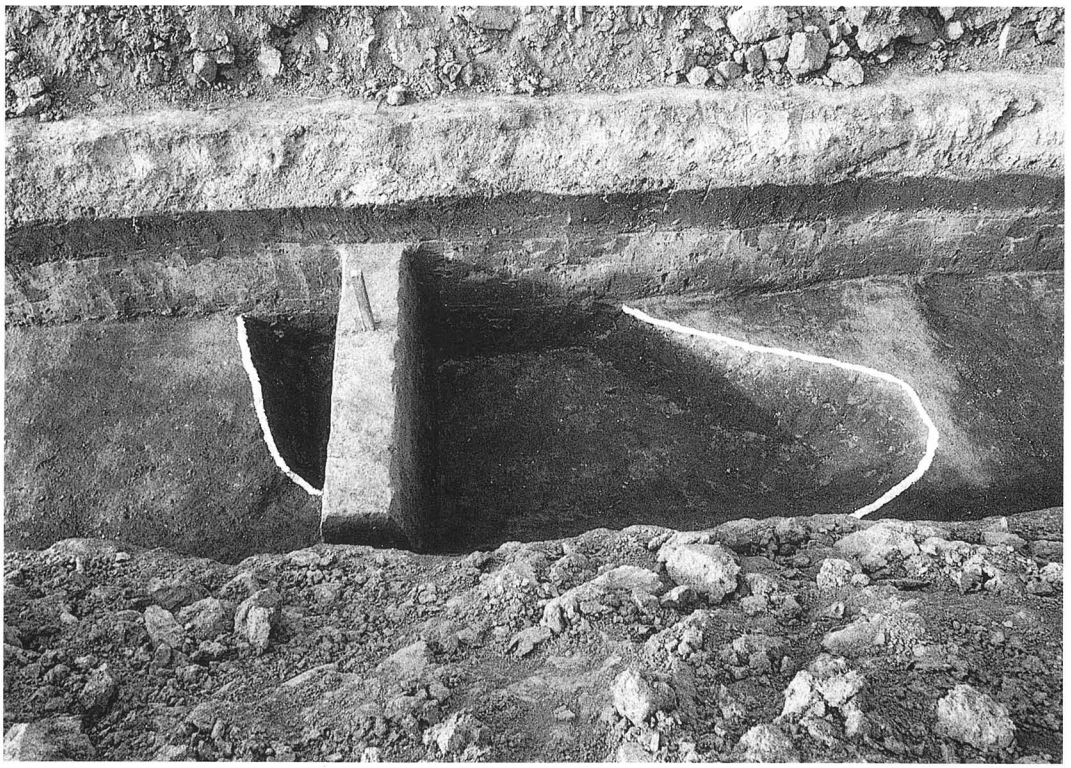


DⅡ－ｉ９区第１調査面（西から）

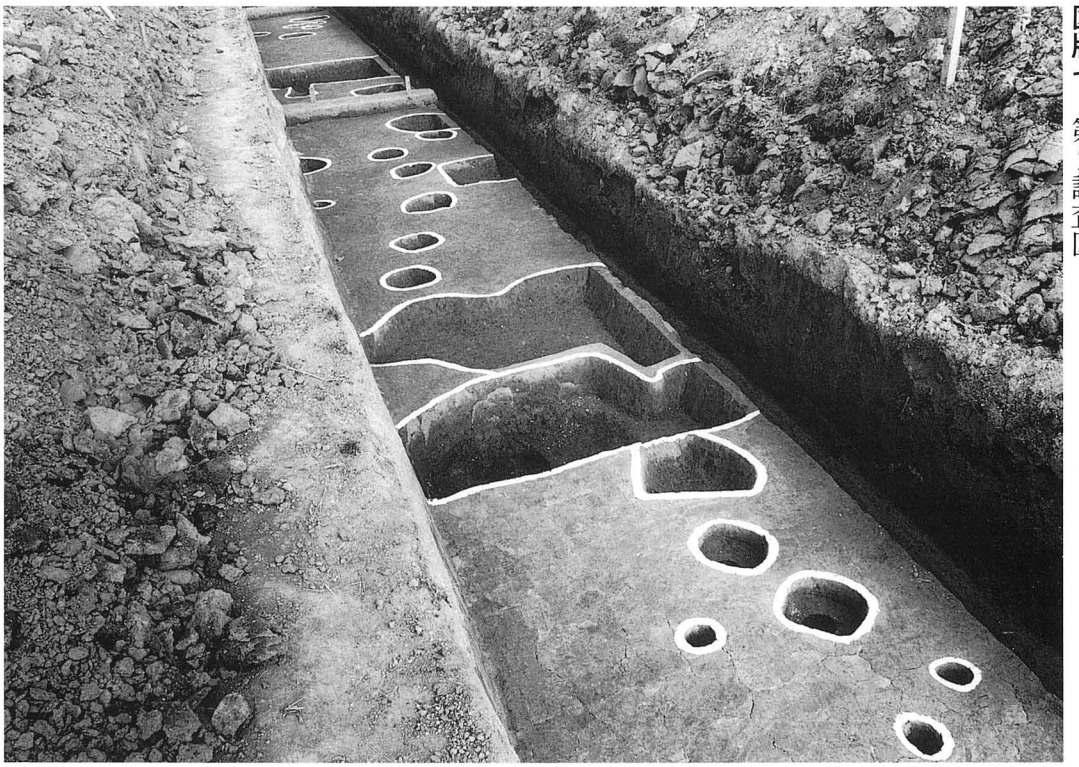
DⅡ－ｉ９区第７層遺物検出状況（南から）



第２調査面全景（東から）

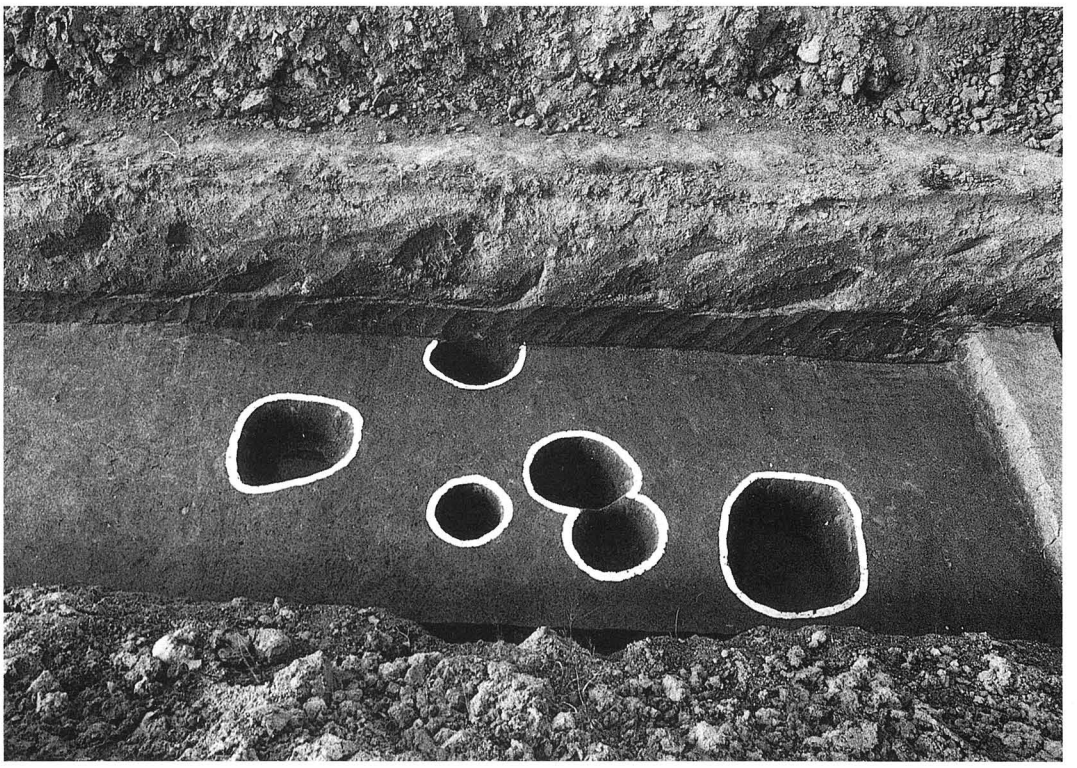


ＤⅡ－ｊ６～ｊ７区ＳＫ３（南から）

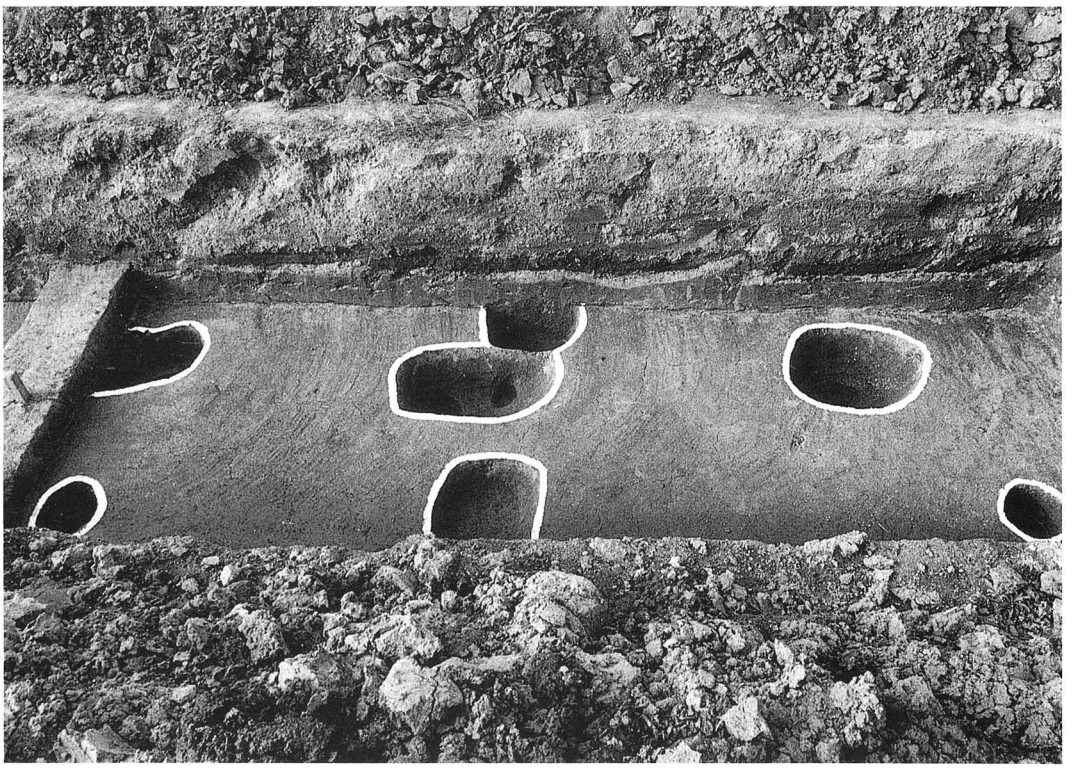


ＤⅡ－ｉ10区遺構状況（西から）

ＤⅡ－ｉ１区ＳＤ３（南から）



DⅡ－ｉ１区小穴検出状況（南から）



DⅡ－ｉ２区小穴列２（南から）

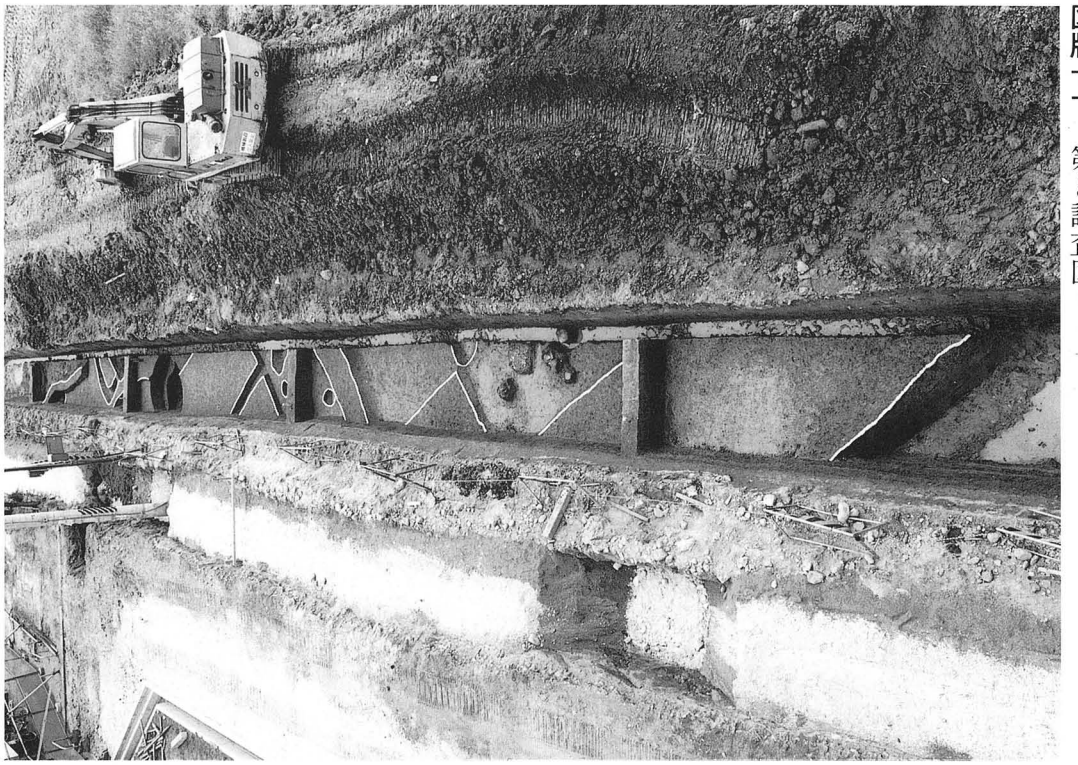
DⅡ－ｉ８区ＳＥ１（南から）

DⅡ－ｉ８区ＳＥ１木製品検出状況（南から）

図版十　第3調査区・第4調査区

第3調査区全景（西から）

第4調査区全景（南から）



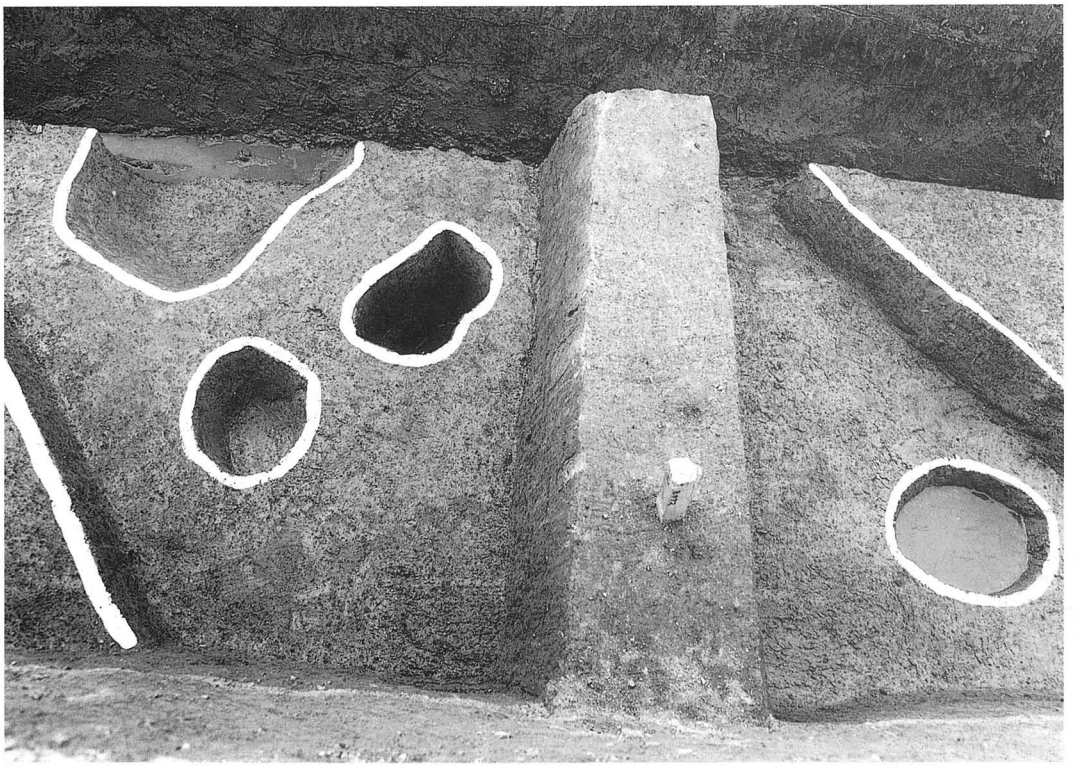
第1調査面全景（北から）

GⅣ－b 5区小穴列1（南西から）

FⅣ－ｊ5区ＳＥ1（東から）

FⅣ－ｊ5区ＳＥ1底部付近木製品検出状況（上から）

FⅣ－ｊ５区ＳＫ２（北から）



FⅣ－ｊ５区～GⅣ－ａ５区ＳＫ３（東から）